市川市子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査

報　　告　　書

平成２６年３月

市　　川　　市

目　　次

１．調査概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
（１）調査の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
（２）調査の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
（３）調査結果概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２．調査の集計・分析結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
２－１　就学前児童（０～５歳）のいる世帯　・・・・・・・・・・・・・　3
（１）居住地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
（２）子どもと家族の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
（３）子育て環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
（４）地域の子育て支援事業の利用状況　・・・・・・・・・・・・・・・　8
（５）幼稚園や保育所、その他の利用状況　・・・・・・・・・・・・・・　15
（６）土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望　・・・・　49
（７）病気の際の対応　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　53
（８）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用　・・　56
（９）小学校就学後の放課後の過ごし方　・・・・・・・・・・・・・・・　68
(10) 保護者の就労状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　75
(11) 育児休業などの職場の両立支援制度　・・・・・・・・・・・・・・　81
(12) 子育て支援施策に対する「満足度」・・・・・・・・・・・・・・・　86

２－２　小学生（１～６年生）のいる世帯　・・・・・・・・・・・・・・　87
（１）居住地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　87
（２）子どもと家族の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　88
（３）子育て環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　90
（４）病気の際の対応　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　92
（５）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用　・・　94
（６）放課後の過ごし方　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　99
（７）保護者の就労状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　123
（８）育児休業など職場の両立支援制度　・・・・・・・・・・・・・・・　131
（９）子育て支援施策に対する「満足度」・・・・・・・・・・・・・・・　132

３．量の見込みの算定結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
３－１　市川市全体　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
３－２　大柏地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135
３－３　宮久保地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137
３－４　曽谷地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 139
３－５　国分・国府台地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 141
３－６　市川地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 143
３－７　八幡地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
３－８　中山地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 147
３－９　市川駅南地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 149
３－１０　本八幡駅南地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 151
３－１１　信篤地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153
３－１２　妙典地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 155
３－１３　行徳地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
３－１４　南行徳地区　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 159

【資料編】

１．アンケート調査票（就学前児童のいる世帯）・・・・・・・・・・・・ 161
２．アンケート調査票（小学生のいる世帯）・・・・・・・・・・・・・・ 182
３．推計児童数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 199

１．調査概要

（１）調査の目的

市川市では、平成 27 年度開始予定の新たな子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的な給付・事業を実施する。

本調査は、市川市民を対象としたアンケート調査を行い、調査票で住民の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握することから、子ども・子育て支援事業計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出した。

（２）調査の概要

①　アンケート調査

ｉ）調査対象者

≪就学前児童のいる世帯≫：市川市内において 4,500 件を無作為抽出
（内訳）0～2 歳：2,250 件、3～5 歳：2,250 件

≪小学生のいる世帯≫　　：市川市内において 2,500 件を無作為抽出

ⅱ）調査方法

郵送配布、郵送回収

ⅲ）調査期間

平成 25 年 11 月 11 日（月）～12 月 13 日（金）

②　調査結果の集計・分析

ｉ）データの入力

◆選択肢データ・数値データの入力

◆記述データの入力（自由記載欄のテキストデータ化）

ⅱ）結果の集計・分析

◆集計表・グラフの作成

◆分析（傾向の把握、課題の抽出等）

◆記述データについては、年齢及び内容に応じた区分に分類し、記載・集計

③　量の見込みの算出

ｉ）市民ニーズのアンケート調査の結果、市川市の関連資料に基づき、市川市が指定する項目（※１）にかかる量の見込みを算出した。

ⅱ）受託者は、市川市の将来人口推計（平成 24 年度）（※）を基に、量の見込みの算出に必要な将来人口を設定した。

ⅲ）量の見込みの算出にあたっては、基本指針等（※２）に基づき実施した。

【※１　市川市が指定する項目】

子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 61 条第 2 項第 1 号に規定する特定教育・保育施設、特定地域型保育事業所に係る必要利用定員総数、及び同項第 2 号に規定する地域子ども・子育て支援事業の量の見込み。

（必要利用定員総数については区域・年度（5 年間）・子どもの区分（4 区分）ごと、事業の量の見込みについては、区域・年度（5 年間）ごとに算出することに留意する）

【※２　基本指針】

子ども・子育て支援法第 60 条第 1 項に規定される基本指針及びそれに付随して国より提示される通知や手引き等のこと。

（３）調査結果概要

アンケート調査の回収率は、「就学前世帯」が 48.7%、「小学生世帯」が 43.0%であった。

【調査結果：回収率】

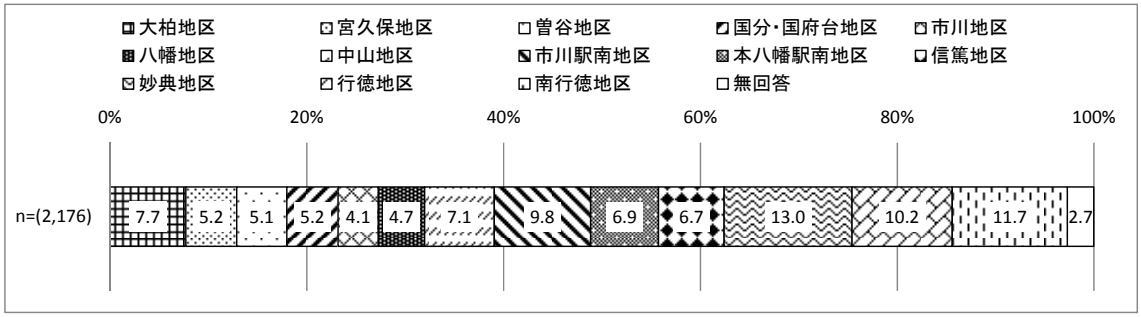
	発送数	回収数	回収率
就学前世帯 （有効回答数）	4,500	2,193 (2,176)	48.7% (48.4%)
小学生世帯 （有効回答数）	2,500	1,074 (1,064)	43.0% (42.6%)
合計 （有効回答数）	7,000	3,267 (3,240)	46.7% (46.3%)

２．調査の集計・分析結果

２－１　就学前児童（０～５歳）のいる世帯

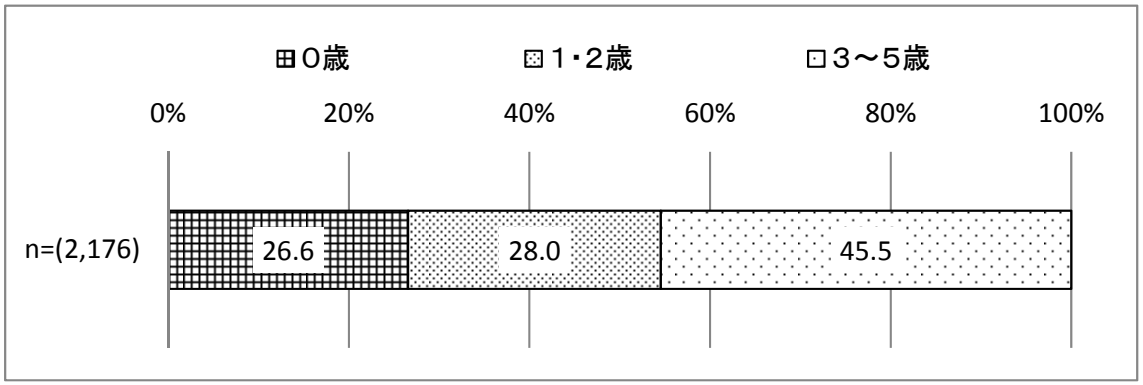
（１）居住地区

問１　お住まいの地区はどこですか。

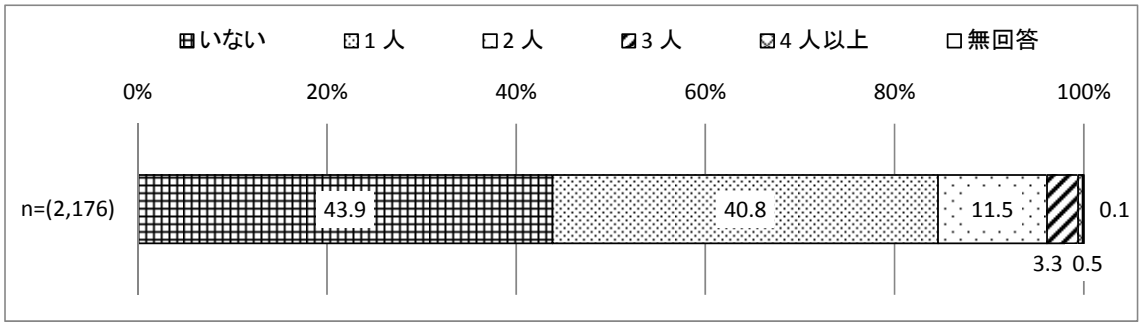


（２）子どもと家族の状況

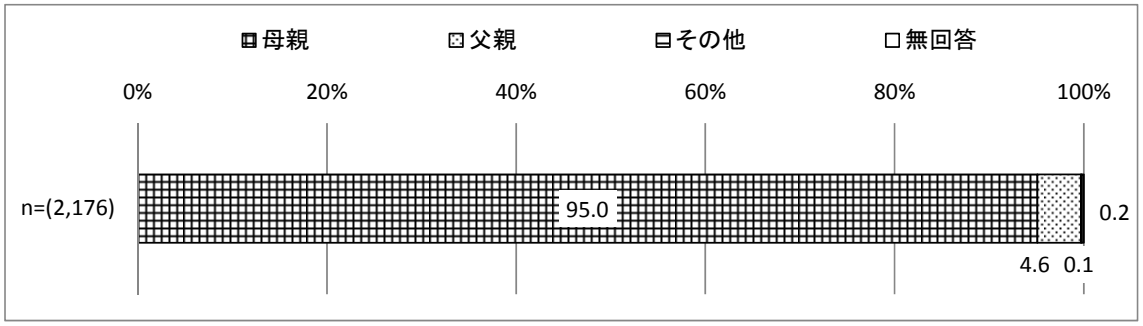
問 2　お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。）は何歳ですか。



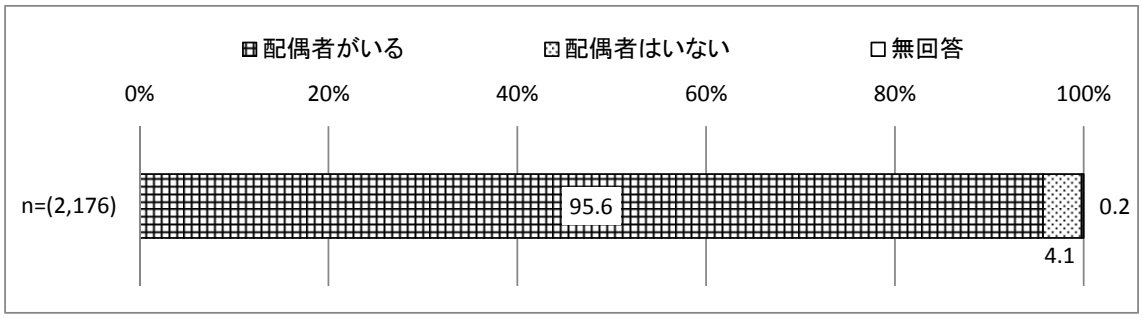
問 3　お子さんのきょうだいは何人いますか。



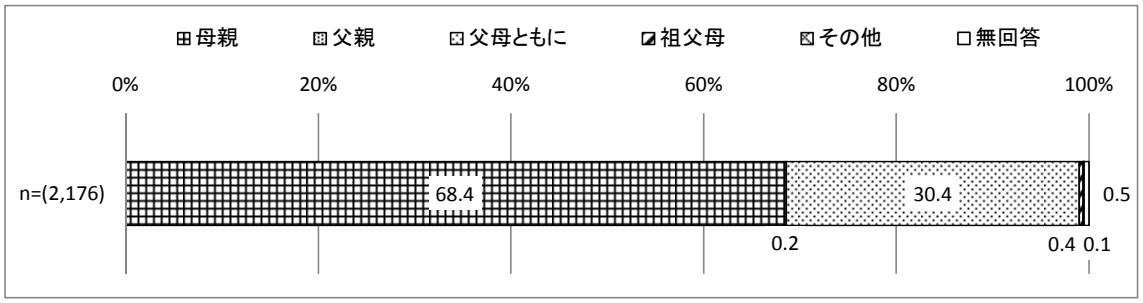
問 4　この調査票に記入されているのはどなたですか。



問 5　この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。



問 6　お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

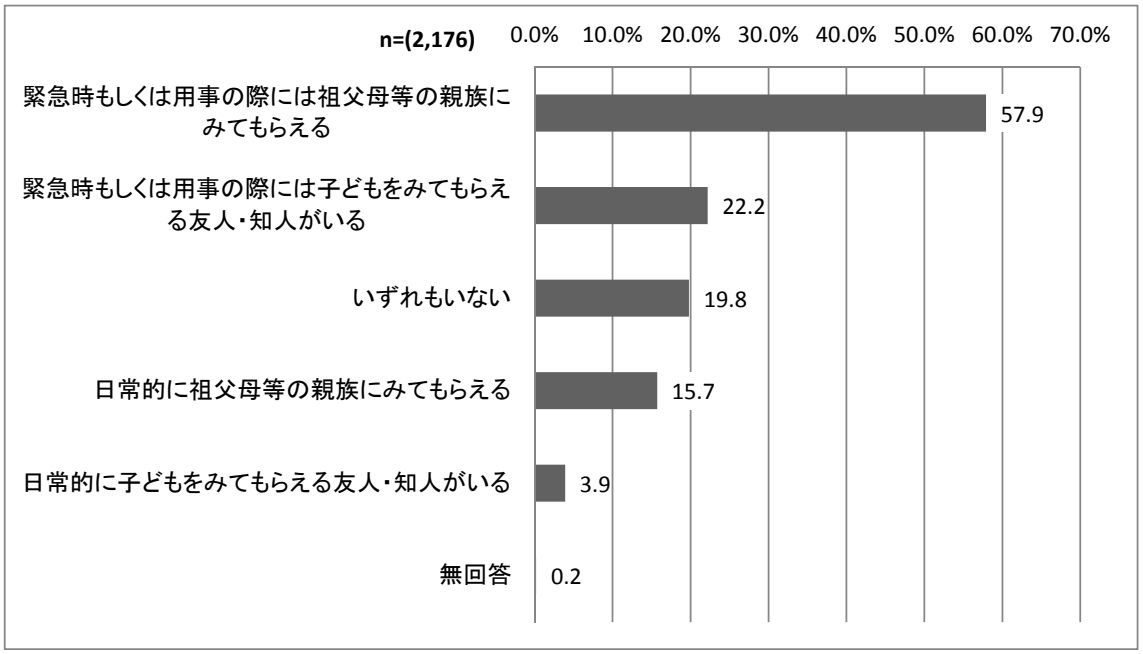


（３）子育て環境

問７　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（複数回答）

【分析】

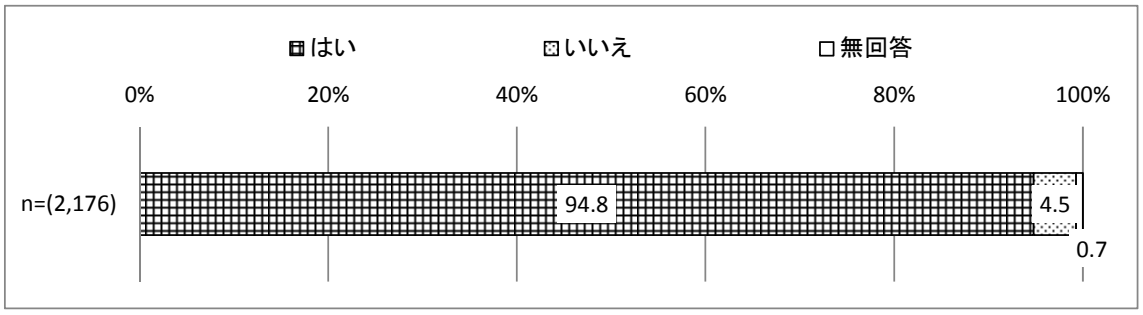
「祖父母等の親族にみてもらえる」が 57.9％と最も多く、次いで「子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 22.2％となっている。



問８　お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか（いますか）。

【分析】

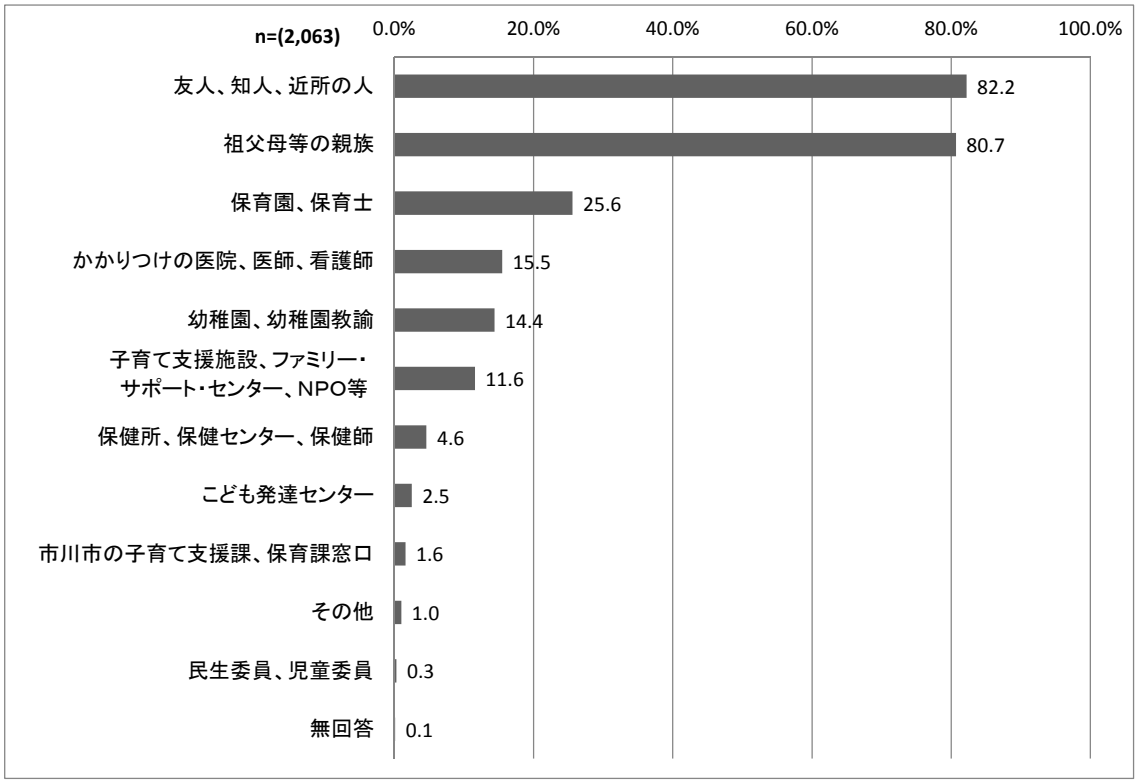
相談できる人や場所があるか（いるか）について、「はい」の割合が 94.8％となっており「いいえ」の 4.5％と比べて、かなり高い割合を占めている。



問９　問８で「１．はい」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答）

【分析】

「友人、知人、近所の人」が 82.2％で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が 80.7％となっており、他は全て 30％未満であった。



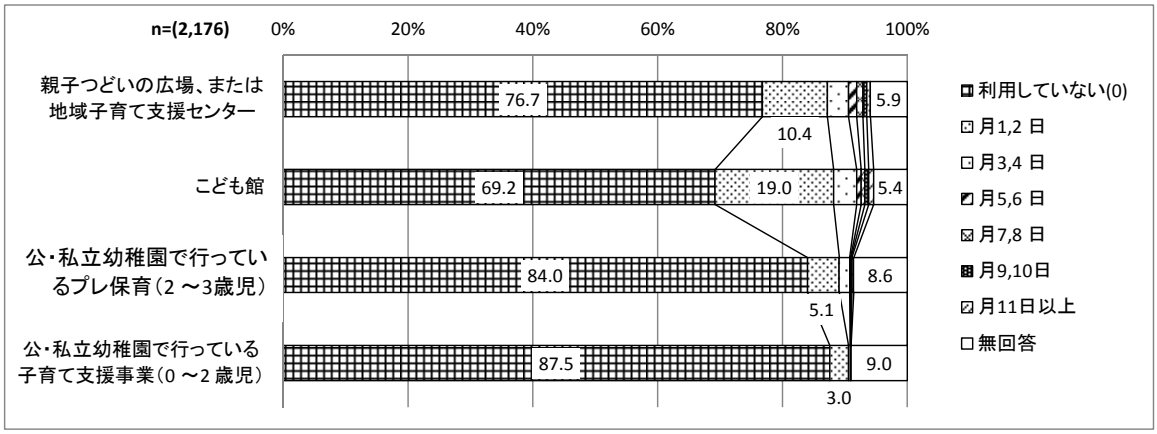
（４）地域の子育て支援事業の利用状況

問 11　お子さんは、「親子つどいの広場」地域子育て支援センター」「こども館」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です）や私立幼稚園におけるプレ保育・子育て支援事業を現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。現在の利用日数をＡ欄に、希望する利用日数をＢ欄に（現在の状況と同じ場合には記入不要です）、数字でご記入ください。

◆子育て支援事業の利用状況：Ａ欄（現在の利用日数）

【分析】

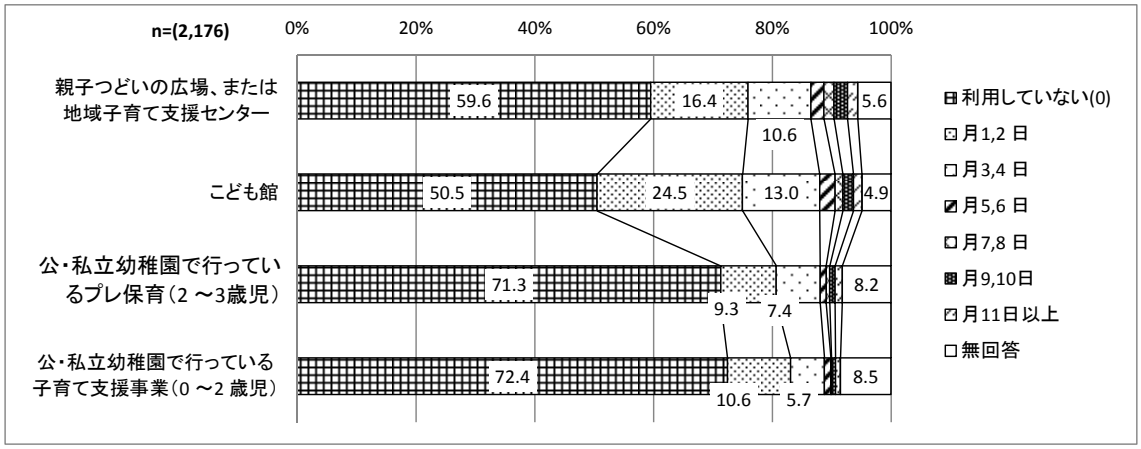
利用状況でみると「利用していない」の割合が最も多く、利用している中では、「こども館」を「月 1,2 日」利用する割合が 19.0％で最も多い。



問 11　◆子育て支援事業の利用状況：Ｂ欄（希望する利用日数）

【分析】

希望する利用日数は「利用していない」の次に「月 1,2 日」の割合が多く、希望する中では、「「こども館」を「月 1,2 日」利用する割合が 24.5%と最も多い。

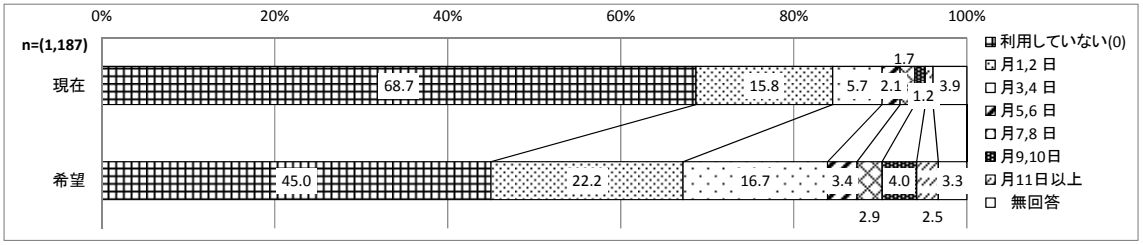


【分析】

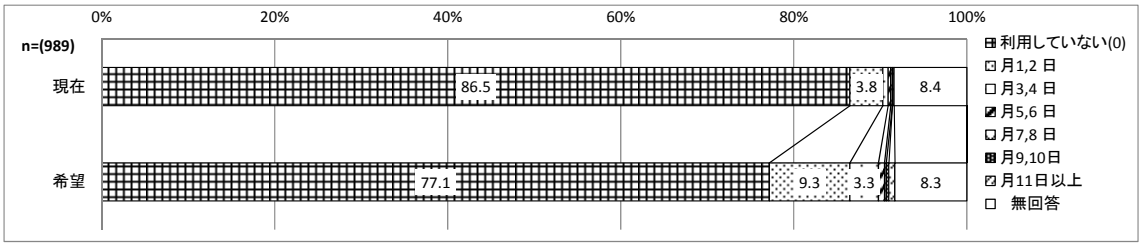
親子つどいの広場、または地域子育て支援センターの利用について、現在「月 1,2 日」利用している割合は、0～2 歳では 15.8%を占めているが、3～5 歳では 3.8%と、極端に割合が少なくなっている。

また、希望する利用日数についても、「月 1,2 日」が 0～2 歳では 22.2%を占めているのに対し、3～5 歳では 9.3%に留まっている。

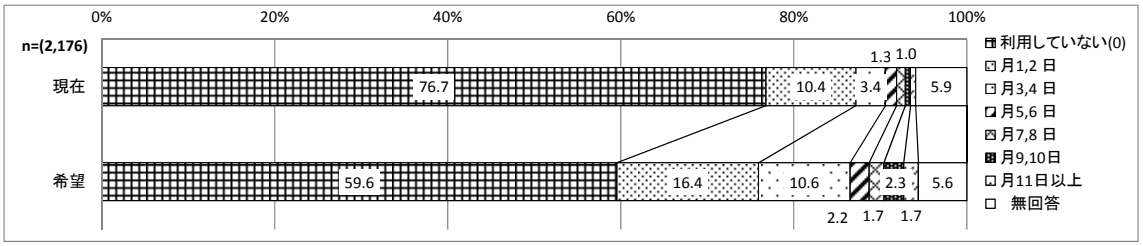
問 11　◆年齢区分別：親子つどいの広場、または地域子育て支援センター　0～2 歳



問 11　◆年齢区分別：：親子つどいの広場、または地域子育て支援センター　3 ～5 歳



問 11　◆年齢区分別：親子つどいの広場、または地域子育て支援センター　0 ～5 歳

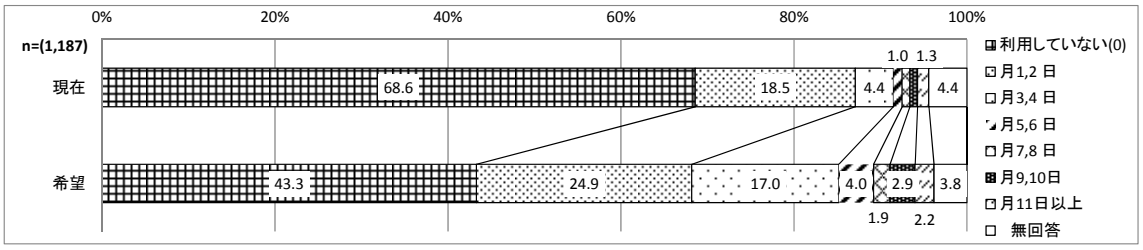


【分析】

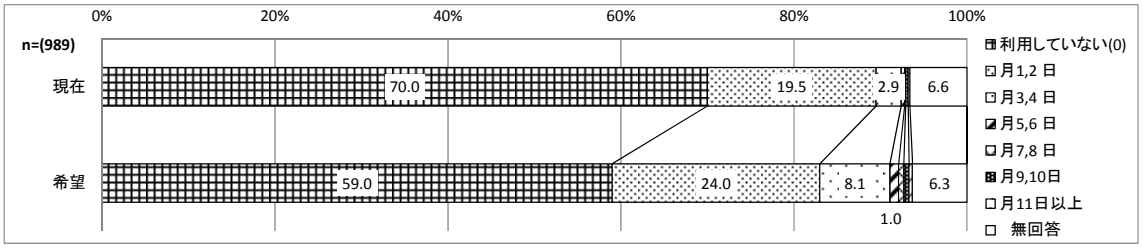
こども館の利用について、現在「月 1,2 日」利用している割合は、0～2 歳では 18.5%、3～5 歳では 19.5%と、大きな違いは見られない。

また、希望する利用日数についても、「月 1,2 日」が 0～2 歳では 24.9%、3～5 歳では 24.0%と、大きな違いは見られない。

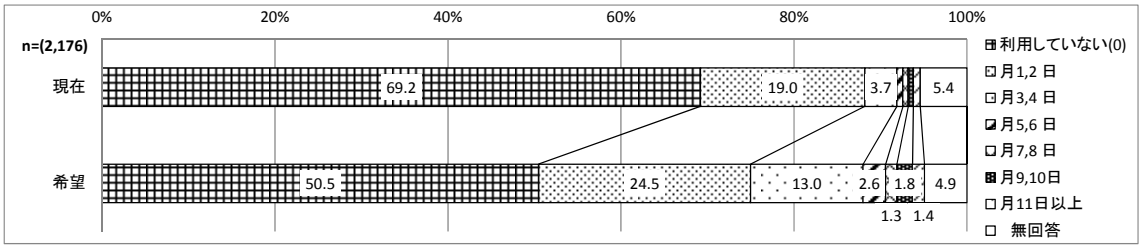
問 11　◆年齢区分別：こども館　0 ～2 歳



問 11　◆年齢区分別：こども館　3 ～5 歳



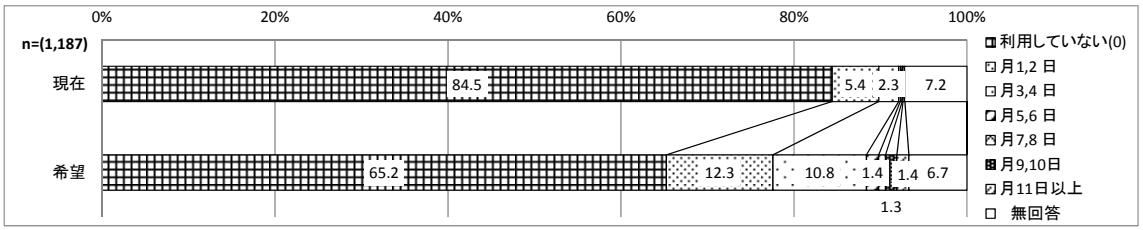
問 11　◆年齢区分別：こども館　0 ～5 歳


0%
20%
40%
60%
80%
100%
n=(2,176)
現在
希望
69.2
19.0
3.7
5.4
50.5
24.5
13.0
2.6
1.8
4.9
1.3
1.4
利用していない(0)
月1,2 日
月3,4 日
月5,6 日
月7,8 日
月9,10日
月11日以上
無回答

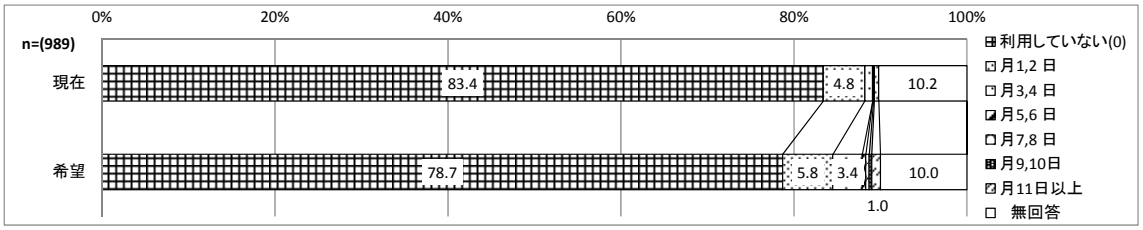
【分析】

「公・私立幼稚園で行っているプレ保育（2 ～3 歳児）」の利用を希望する日数については、0～2 歳で「月 1,2 日」の割合が 12.3%と多くなっている。

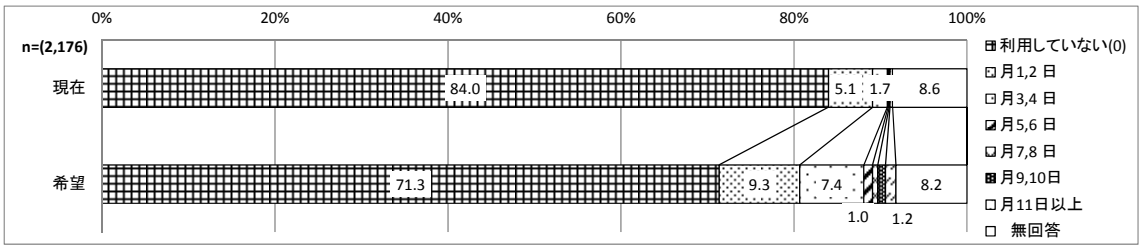
問 11　◆年齢区分別：公・私立幼稚園で行っているプレ保育（2 ～3 歳児）　0 ～2 歳



問 11　◆年齢区分別：公・私立幼稚園で行っているプレ保育（2 ～3 歳児）　3 ～5 歳



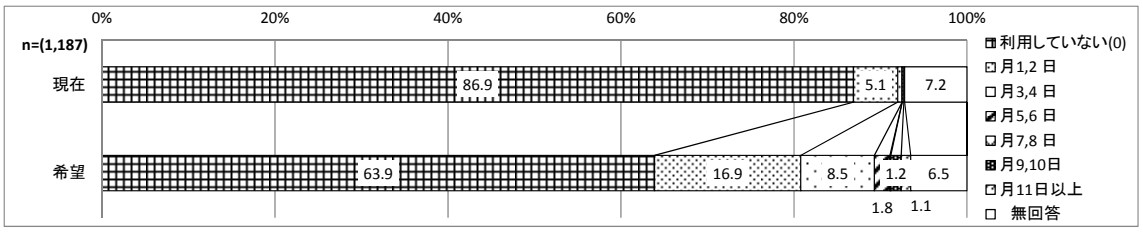
問 11　◆年齢区分別：公・私立幼稚園で行っているプレ保育（2 ～3 歳児）　0 ～5 歳



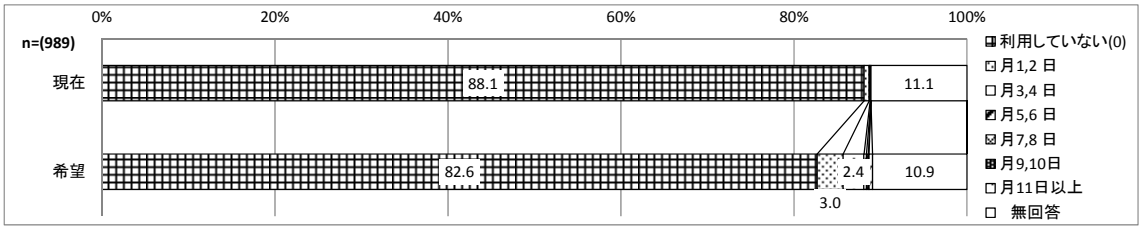
【分析】

「公・私立幼稚園で行っている子育て支援事業（0 ～2 歳児）」の利用を希望する日数については、0～2 歳で「月 1,2 回」の割合が 16.9%と多くなっている。

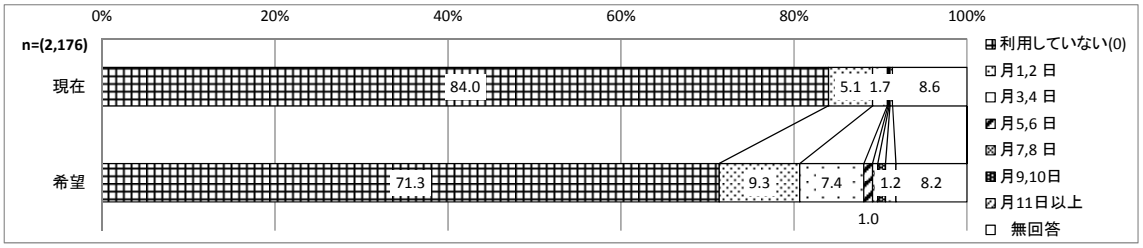
問 11　◆年齢区分別：公・私立幼稚園で行っている子育て支援事業（0 ～2 歳児）　0 ～2 歳



問 11　◆年齢区分別：公・私立幼稚園で行っている子育て支援事業（0 ～2 歳児）　3 ～5 歳



問 11　◆年齢区分別：公・私立幼稚園で行っている子育て支援事業（0 ～2 歳児）　0 ～5 歳



問 12　下記の①～⑬の事業ごとに、「知っている」「これまで利用したことがある」「今後利用したい」のすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに〇をつけてください。

◆子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望

【分析】

認知度では、「保健センターの育児相談・健康講座」が 87.3％で最も多く、次いで「母親学級・両親学級」が 85.8％となっている。利用状況では、「母親学級・両親学級」が 58.1％で最も多く、次いで「いちかわ子育てガイドブック」が 56.5％となっている。利用希望では、「いちかわ子育てガイドブック」が 67.7％で最も多く、次いで「いちかわっこＷＥＢ」が 57.0％となっている。

	知っている	これまで利用したことがある	今後利用したい
①母親学級・両親学級	85.8%	58.1%	
②保健センターの育児相談・健康講座	87.3%	41.8%	49.1%
③家庭教育学級	19.5%	7.7%	34.2%
④教育センターによる教育相談	20.0%	2.0%	37.6%
⑤保育所の地域交流事業・園庭開放	74.7%	33.6%	52.8%
⑥幼稚園の育児相談・園庭開放	56.8%	23.2%	53.9%
⑦子育て家庭総合支援センター	42.9%	8.2%	47.7%
⑧児童家庭支援センター・こうのだい	8.1%	0.7%	17.6%
⑨こども発達センター	38.3%	5.1%	30.1%
⑩すこやか応援隊	42.1%	15.6%	45.1%
⑪行徳子育て総合案内	14.9%	4.1%	25.8%
⑫いちかわ子育てガイドブック	82.5%	56.5%	67.7%
⑬いちかわっこWEB	33.7%	18.7%	57.0%

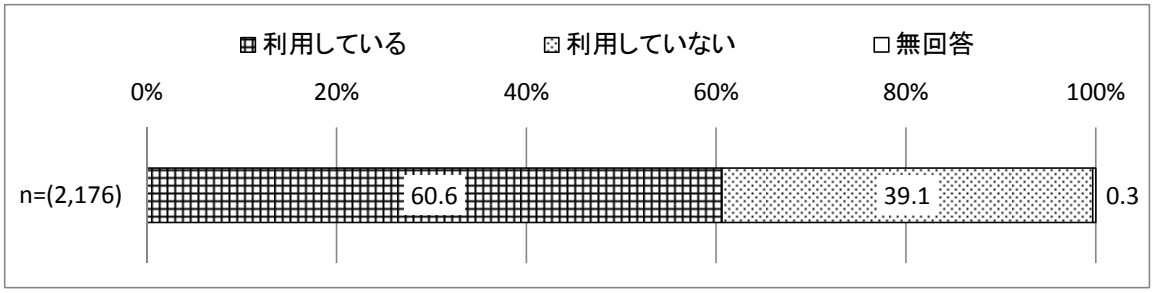
（５）幼稚園や保育所、その他（※）の利用状況

（※）ここでいう「その他」とは、月単位で定期的に利用している教育・保育事業（問14に示した事業）を指します。

問13　お子さんは現在、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用されていますか。

【分析】

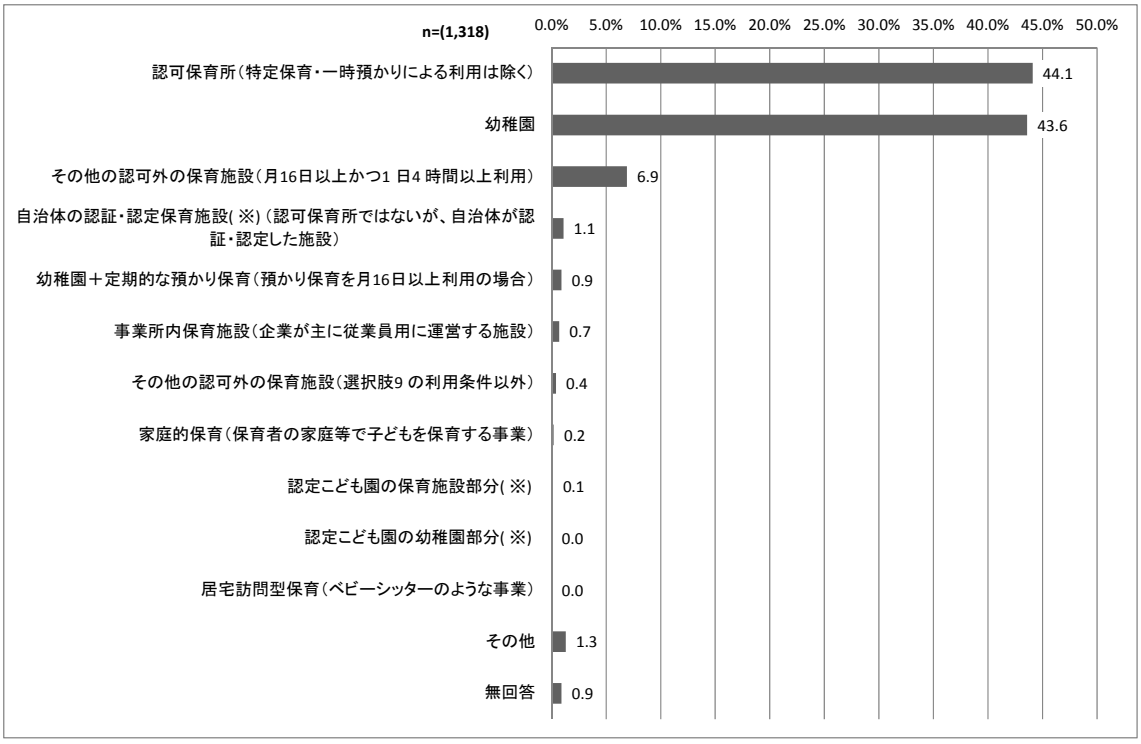
「利用している」が60.6%、「利用していない」が39.1%であった。



問 14　問 14～問 17 は、問 13 で「1 ．利用している」に○をつけた方にうかがいます。お子さんは、平日主にどのような教育・保育事業を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【分析】

「認可保育所（特定保育・一時預かりによる利用は除く）」が 44.1％で最も多く、次いで「幼稚園」が 43.6％となっており、他は全て 10％未満であった。



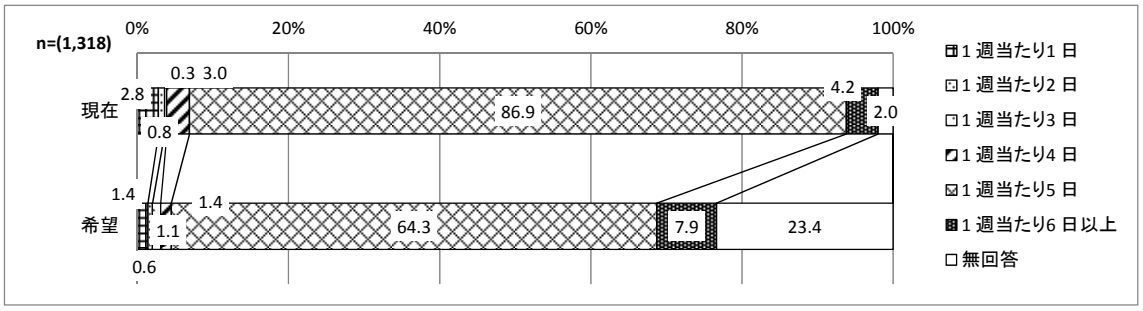
（※）がついている施設：現在市川市内にはありません。

問 15　教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

◆利用状況（現在、希望）：１週当たりの日数

【分析】

現在、希望ともに「1 週当たり 5 日」の割合が最も多い。「1 週当たり 6 日以上」が、現在では 4.2%、希望では 7.9%と 3.7 ポイント増加している。

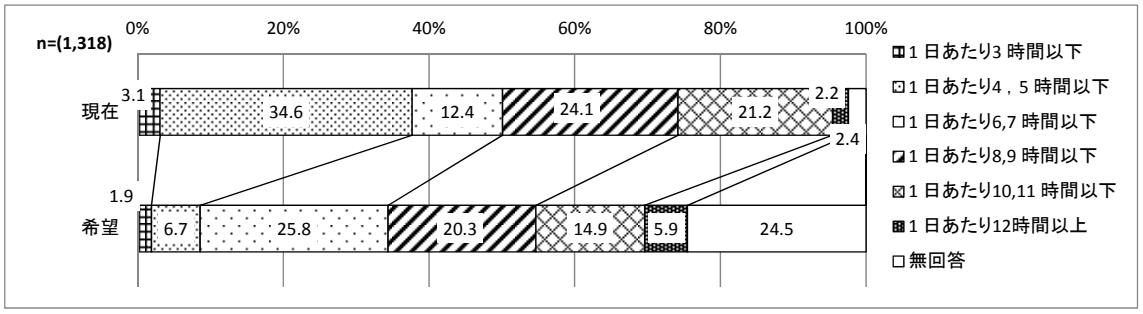


問 15　教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

◆利用状況（現在、希望）：1 日当たりの時間

【分析】

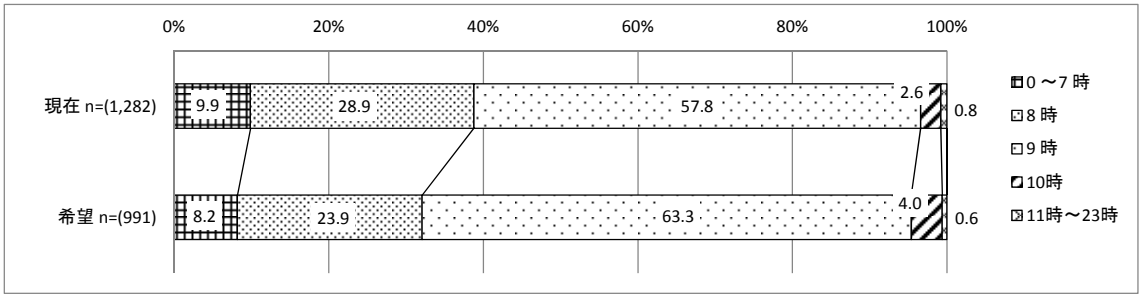
現在では、「1 日あたり 4,5 時間以下」が 34.6%で最も多く、希望では、「1 日あたり 6,7 時間以下」が 25.8%で最も多くなっている。



問 15　教育・保育事業の開始時刻（現在・希望）

【分析】

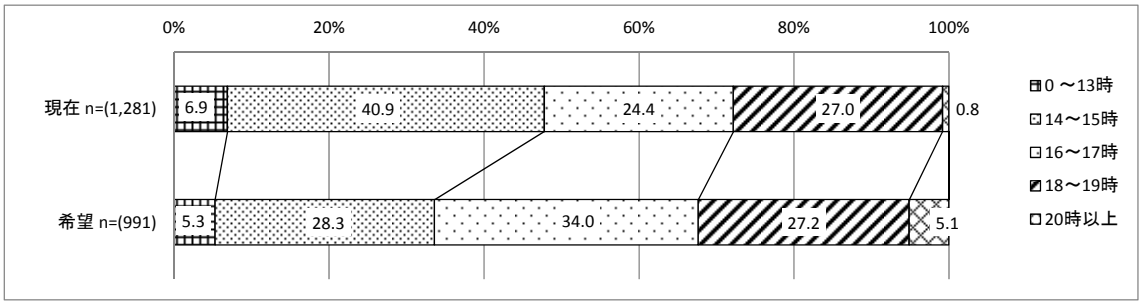
現在、希望ともに「9 時」の割合が最も多く、次いで「8 時」が多い。



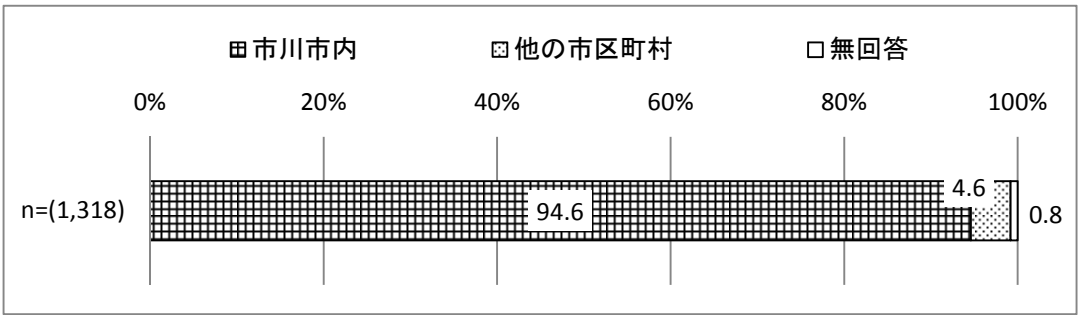
問 15　教育・保育事業の終了時刻（現在・希望）

【分析】

現在では、「14～15 時」の割合が 40.9%で最も多く、希望では「16～17 時」の割合が 34.0%で最も多い。



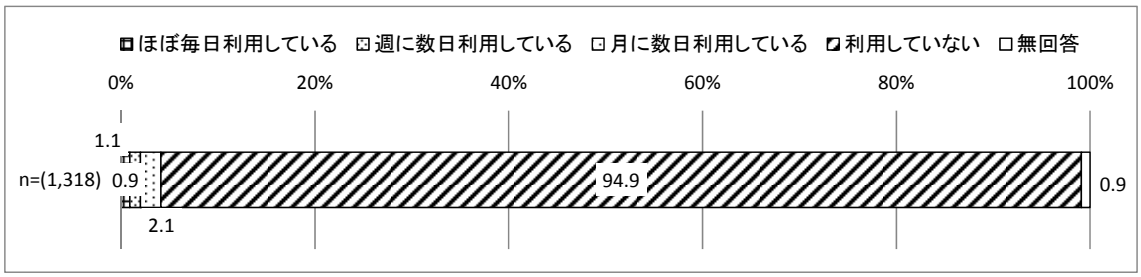
問 16　現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「１. 市川市内」「２. 他の市区町村」のいずれかに〇をつけてください。



問 17　現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。

【分析】

利用をしている中では、「月に数日利用している」が 2.1%で最も多い。

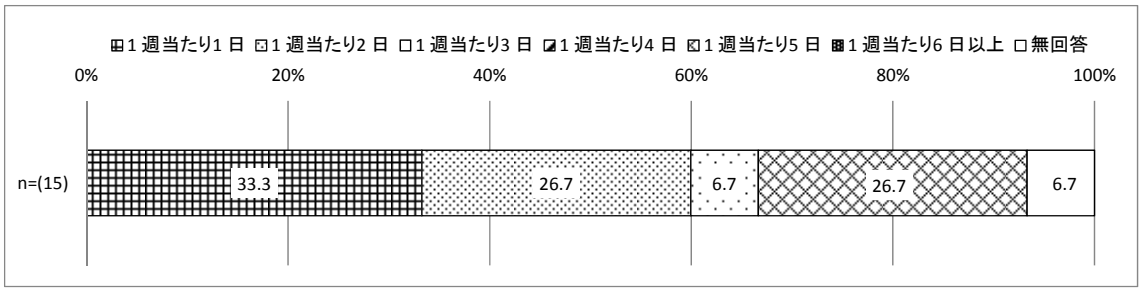


問 17　現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。

◆ １週当たりの日数

【分析】

「1 週当たり 1 日」が 33.3%で最も多く、次いで「1 週当たり 2 日」と「1 週当たり 4 日」がともに 26.7%となっている。



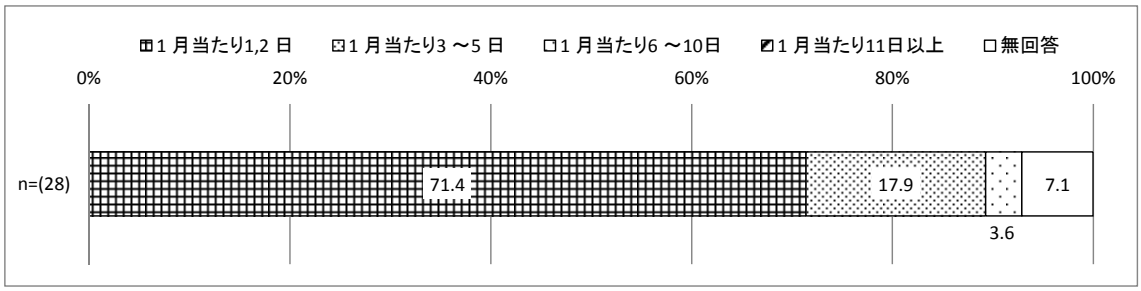
※母数が少ないので参考値

問 17　現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。

◆ １月当たりの日数

【分析】

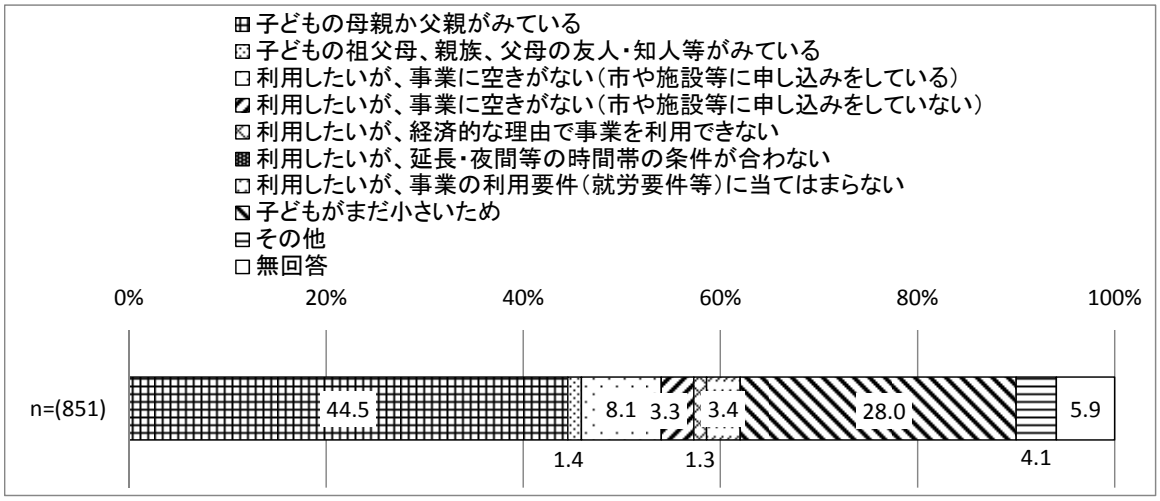
「1 月当たり 1,2 日」が 71.4%で最も多く、次いで「1 月当たり 3 ～5 日」が 17.9%となっている。



問 18　問 13 で教育・保育事業を「2 ．利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。

【分析】

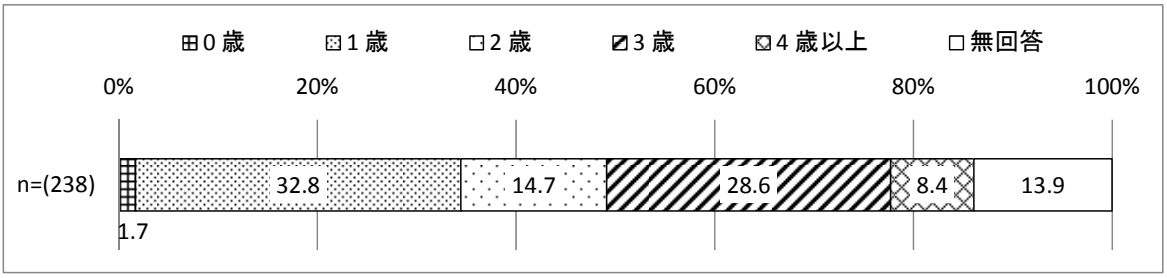
「子どもの母親か父親がみている」が 44.5％で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 28.0％となっている。



問 18 で 「8 ．子どもがまだ小さいため（〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」と答えた方の「〇〇歳くらい」年齢

【分析】

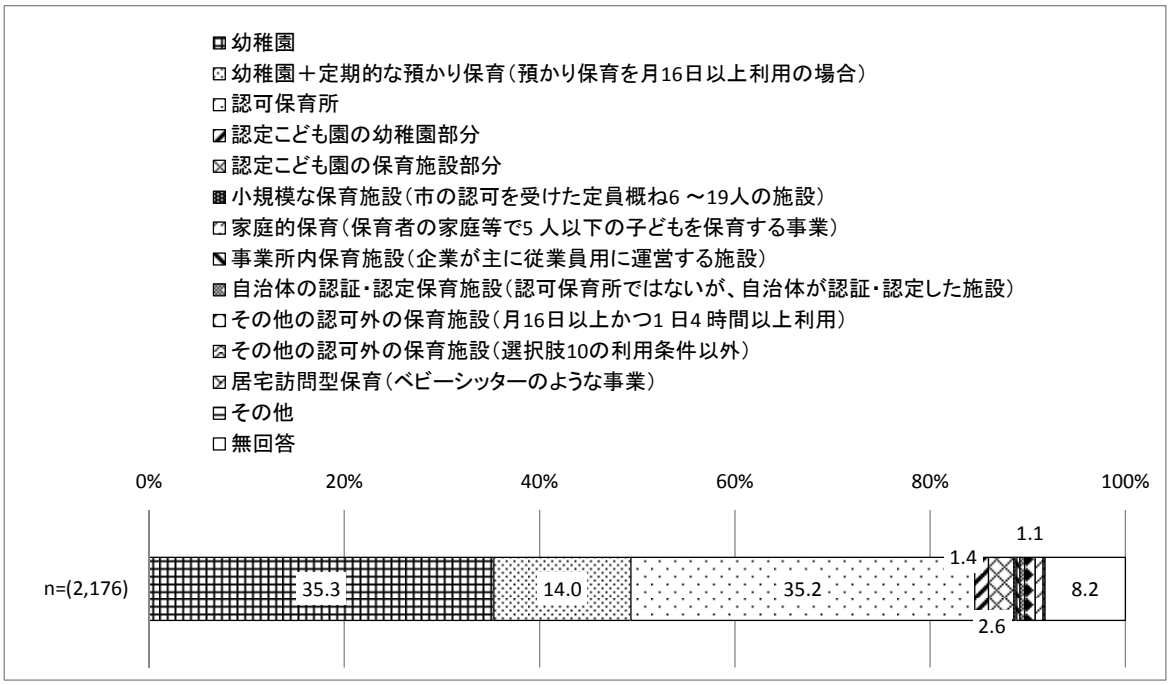
「1 歳」が 38.2％と最も多く、次いで「3 歳」が 28.6％となっている。



問 19　お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業１つに◎をつけてください。

【分析】

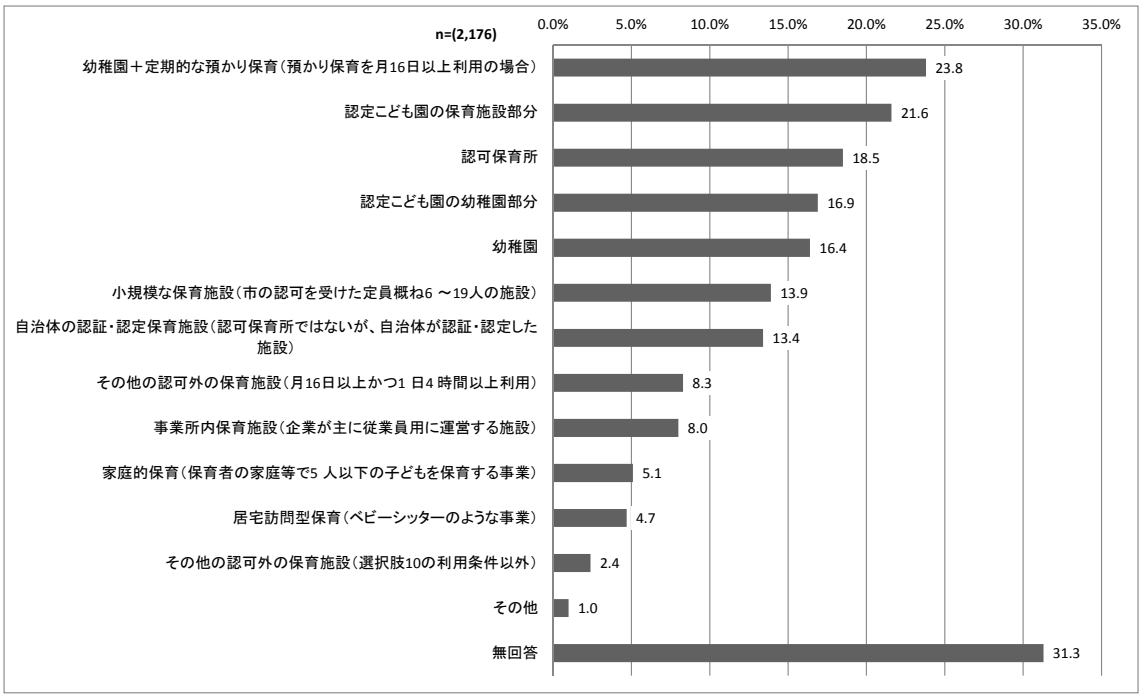
最も利用したい事業は、「幼稚園」が 35.3％と最も多く、次いで「認可保育所」が 35.2％となっている。



問 19　お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したいに空きがない等の場合に利用したい事業（複数可）に〇をつけてください。（複数回答）

【分析】

最も利用したい事業に空きがない等の場合、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 23.8%と最も多く、次いで「認定こども園の保育施設部分」が 21.6%、「認可保育所」が 18.5%と続いている。



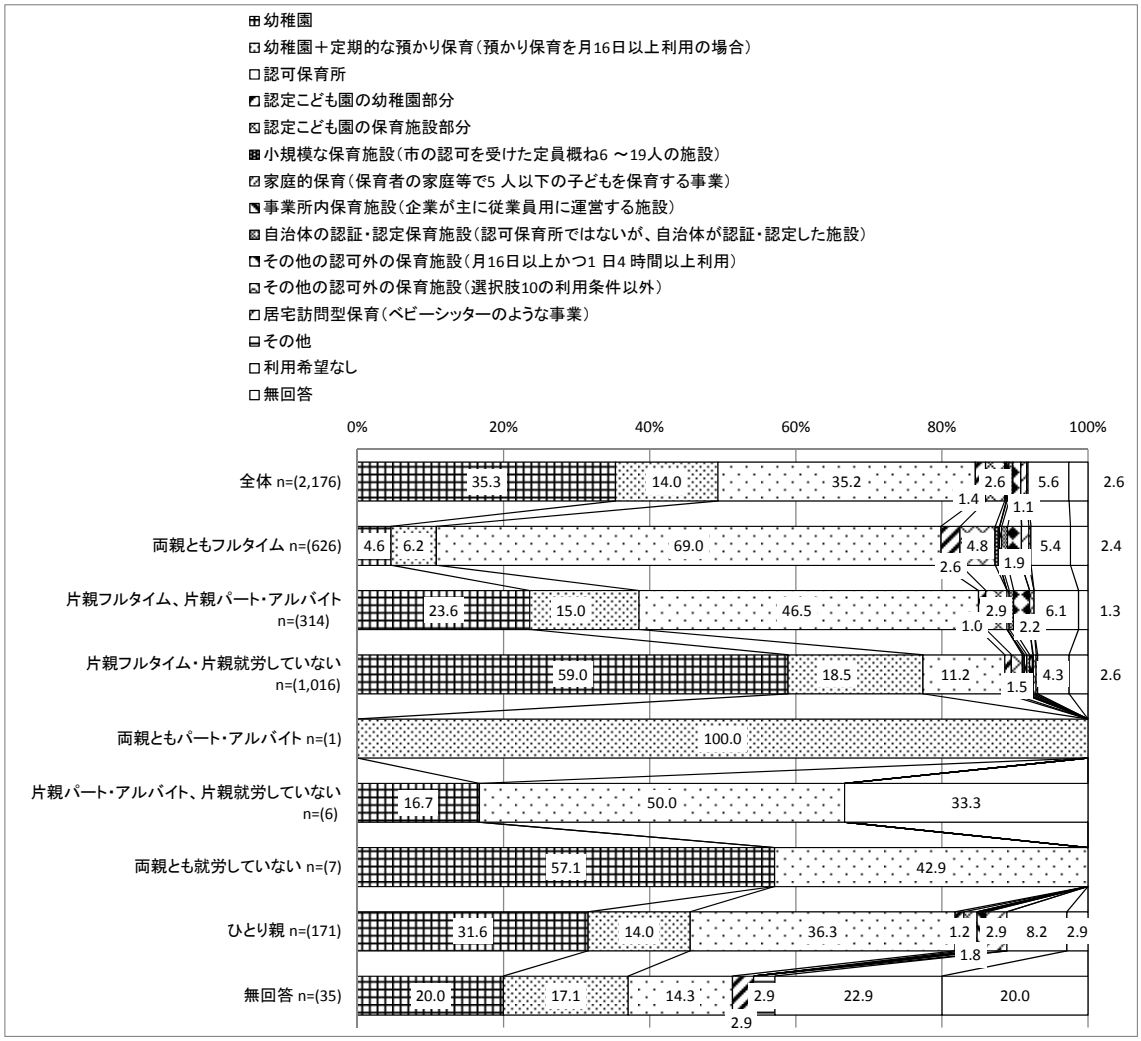
問 19　お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業１つに◎をつけてください。

◆家庭類型別（現在）、教育・保育事業利用希望

【分析】

現在の家庭類型別で見ると、両親ともフルタイムの家庭「認可保育園」の利用を希望する割合が 69.0％と最も多い。

また、片親フルタイム・片親就労していない家庭では「幼稚園」の利用を希望する割合が 59.0％と最も多い。



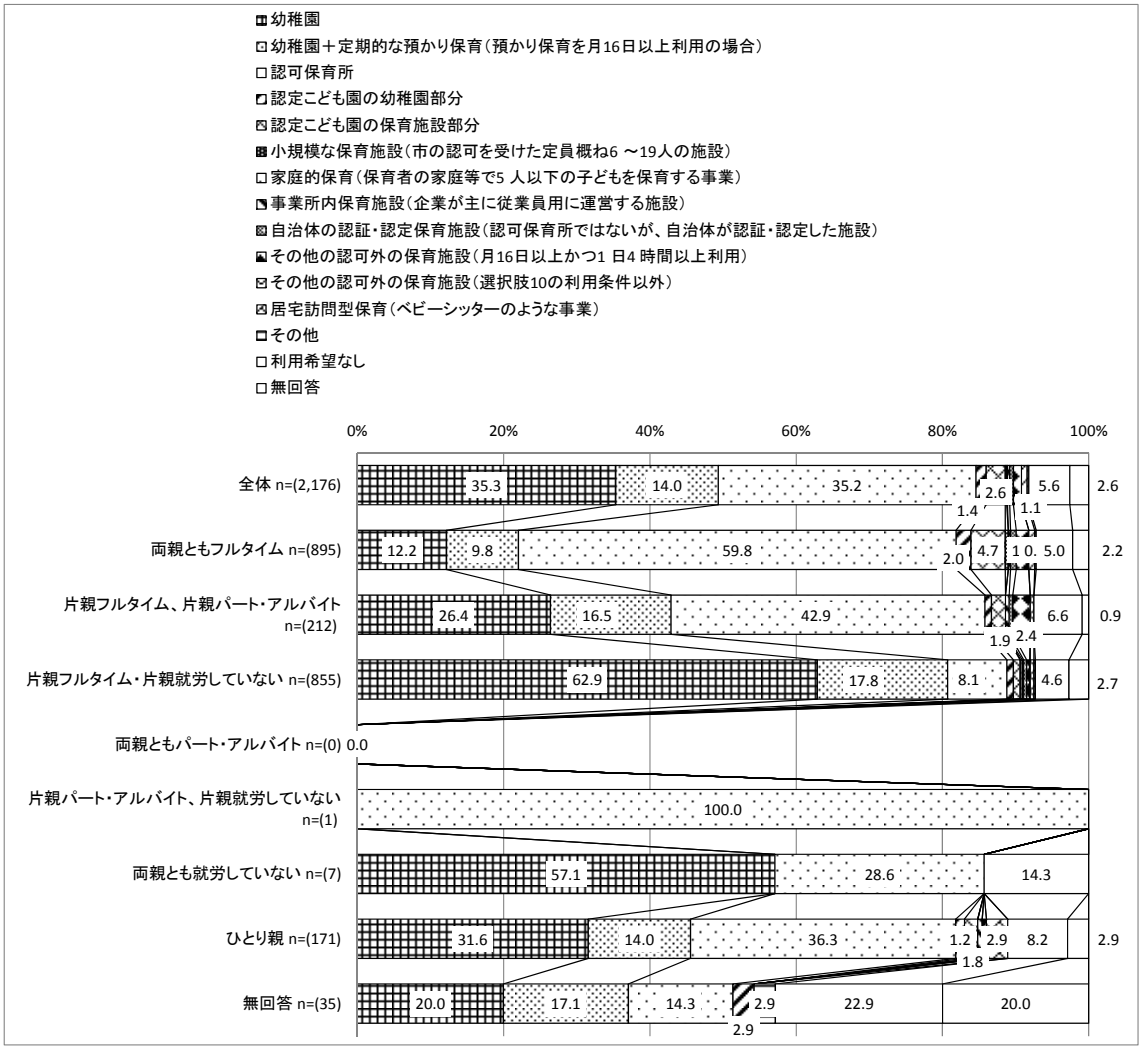
問 19　問 19　お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業１つに◎をつけてください。

◆家庭類型別（希望）、教育・保育事業利用希望

【分析】

家庭類型別の希望で見ると、両親ともフルタイムの家庭では「認可保育園」を希望する割合が 59.8%となっており、家庭類型別での 69.0%に比べて減少している。

また、片親フルタイム・片親就労していない家庭で「幼稚園」を希望する割合については 62.9%となっており、家庭類型別での 59.0%に比べて増加している。

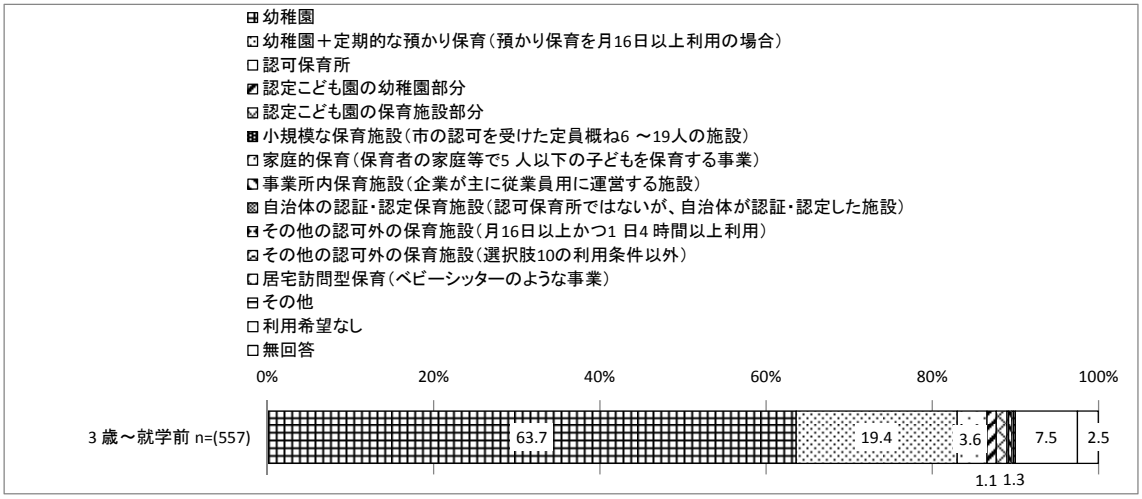


問 19　お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業１つに◎をつけてください。

◆年齢別利用希望：現在、幼稚園を利用している人の教育・保育事業の利用希望

【分析】

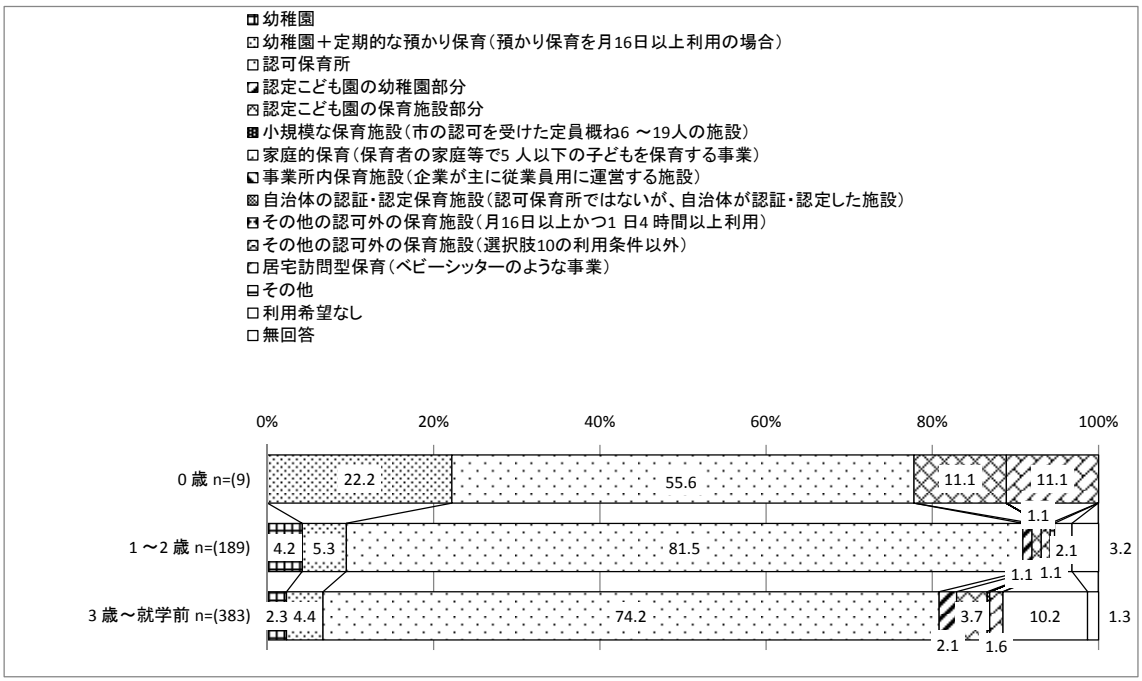
「幼稚園」が 63.7％で最も多く、次いで「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 19.4％となっている。



◆年齢別利用希望：現在、認可保育所を利用している人の教育・保育事業の利用希望

【分析】

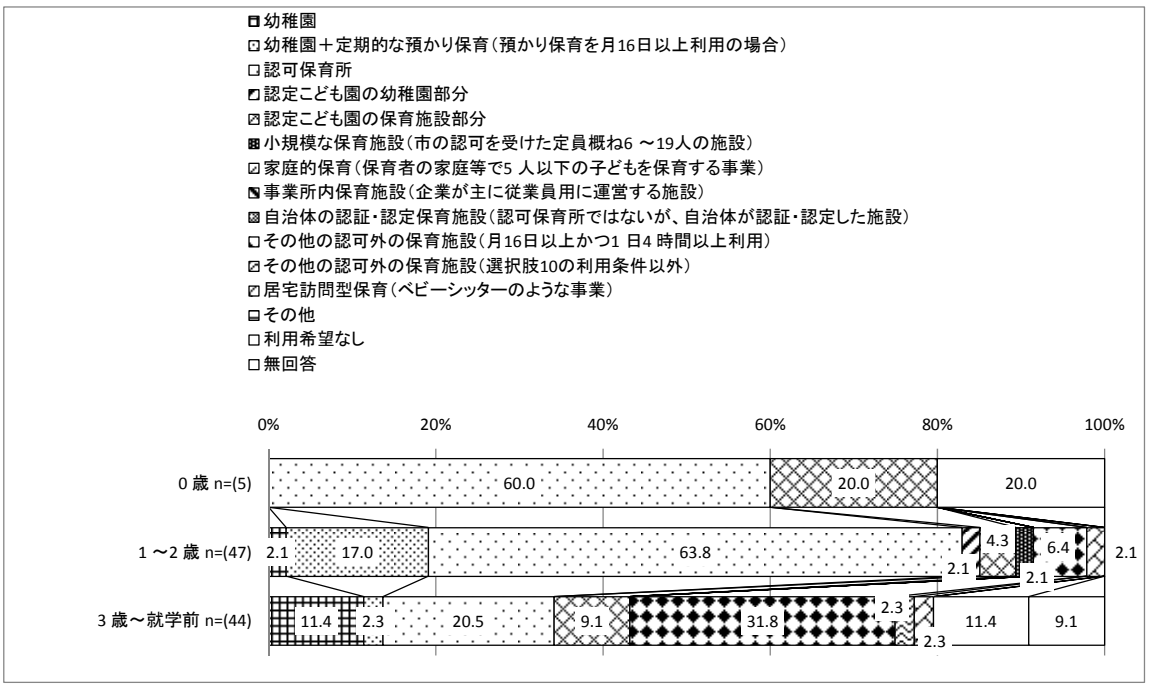
「認可保育所」は「1～2 歳」が 81.5％で最も多く、次いで「3 歳～就学前」が 74.2％となっている。



◆年齢別利用希望：：現在、認可外保育施設を利用している人の教育・保育事業の利用希望

【分析】

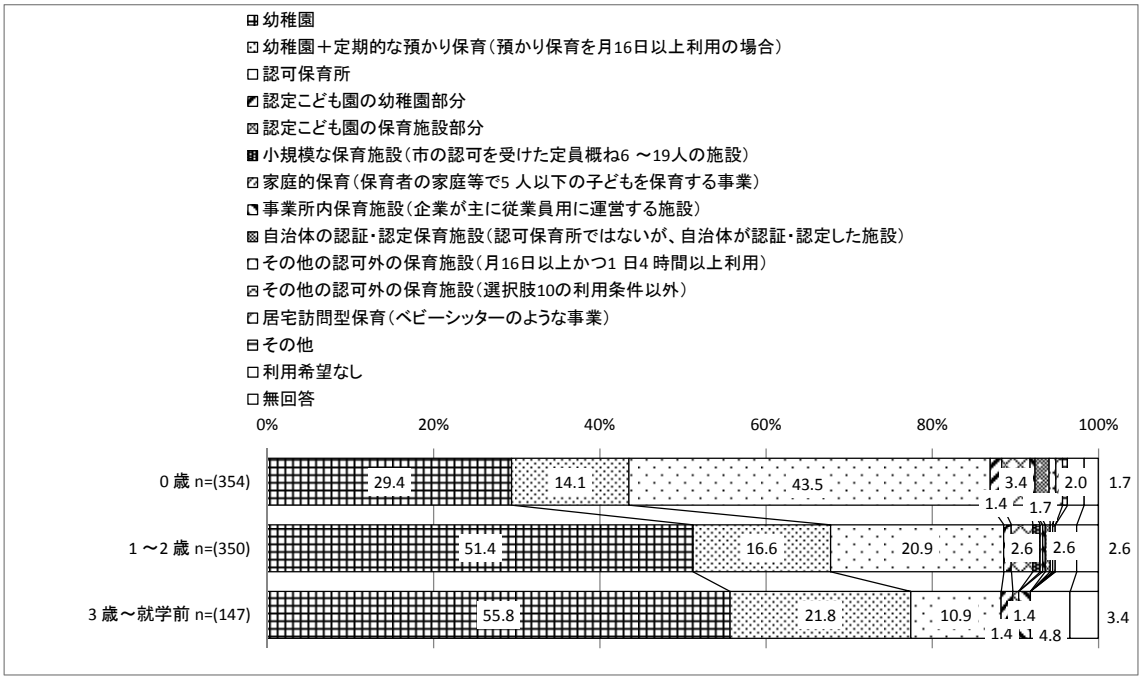
「認可保育施設」は「1～2 歳」が 63.8％で最も多く、次いで「0 歳」が 60.0％となっている。



◆年齢別利用希望：現在、教育・保育事業を利用していない人の教育・保育事業の利用希望

【分析】

年齢が上がるにつれて、「幼稚園」の利用の割合は高くなり、「認可保育園」の利用は低くなっている。

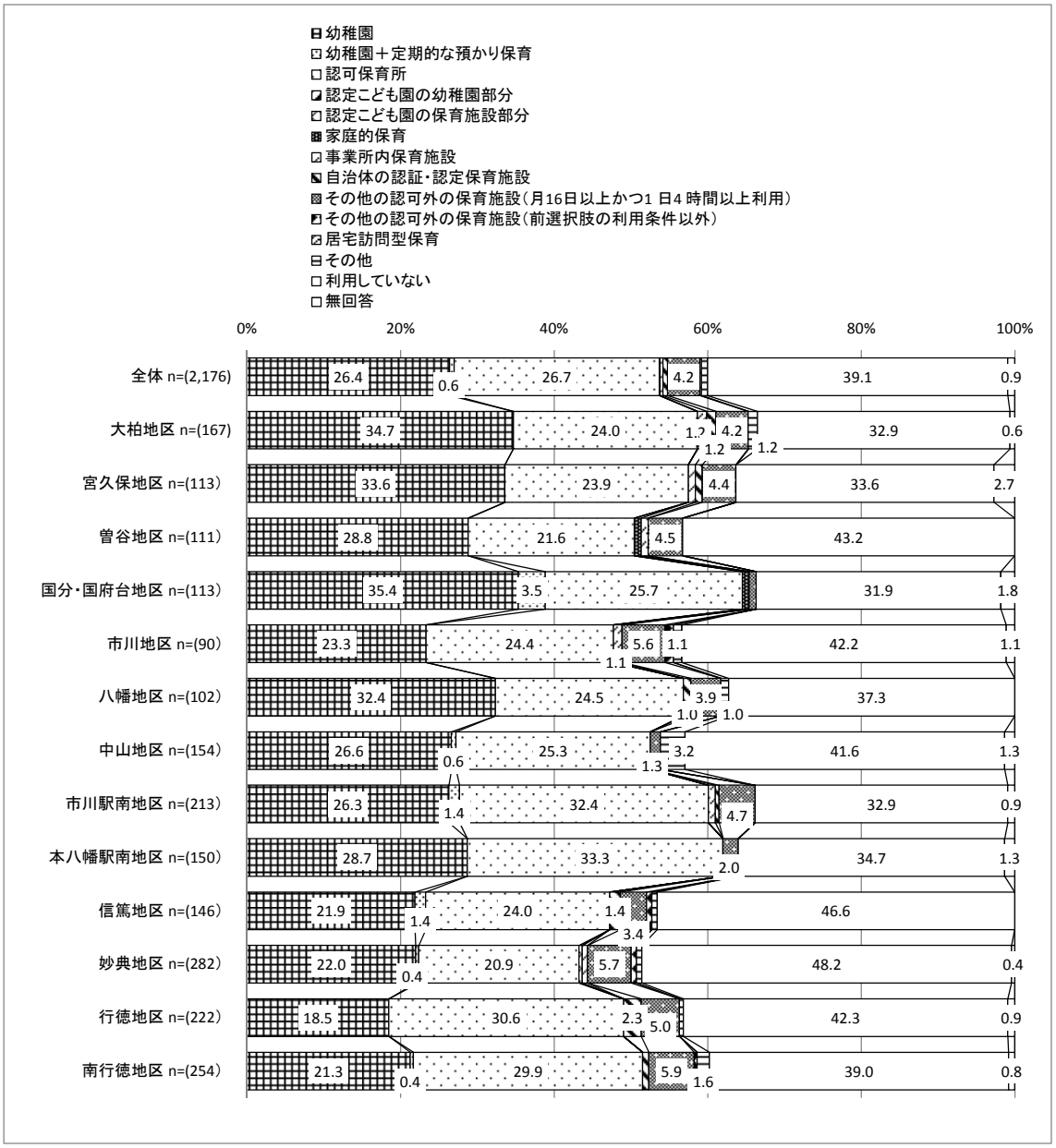


問 19　お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業１つに◎をつけてください。

◆地区別教育・保育事業利用状況

【分析】

教育・保育事業の利用状況について、「幼稚園」では国分・国府台地区が 35.4%と多くを占めており、「認可保育園」では本八幡駅南地区が 33.3%と多くなっている。

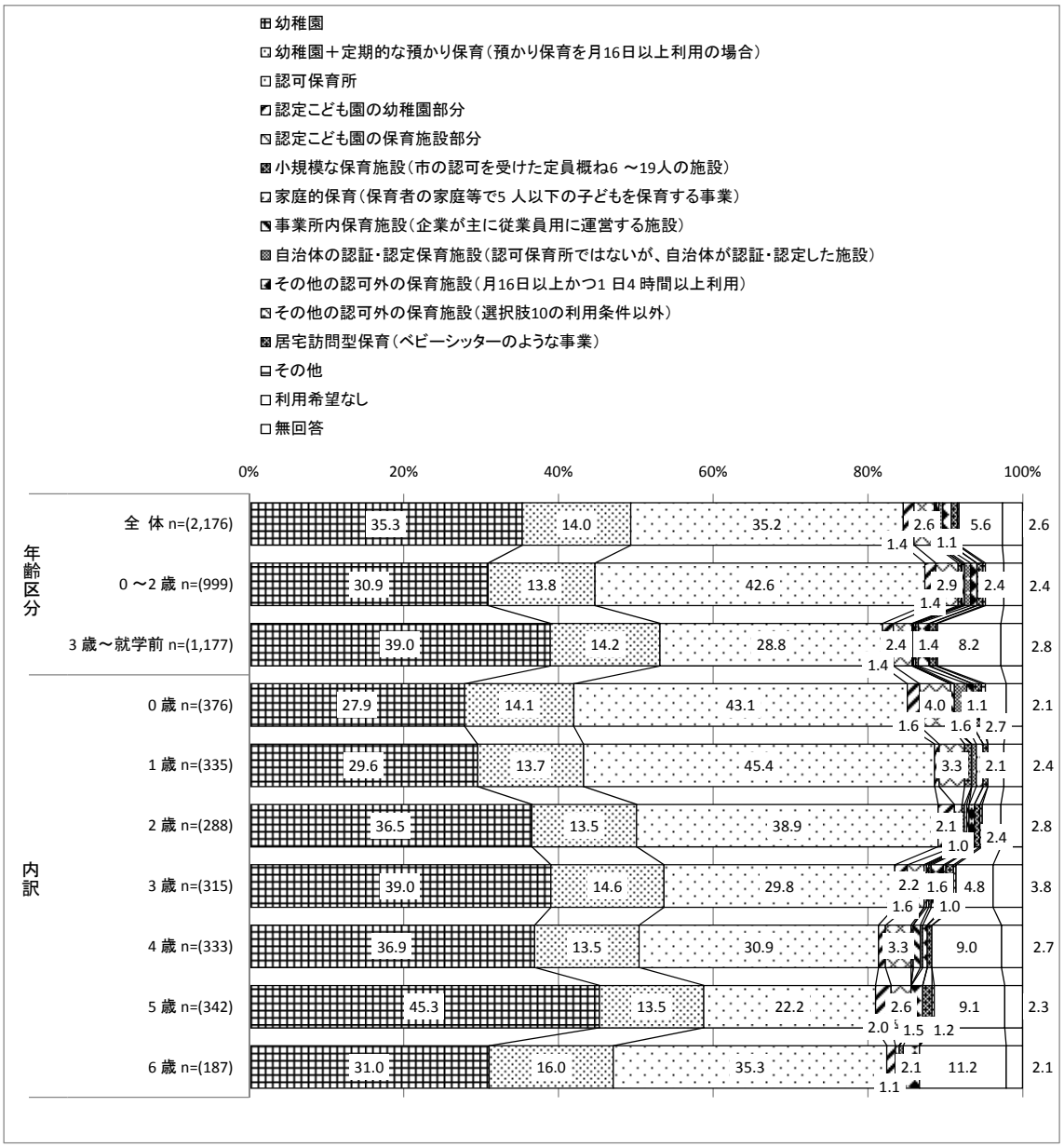


問 19　お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業１つに◎をつけてください。

◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（全地域）

【分析】

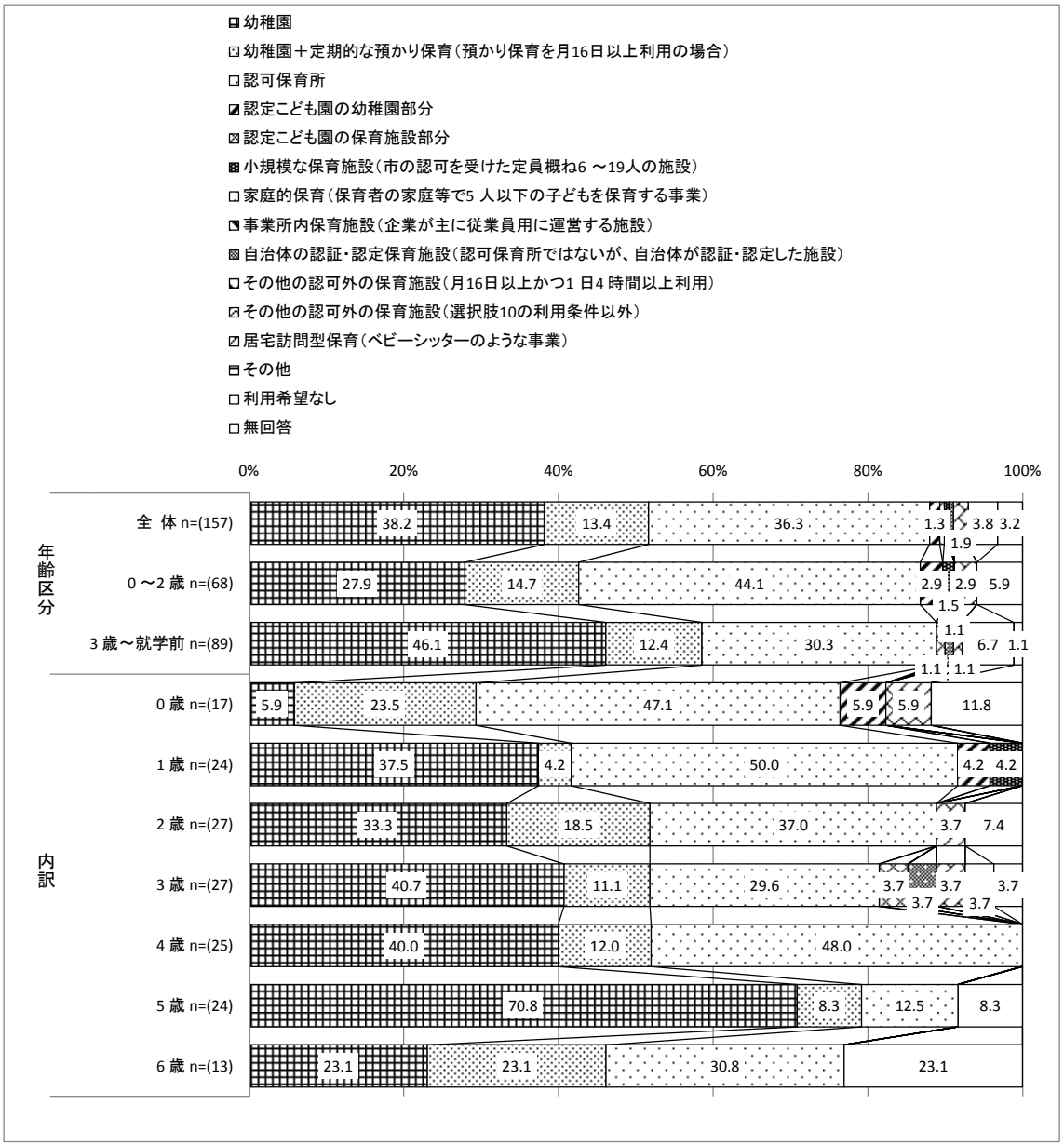
利用希望を全体でみると、「幼稚園」が 35.3％で最も多く、次いで「認可保育所」が 35.2％、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 14.0％となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（大柏地区）

【分析】

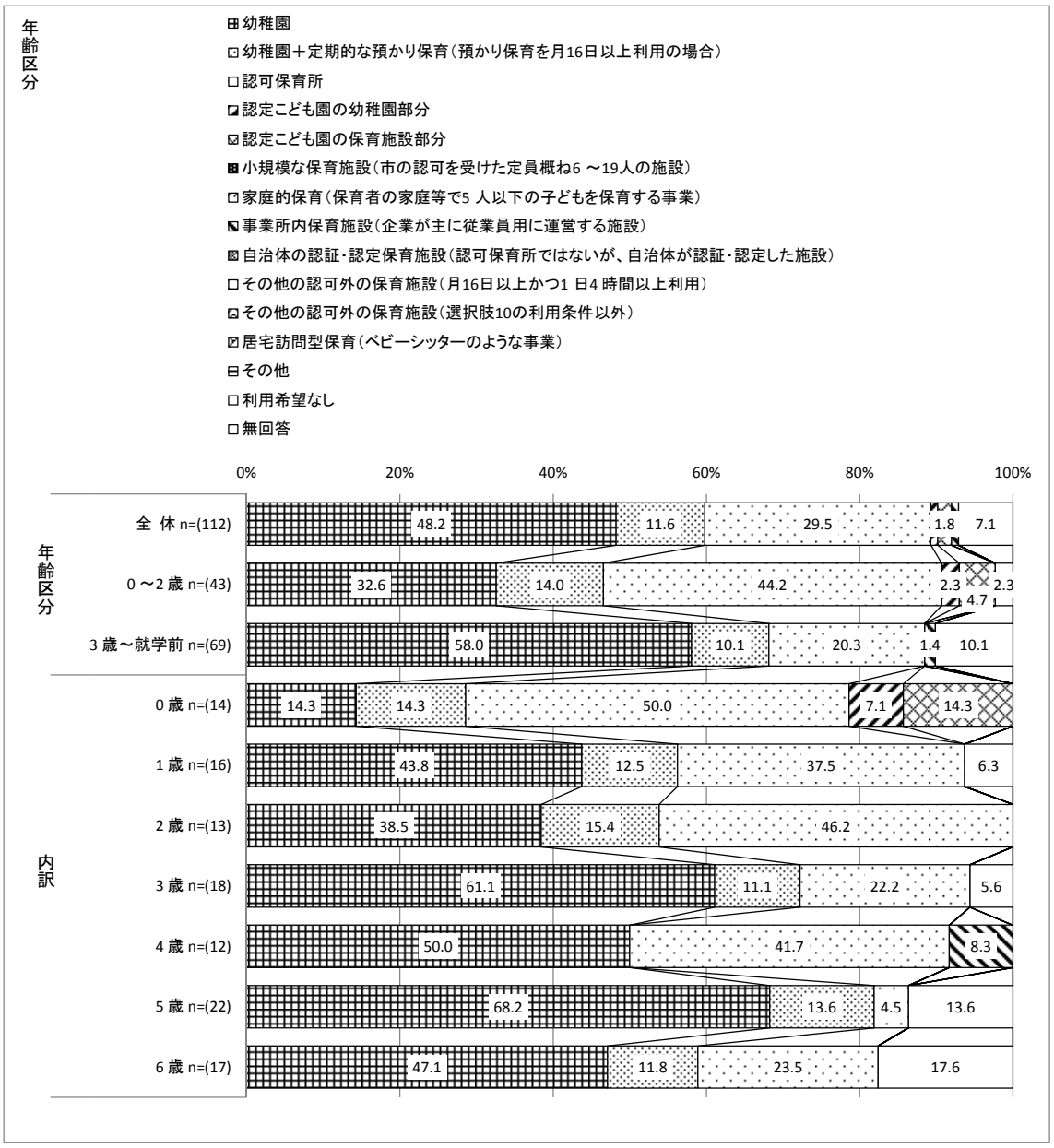
全体でみると、「幼稚園」が 38.2%で最も多く、次いで「認可保育所」が 36.3%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 13.4%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（宮久保地区）

【分析】

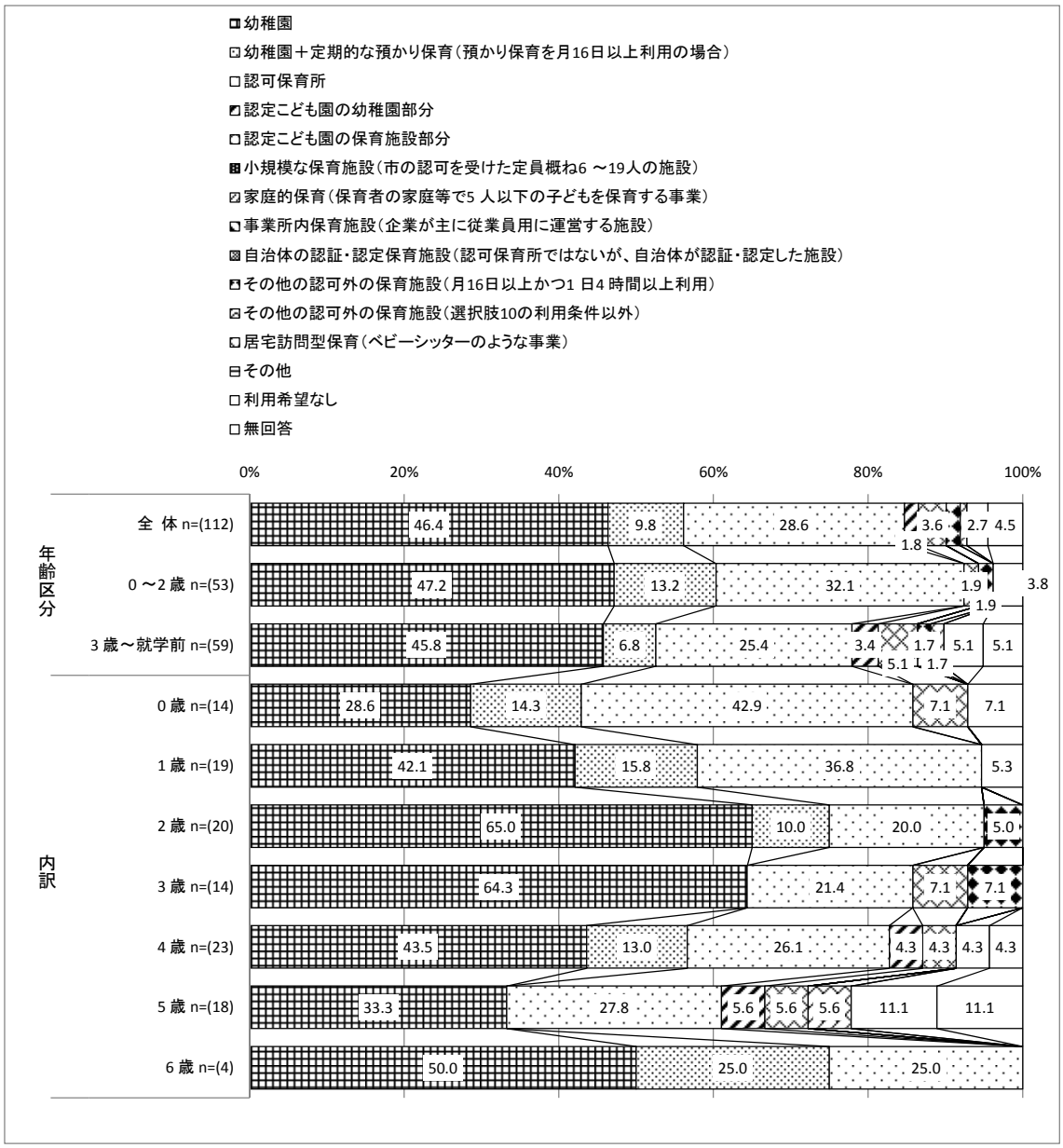
全体でみると、「幼稚園」が 48.2%で最も多く、次いで「認可保育所」が 29.5%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 11.6%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（曽谷地区）

【分析】

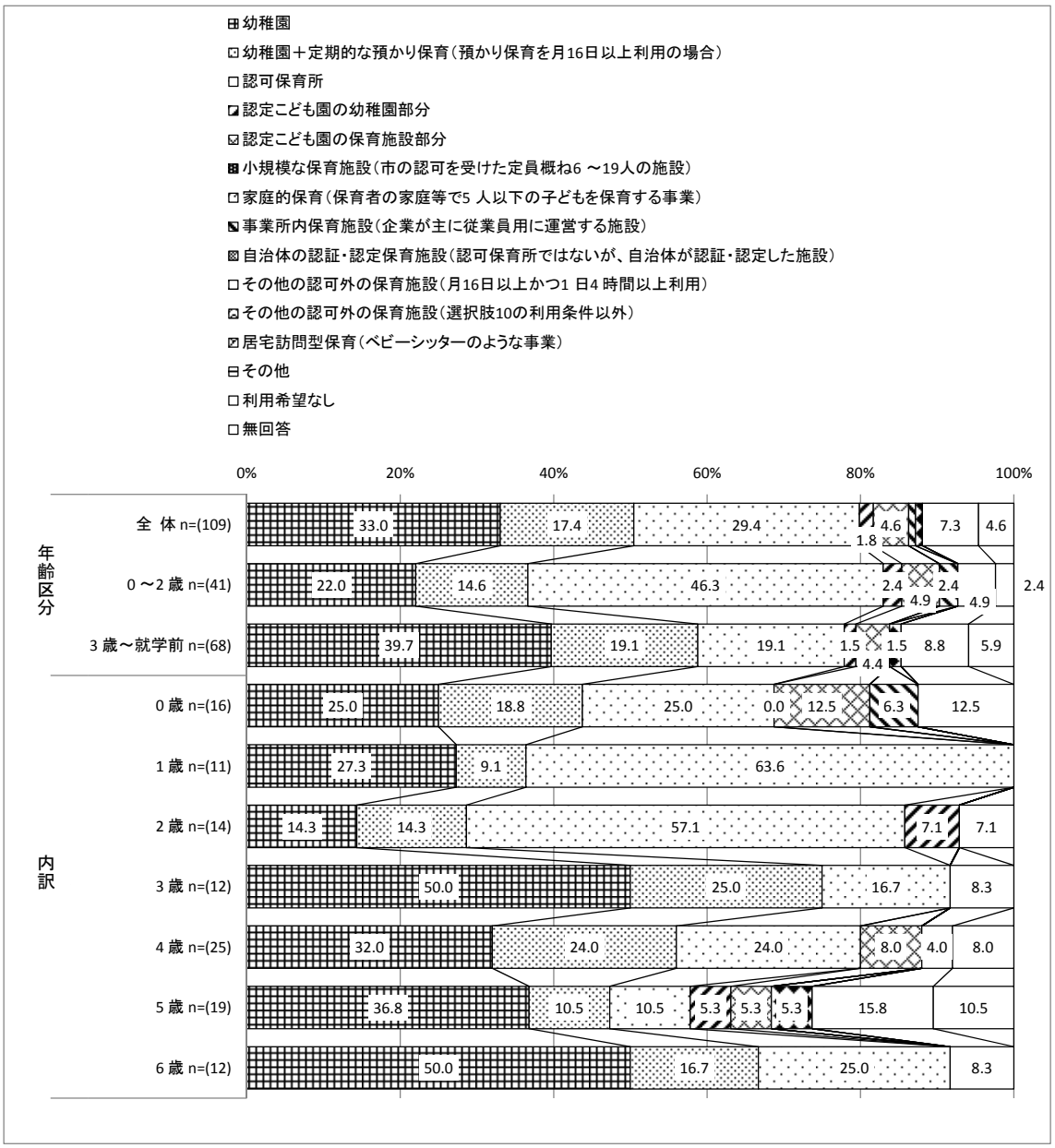
全体でみると、「幼稚園」が 46.4%で最も多く、次いで「認可保育所」が 28.6%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 9.8%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（国分・国府台地区）

【分析】

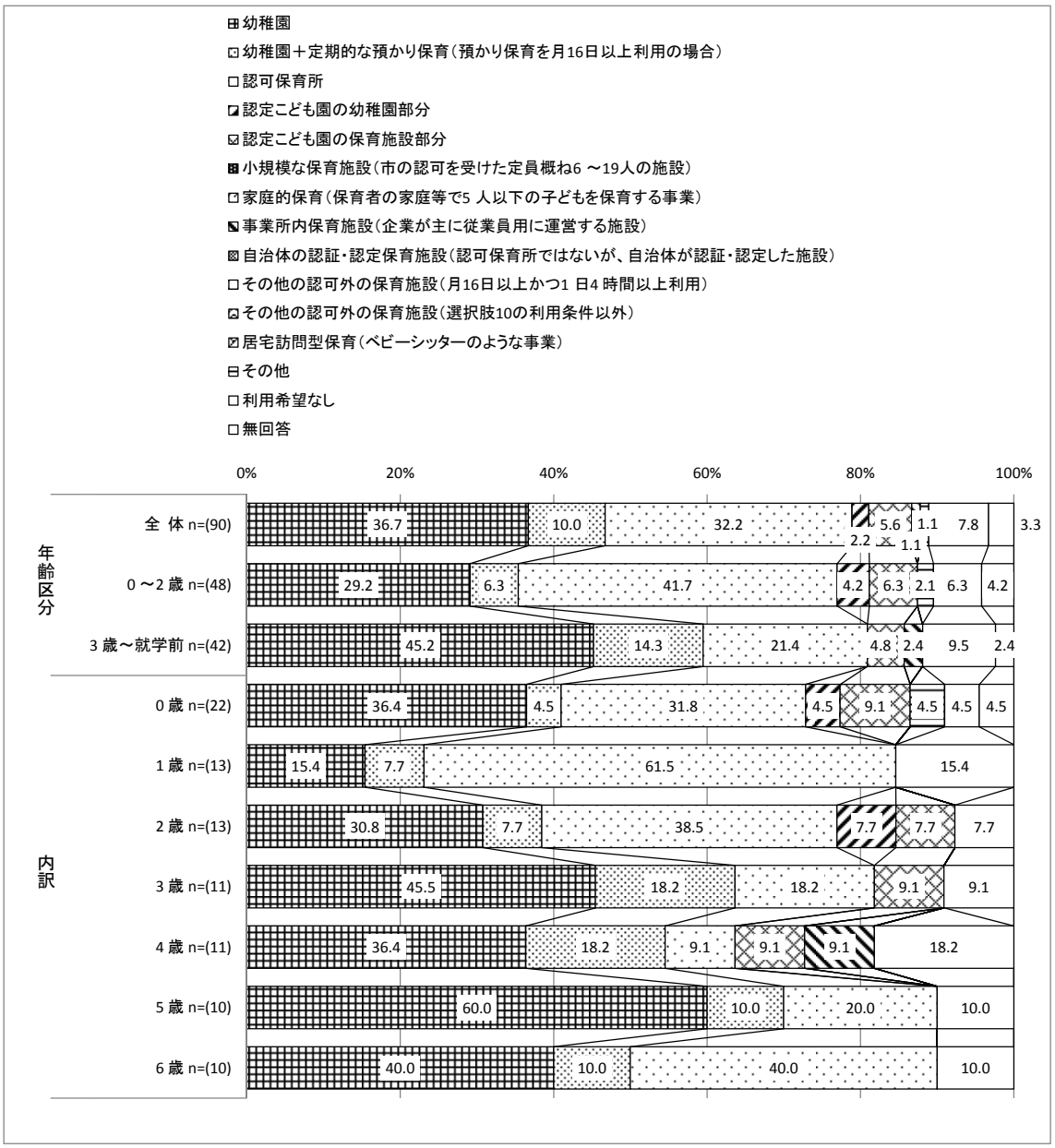
全体でみると、「幼稚園」が 33.0%で最も多く、次いで「認可保育所」が 29.4%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 17.4%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（市川地区）

【分析】

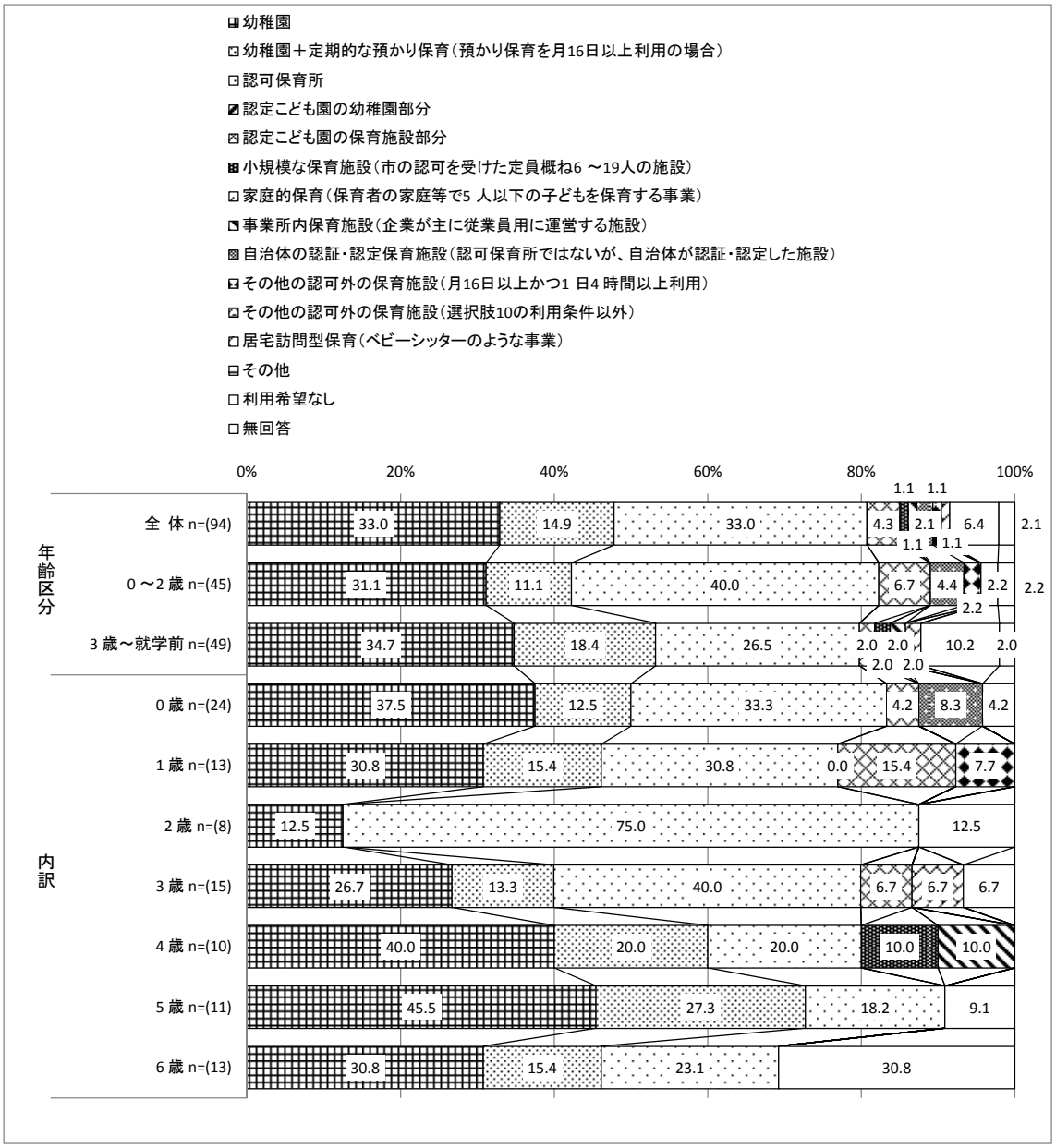
全体でみると、「幼稚園」が 36.7%で最も多く、次いで「認可保育所」が 32.2%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 10.0%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（八幡地区）

【分析】

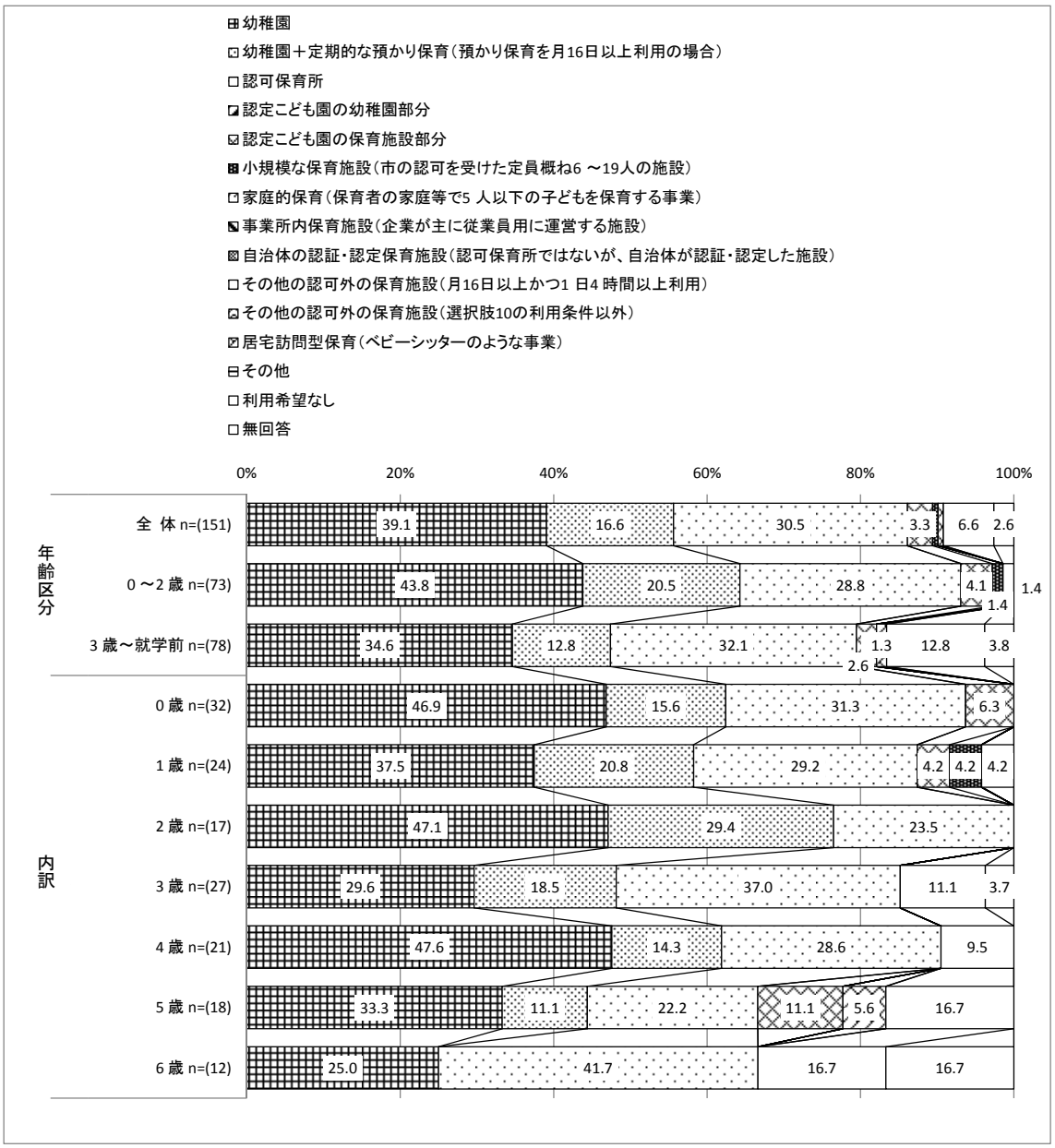
全体でみると、「幼稚園」と「認可保育所」がともに 33.0%で最も多く、次いで「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 14.9%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（中山地区）

【分析】

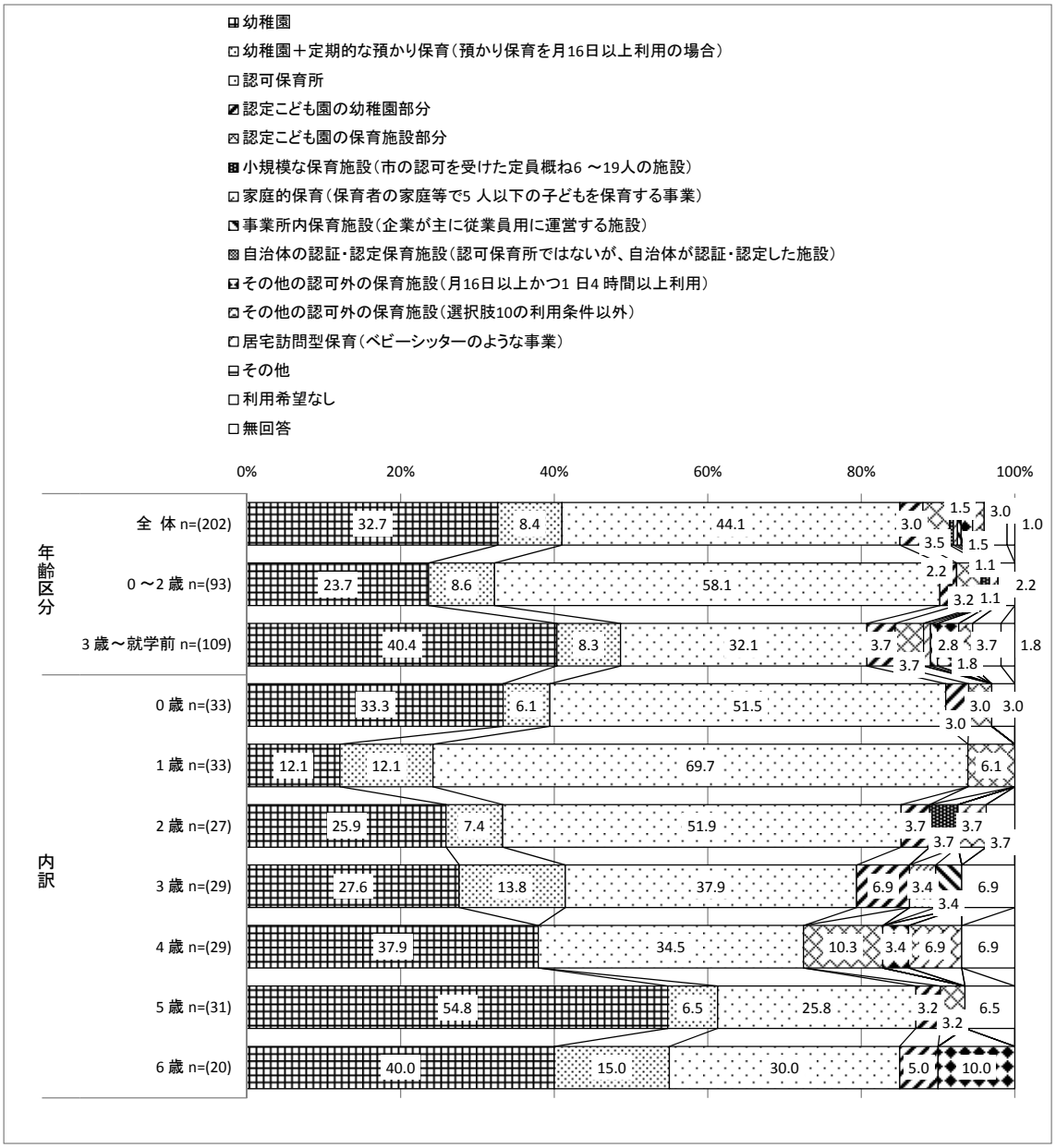
全体でみると、「幼稚園」が 39.1%で最も多く、次いで「認可保育所」が 30.5%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 16.6%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（市川駅南地区）

【分析】

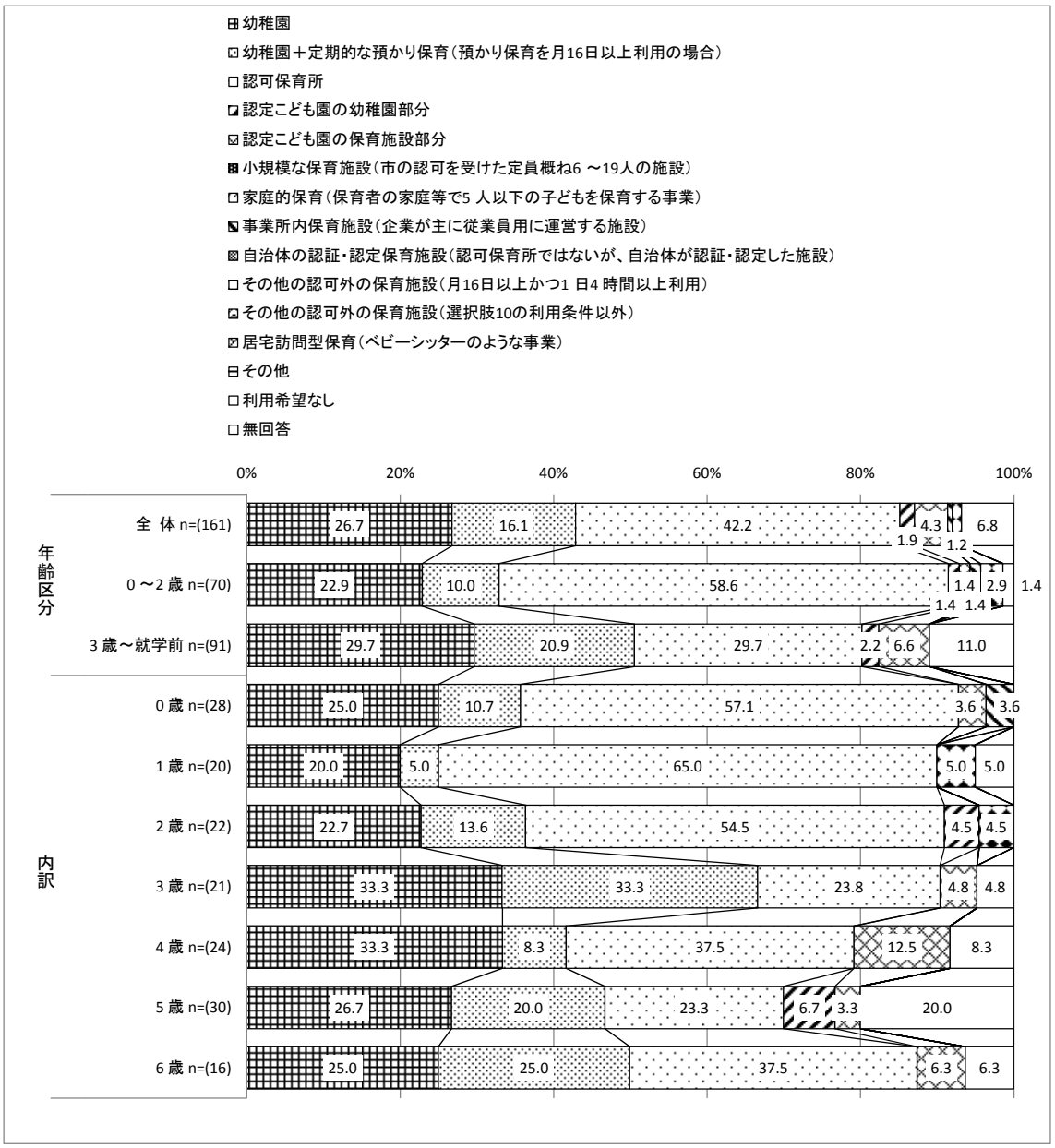
全体でみると、「認可保育所」が 44.1％で最も多く、次いで「幼稚園」が 32.7％、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 8.4％となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（本八幡駅南地区）

【分析】

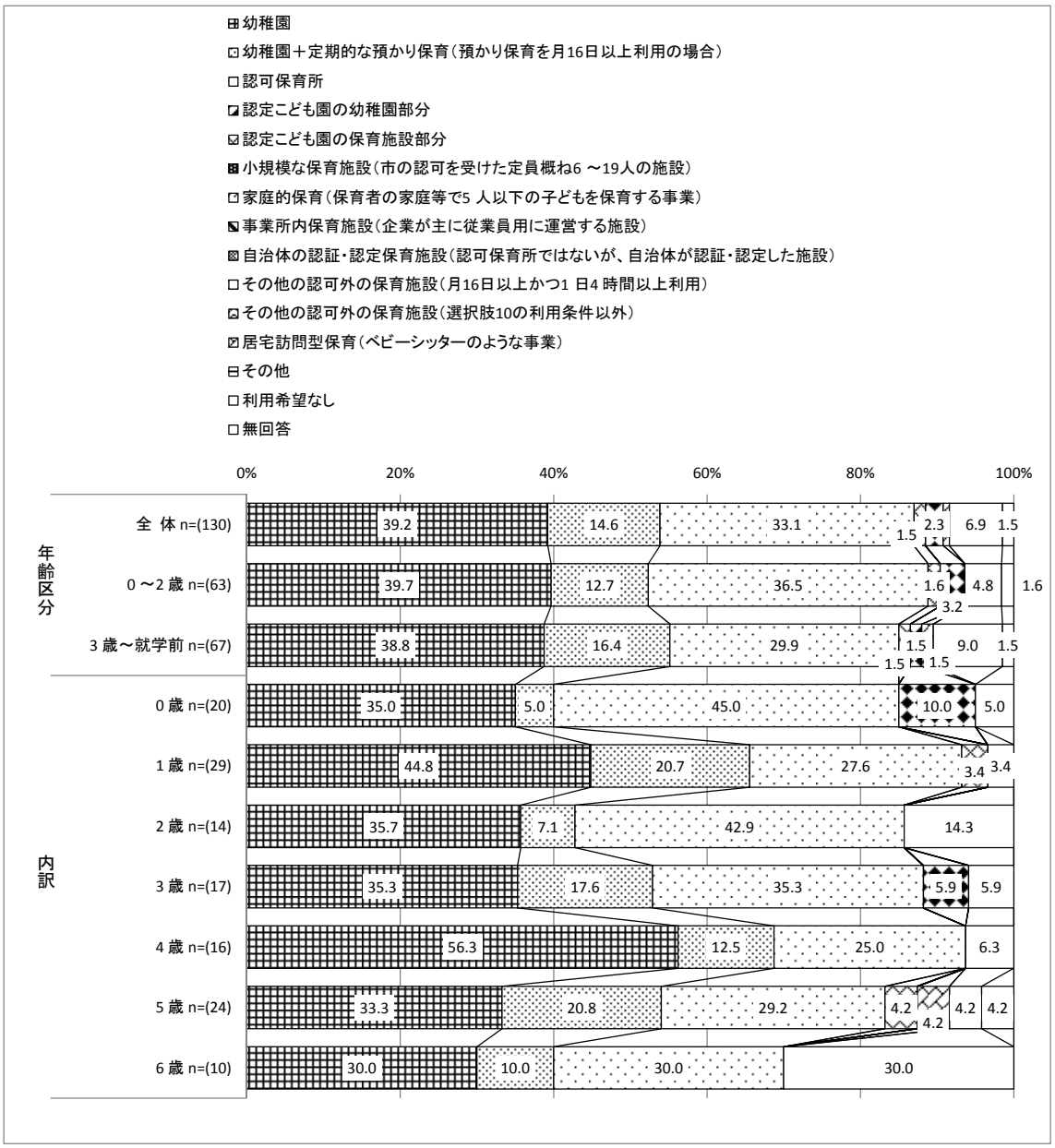
全体でみると、「認可保育所」が 42.2%で最も多く、次いで「幼稚園」が 26.7%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 16.1%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（信篤地区）

【分析】

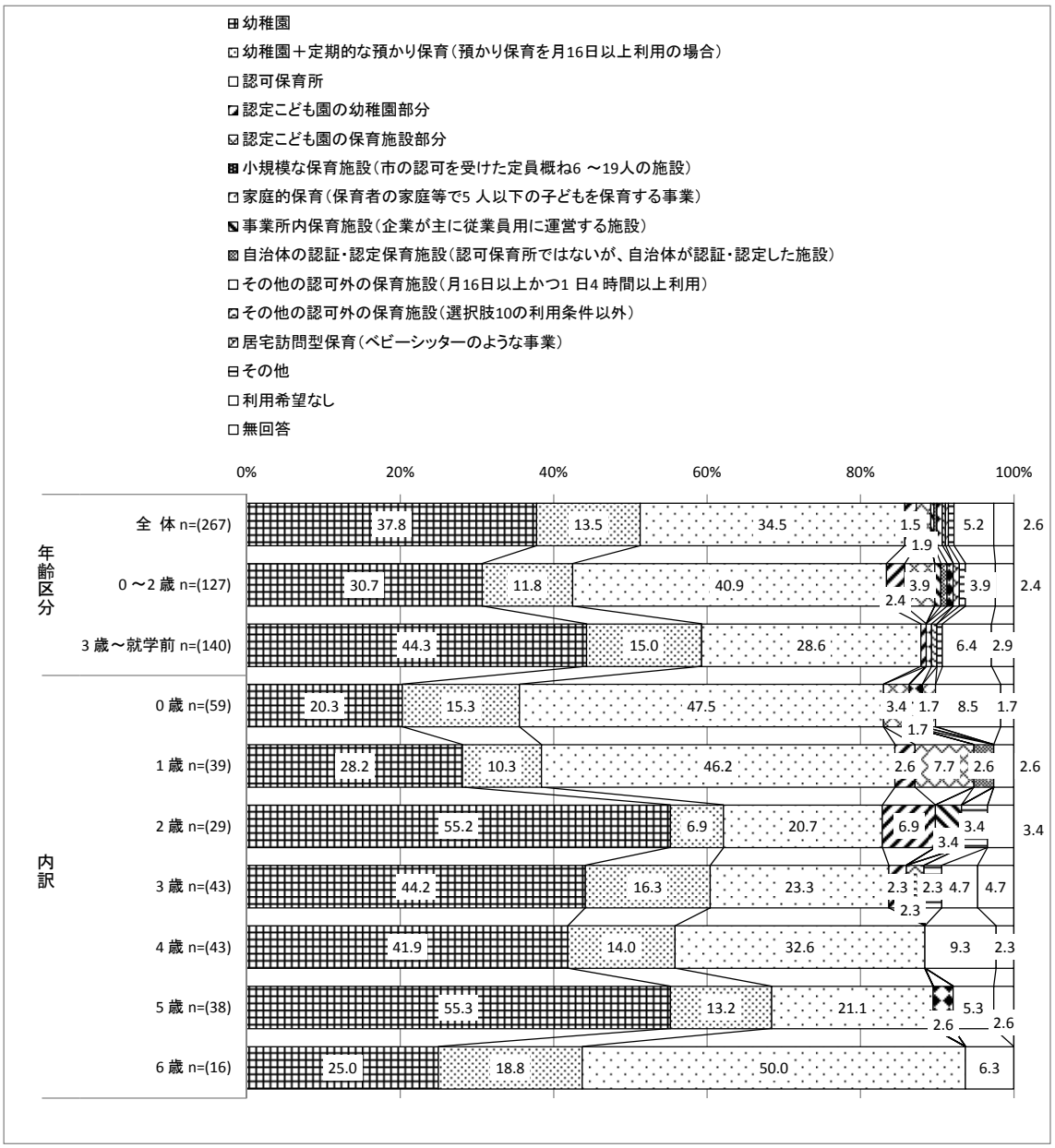
全体でみると、「幼稚園」が 39.2%で最も多く、次いで「認可保育園」が 33.1%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 14.6%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（妙典地区）

【分析】

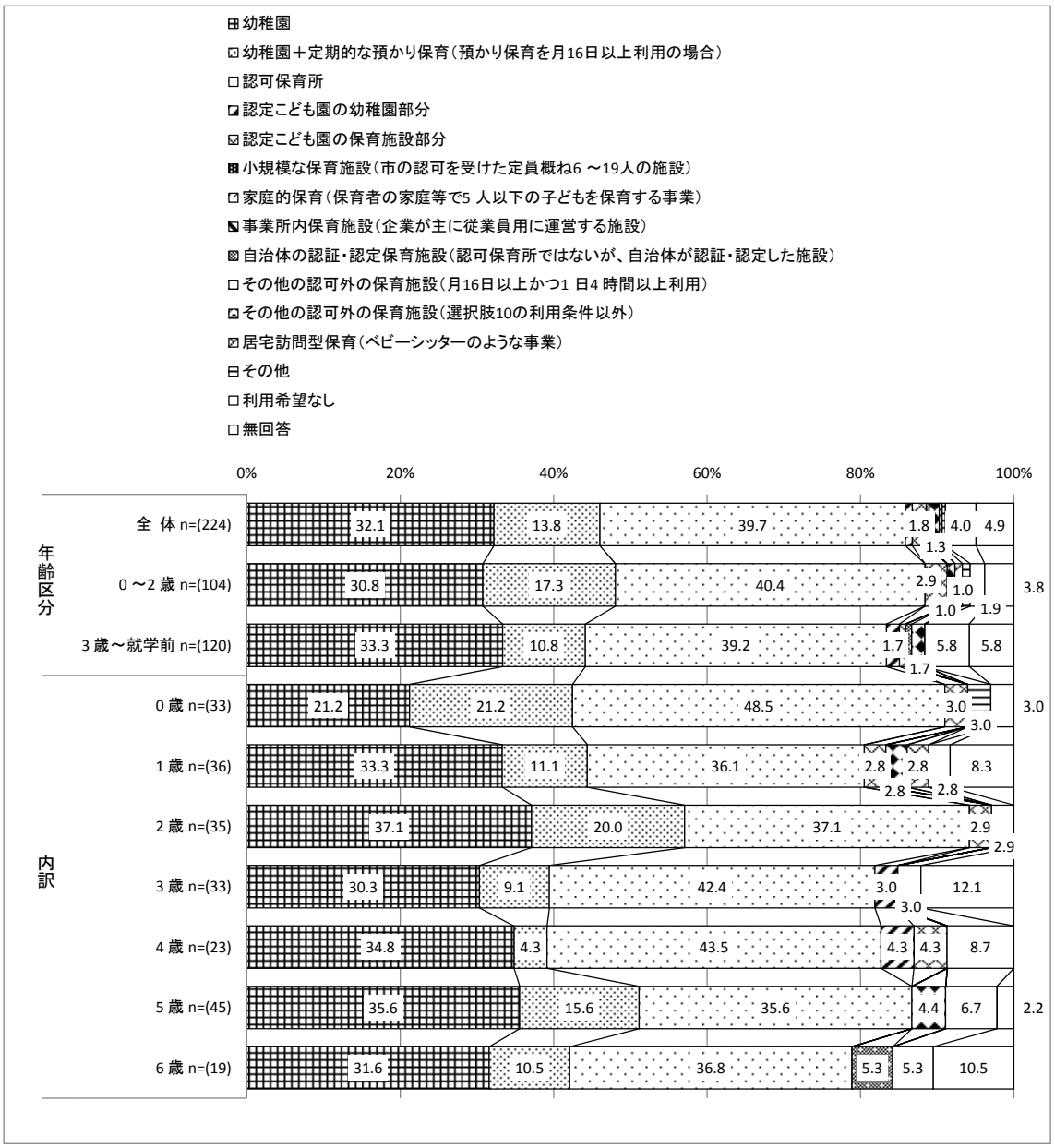
全体でみると、「幼稚園」が 37.8%で最も多く、次いで「認可保育園」が 34.5%、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 13.5%となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（行徳地区）

【分析】

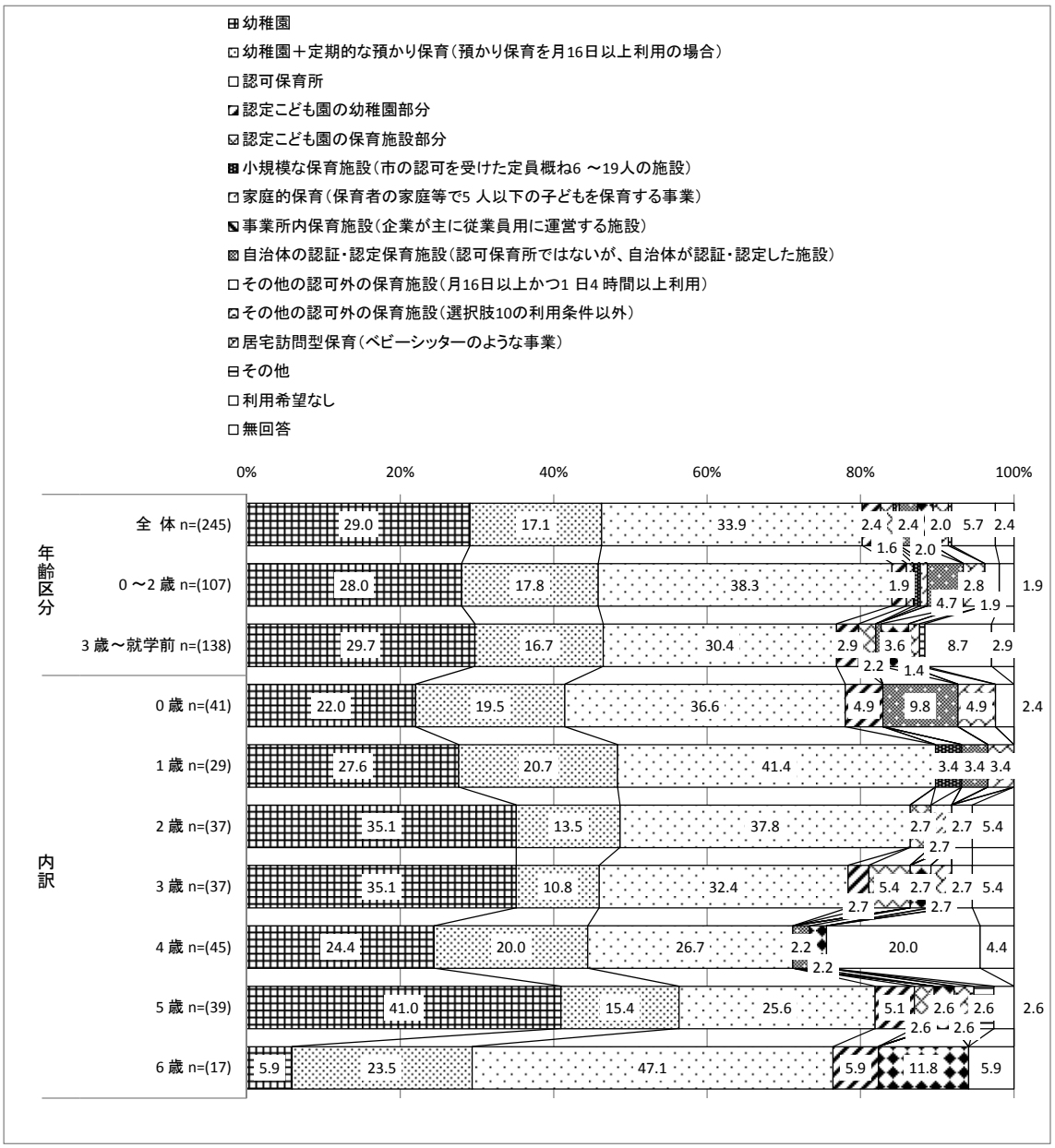
全体でみると、「認可保育園」が 39.7％で最も多く、次いで「幼稚園」が 32.1％、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 13.8％となっている。



◆地区別年齢別の教育・保育事業利用希望（南行徳地区）

【分析】

全体でみると、「認可保育園」が 33.9％で最も多く、次いで「幼稚園」が 29.0％、「幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）」が 17.1％となっている。

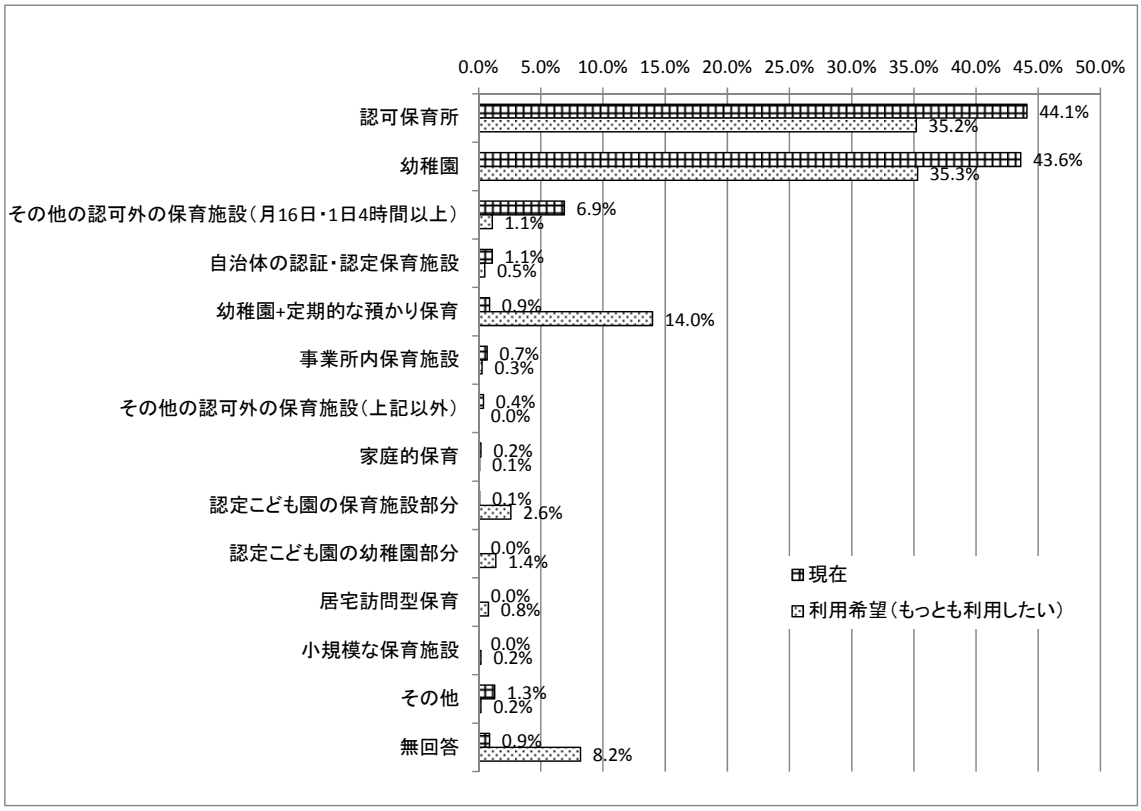


◆教育保育事業を現在利用している人（問 14 回答者）の現在と利用希望の比較

【分析】

現在教育保育事業を利用している人、利用希望共に「認可保育所」および「幼稚園」が多い。また利用している人では「幼稚園+定期的な預かり保育」が 0.9%に対し、利用希望では 14.0%と大幅に増加している。

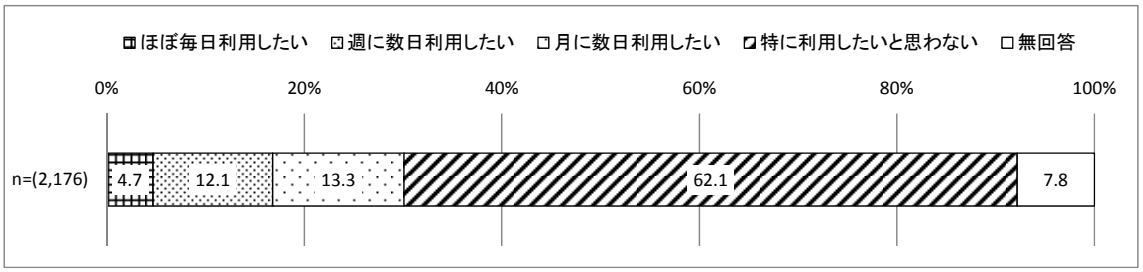
	現在	利用希望（もっとも利用したい）
幼稚園	43.6%	35.3%
幼稚園+定期的な預かり保育	0.9%	14.0%
認可保育所	44.1%	35.2%
認定こども園の幼稚園部分	0.0%	1.4%
認定こども園の保育施設部分	0.1%	2.6%
小規模な保育施設	0.0%	0.2%
家庭的保育	0.2%	0.1%
事業所内保育施設	0.7%	0.3%
自治体の認証・認定保育施設	1.1%	0.5%
その他の認可外の保育施設（月16日・1日4時間以上）	6.9%	1.1%
その他の認可外の保育施設（上記以外）	0.4%	0.0%
居宅訪問型保育	0.0%	0.8%
その他	1.3%	0.2%
無回答	0.9%	8.2%



問 20　問 19 で〇をつけた教育保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用したいと思いますか。

【分析】

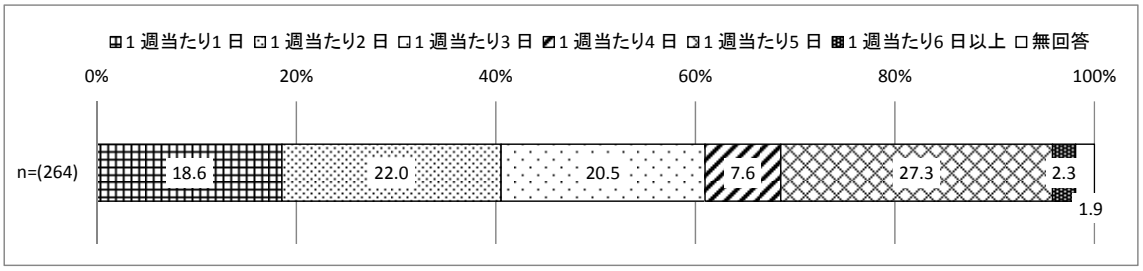
「特に利用したいと思わない」が 62.1％と最も多く、次いで「月に数日利用したい」が 13.3％となっている。



問 20　「問 20 で 2 ．週に数日利用したいと回答した人」　→　1 週当たりの日数

【分析】

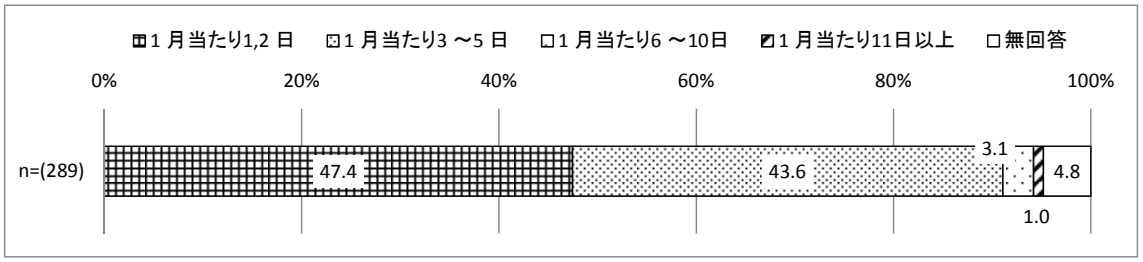
「1 週当たり 5 日」が 27.3％で最も多く、次いで「1 週当たり 2 日」が 22.0％となっている。また週に利用したい日数は「1 週当たり 1～3 日」で 6 割を超えている。



問 20　「問 20 で 3 ．月に数日利用したいと回答した人」　→　1 月当たりの日数

【分析】

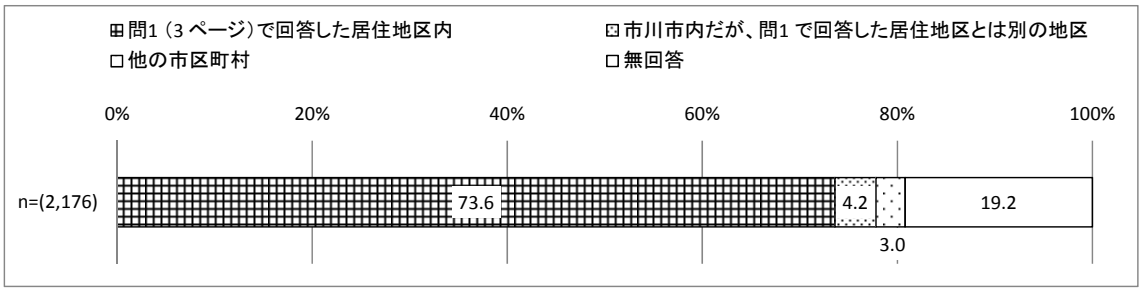
月に利用したい日数は「1 月当たり 1,2 日」と「1 月当たり 3 ～5 日」を合わせて 9 割を超えている。



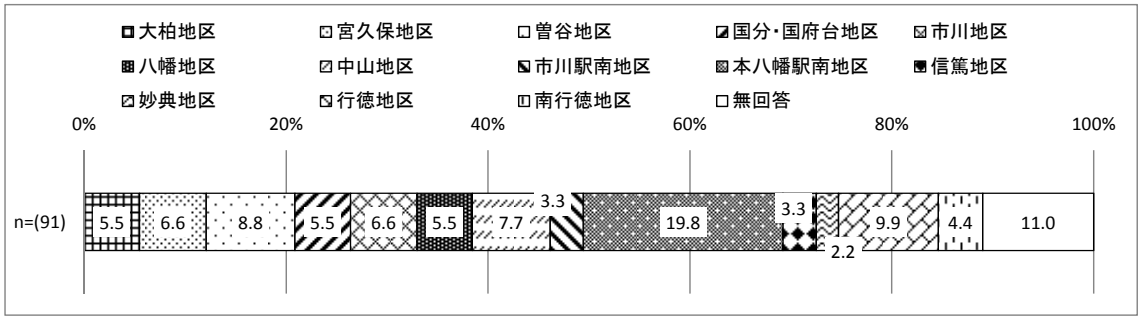
問 21　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「市川市内だが、問 1 で回答した居住地区とは別の地域」に○をつける場合には、□内に数字でご記入ください。

【分析】

「問 1 で回答した居住地区内」と回答した人は 73.6％であり、「市川市内だが、問 1 で回答した居住地区とは別の地区」と「他の市区町村」の割合は、合わせても 1 割未満であった。



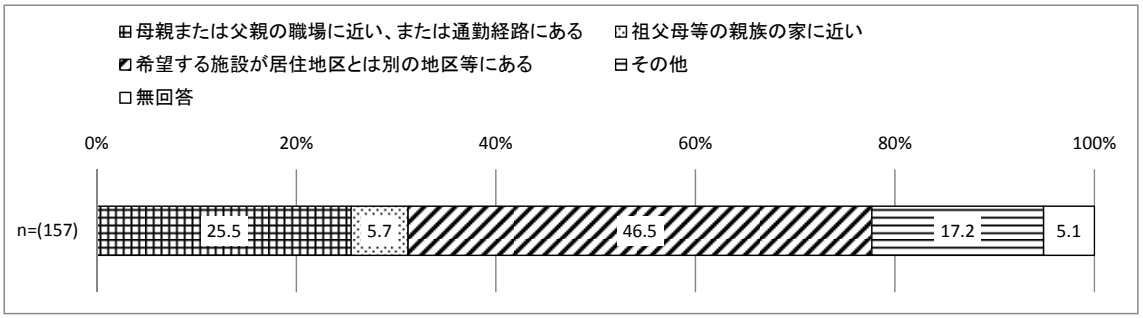
問 21　2．「市川市内だが、問 1 で回答した居住地区とは別の地区」を希望した場合の地区を希望する地区の番号を問 1 をご参照の上ご記入ください。



問 22　問 21 で「市川市内だが、問 1 で回答した居住地区とは別の地区」または「他の市区町村」に〇をつけた方にうかがいます。居住地区とは別の地区または他の市区町村を希望する理由は何ですか。

【分析】

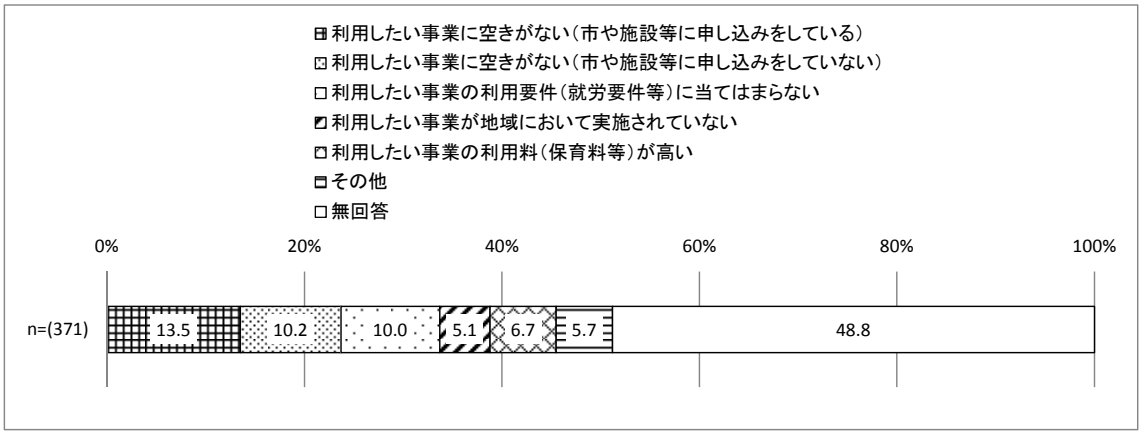
「希望する施設が居住地区とは別の地区等にある」が 46.5%で半数に近い。



問 23　希望とは異なる教育・保育事業を現在利用している方にうかがいます。希望する事業を利用できていない理由は何ですか。

【分析】

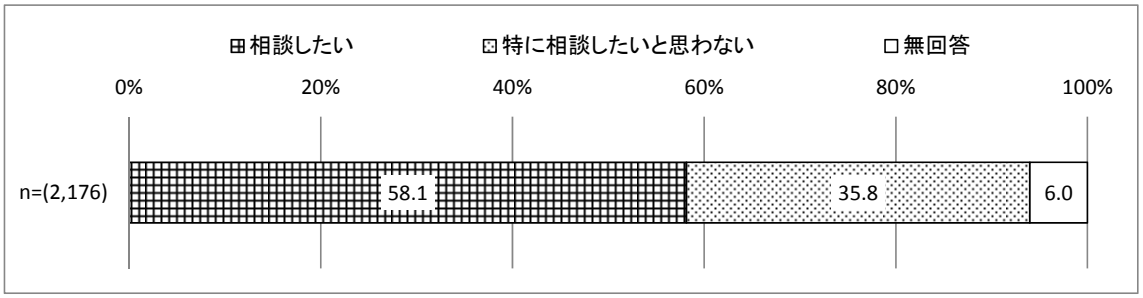
「無回答」を除くと、「利用したい事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）」が 13.5%で最も多く、次いで「利用したい事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）」が 10.2%となっている。



問 24　教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人（介護保険のケアマネージャーのような人）がいれば、相談したいと思いますか。

【分析】

「相談したい」という回答が 58.1％と半数を超えている。



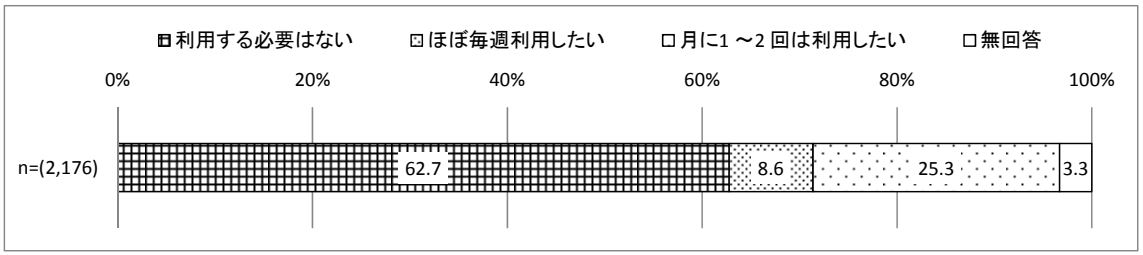
（６）土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

問 25　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか（利用料あり）。

◆土曜日の利用希望

【分析】

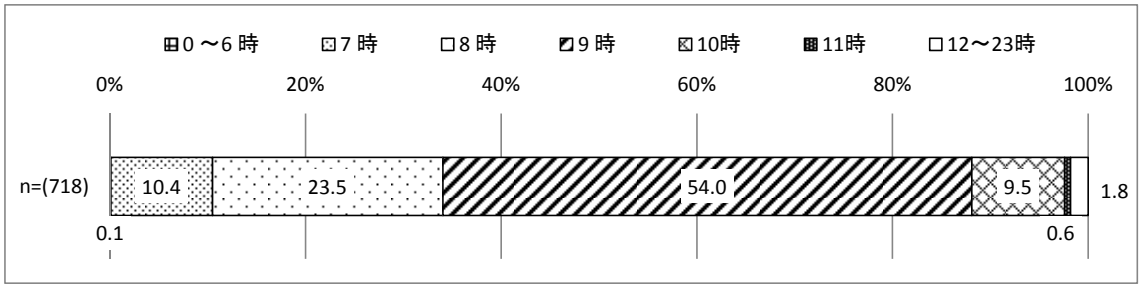
「利用する必要はない」が 62.7 と最も多く、次いで「月に 1 ～2 回は利用したい」が 25.3%となっている。



◆土曜日：開始時刻の希望

【分析】

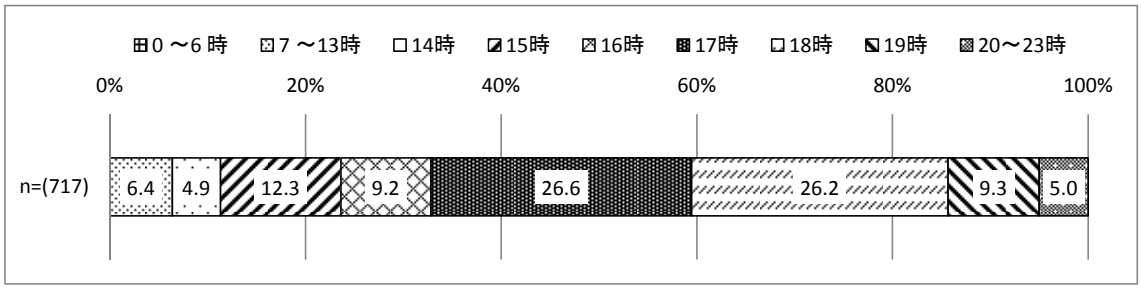
「9 時」が 54.0%と半数を超えて最も多く、次いで「8 時」が 23.5%となっている。



◆土曜日：終了時刻の希望

【分析】

「17 時」が 26.6%と最も多く、次いで「18 時」が 26.2%となっている。

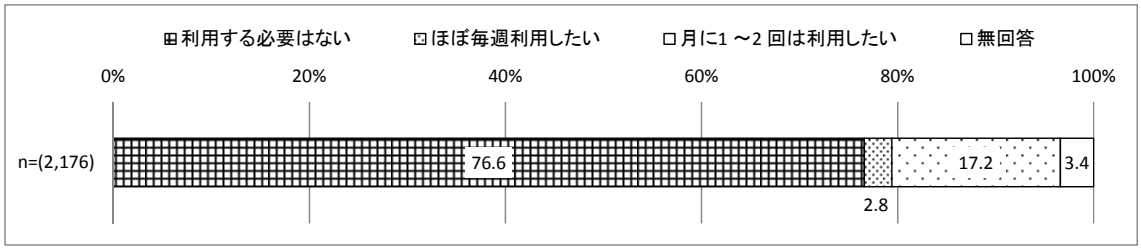


問 25　お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか（利用料あり）。

◆日曜・祝日の利用希望

【分析】

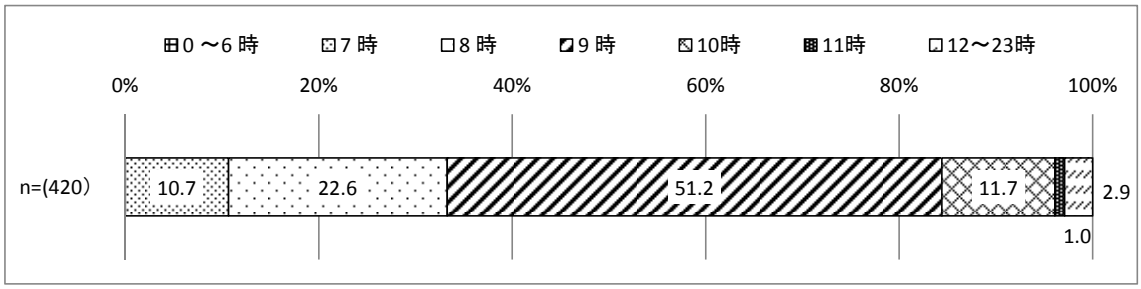
「利用する必要はない」が 76.6%と最も多く、次いで「月に 1 ～2 回は利用したい」が 17.2%となっている。



◆日曜・祝日：開始時刻の希望

【分析】

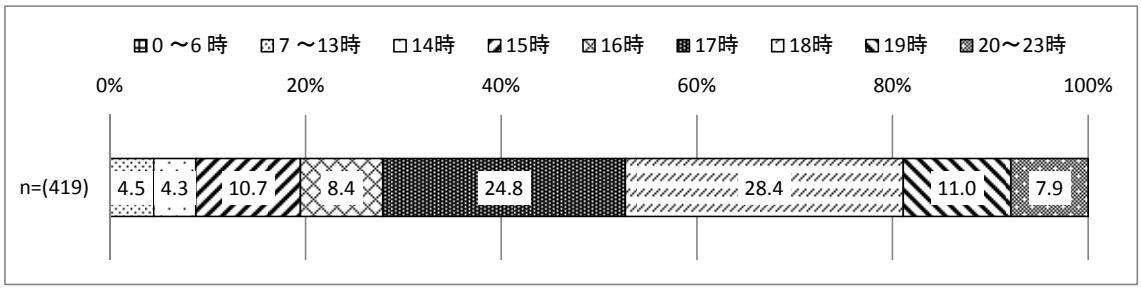
「9 時」が 51.2%と半数を超えて最も多く、次いで「8 時」が 22.6%となっている。



◆日曜・祝日：終了時刻の希望

【分析】

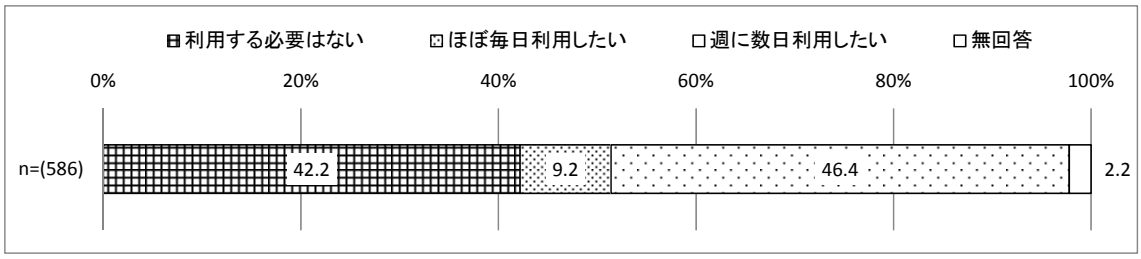
「18 時」が 28.4%と最も多く、次いで「17 時」が 24.8%となっている。



問 26　お子さんが「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか（利用料あり）。

【分析】

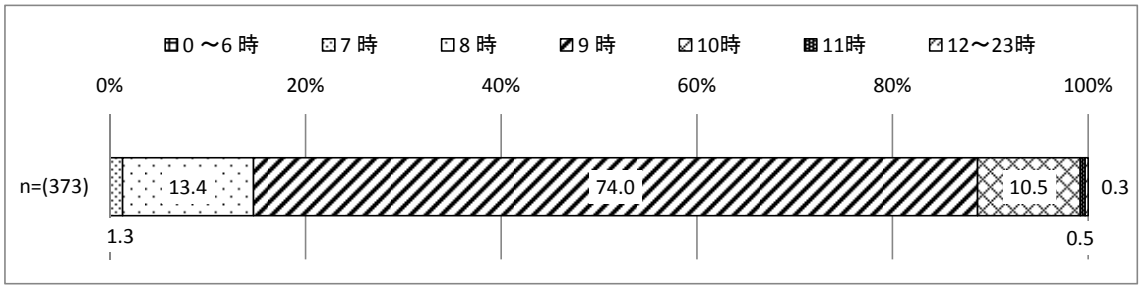
「週に数日利用したい」が 46.4%と最も多く、「ほぼ毎日利用したい」が 9.2%で利用希望が半数を超えている。



◆長期の休暇期間中：開始時刻の希望

【分析】

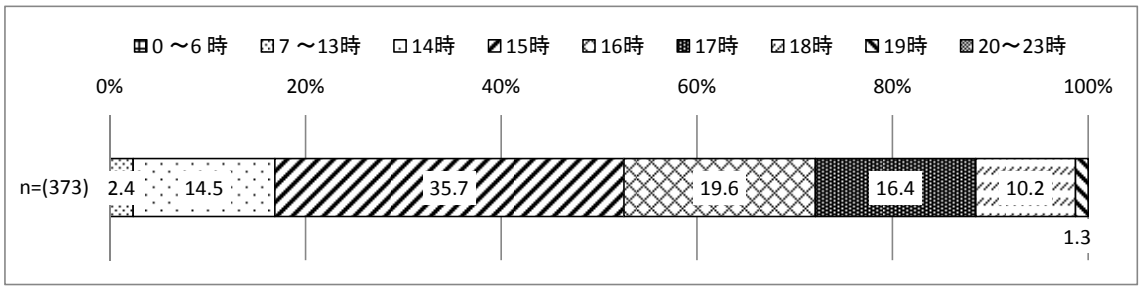
「9 時」が 74.0%と最も多い。



◆長期の休暇期間中：終了時刻の希望

【分析】

「15 時」が 35.7%と最も多く、次いで「16 時」が 19.6%となっている。

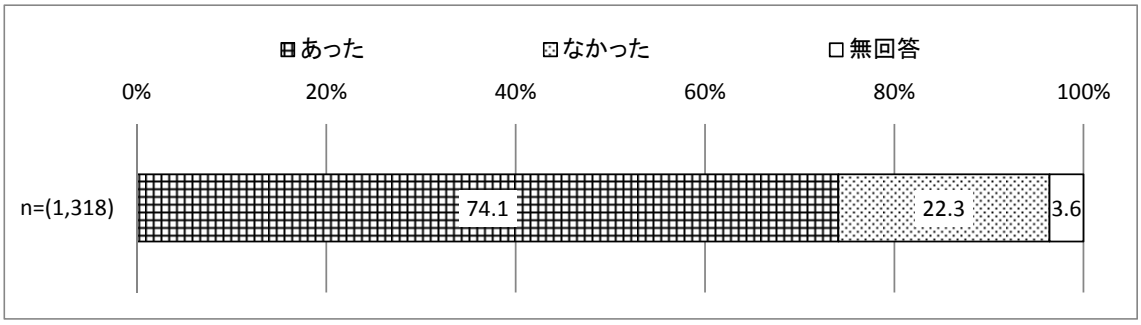


（７）病気の際の対応

問 27　平日の教育・保育の事業を利用している方（問 13 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。この 1 年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

【分析】

「あった」が 74.1%、「なかった」が 22.3%となっている。

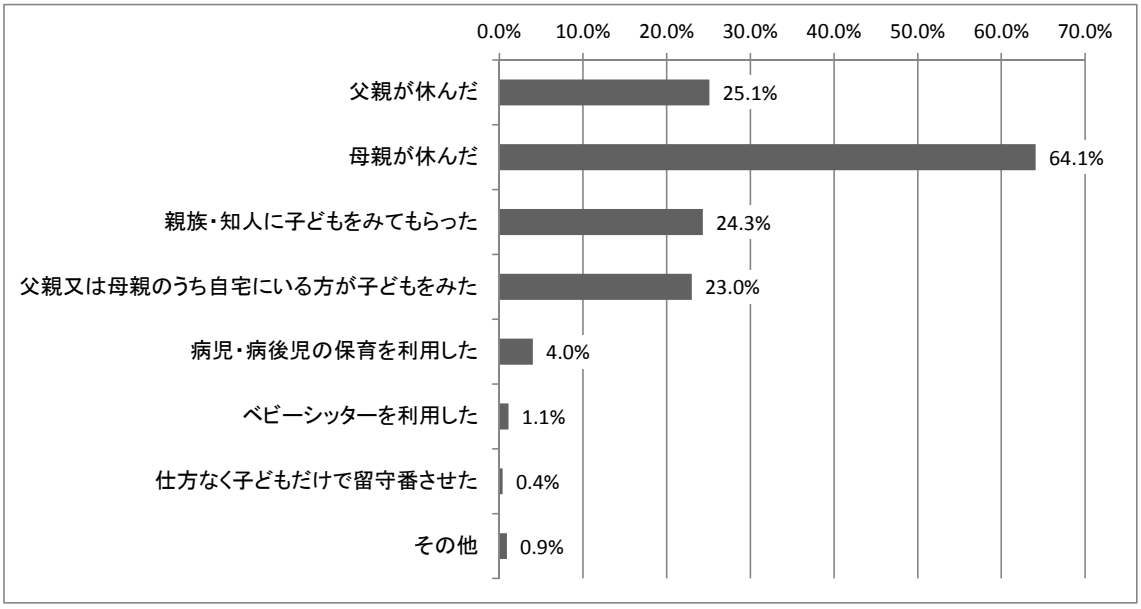


問 28　病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法お答えください。（複数回答）

◆対処方法

【分析】

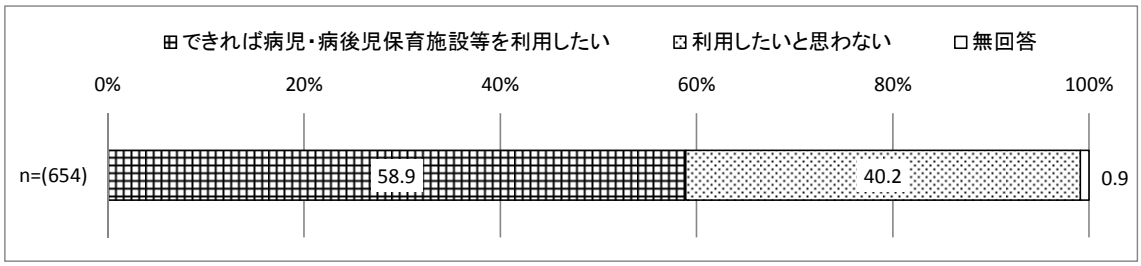
「母親が休んだ」が 64.1%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が 25.1%となっている。



問 29　問 28 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（利用料あり、事前にかかるつけ医の受診が必要）

【分析】

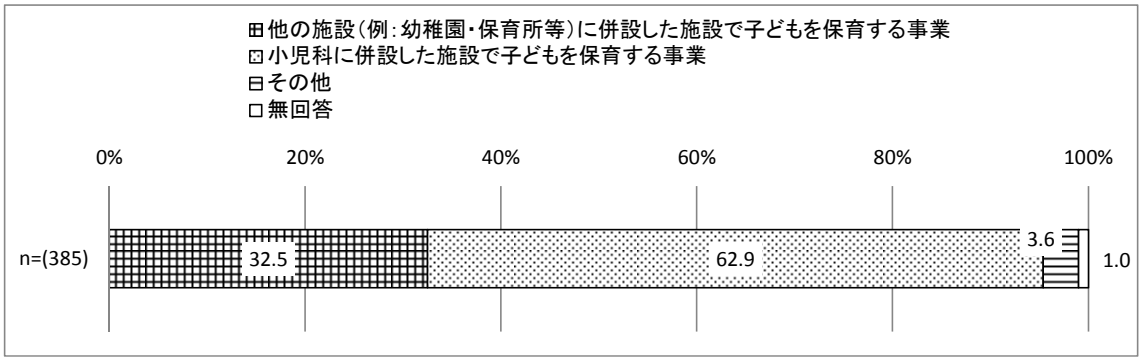
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 58.9%と半数を超えている。



問 30　問 29 で「1 」に〇をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

【分析】

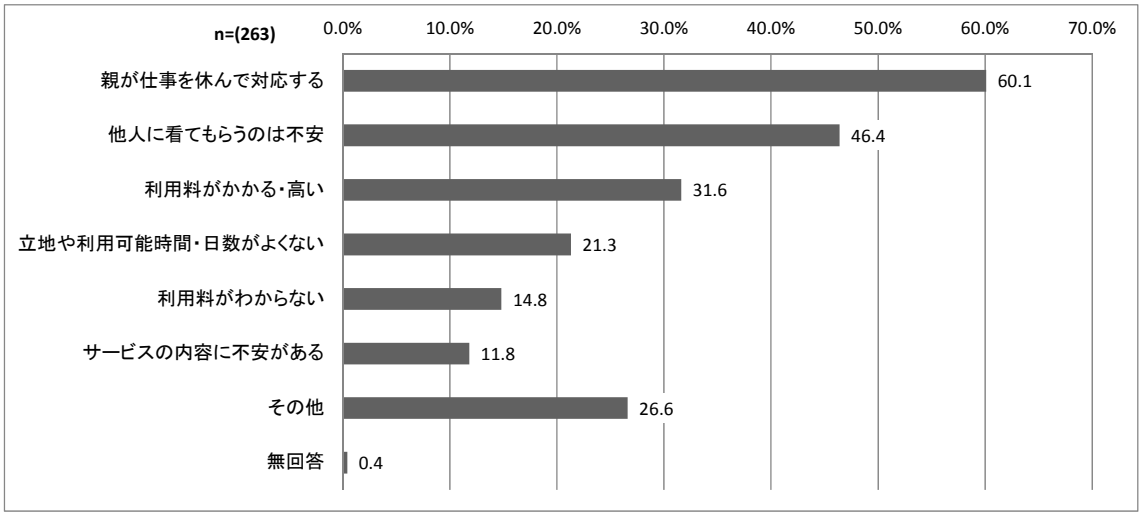
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.9%と最も多くなっている。



問 31　問 29 で「2 ． 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答）

【分析】

「親が仕事を休んで対応する」が 60.1％と最も多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が 46.4％、「利用料がかかる・高い」が 31.6％と続いている。



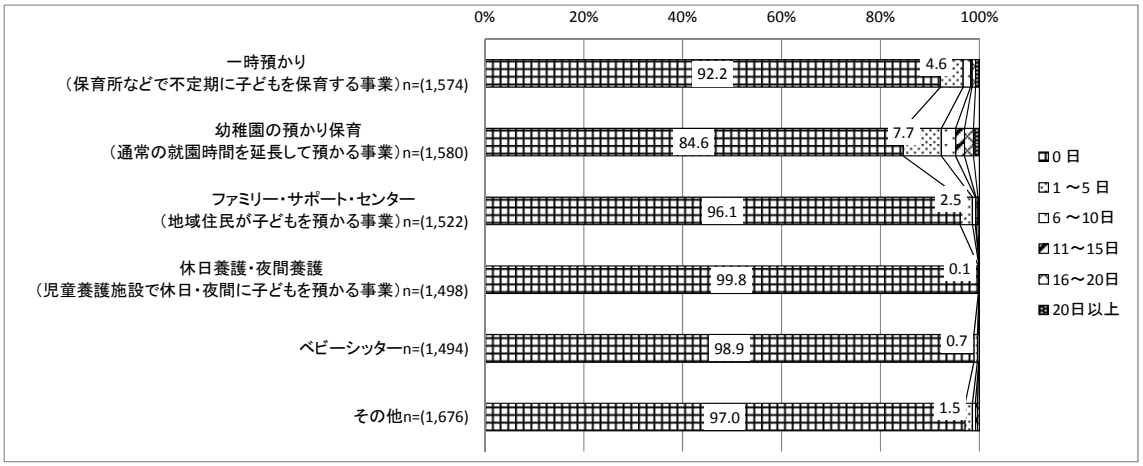
（８）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 32　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。

◆不定期の一時預かりについて、現在利用している日数

【分析】

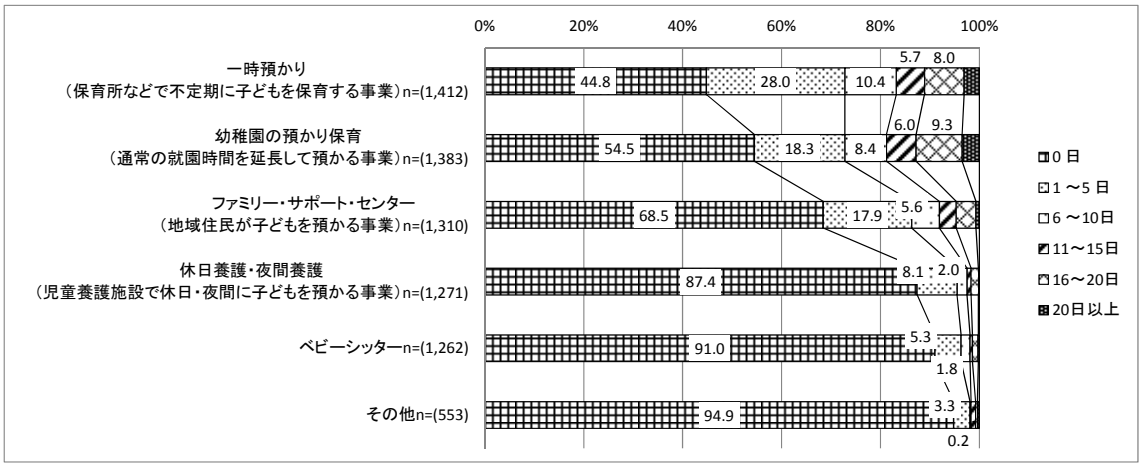
利用している日数が「0 日」という回答が全ての事業で 8 割を超えており、一番利用割合の多い「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）」でも 1 日以上利用する割合は合計で 15.4%である。



問 32　◆不定期の一時預かりについて、利用を希望する日数

【分析】

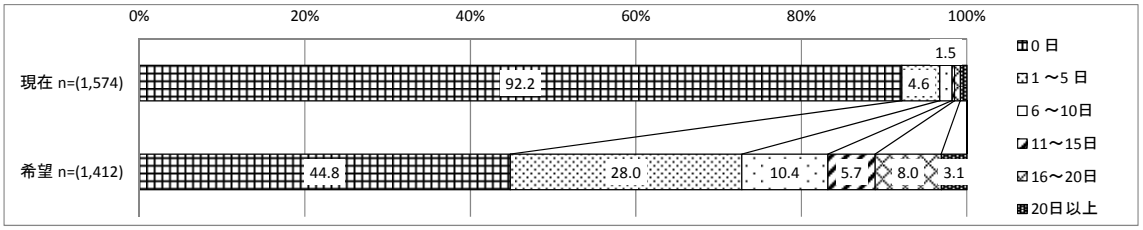
日数別では「0 日」が最も割合が多く、次いで「1 ～5 日」が多い。また、事業別では「一時預かり（保育所などで不定期に子どもを保育する事業）」が 1 日以上の利用を希望する日数の割合が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）」となっている。



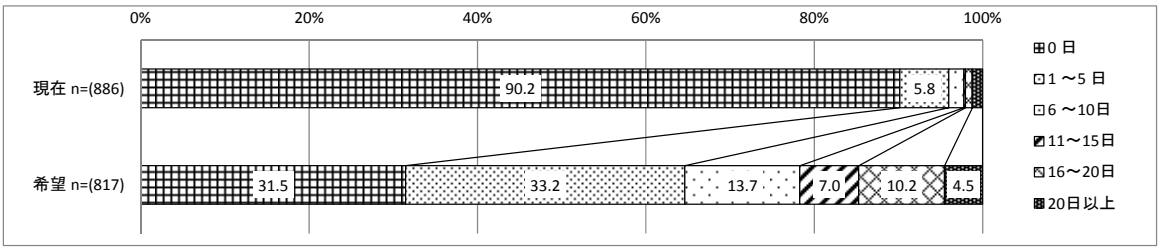
◆問 32　年齢区分別:一時預かり(保育所などで不定期に子どもを保育する事業)　0 ～5 歳

【分析】

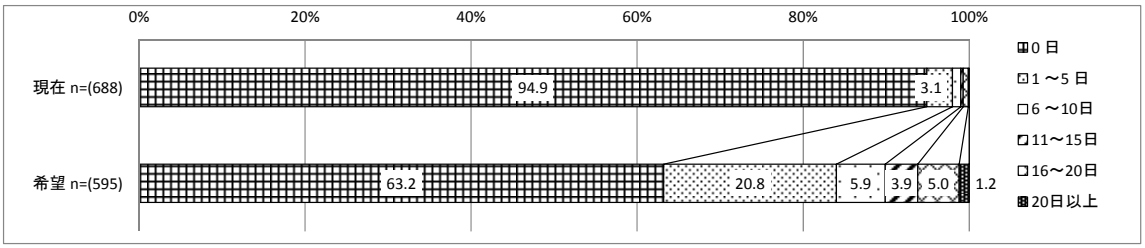
一時預かりについて、現在「1～5 日」利用している割合は 4.6%であるのに対し、「1～5 日」の利用を希望する割合は 28.0%と大幅に増加している。



◆問 32　年齢区分別:一時預かり(保育所などで不定期に子どもを保育する事業)　0 ～2 歳



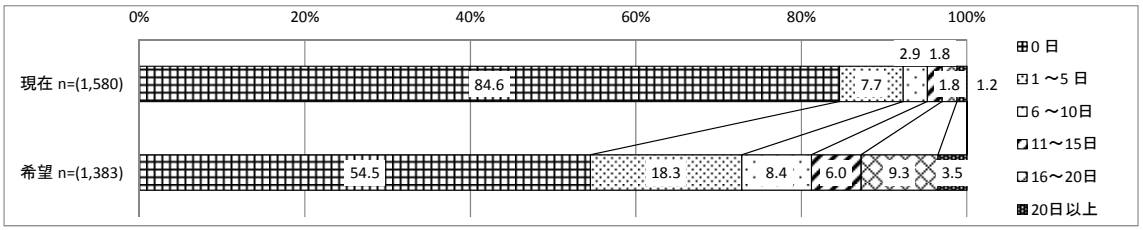
◆問 32　年齢区分別:一時預かり(保育所などで不定期に子どもを保育する事業)　3 ～5 歳



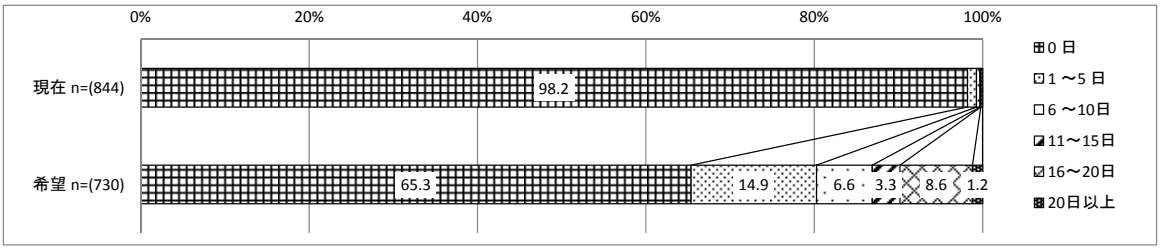
◆問 32　年齢区分別：幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）　0 ～ 5 歳

【分析】

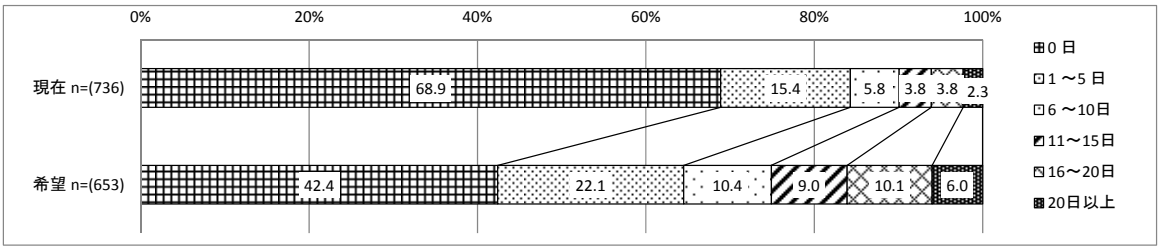
幼稚園の預かり保育について、現在「1～5 日」利用している割合は 7.7%であるのに対し、「1～5 日」の利用を希望する割合は 18.3%と増加している。



◆問 32　年齢区分別：幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）　0 ～ 2 歳



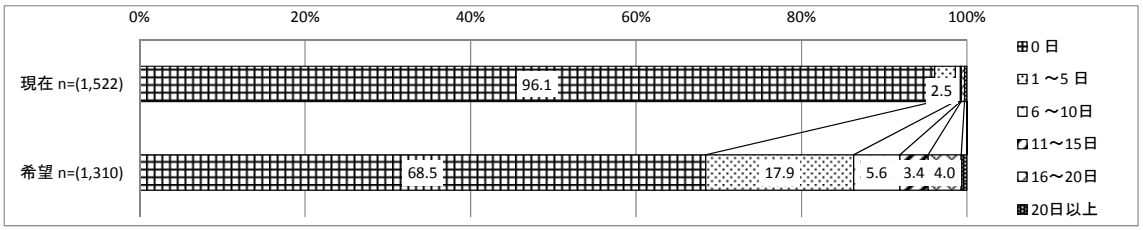
◆問 32　年齢区分別：幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）　3 ～ 5 歳



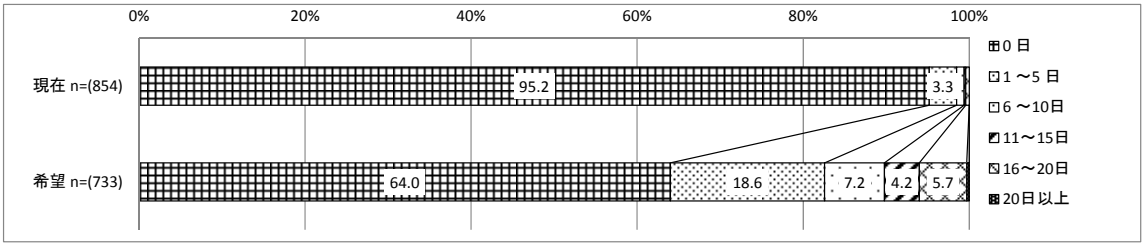
◆問 32　年齢区分別：ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
0 ～5 歳

【分析】

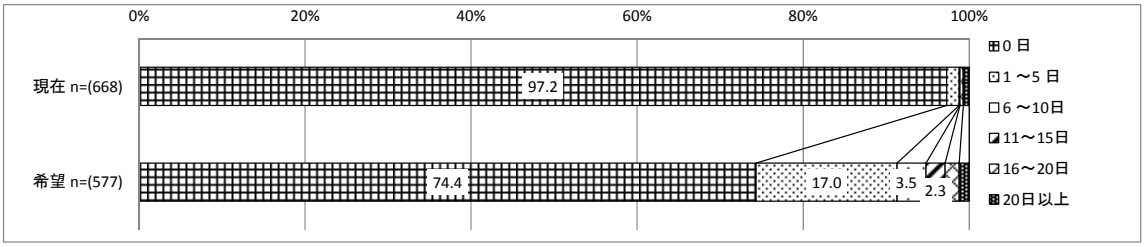
ファミリー・サポート・センターについて、現在「1～5 日」利用している割合は 2.5%であるのに対し、「1～5 日」の利用を希望する割合は 17.9%と大幅に増加している。



◆問 32　年齢区分別：ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
0 ～2 歳



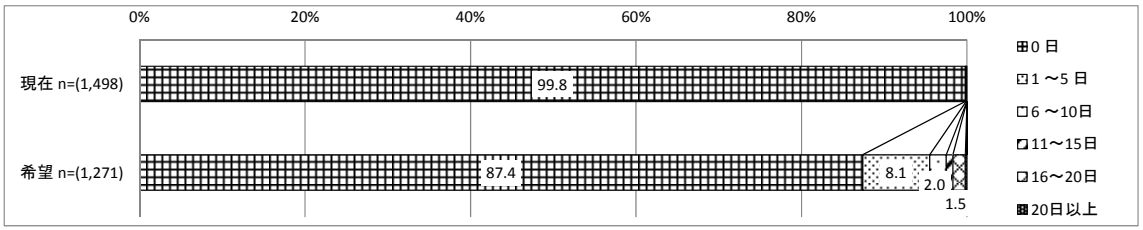
◆問 32　年齢区分別：ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
3 ～5 歳



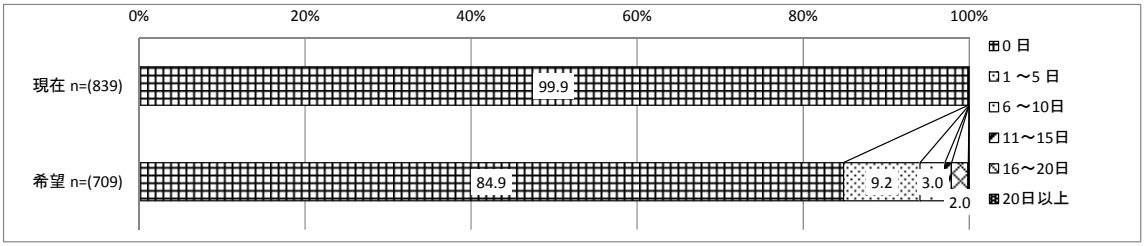
◆問 32　年齢区分別：休日養護・夜間養護（児童養護施設で休日・夜間に子どもを預かる事業）　0 ～5 歳

【分析】

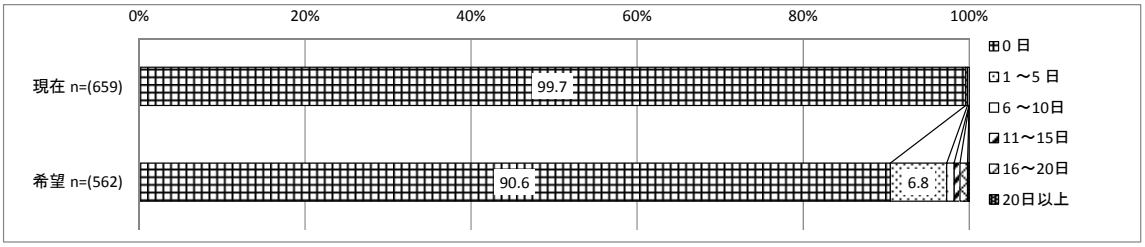
休日養護・夜間養護について、現在「1～5 日」利用している割合は 0.2%であるのに対し、「1～5 日」の利用を希望する割合は 8.1%と増加している。



◆問 32　年齢区分別：休日養護・夜間養護（児童養護施設で休日・夜間に子どもを預かる事業）　0 ～2 歳



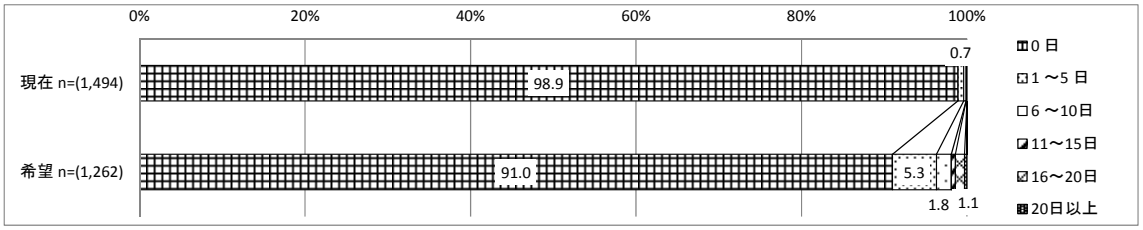
◆問 32　年齢区分別：休日養護・夜間養護（児童養護施設で休日・夜間に子どもを預かる事業）　3 ～5 歳



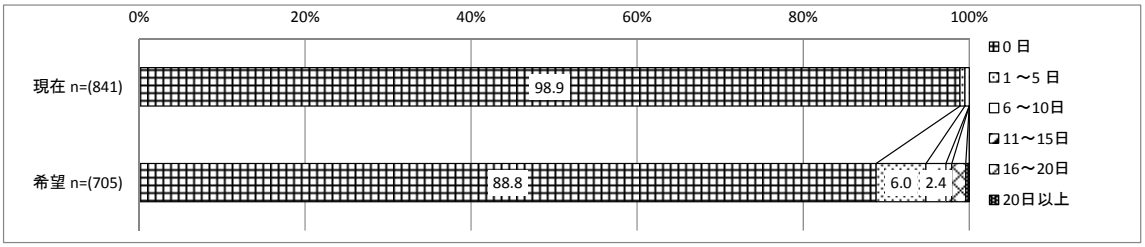
◆問 32　年齢区分別：ベビーシッター　0 ～5 歳

【分析】

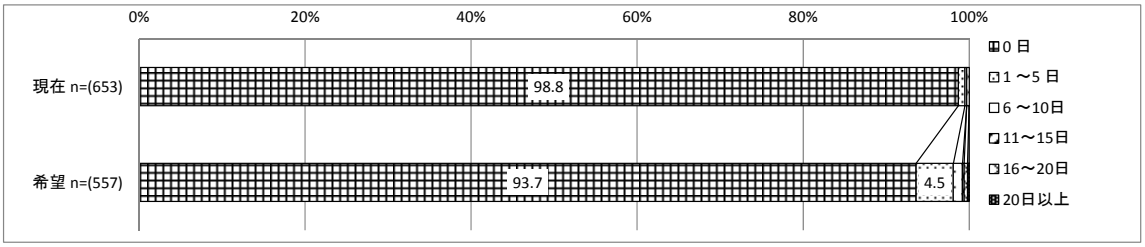
ベビーシッターについて、現在「1～5 日」利用している割合は 0.7%であるのに対し、「1～5 日」の利用を希望する割合は 5.3%と増加している。



◆問 32　年齢区分別：ベビーシッター　0 ～2 歳



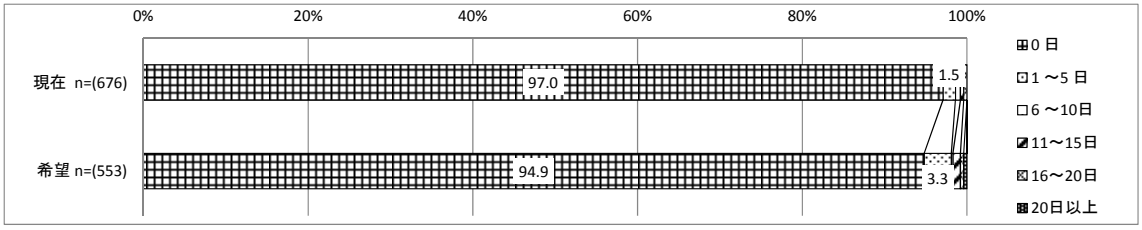
◆問 32　年齢区分別：ベビーシッター　3 ～5 歳



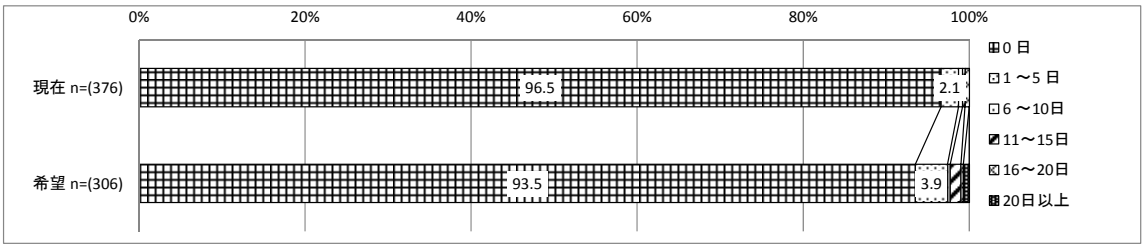
◆問 32　年齢区分別：その他　0 ～5 歳

【分析】

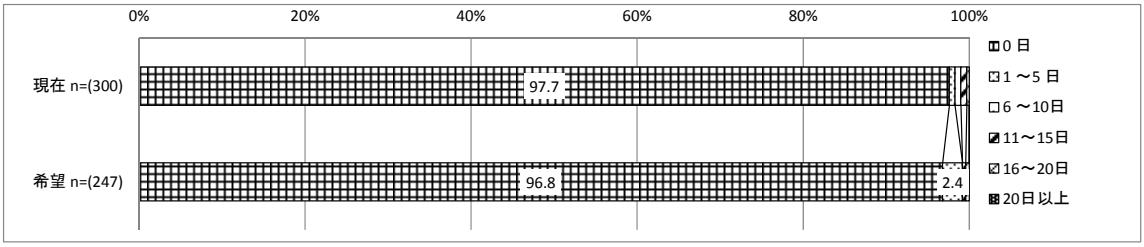
その他について、現在「1～5 日」利用している割合は 1.5%であるのに対し、「1～5 日」の利用を希望する割合は 3.3%と増加している。



◆問 32　年齢区分別：その他　0 ～2 歳



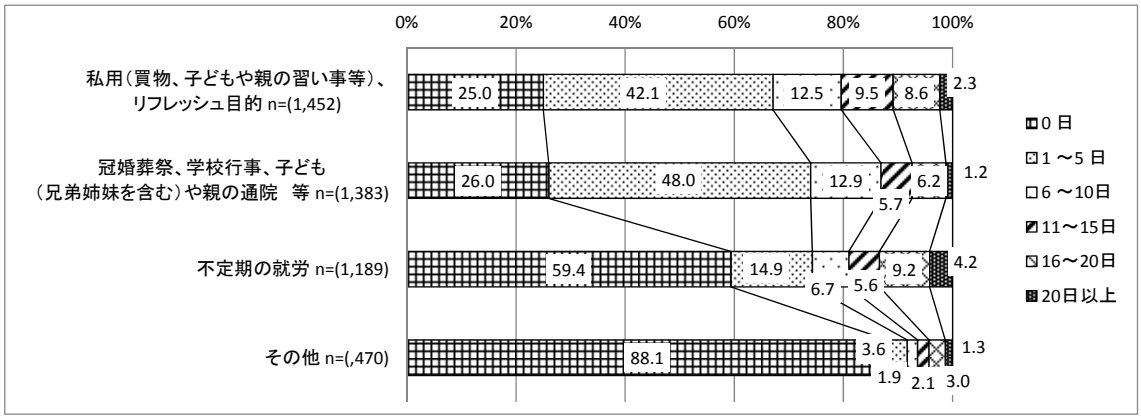
◆問 32　年齢区分別：その他　3 ～5 歳



問 32 の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思いますか。

【分析】

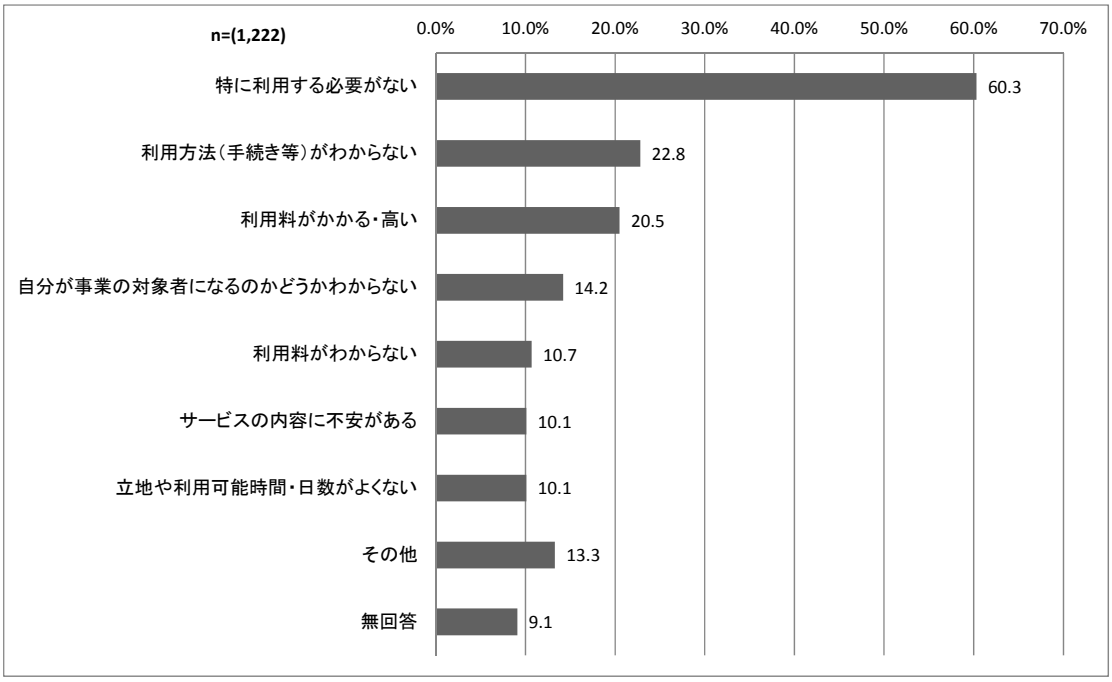
「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院　等」では共に「1 ～5 日」の割合が 42.1%、48.0%と最も多く、「不定期の就労」では「0 日」が 59.4%で多い。



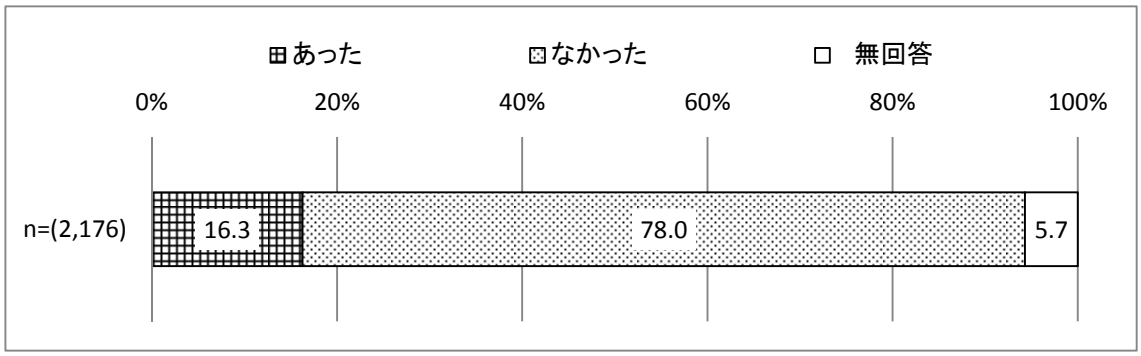
問 34　問 32 のＡ欄（現在）で全ての項目について「1.　0 日」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。（複数回答）

【分析】

「特に利用する必要がない」が 60.3％で最も多く、他は全て 30％未満である。



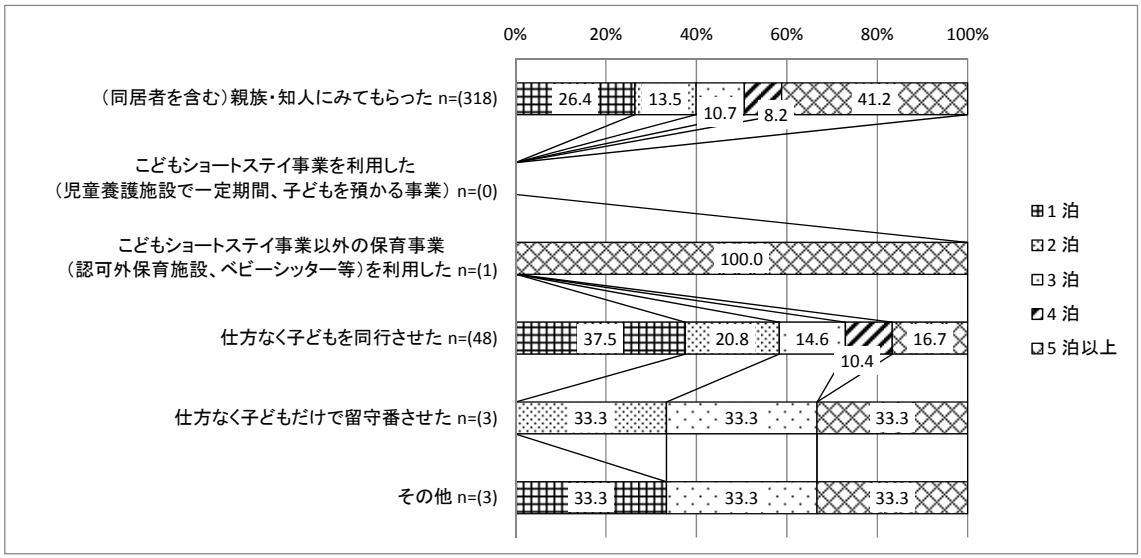
問 35　この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。



問 35　保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外に見てもらった日数

【分析】

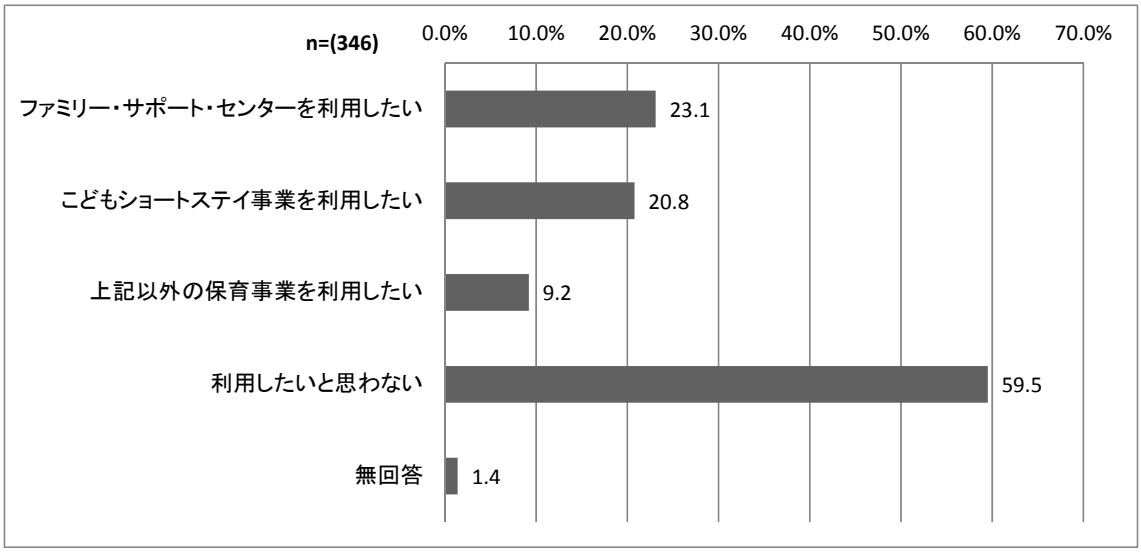
「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」では、「5 泊以上」が 41.2%と最も多い。



※「こどもショートステイ事業を利用した」は、該当データなし

※「こどもショートステイ事業以外を利用した」、「仕方なく子どもを同行させた」、「仕方なく子どもだけで留守番させた」、「その他」は、母数が少ないので参考値

問 36　今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。（複数回答）



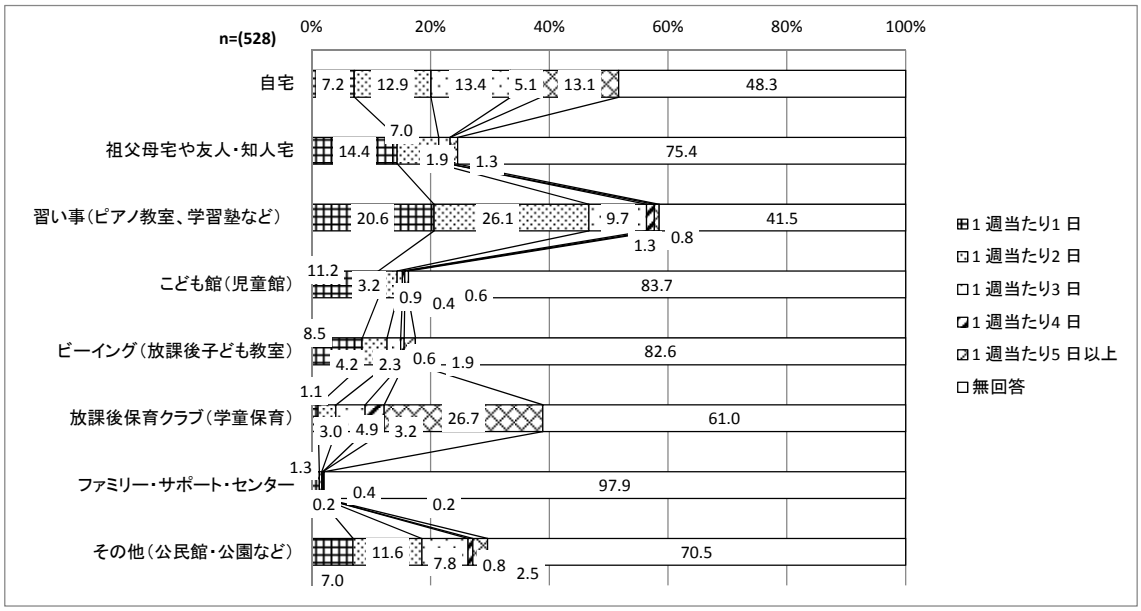
（９）小学校就学後の放課後の過ごし方

問 37　お子さんが 5 歳以上である方にうかがいます。お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年・高学年のそれぞれで、当てはまる内容すべてについて、希望する 1 週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください。

◆就学後の放課後の過ごし方：小学校低学年（1 ～3 年生）

【分析】

放課後の過ごし方について、1 週当たり 1 日では、「習い事」が 20.6%で最も多く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」が 14.4%となっている。

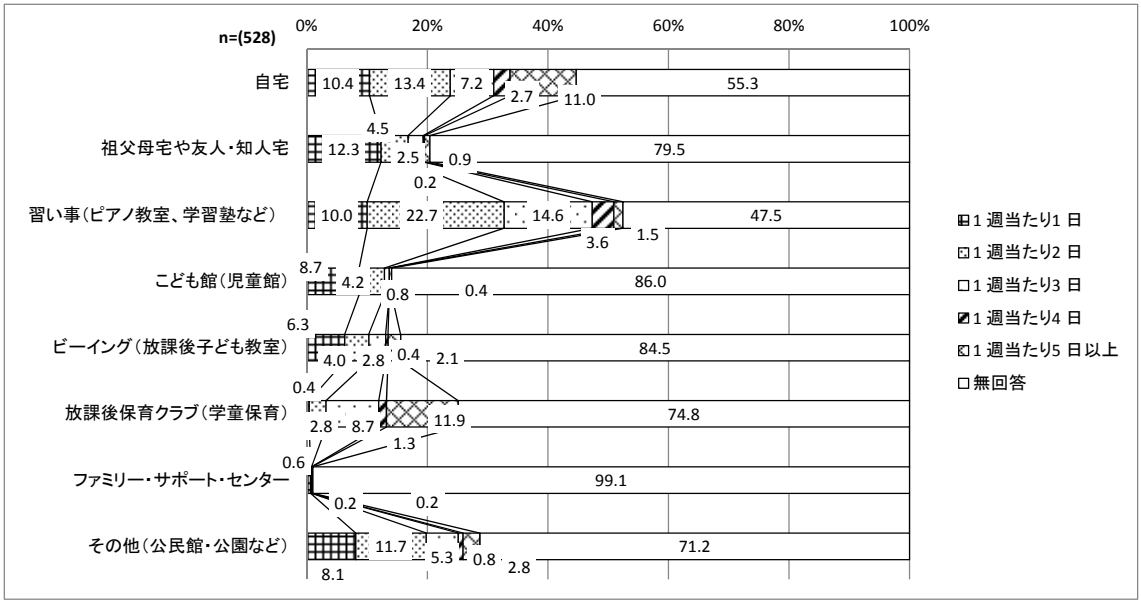


※ファミリー・サポート・センターは母数が少ないので参考値

◆就学後の放課後の過ごし方：小学校高学年（4 ～6 年生）

【分析】

放課後の過ごし方について、1 週当たり 1 日では、「祖父母宅や友人・知人宅」が 12.3%で最も多く、次いで「自宅」が 10.4%となっている。また、1 週当たり 2 日では、「習い事（ピアノ教室、学習塾など）が 22.7%で最も多い。

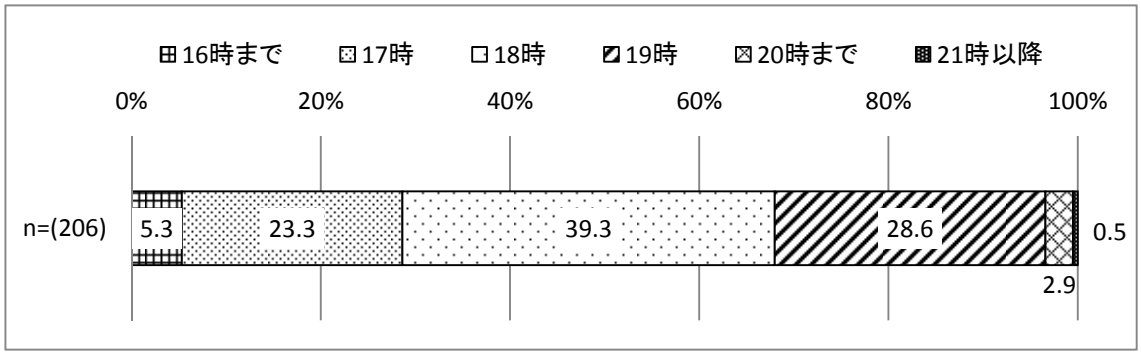


※ファミリー・サポート・センターは母数が少ないので参考値

◆放課後保育クラブの利用希望時刻（下校時から〇時まで）：小学校低学年（1～3 年生）

【分析】

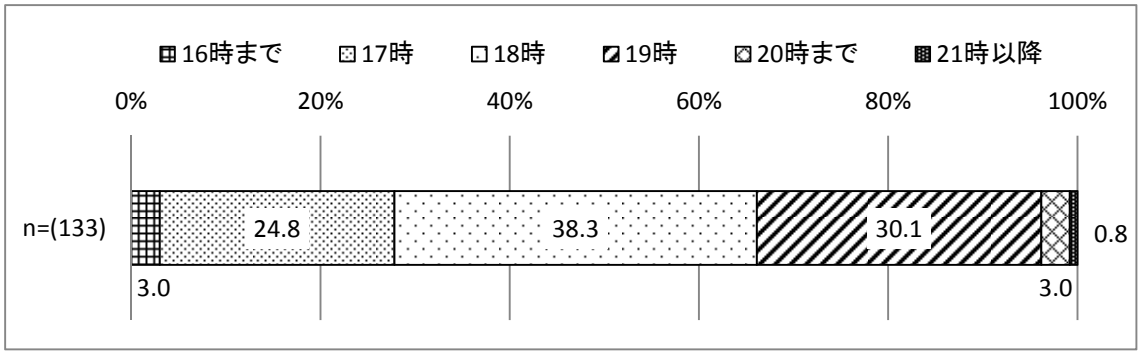
放課後保育クラブの利用希望時刻について、小学校低学年（1 ～3 年生）では「18 時」が 39.3%と最も多く、次いで「19 時」が 28.6%となっている。



◆放課後保育クラブの利用希望時刻（下校時から〇時まで）：小学校高学年（4 ～6 年生）

【分析】

放課後クラブの利用希望時刻について、小学校高学年（4 ～6 年生）では「18 時」が 38.3%と最も多く、次いで「19 時」が 30.1%となっている。

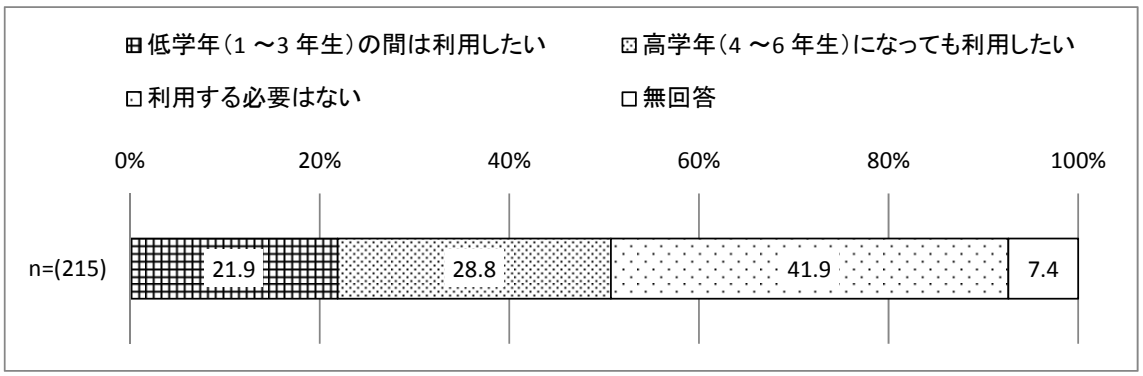


問 38　問 37 で「6. 放課後保育クラブ（学童保育）」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。

◆土曜日の利用希望

【分析】

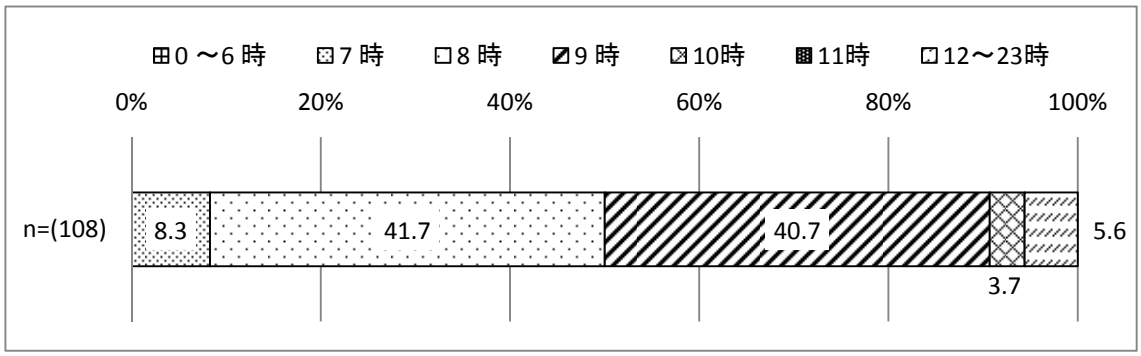
土曜日の放課後保育クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が 41.9%と最も多く、次いで「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 28.8%となっている。



◆土曜日：開始時刻の希望

【分析】

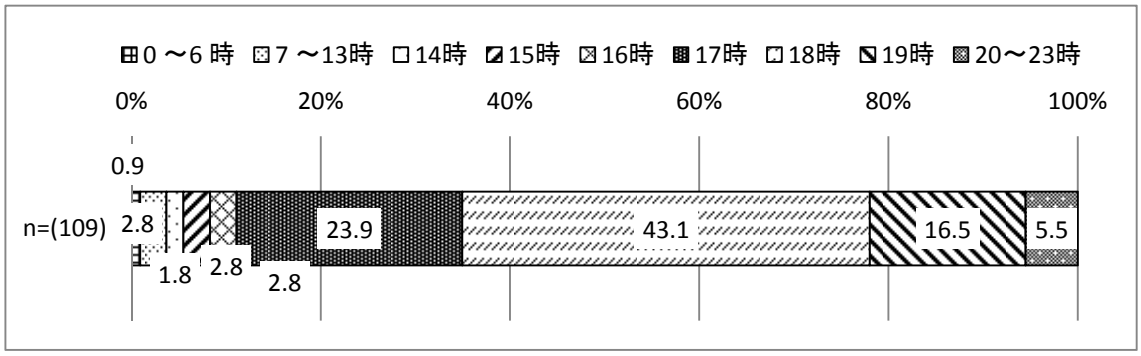
土曜日の放課後保育クラブの開始時刻希望については、「8 時」が 41.7%と最も多く、次いで「9 時」が 40.7%となっている。



◆土曜日：終了時刻の希望

【分析】

土曜日の放課後保育クラブの終了時刻希望については、「18 時」が 43.1%と最も多く、次いで「17 時」が 23.9%となっている。

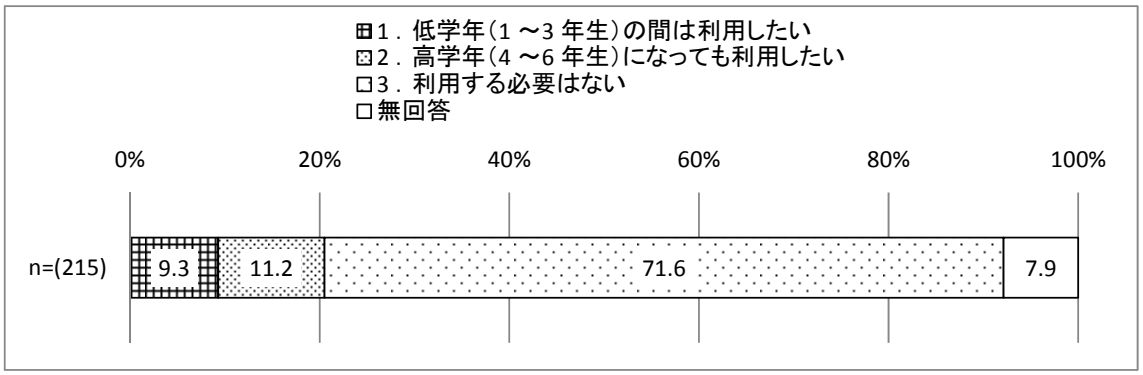


問 38　問 37 で「6. 放課後保育クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。

◆日曜・祝日の利用希望

【分析】

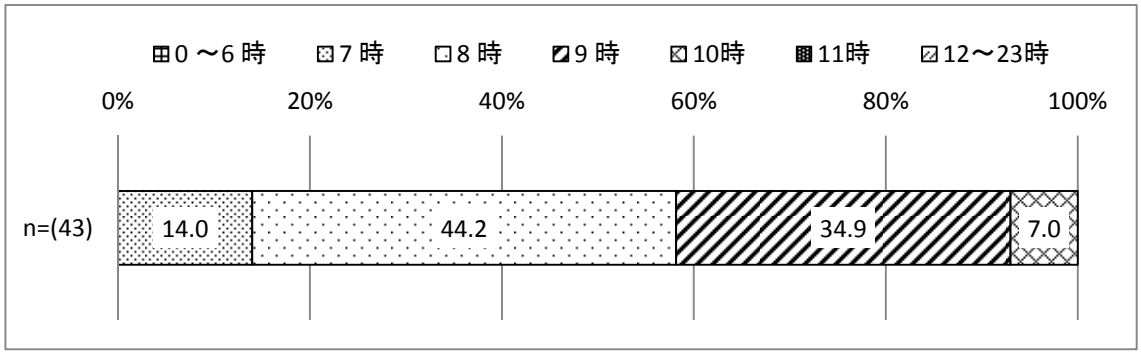
日曜・祝日の放課後保育クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が 71.6%と最も多く、次いで「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 11.2%となっている。



◆日曜・祝日の開始時刻の希望

【分析】

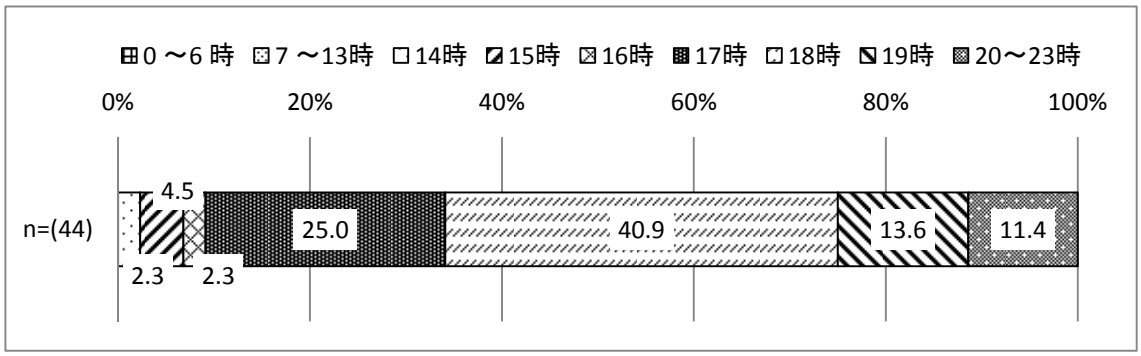
日曜・祝日の放課後保育クラブの開始時刻希望については、「8 時」が 44.2%と最も多く、次いで「9 時」が 34.9%となっている。



◆日曜・祝日の終了時刻の希望

【分析】

日曜・祝日の放課後保育クラブの終了時刻希望については、「18 時」が 40.9%と最も多く、次いで「17 時」が 25.0%となっている。

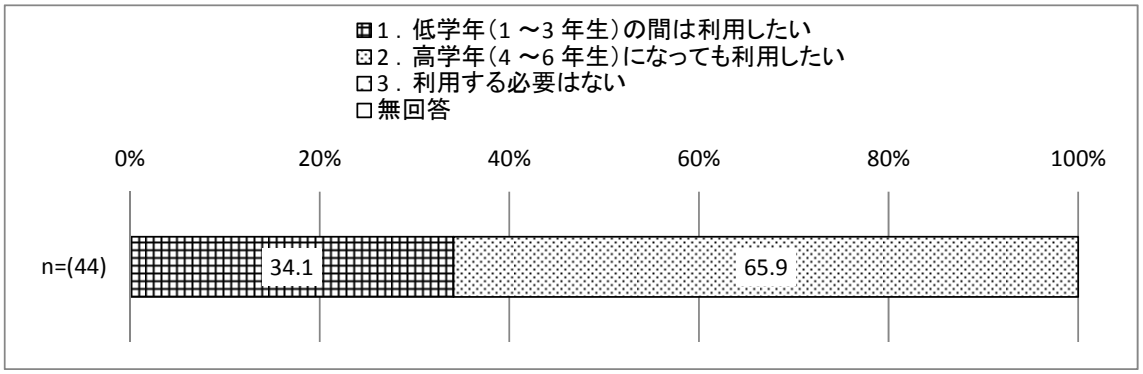


問 38　問 37 で「6. 放課後保育クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。

◆夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望

【分析】

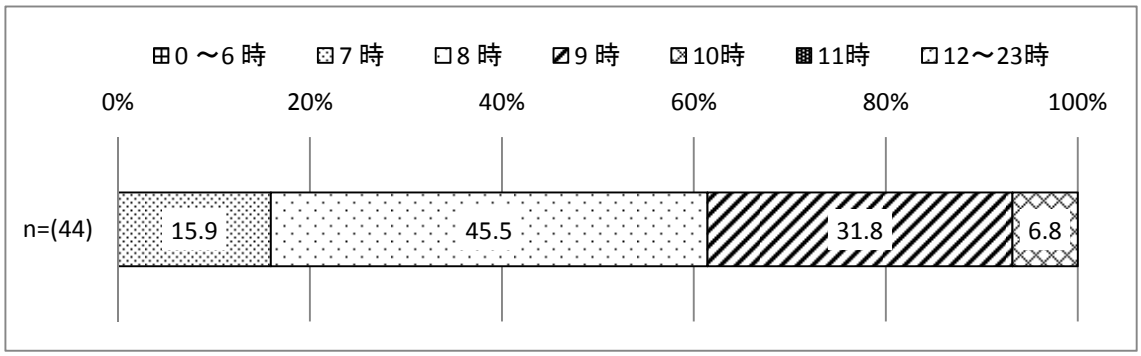
長期の休暇期間中の放課後保育クラブの利用希望については、「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」が 65.9%と多くを占めている。



◆夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の開始時刻の希望

【分析】

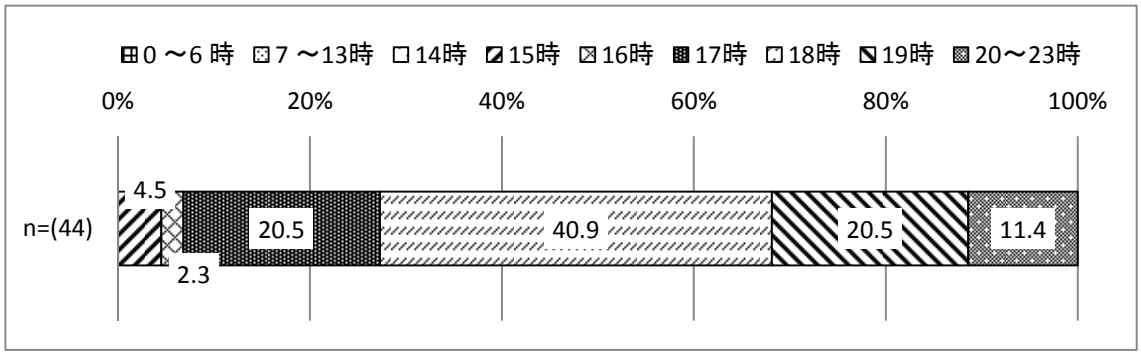
長期の休暇期間中の放課後保育クラブの開始時刻希望については、「8 時」が 45.5%と最も多く、次いで「9 時」が 31.8%となっている。



◆夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の終了時刻の希望

【分析】

長期の休暇期間中の放課後保育クラブの終了時刻希望については、「18 時」が 40.9%と最も多く、次いで「17 時」と「19 時」がともに 20.5%となっている。



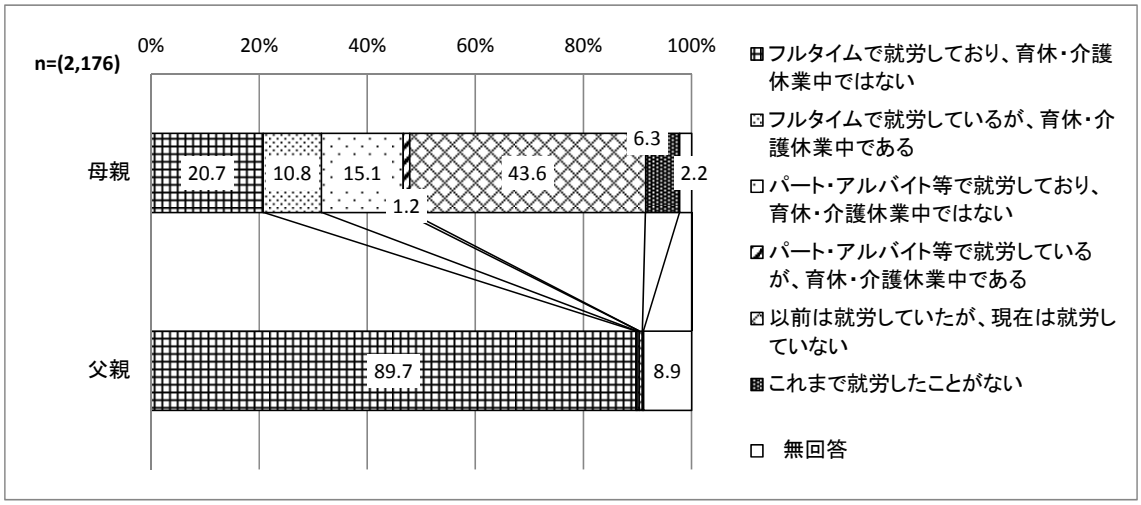
（１０）保護者の就労状況

問 39　保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

◆現在の就労状況

【分析】

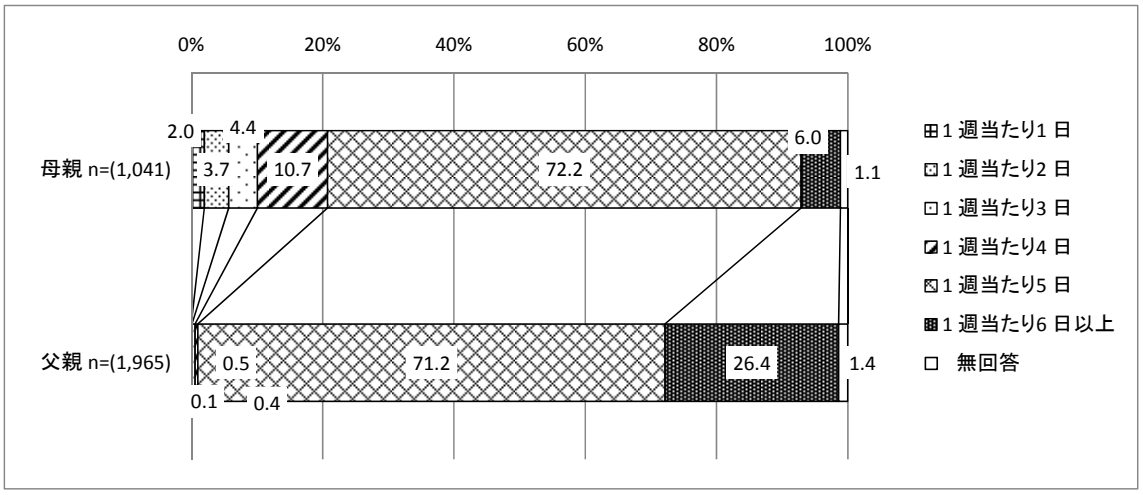
「母親」の就労率は 47.8%で、フルタイムでの就労率は産休等の休業も含め 31.5%となっている。「父親」は「フルタイムでの就労」が 89.7%と約 9 割を占めている。



◆１週当たりの「就労日数」

【分析】

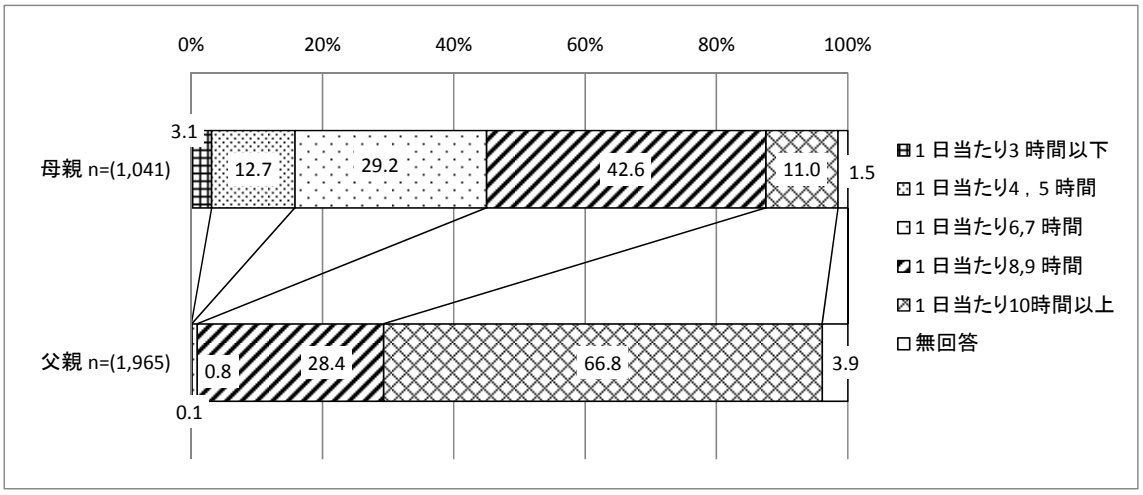
「母親」と「父親」で就労日数が週５日の割合は、それぞれ 72.2%、71.2%となっておりほぼ同じくらいである。



◆１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

【分析】

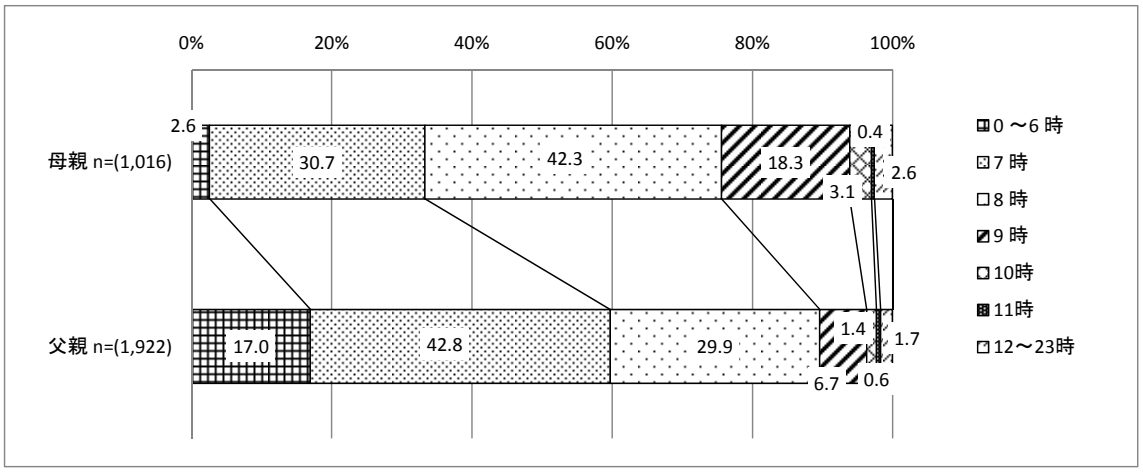
1 日あたりの就労時間は、8 時間以上が「母親」の場合で 53.6%。「父親」の場合は 95.2%となっている。



◆就労開始時刻

【分析】

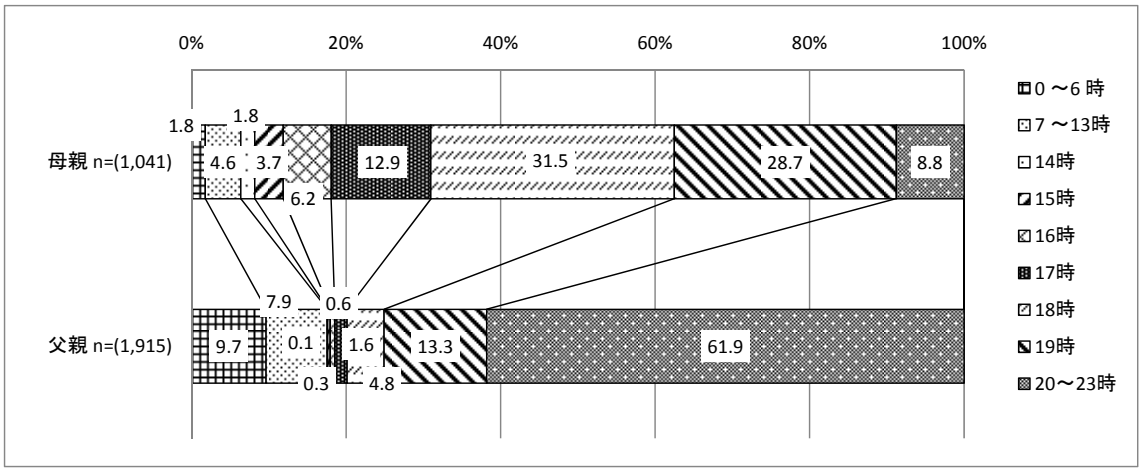
就労開始時間について、「母親」の場合は「8 時」が 42.3%と最も多く、「父親」の場合は「7 時」が 42.8%と最も多くなっている。



◆就労終了時刻

【分析】

就労終了時間について、「母親」の場合は「18 時」が 31.5%と最も多く、父親の場合は「20～23 時」が 61.9%と最も多くなっている。



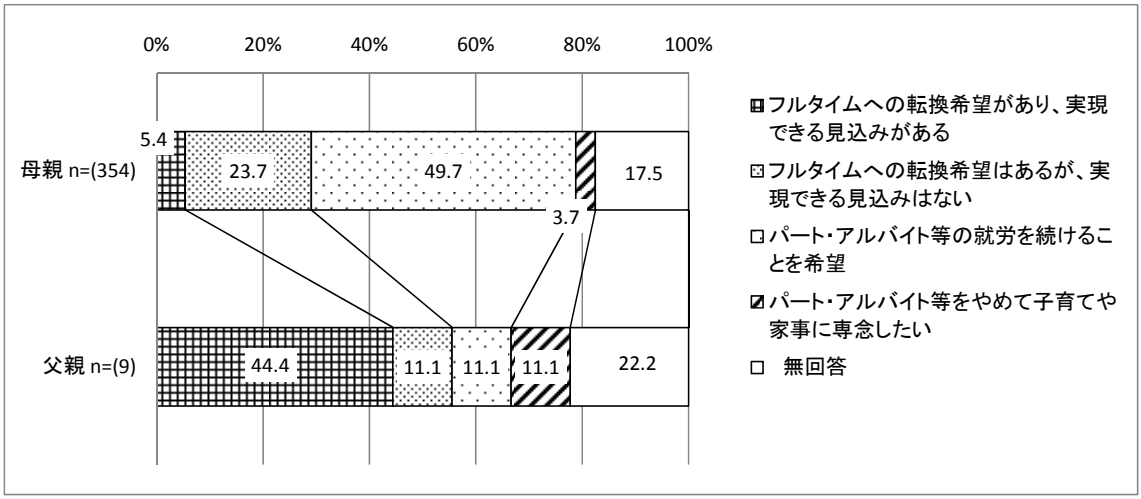
問 40　問 39 で「３．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「４．パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」に〇をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。

【分析】

フルタイムへの転換希望の割合は、「母親」で合計 29.1%であった。

パート・アルバイト就労希望の割合は、「母親」が 49.7%で約半数にのぼる。

また「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」割合は、「母親」で 3.7%となっている。

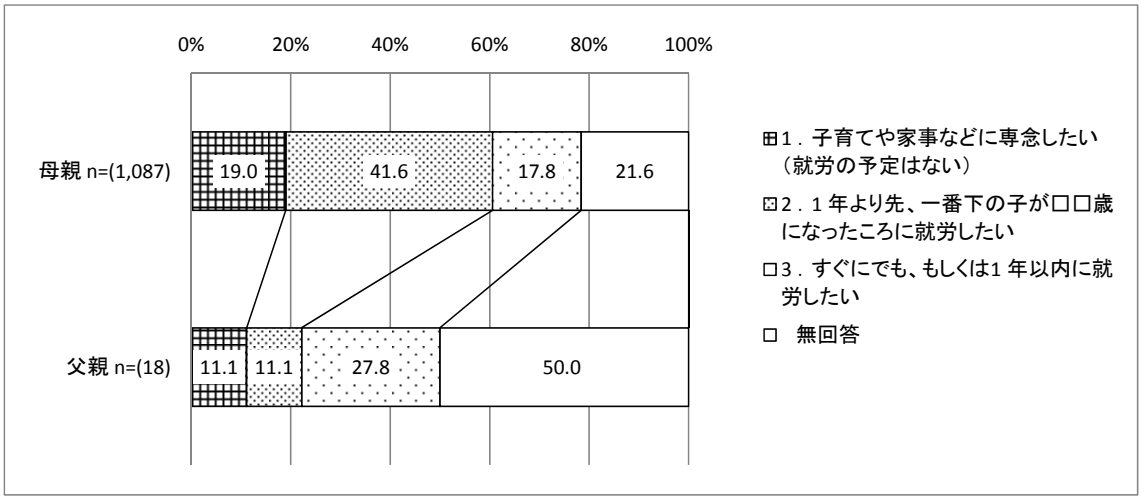


※父親は母数が少ないので参考値

問 41　問 39 で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に〇をつけた方にうかがいます就労したいという希望はありますか。

【分析】

「母親」で就労したいという希望の割合は、合計で 59.4%であった。

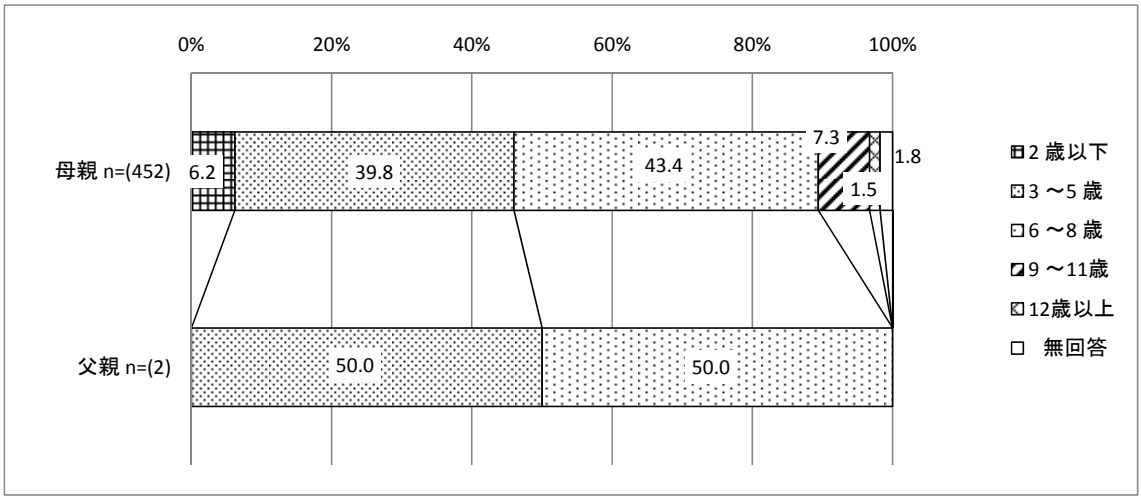


※父親は母数が少ないので参考値

問 41　就労したいという希望はありますか。◆１年より先、一番下の子が□□歳になったころに就労したい

【分析】

一番下の子が□□歳になったことに就労したいという希望について、「母親」の場合、「6～8 歳」が 43.4%と最も多くを占めた。

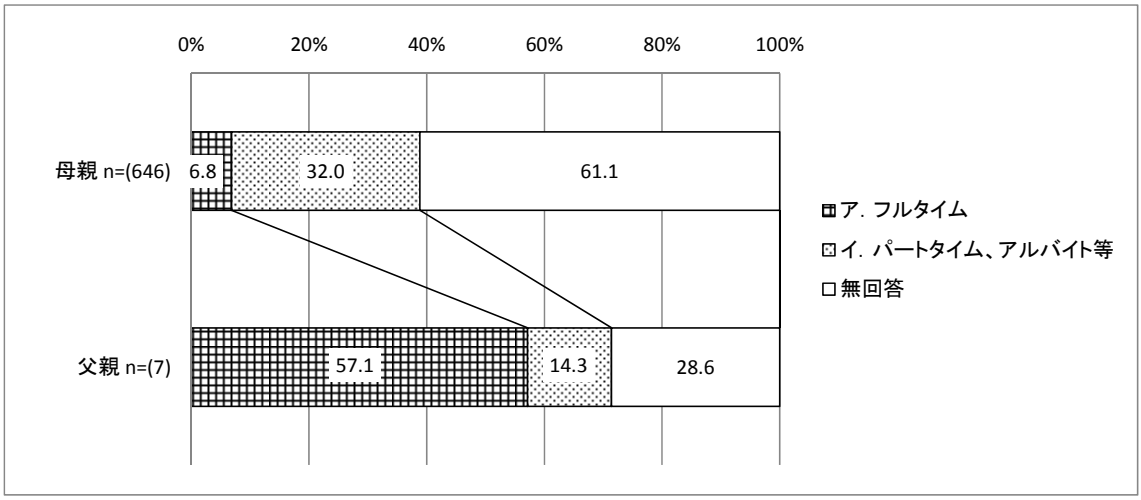


※父親は母数が少ないので参考値

問 41　就労したいという希望はありますか。　◆希望する就労形態

【分析】

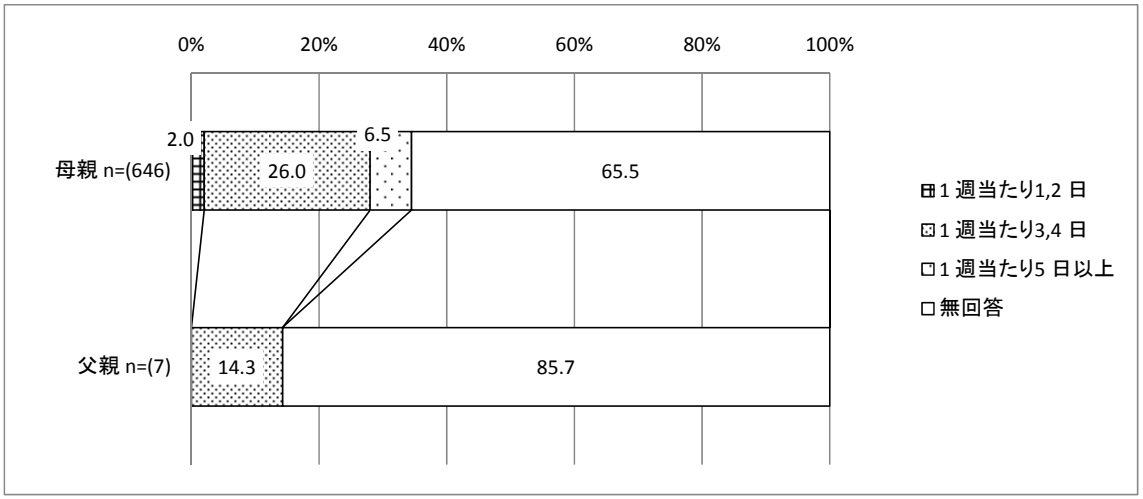
希望する就労形態について、「母親」の場合は「パートタイム、アルバイト」が 32.0%を占めている。



※父親は母数が少ないので参考値

問 41　就労したいという希望はありますか。　◆１週間当たりの日数

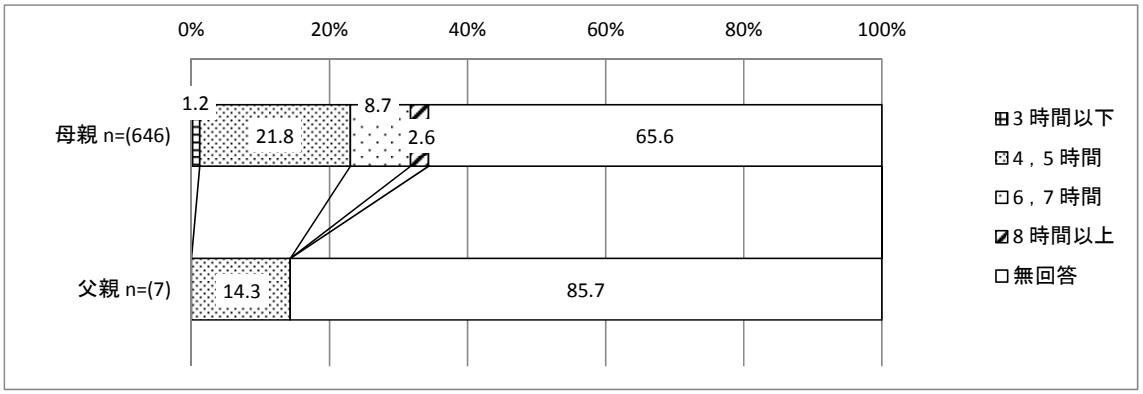
1 週間当たりの就労日数について、「母親」の場合は「1 週当たり 3，4 日」が 26.0%を占めている。



※父親は母数が少ないので参考値

問 41　就労したいという希望はありますか。　◆１日当たりの時間

1 日当たりの就労時間の希望について、「母親」の場合は「1 日当たり 4,5 時間」が 21.8%を占めている。



※父親は母数が少ないので参考値

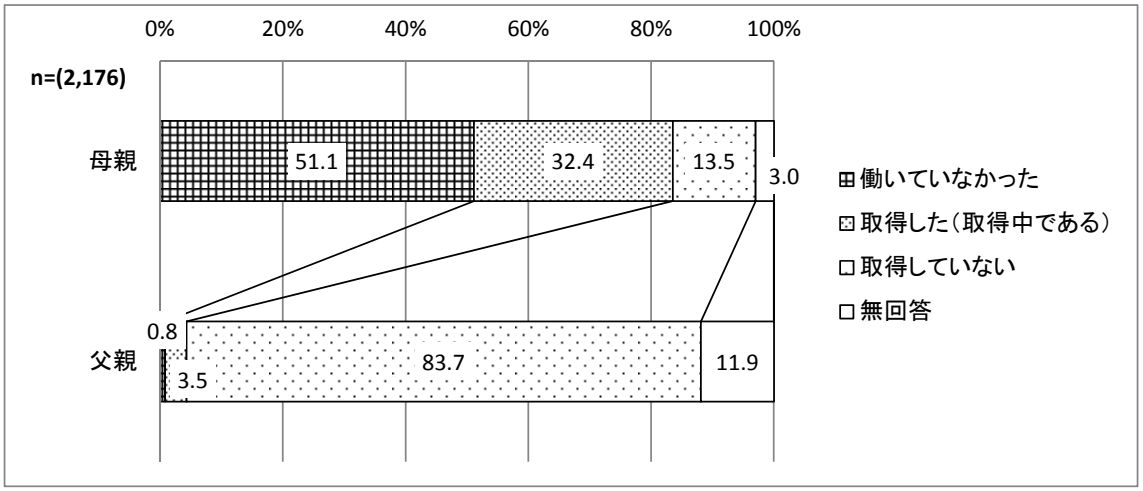
（１１）育児休業などの職場の両立支援制度

問 42　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。

【分析】

「母親」の「働いていなかった」割合は 51.1％で約半数。

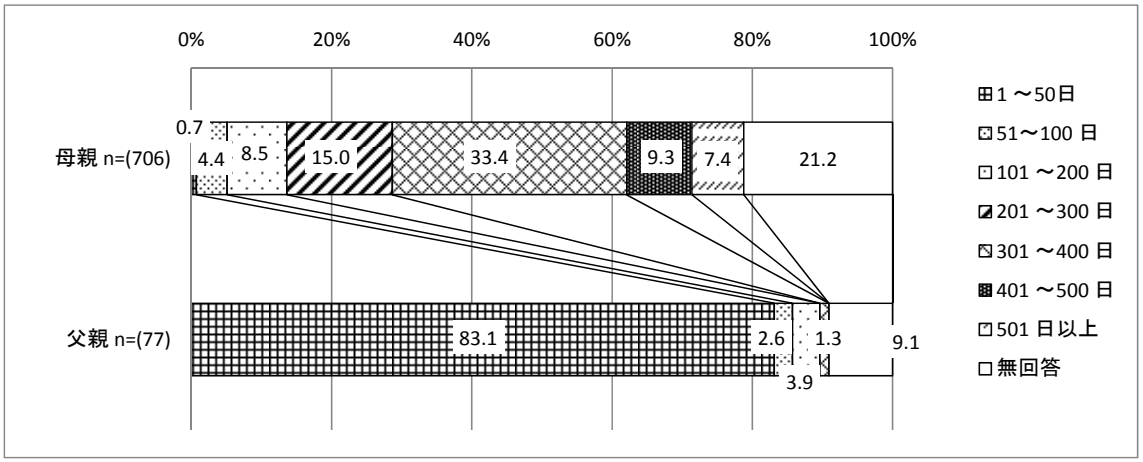
育児休暇の取得率は、「母親」が 32.4％となっており、「父親」の 3.5％の約 10 倍となっている。



問 42　育児休業　　◆育児休暇を取得した人の取得期間（日数）

【分析】

育児休業の取得期間の分布は、「母親」が「301～400 日」の 33.4％で最も多く、「父親」の場合は「1～50 日」の 83.1％が最も多い。

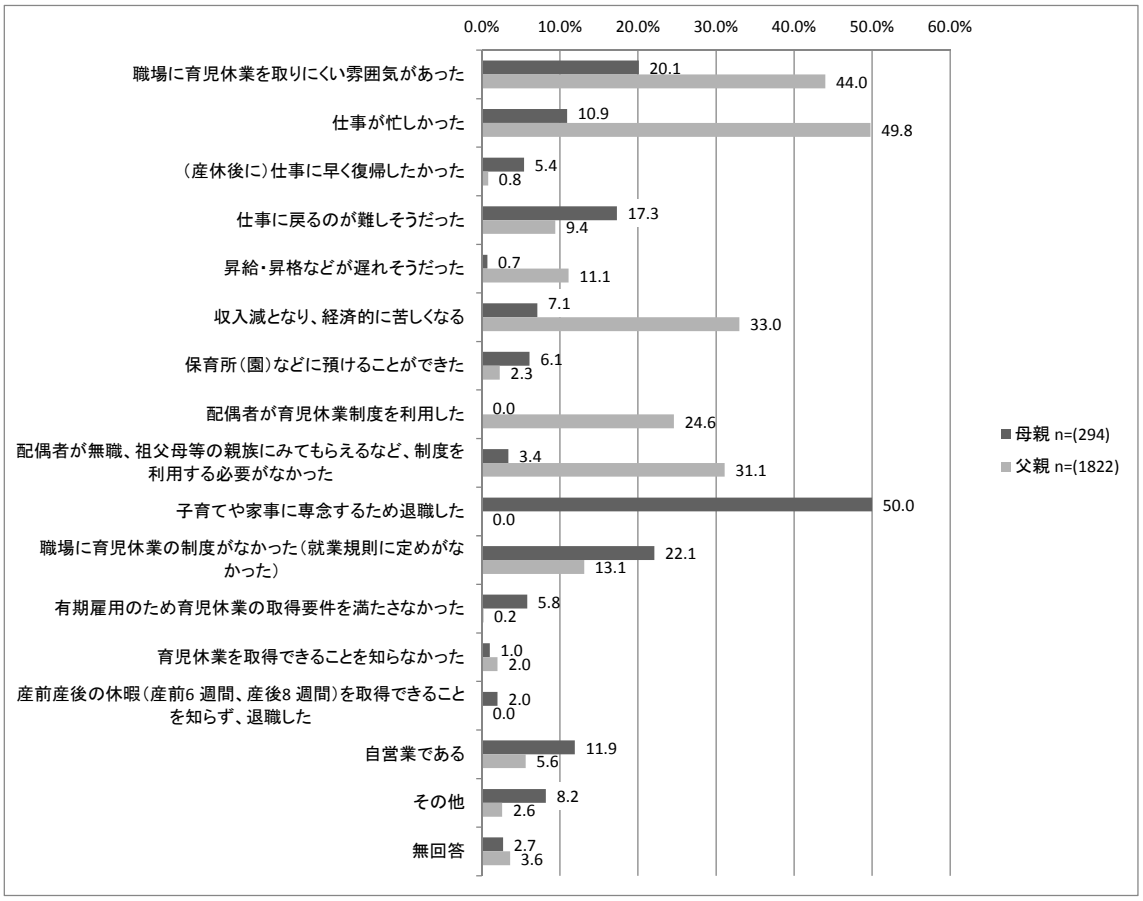


問 42　育児休業　　◆取得していない理由（複数回答）

【分析】

取得していない「父親」のうち、職場環境を理由としている割合は、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」で 44.0%、「仕事が忙しかった」で 49.8%となっており、「母親」よりもかなり高くなっている。同様に、取得していない理由に経済面や金銭面を挙げる割合も高い。

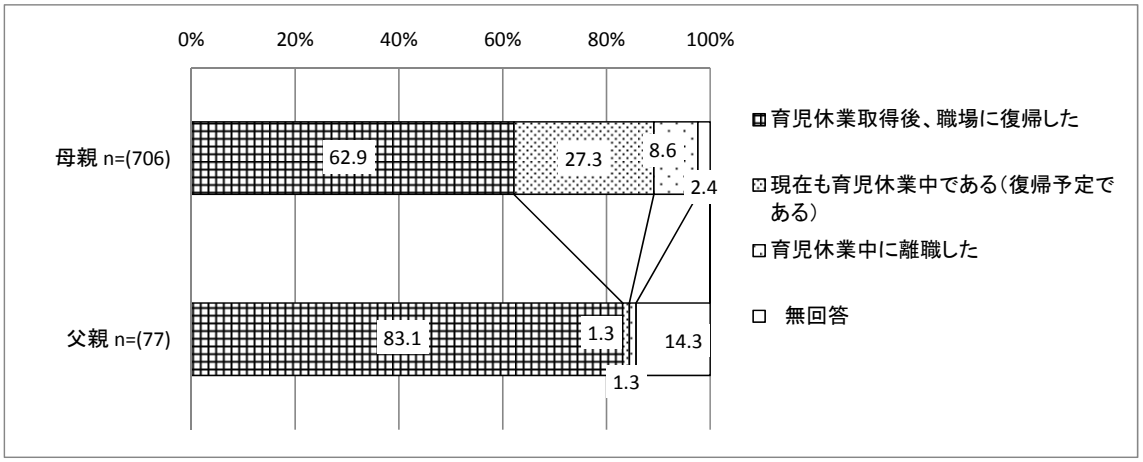
取得していない「母親」の半数が「子育てや家事に専念するため退職した」となっている。



問 43　問 42 で「２．取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

【分析】

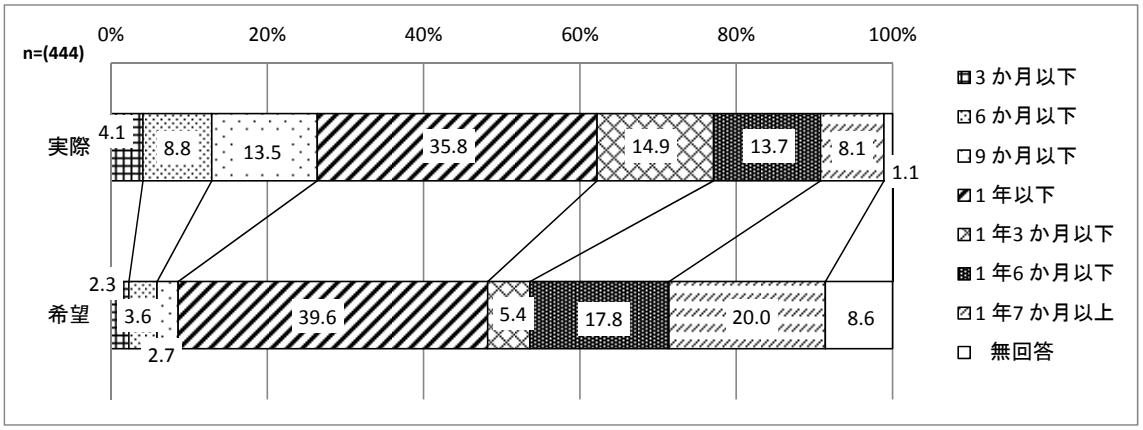
育児休業取得後の職場に復帰取得について、「母親」、「父親」ともに、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 62.9%、83.1%と最も多い。



問 44　問 43 で「育児休業後、職場に復帰した」に〇をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまでとりたかったですか。（母親）

【分析】

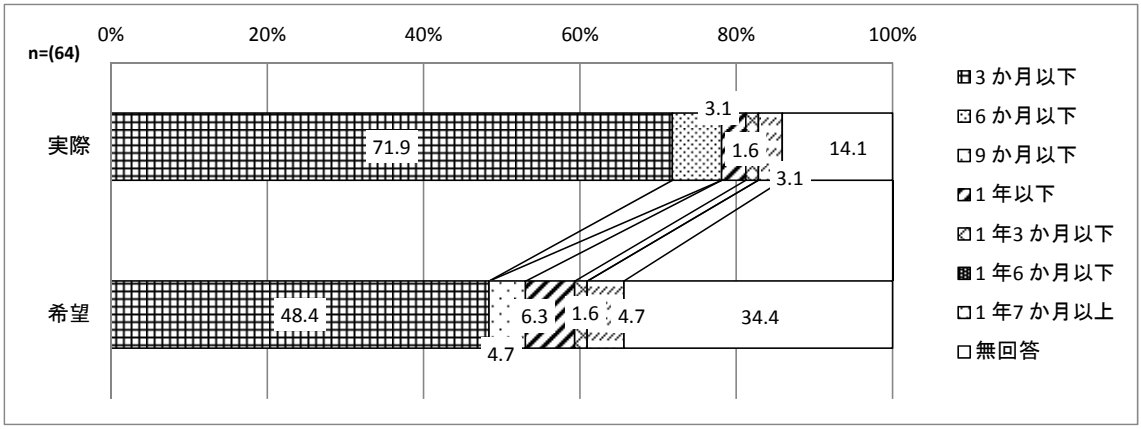
育児休業取得後の職場に復帰取得について、実際に「1 年以下」で復帰したのは 35.8%と最も多く、希望する育児休業も「1 年以下」が 39.6%でありほとんど変化は見られない。一方、実際に「1 年 6 ヶ月以下」で復帰したのは 13.7%であるが、希望する育児休業で「1 年 6 ヶ月以下」を選択した割合は 17.8%を占めており、増加している。



問 44　問 43 で「育児休業後、職場に復帰した」に〇をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまでとりたかったですか。（父親）

【分析】

育児休暇期間は「３か月以下」が、「実際」「希望」のそれぞれで 71.9%、48.4%となっており、高い割合を示している。「実際」と「希望」の両方で、「母親」よりも「３か月以下」を取得した割合が高い。

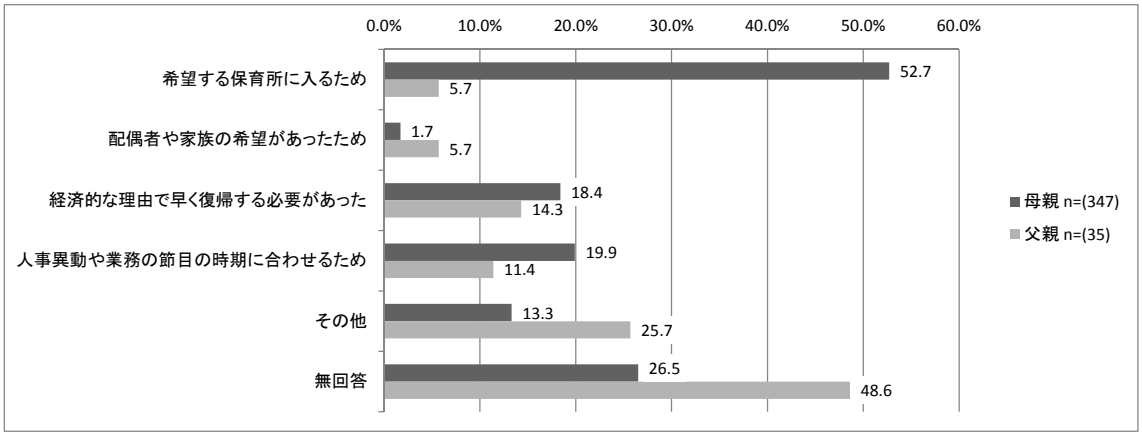


問 45　問 44 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

◆「希望」より早く復帰した方（複数回答）

【分析】

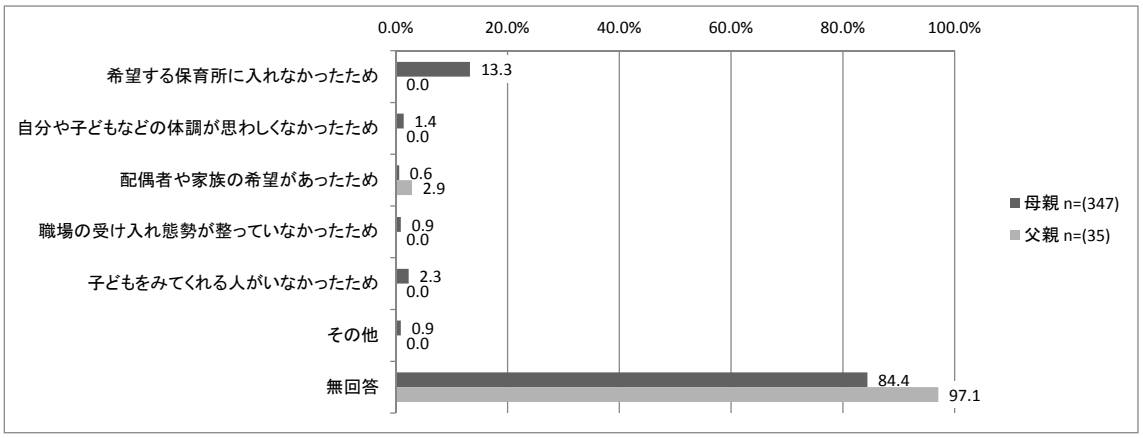
「希望」より早く復帰した方のうち、「母親」では、「希望する保育所に入るためが」52.7%最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 19.9%となっている。



◆「希望」より遅く復帰した方（複数回答）

【分析】

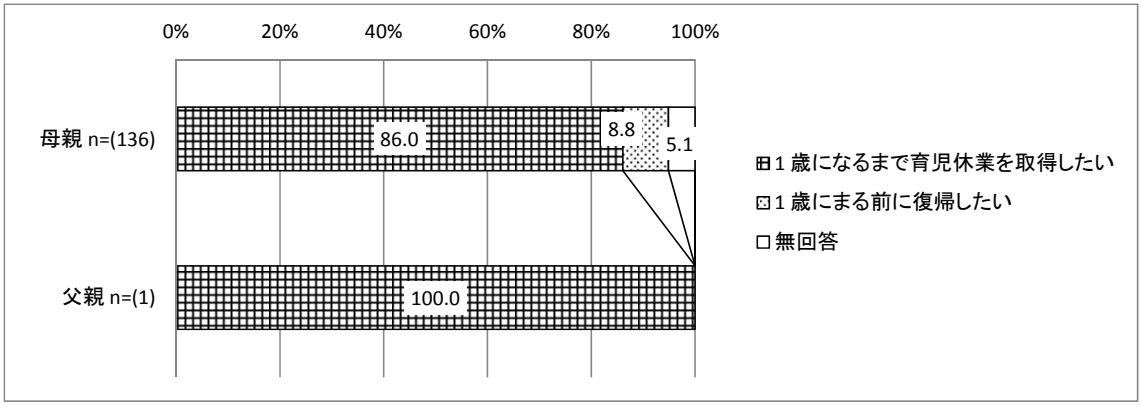
「希望」より遅く復帰した方は、「母親」の「希望する保育所にはいれなかったため」が 13.3%と他の回答より突出して多くなっている。



問 46　問 41 で「2. 現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが 1 歳未満の方にうかがいます。お子さんが 1 歳になったときに必ず預けられる保障（保育園の入園など）があれば、1 歳になるまで育児休業を取得したいですか。または、預けられる保障があっても 1 歳になる前に復帰したいですか。

【分析】

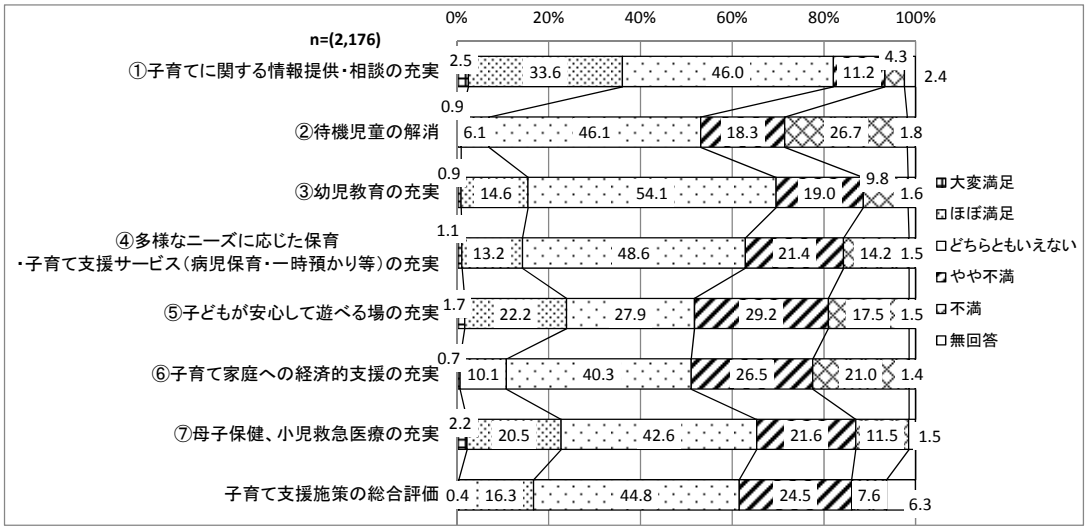
「母親」では「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 86.0%となっている。



※父親は母数が少ないので参考値

（１２）子育て支援施策に対する「満足度」

問 47　市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をお伺いします。下記の①～⑦のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されていますか。



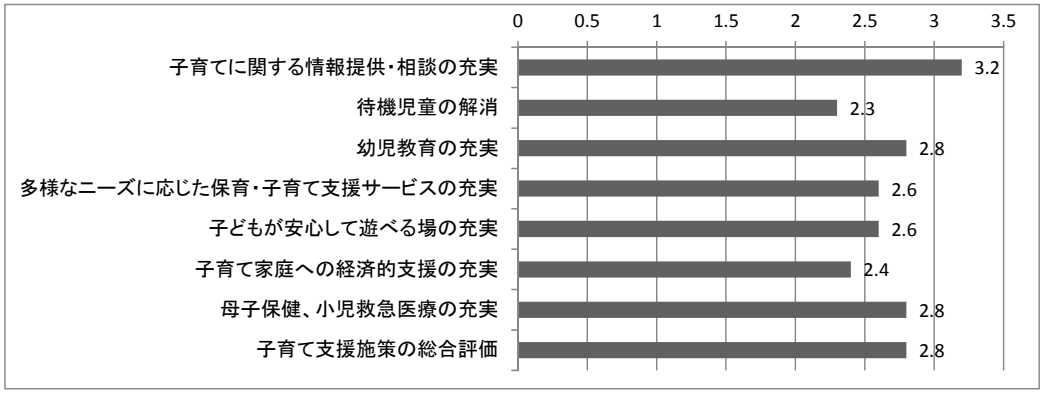
◆満足度の点数化

満足の度合いにより、右表の基準を基に、各支援施策別に平均点を算出した。

大変満足	5点
ほぼ満足	4点
どちらともいえない	3点
やや不満	2点
不満	1点

【分析】

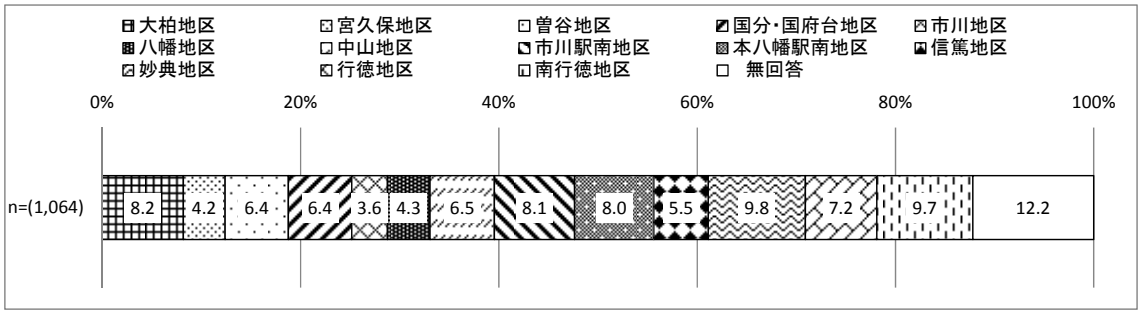
市の子育て支援施策に対する満足度は「子どもに関する情報提供・相談の充実」が 3.2 点で最も高く、次いで「幼児教育の充実」、「母子保護、小児救急医療の充実」、「子育て支援施策の総合評価」がともに 2.8 点となっている。



２－２　小学生（１～６年生）のいる世帯

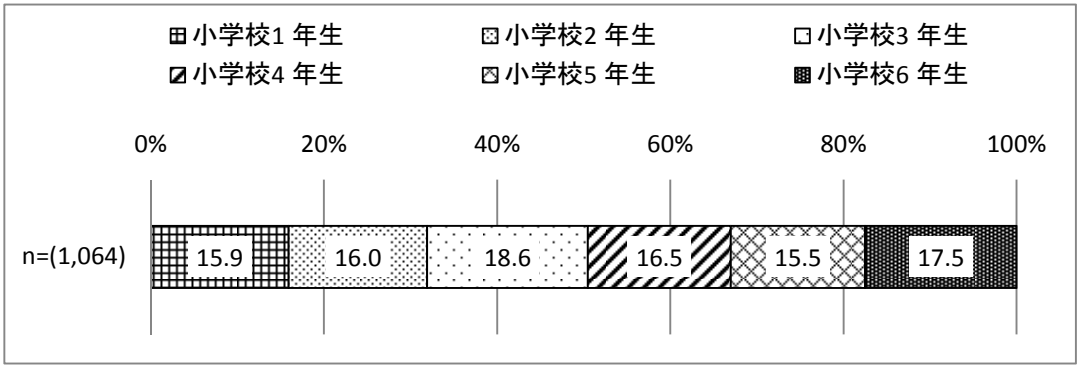
（１）居住地区

問１　お住まいの地区はどこですか。

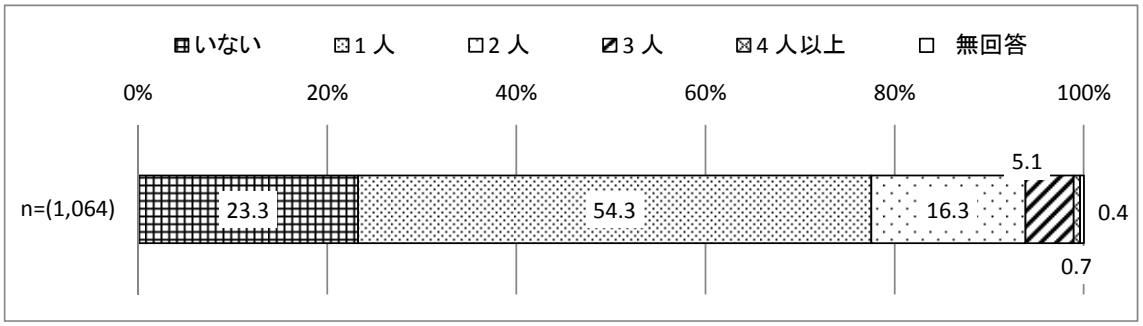


（２）子どもと家族の状況

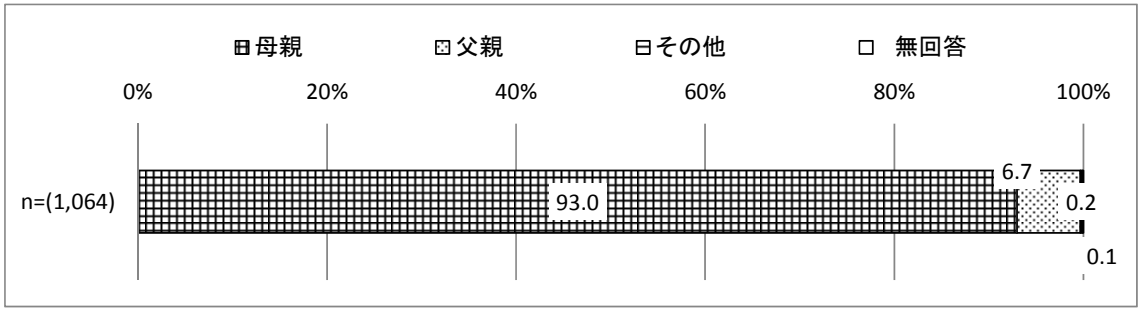
問 2　お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。）の学年は何年生ですかですか。



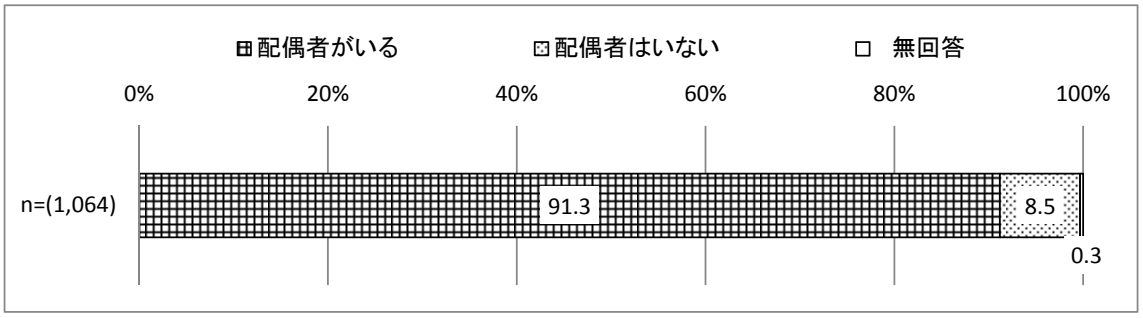
問 3　お子さんのきょうだいは何人いますか。



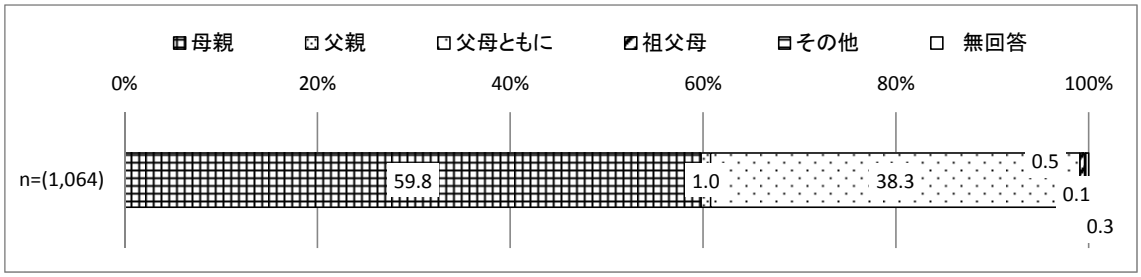
問 4　この調査票に記入されているのはどなたですか。



問 5　この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。



問 6　お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。

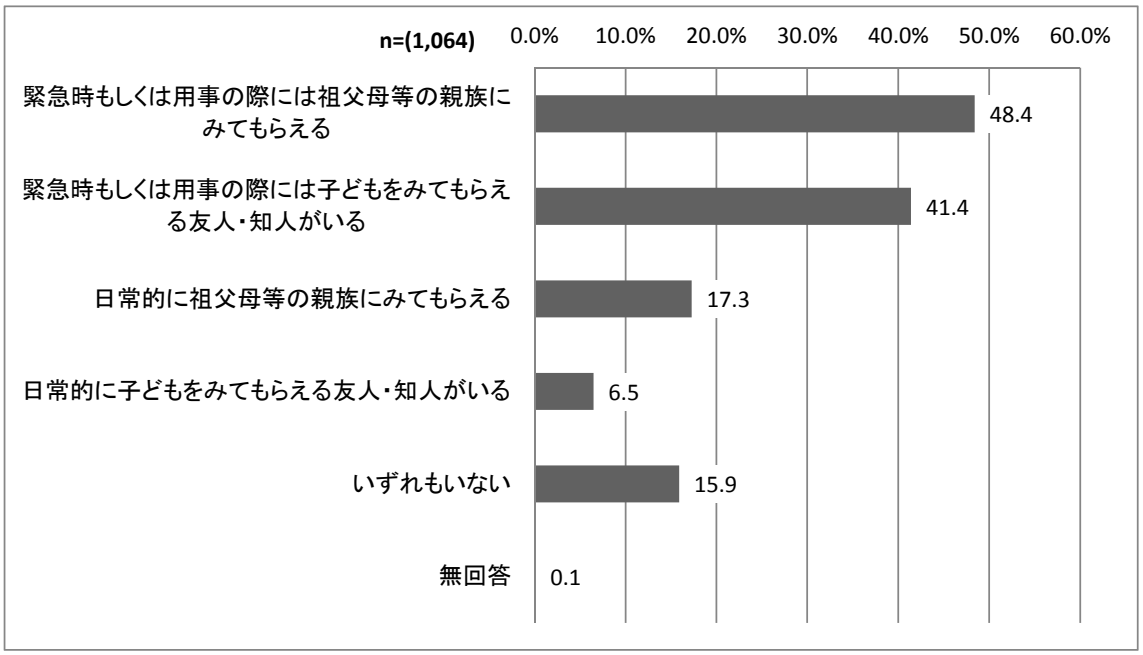


（３）子育て環境

問７　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

【分析】

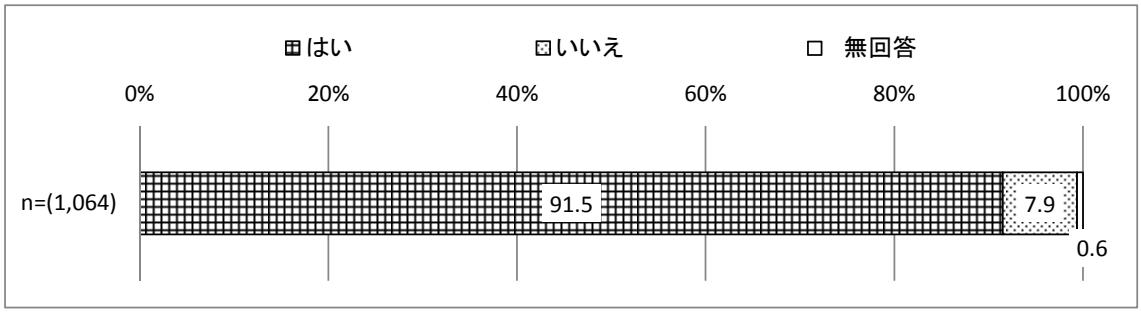
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 48.4%で最も多く、次いで「緊急時にもしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 41.4%となっている。



問８　お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか（いますか）。

【分析】

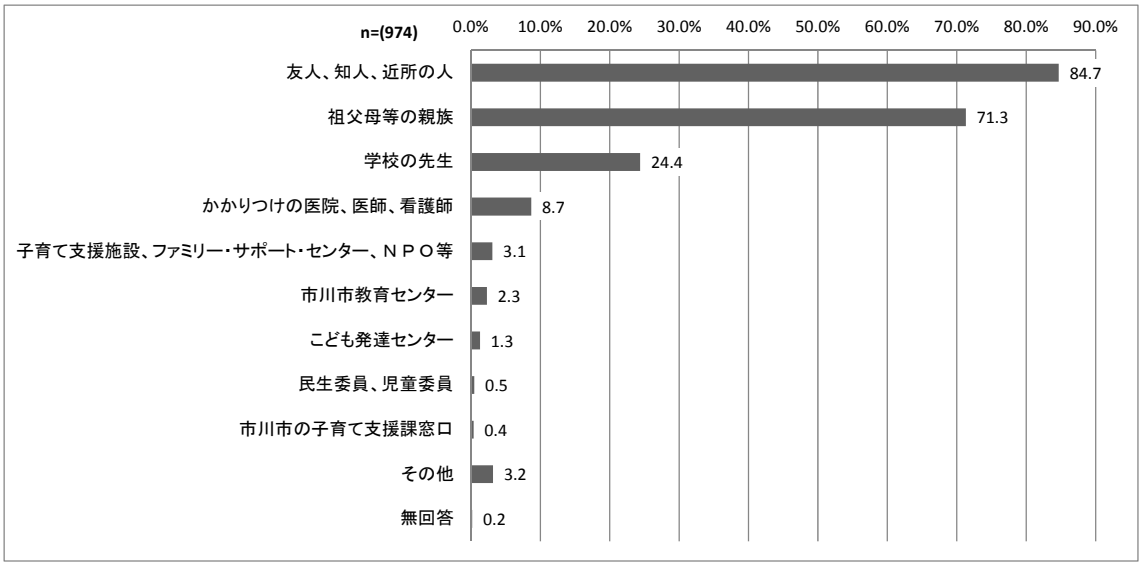
お子さんの子育てをする上で､気軽に相談できる人や相談できる場所があるかについては、「はい」が 91.5%、「いいえ」が 7.9%となっている。



問９　問８で「１．はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答）

【分析】

気軽に相談できる先として、「友人、知人、近所の人」が 84.7%で最も多く、「祖父母等の親族」の割合 71.3%を上回っている。

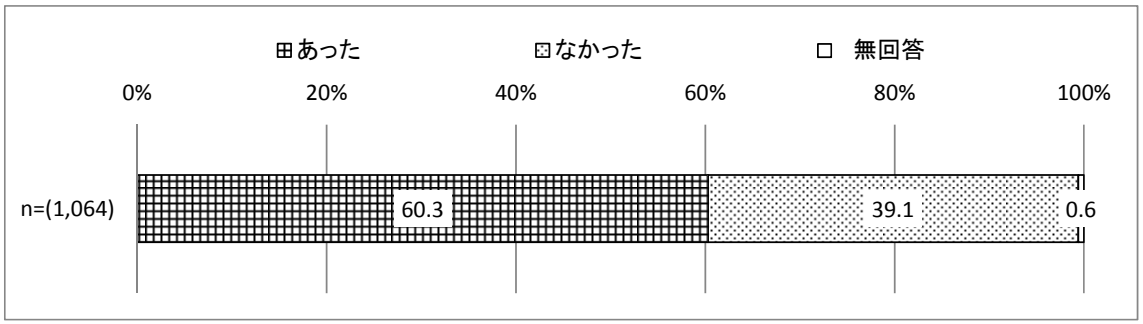


（４）病気の際の対応

問 11　この 1 年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはありますか。

【分析】

この 1 年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはあるかについては、「はい」が 60.3％で、過半数を超えている。

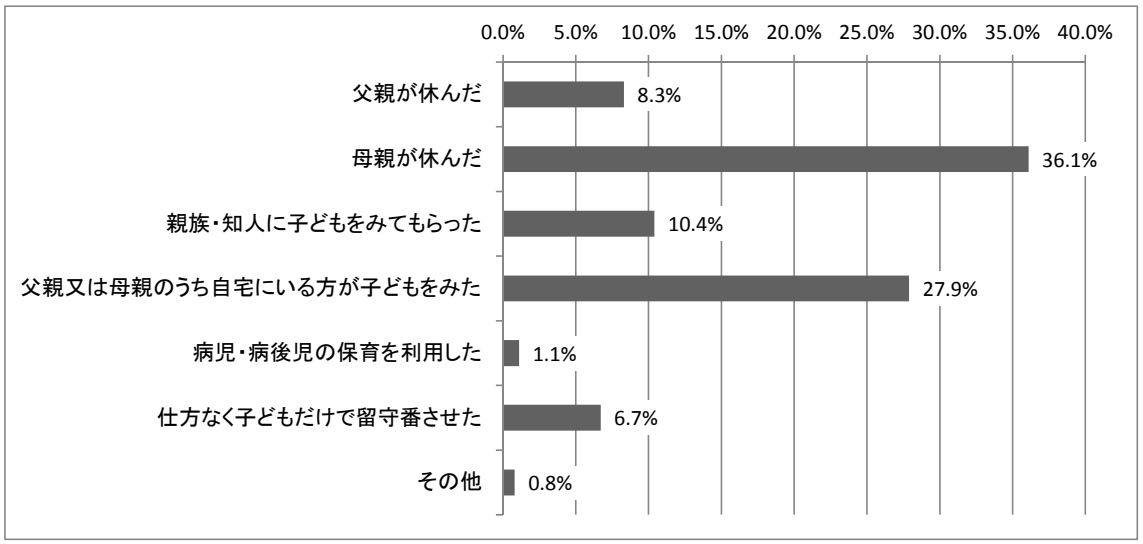


問 12　お子さんが病気やケガで小学校を欠席した場合に、この 1 年間に行った対処方法ごとをご記入ください。

【分析】

教育・保育事業が利用できなかった場合、「母親が休んだ」と答えたのが 36.1％、「父親が休んだ」は 8.3％。「親族・知人」にみてもらったと答えたのが 10.4％。

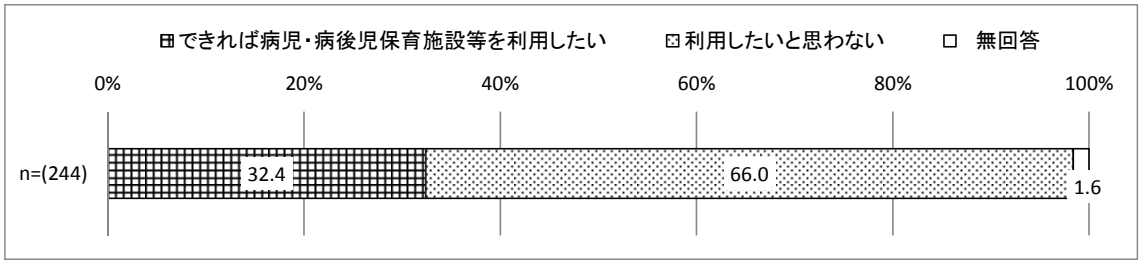
「病児・病後児の保育を利用した」と答えたのは 1.1％。



問 13　問 12 で「ア．父親が休んだ」「イ．母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

【分析】

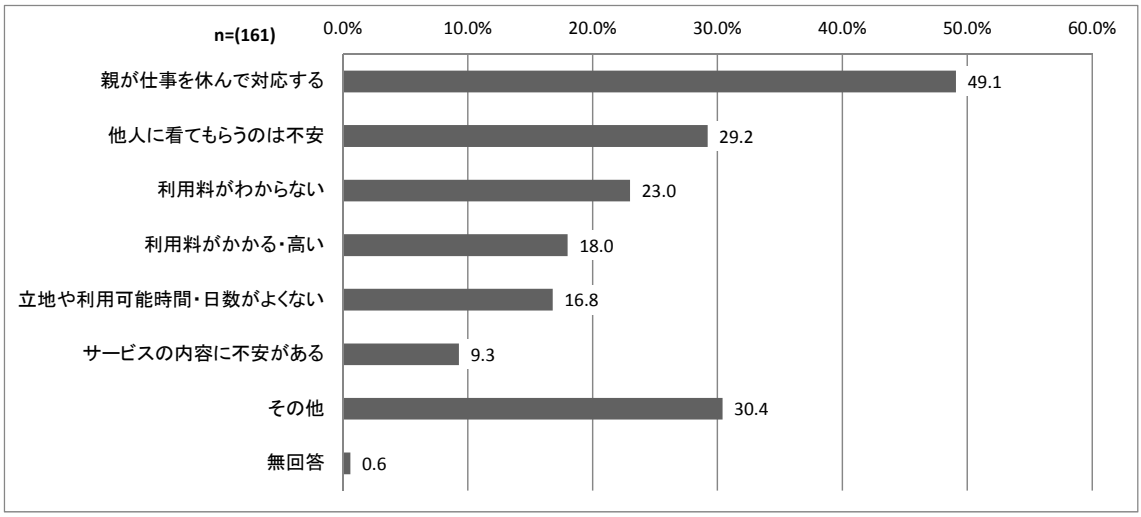
できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思うかについては、「「いいえ」が 66.0%、「はい」が 32.4%となっている。



問 14　問 13 で「２．利用したいと思わない」に〇をつけた方にうかがいます。そう思われる理由についてお答えください。（複数回答）

【分析】

「利用したいと思わない」理由として、「親が仕事を休んで対応する」と答えたのは 49.1%で半数に近い。次いで多いのが「他人に看てもらうのは不安」の 29.2%で、全体の約３分の１。



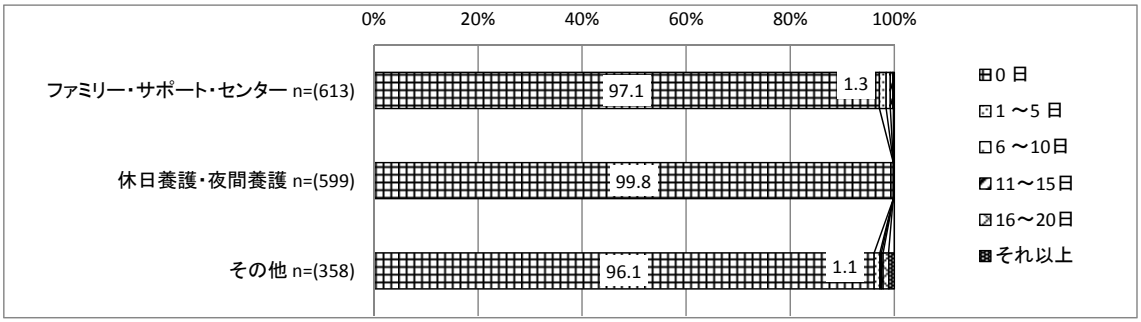
（５）不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 15　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。

◆不定期の一時預かりについて利用している日数（年間）Ａ欄（現在）

【分析】

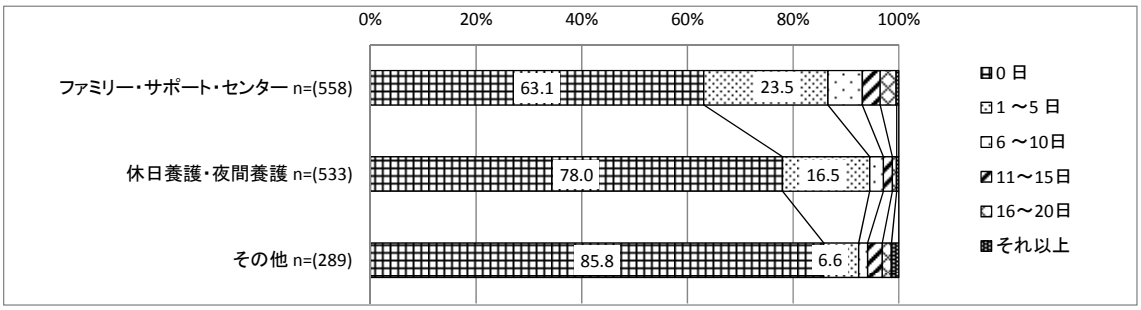
不定期の一時預かりについて利用している日数（年間）Ａ欄（現在）については、「０日」がそれぞれ 9 割を超えている。



◆休日養護・夜間養護　利用日数（年間）Ｂ欄（希望）

【分析】

休日養護・夜間養護　利用日数（年間）Ｂ欄（希望）については、「０日」は「ファミリー・サポート・センター」で 63.1%、「休日養護・夜間養護」で 78.0%となり、「１～５日」は「ファミリー・サポート・センター」で 23.5%、「休日養護・夜間養護」で 16.5%となっている。



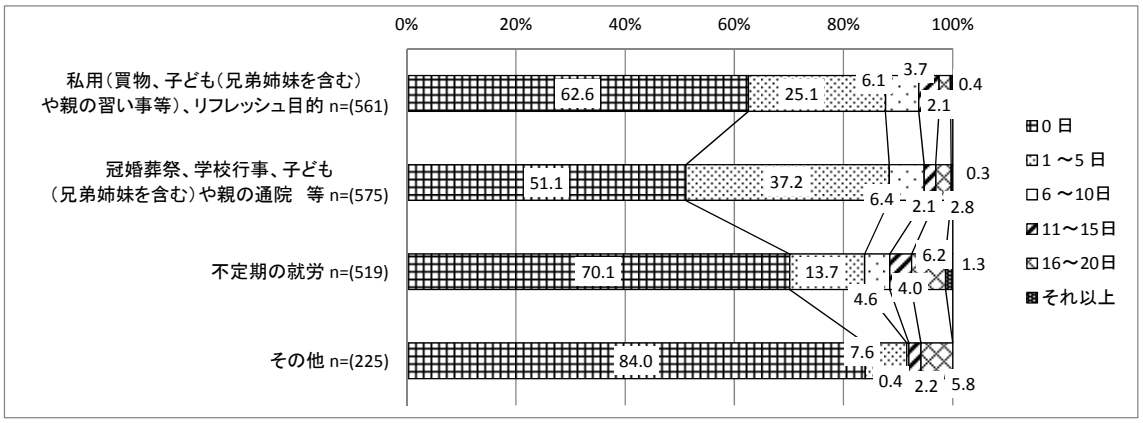
問 16　問 15 の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思いますか。

◆目的ごとの利用希望日数（年間）

【分析】

どの項目も半数もしくはそれ以上の割合で年間利用日数が０日。

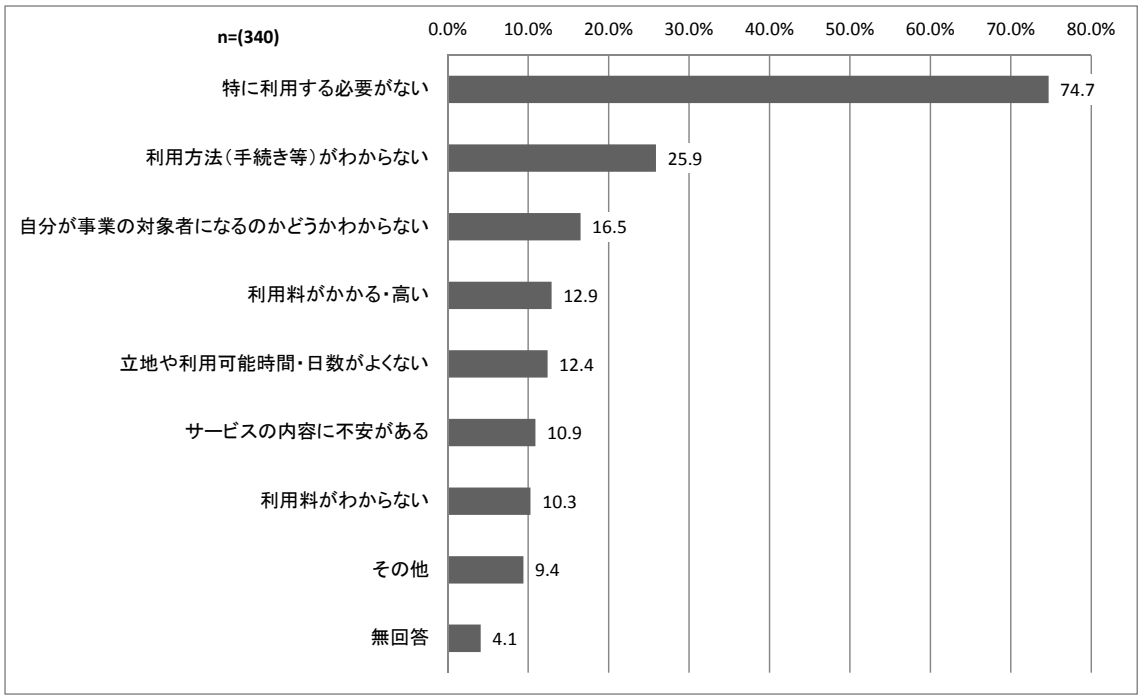
「冠婚葬祭や学校行事、子どもや親族の通院等」の理由では、「１～５日」で 37.2%となっており他の項目と比べ利用日数では一番多い。



問 17　問 15 のＡ欄（現在）で全ての項目について「1. 年間利用日数：０日」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。（複数回答）

【分析】

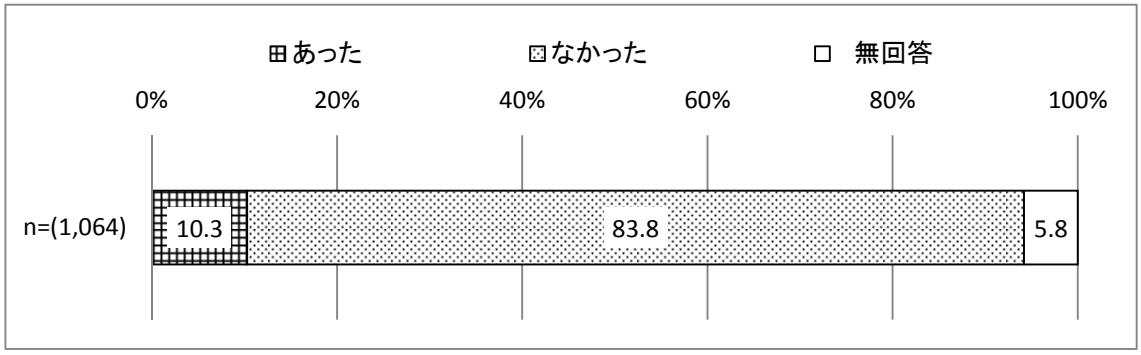
「特に利用する必要がない」を除くと、「利用方法（手続き等）わからない」が 25.9％で最も多い。



問 18　この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

【分析】

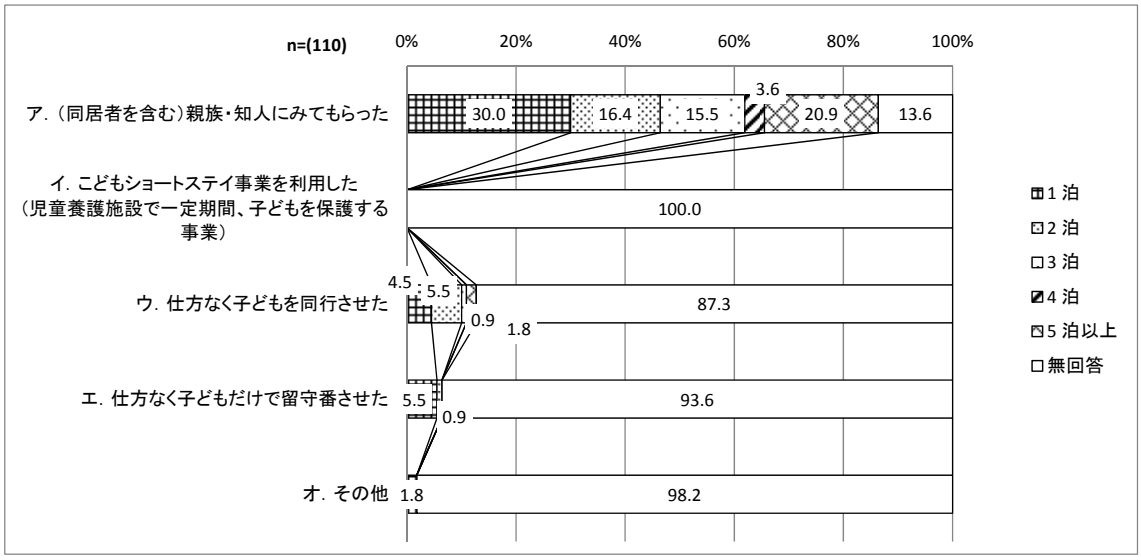
１年間に、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったかについては、「なかった」が 83.8%、「あった」が 10.3%となっている。



問 18　◆保護者の用事により、お子さんを泊まりがけで家族以外に見てもらった日数

【分析】

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」は「１泊」が 30.0%で最も多く、次いで５泊以上」が 20.9%、「３泊」が 16.4%、「２泊」が 15.5%となっている」。



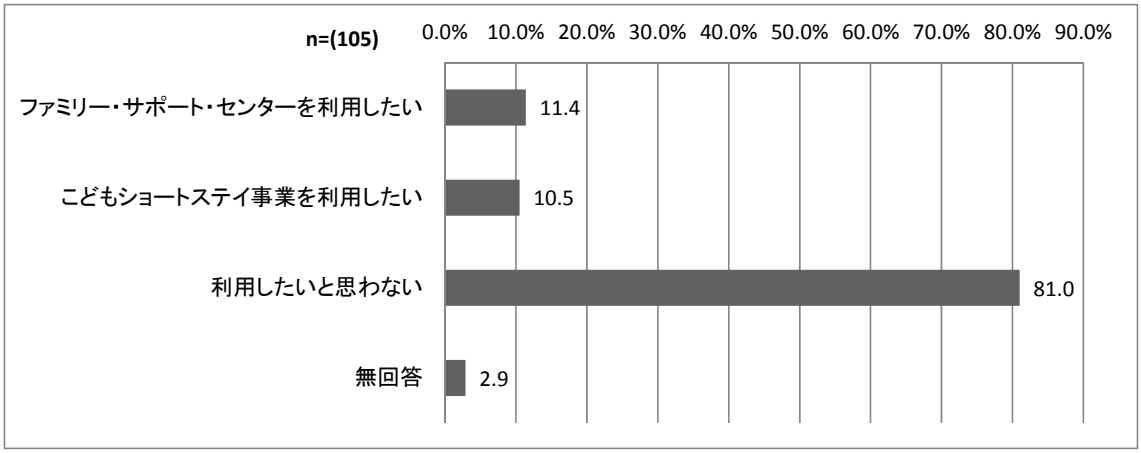
※「こどもショートステイ事業を利用した」は、該当データなし

※「仕方なく子どもを同行させた」、「仕方なく子どもだけで留守番させた」、「その他」は、無回答が多いので参考値

問 19　問 18 で「１．あった　ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった、ウ．仕方なく子どもを同行させた、エ．仕方なく子どもだけで留守番させた」のいずれかを回答した方にうかがいます。今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。（複数回答）

【分析】

「使用したいと思わない」が 81.0％で最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センターを利用したい」が 11.4％、「こどもショートステイ事業を利用したい」が 10.5％となっている。



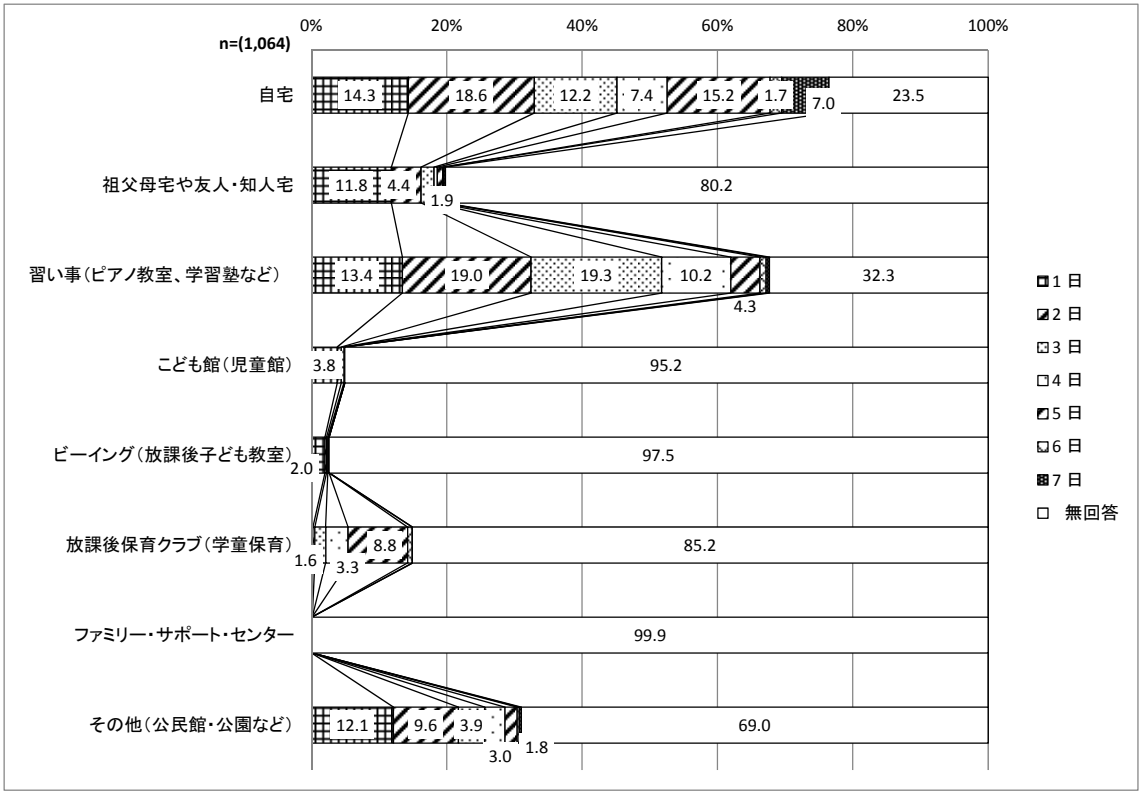
（６）放課後の過ごし方

問 20　お子さんについて、放課後の時間を現在どのような場所で過ごさせていますか。また希望としてはどのように過ごさせたいですか。現在の状況をＡ欄に、希望をＢ欄に（現在の状況と同じ場合には記載不要です）、それぞれの内容ごとに１週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」については利用を希望する時間も数字でご記入ください。

◆お子さんの放課後の過ごし方（現在の状況）

【分析】

放課後を自宅で過ごす日数は「１日」、「２日」、「３日」合わせて 41.5%。放課後習い事に通わせているのは「１日」、「２日」、「３日」合わせて 51.7%で約半数となっている。

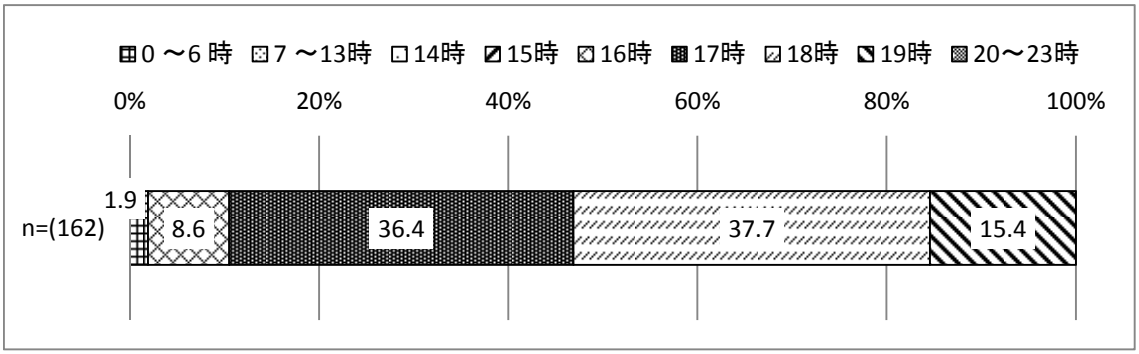


※ファミリー・サポート・センターは母数が少ないので参考値

問 20　　◆放課後保育クラブ（現在の状況）：終了時刻

【分析】

放課後保育クラブの終了時刻は「１８時」が 37.7%で最も多くなっている。

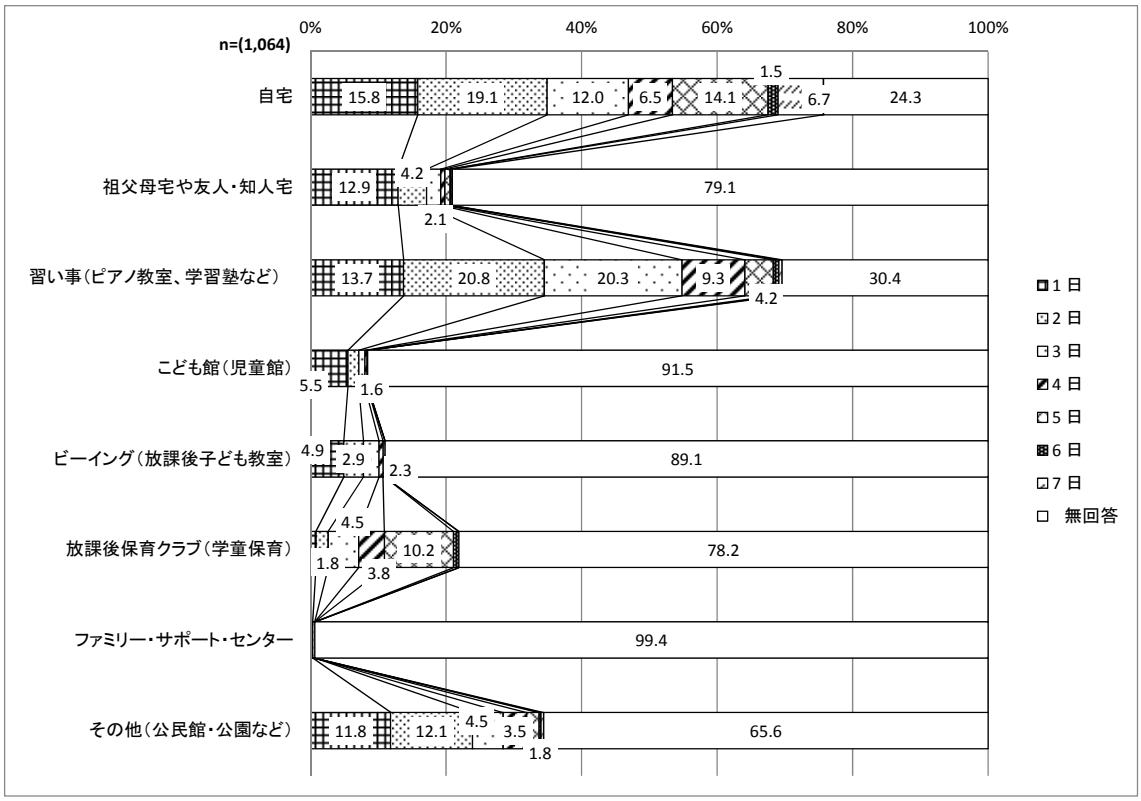


問 20　◆お子さんの放課後の過ごし方（希望）

【分析】

自宅で１～３日過ごすことを希望する割合は 46.9%。

習い事に１～３日通わせたい割合は合わせて 54.8%で約半数。

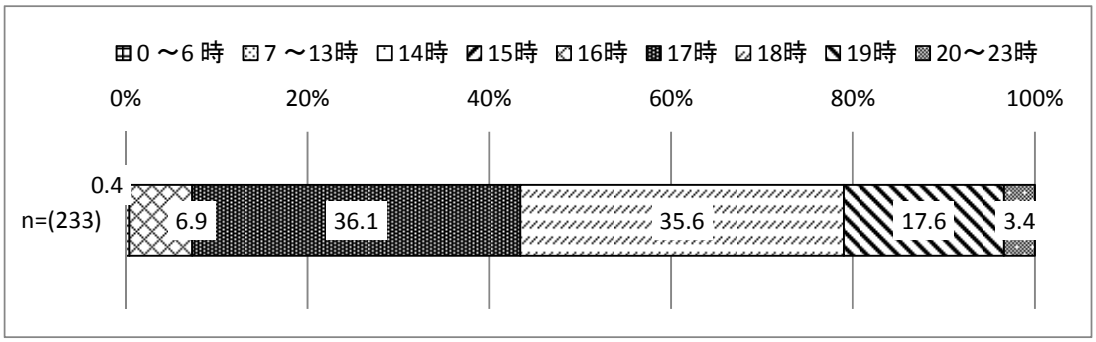


※ファミリー・サポート・センターは母数が少ないので参考値

問 20　◆放課後保育クラブ（希望）：終了時刻

【分析】

終了時刻を１７時以降に希望する割合は 92.7%、１８時以降に希望する割合は 56.6%。

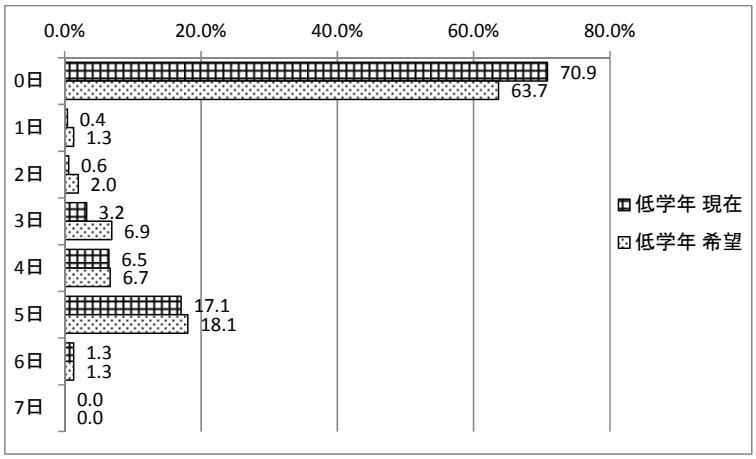


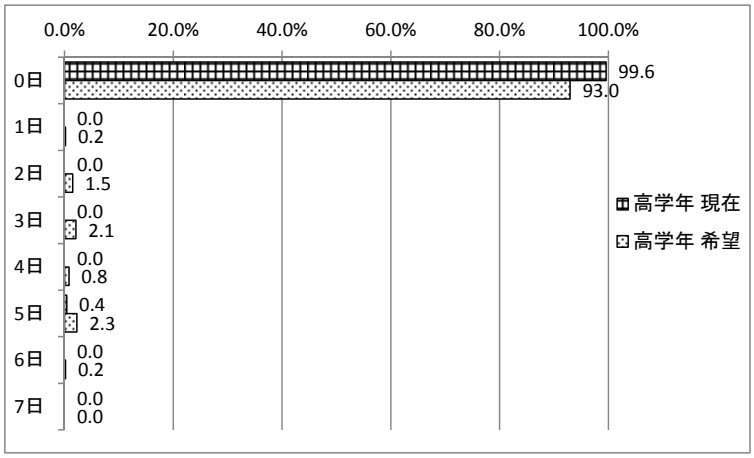
問 20　　◆放課後保育クラブの低学年・高学年の区分ごとの現在・希望

【分析】

放課後保育クラブの現在・希望については、「５日」は「現在」が 17.1%、「希望」が 18.1%となっている。

週あたり日数	低学年（n＝537）		高学年（n＝527）	
	現在	希望	現在	希望
無回答・0 日	70.9%	63.7%	99.6%	93.0%
1 日	0.4%	1.3%	0.0%	0.2%
2 日	0.6%	2.0%	0.0%	1.5%
3 日	3.2%	6.9%	0.0%	2.1%
4 日	6.5%	6.7%	0.0%	0.8%
5 日	17.1%	18.1%	0.4%	2.3%
6 日	1.3%	1.3%	0.0%	0.2%
7 日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

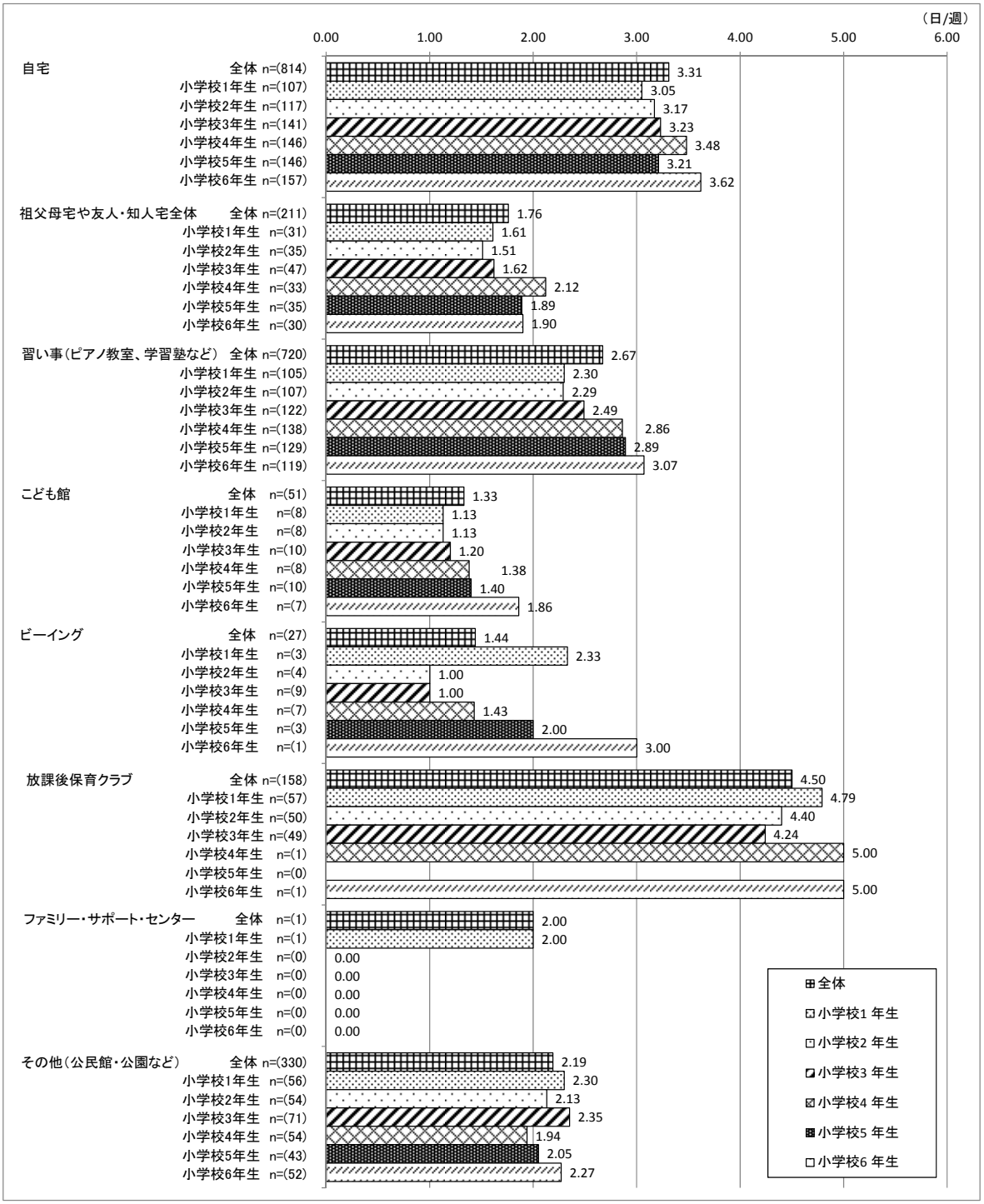




問 20　◆学年区分別放課後の過ごし方現在の状況（まとめ）

【分析】

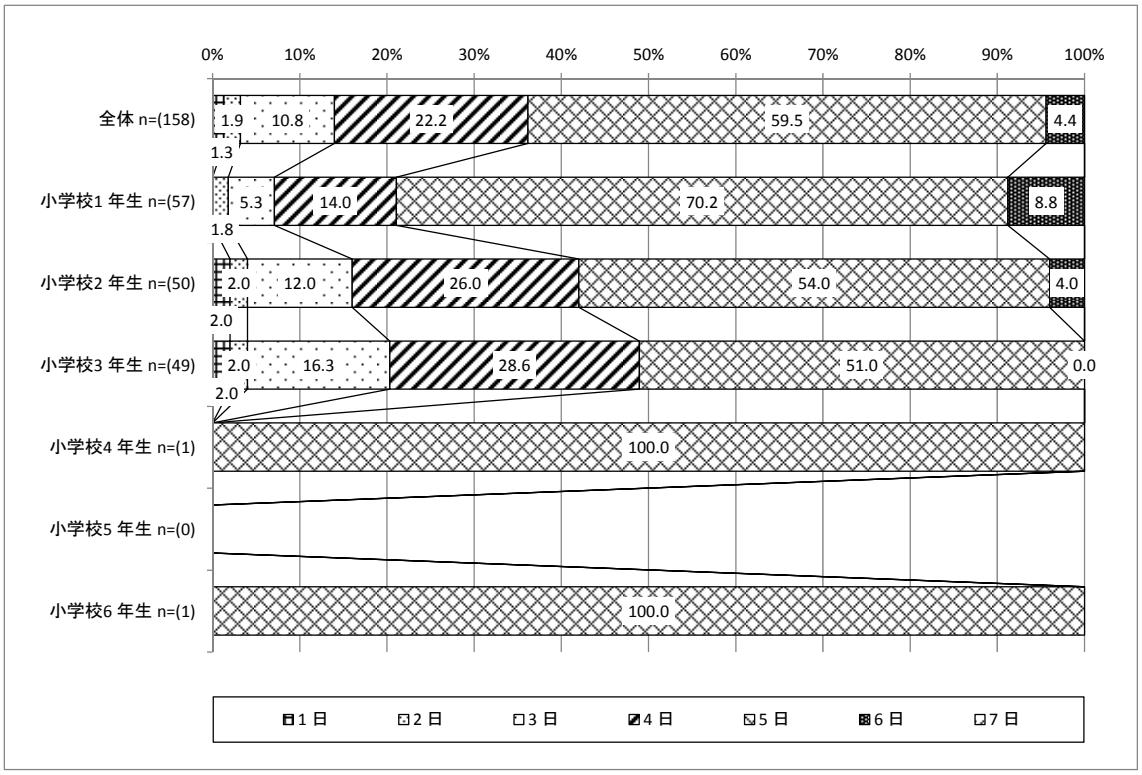
「全体」では、「放課後保育クラブ」が 4.50 日で最も多く、次いで「自宅」が 3.31 日、「習い事(ピアノ教室、学習塾など)」が 2.67 日となっている。



問 20　　◆放課後保育クラブ：Ａ欄（現在の状況）

【分析】

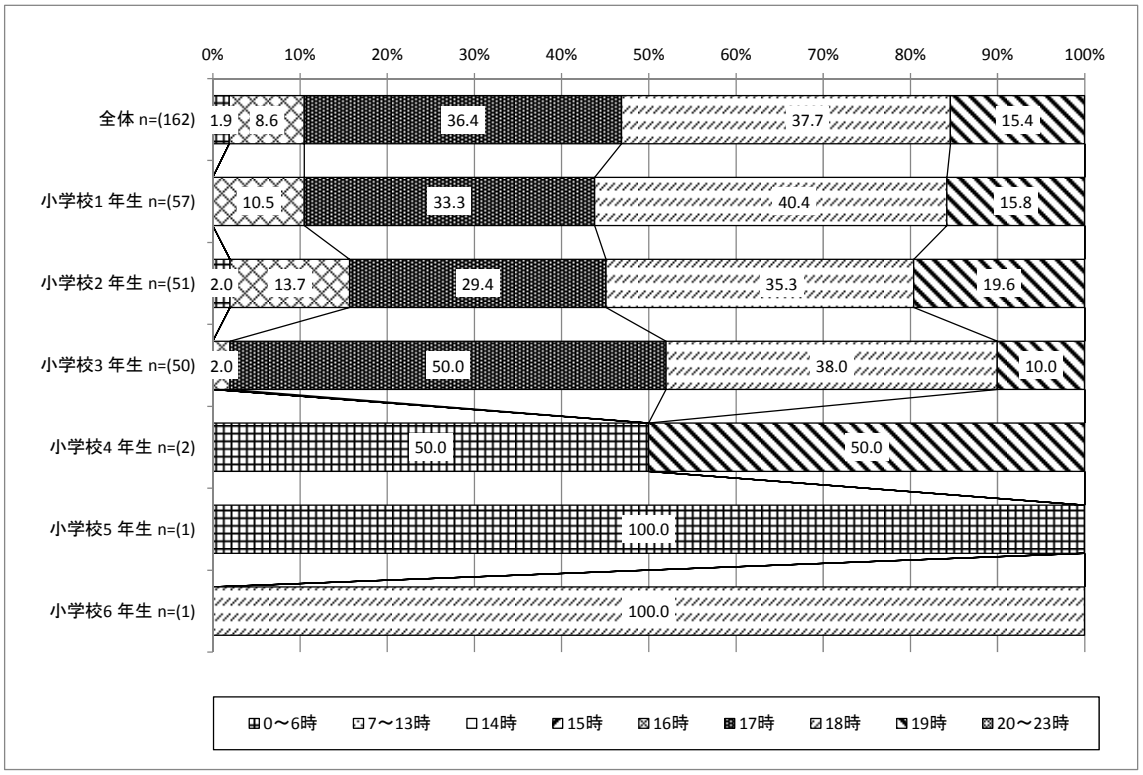
「小学校１年生」、「小学校２年生」、「小学校３年生」では「５日」がそれぞれ 70.2%、54.0%、51.0%で最も多くなっている。



問 20　　◆放課後保育クラブ（現在の状況）：終了時刻

【分析】

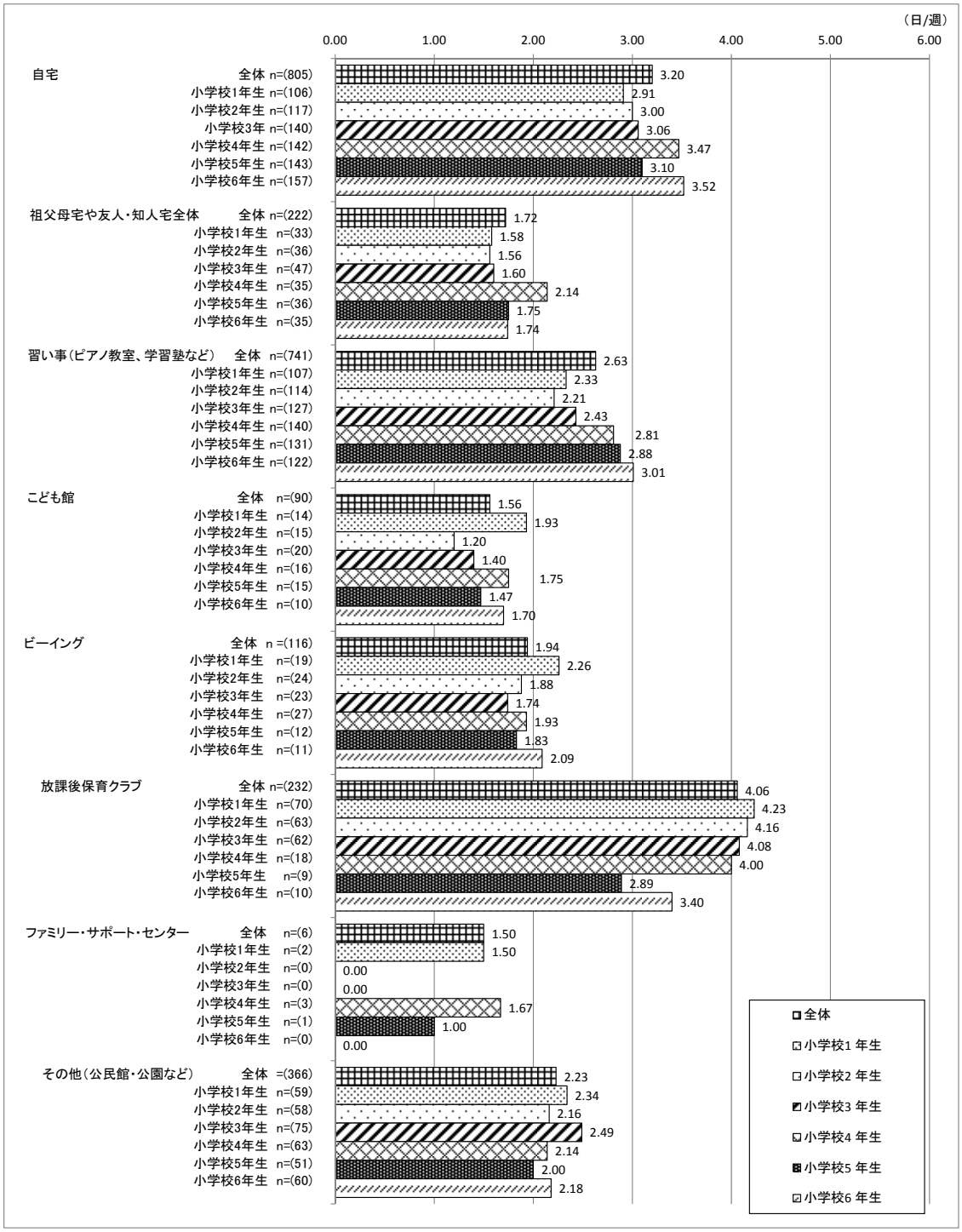
「小学校１年生」では「１８時」が 40.4%、「小学校２年生」では 35.3%で最も多く、「小学校３年生」では「１７時」が 50.0%で最も多くなっている。



問 20　◆学年区分×希望（まとめ）

【分析】

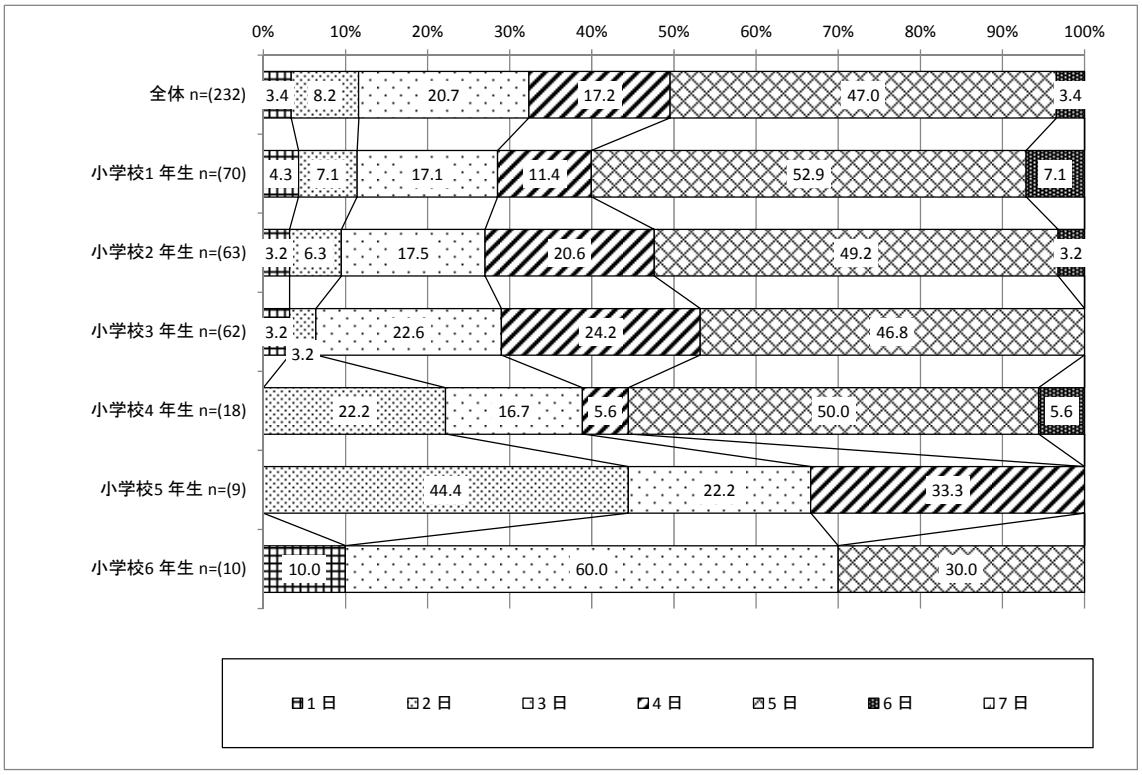
「自宅」では、「小学校６年生」が 3.52 日で最も多くなっており、「習い事(ピアノ教室、学習塾など)」では、「小学校６年生」が 3.01 日で最も多く、「放課後保育クラブ」では「小学校１年生」が 4.23 日で最も多くなっている。



問 20　　◆放課後保育クラブ：Ｂ欄（希望）

【分析】

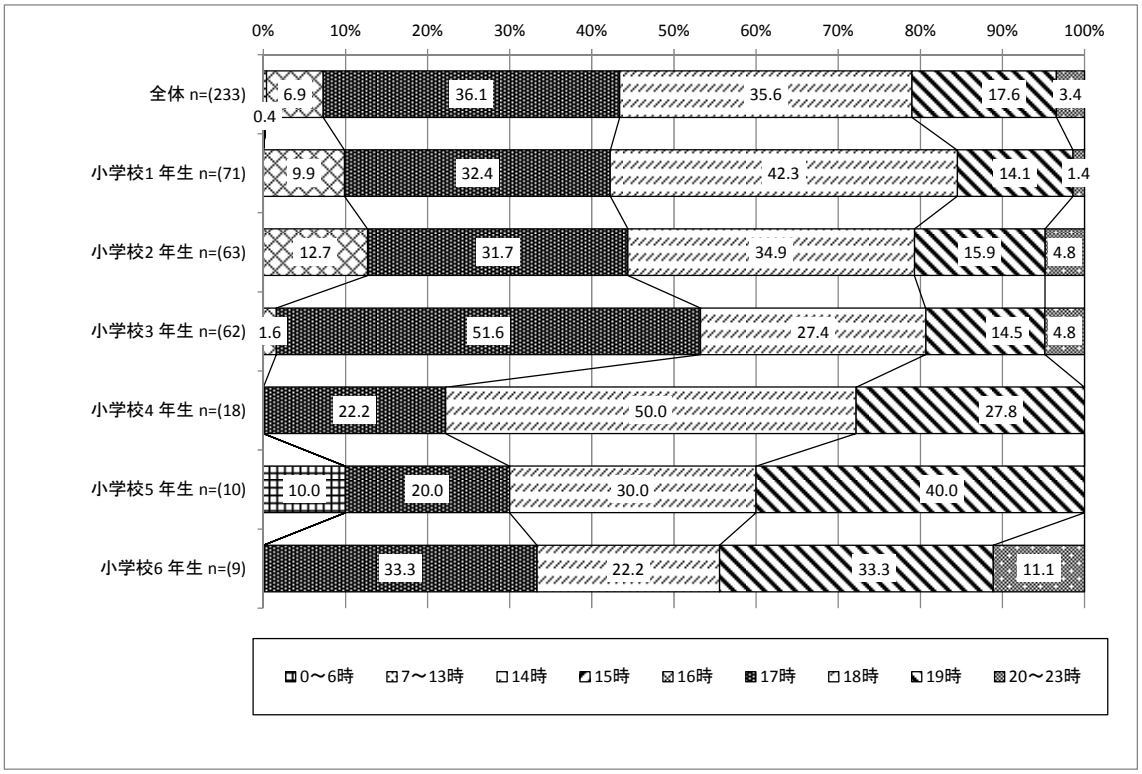
放課後保育クラブ（希望）は、「小学校１年生」、「小学校２年生」、「小学校３年生」、「小学校４年生」では「５日」がそれぞれ 52.9%、49.2%、46.8%、50.0%で最も多くなっている。



問 20　◆放課後保育クラブ（希望）：終了時刻

【分析】

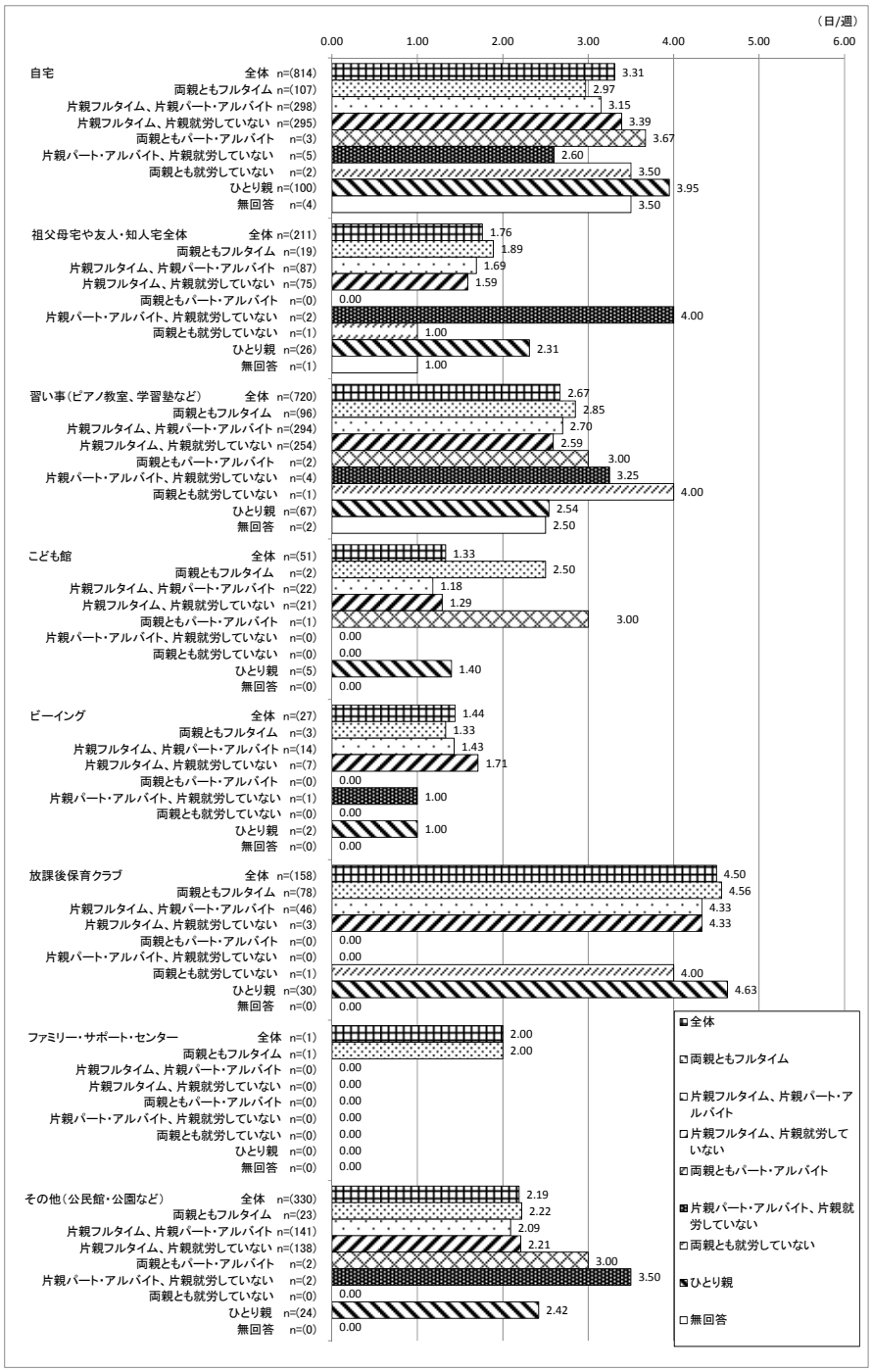
「小学校１年生」では「１８時」が 42.3%、「小学校２年生」では 34.9%で最も多く、「小学校３年生」では「１７時」が 51.6%で最も多くなっている。



問 20　◆家庭類型×現在の状況（まとめ）

【分析】

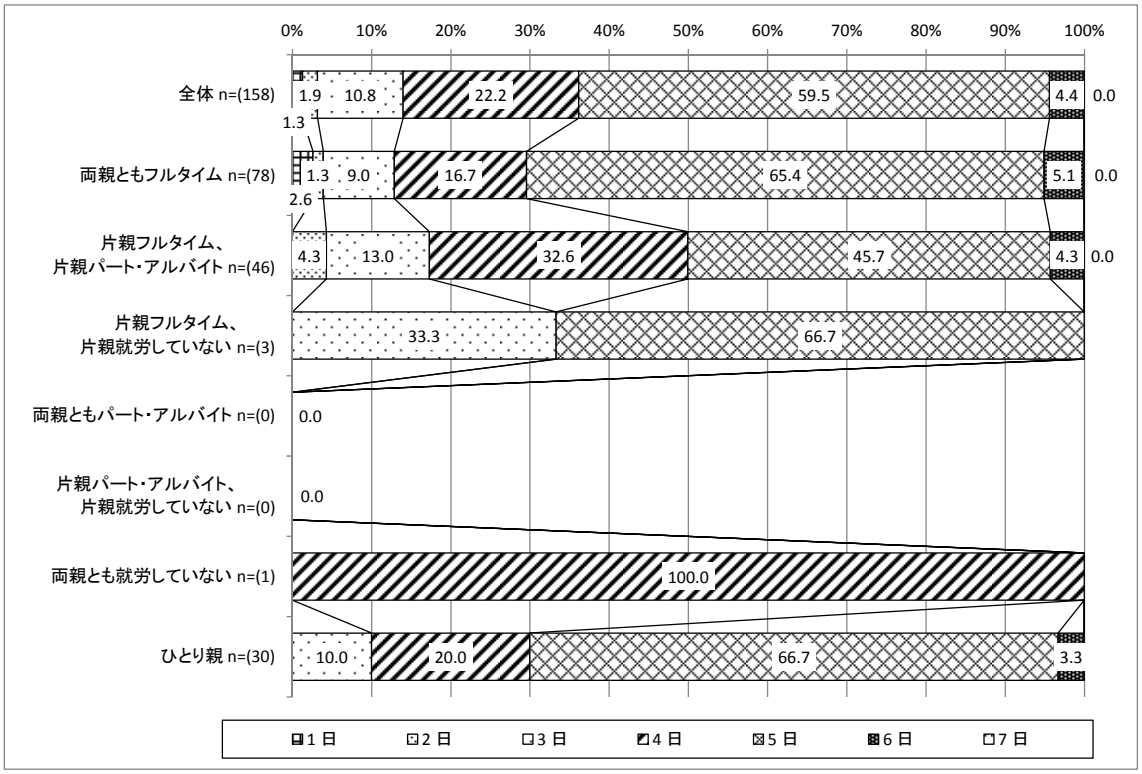
「自宅」では、「ひとり親」が 3.95 日で最も多くなっている。



問 20　◆放課後保育クラブ：Ａ欄（現在の状況）

【分析】

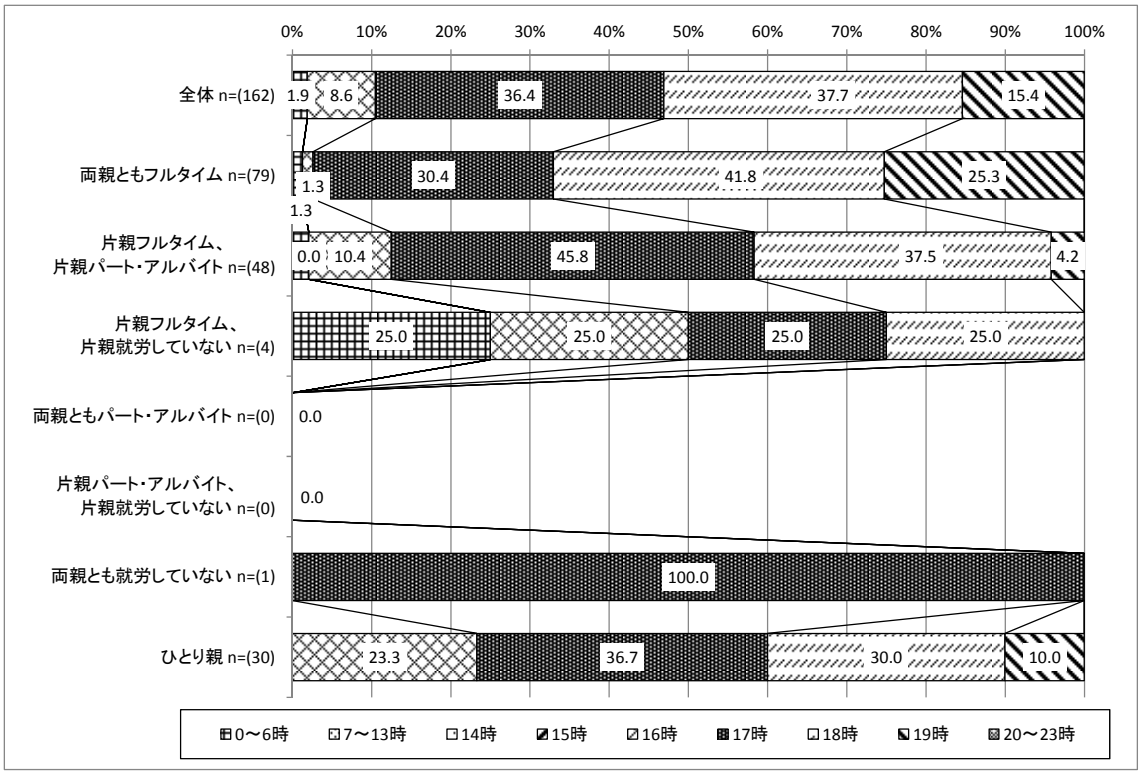
「両親ともフルタイム」、「片親フルタイム、パート・アルバイト」では、ともに「５日」がそれぞれ 65.4%、45.7%で最も多くなっている。



問 20　◆放課後保育クラブ（現在の状況）：終了時刻

【分析】

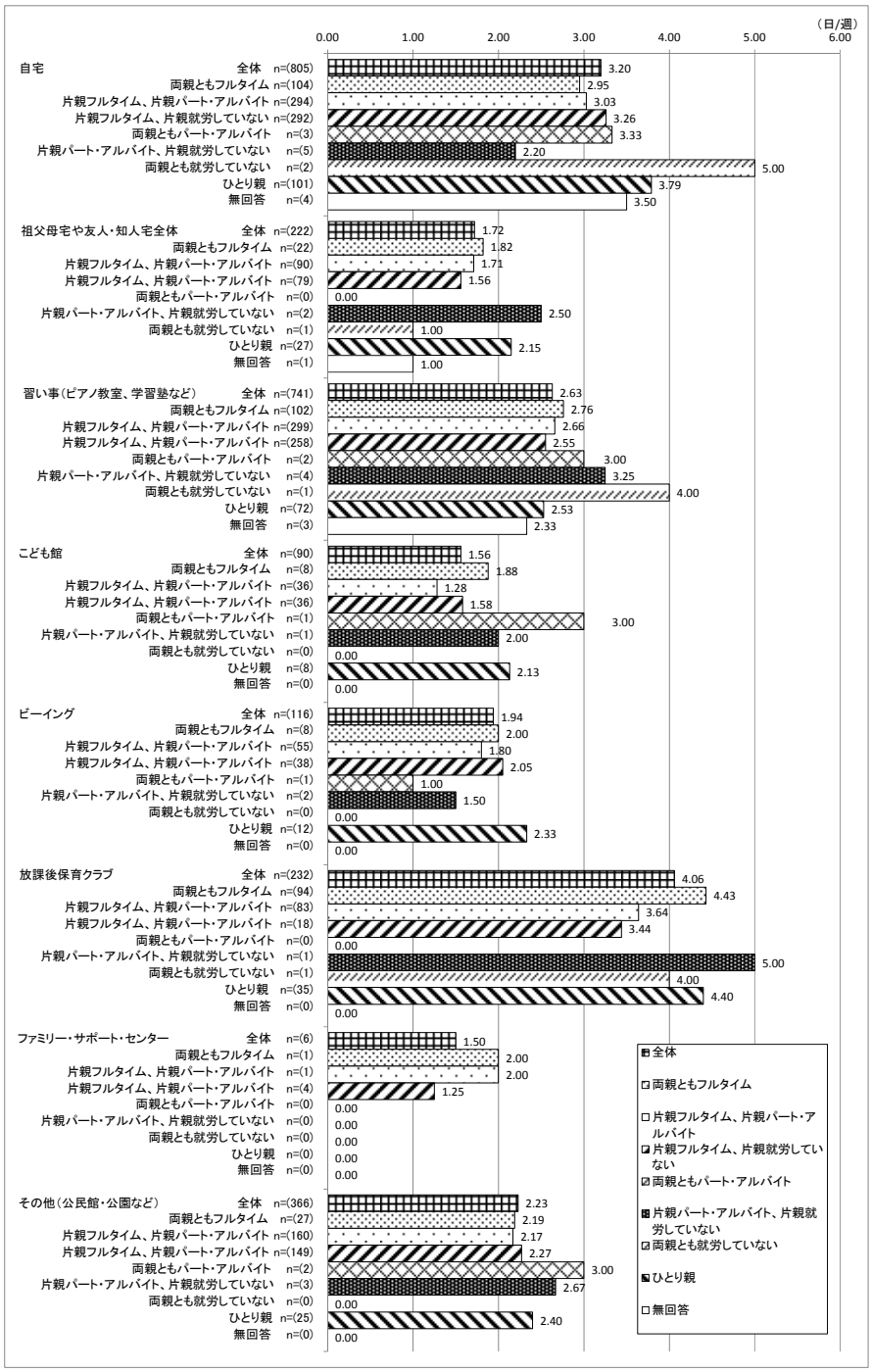
「両親ともフルタイム」では、「１８時」が 41.8%で最も多く、「片親フルタイム、片親パート・アルバイト」では、「１７時」が 45.8%で最も多くなっている。



問 20　◆家庭類型×希望（まとめ）

【分析】

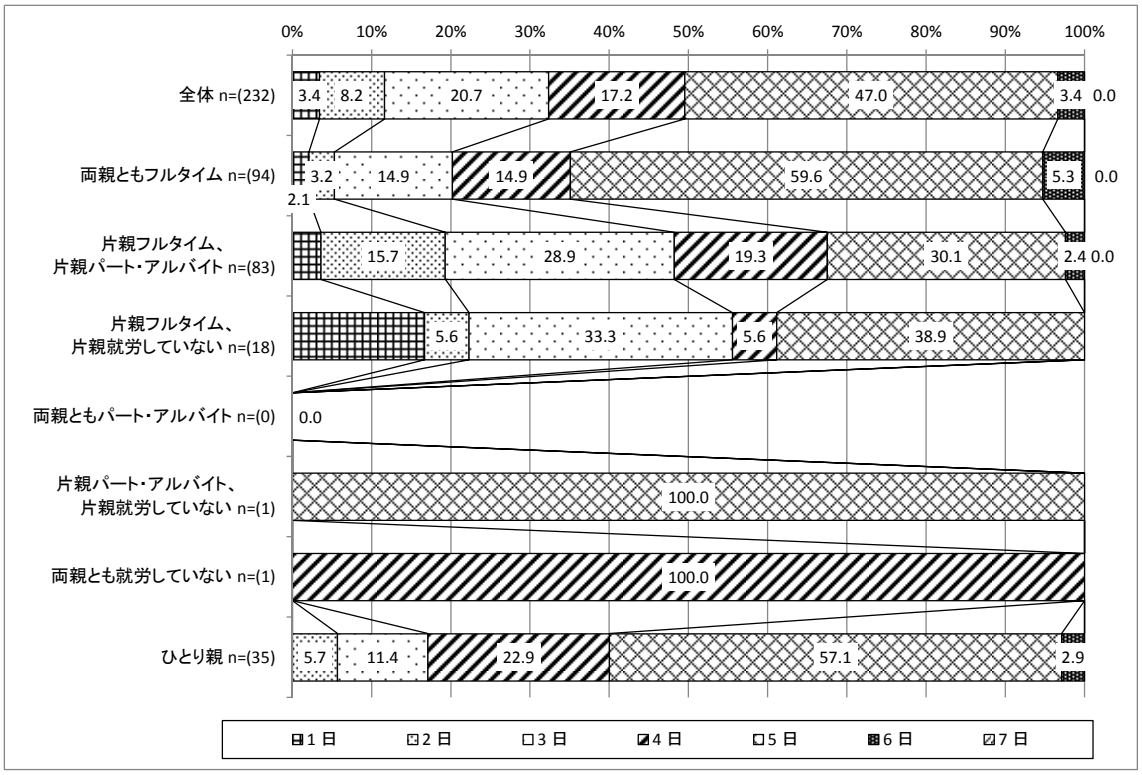
「自宅」では、「片親フルタイム・片親就労していない」が 3.26 日で多くなっており、「習い事(ピアノ教室、学習塾など)」では、「両親ともフルタイム」が 2.76 日で多く、「放課後保育クラブ」では「両親フルタイム」が 4.43 日で最も多くなっている。



問 20　　◆放課後保育クラブ：Ｂ欄（希望）

【分析】

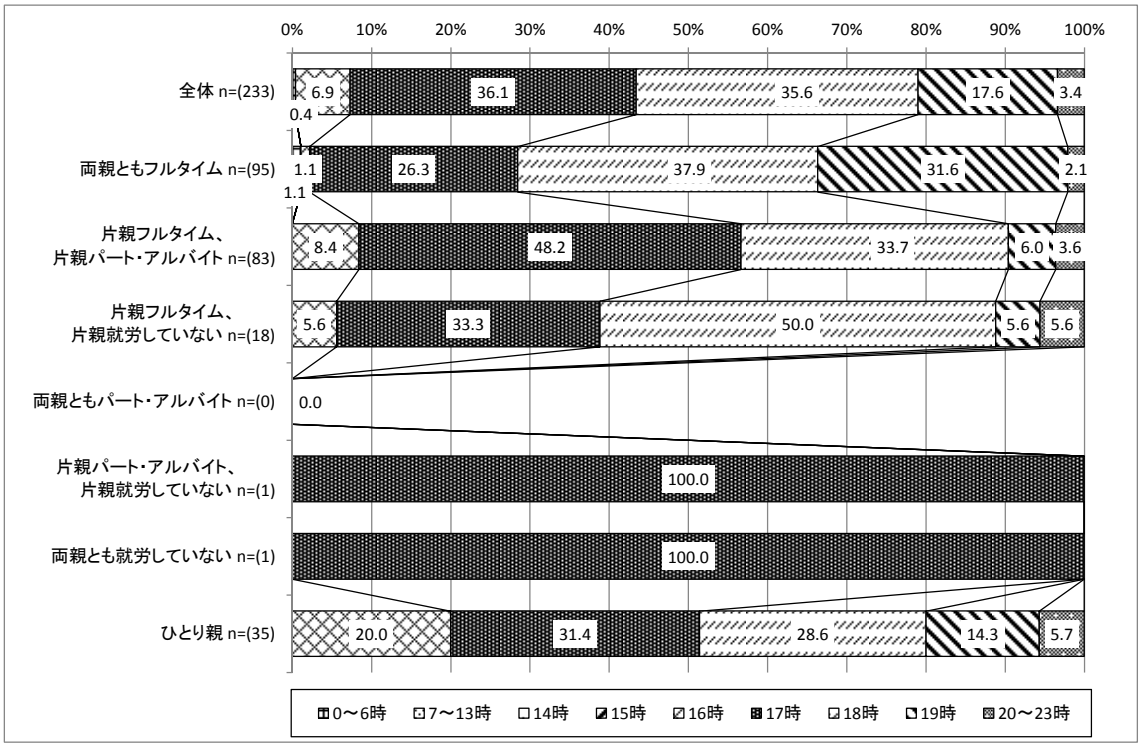
「両親ともフルタイム」、「片親フルタイム、片親就労していない」では、ともに「５日」がそれぞれ 59.6%、30.1%で最も多くなっている。



問 20　◆放課後保育クラブ（希望）：終了時刻

【分析】

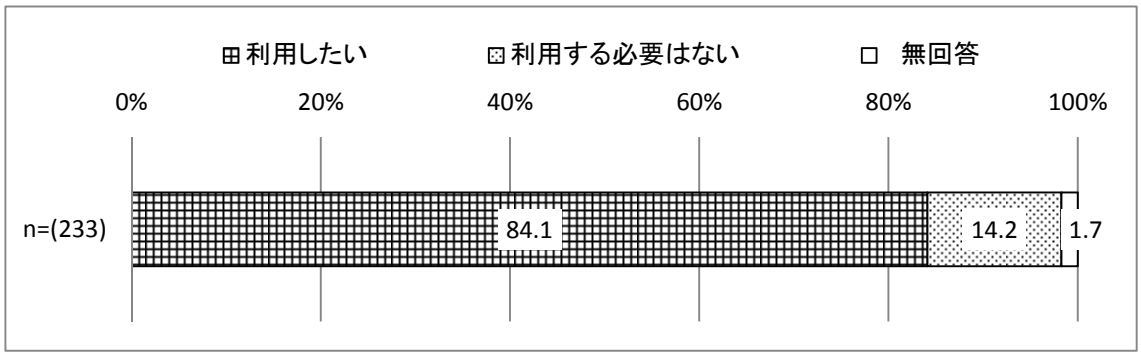
「片親フルタイム、片親就労していない」では、「１７時」が 48.2%で最も多く、「片親パート・アルバイト、片親就労していない」では、「１８時」が 50.0%で最も多くなっている。



問 21　問 21～23 は、問 20 で「Ａ欄（現在の状況）」または「Ｂ欄（希望）」で「６．放課後保育クラブ（学童保育）」に日数を記入した方にうかがいます。お子さんについて、小学校卒業まで放課後保育クラブを利用できるとすれば利用したいですか。

【分析】

「利用したい」が 84.1%、「利用する必要はない」が 14.2%となっている。



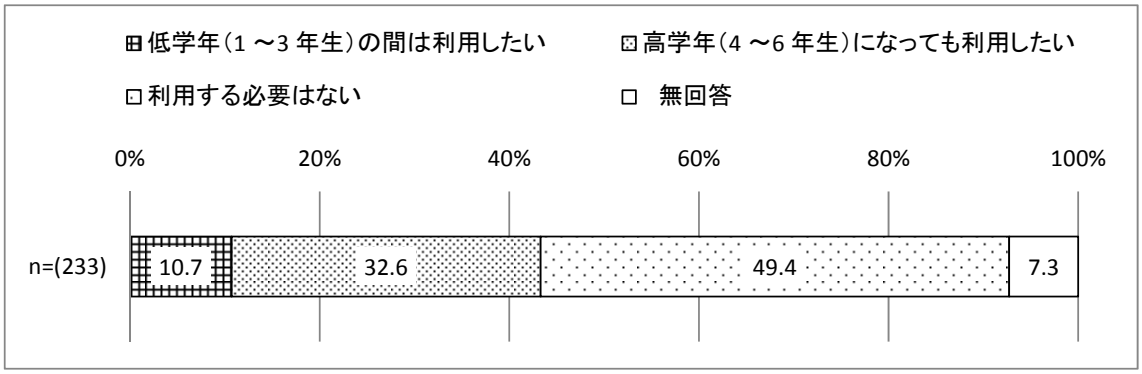
問 22　お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。

◆土曜日の利用希望

【分析】

「利用したい」の割合は、「低学年の間」「高学年になっても」を合わせて 43.3%。

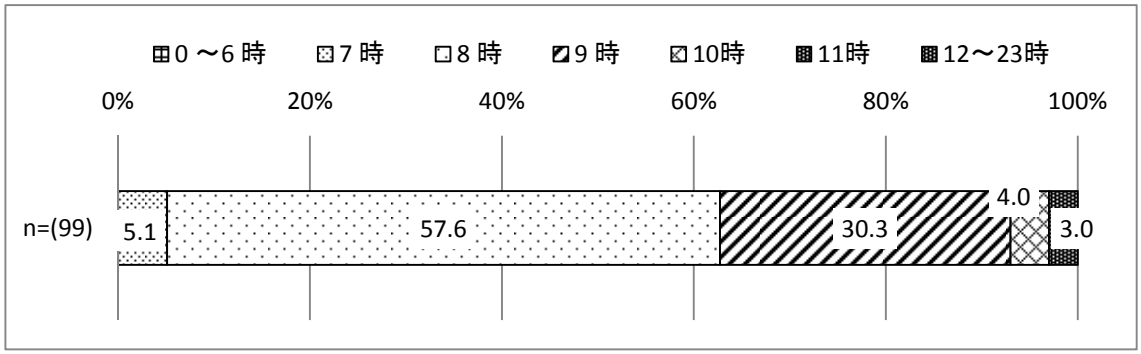
「必要はない」は 49.4%で約半数。



◆土曜日：開始時刻の希望

【分析】

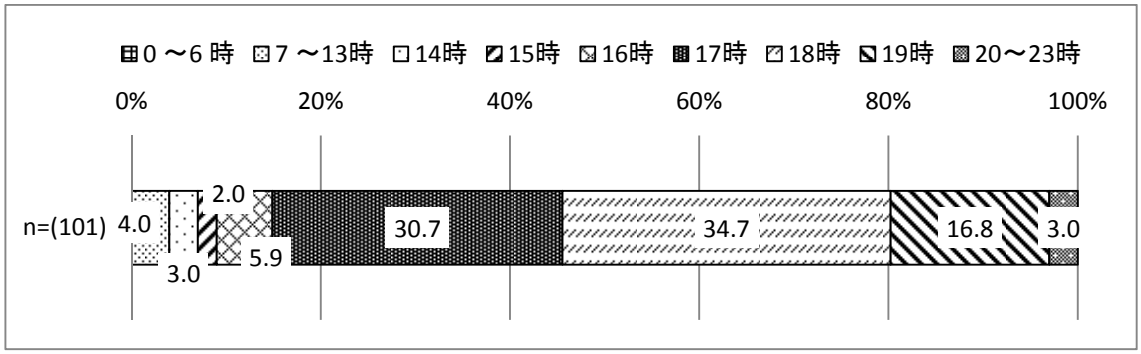
「８時」が 57.6％で最も多く、次いで「９時」が 30.3％となっている。



◆土曜日：終了時刻の希望

【分析】

「１８時」が 34.7％で最も多く、次いで「１７時」が 30.7％となっている。



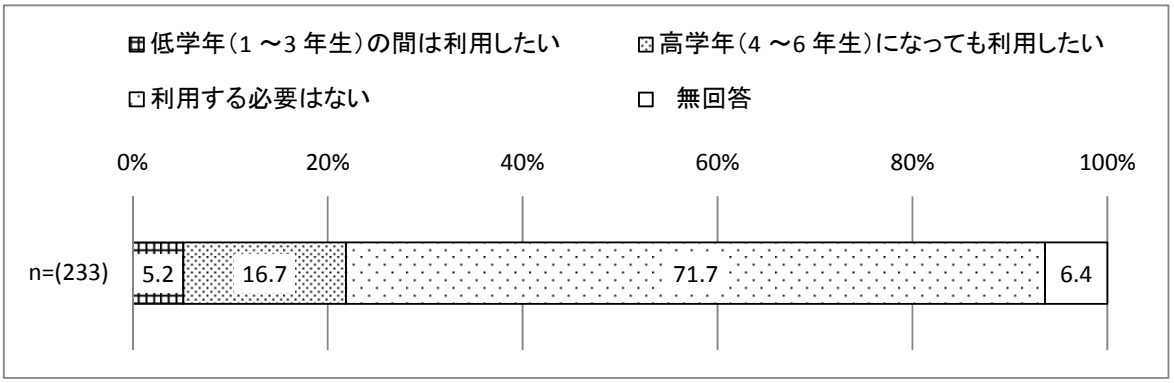
問 22　お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。

◆日曜・祝日の利用希望

【分析】

「利用したい」の割合は、「低学年の間」「高学年になっても」を合わせて 21.9%。

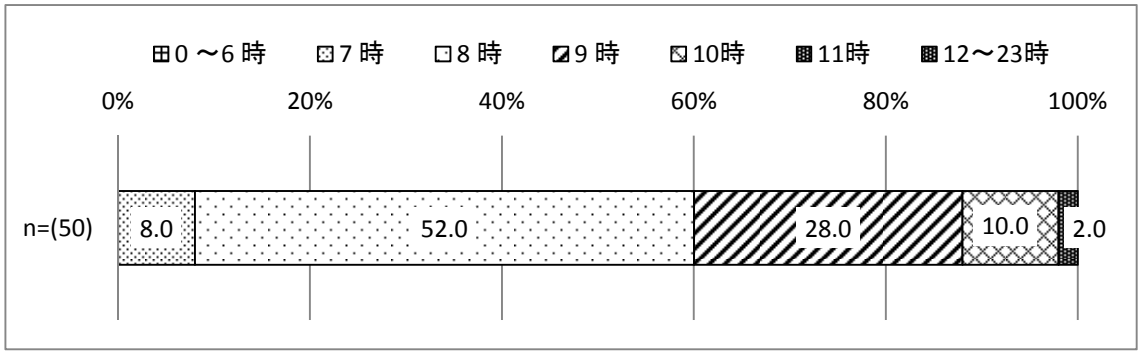
「必要はない」は 71.7%となっている。



◆日曜・祝日：開始時刻の希望

【分析】

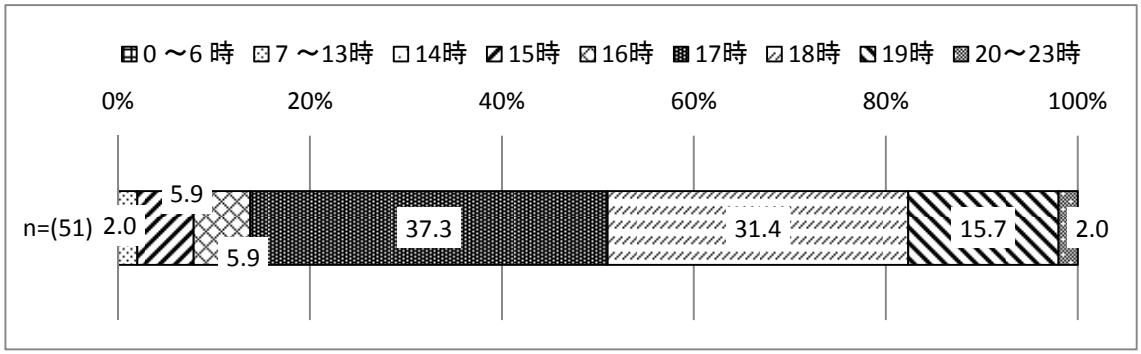
「８時」が 52.0%で最も多く、次いで「９時」が 28.0%となっている。



◆日曜・祝日：終了時刻の希望

【分析】

「１７時」が 37.3%で最も多く、次いで「１８時」が 31.4%となっている。

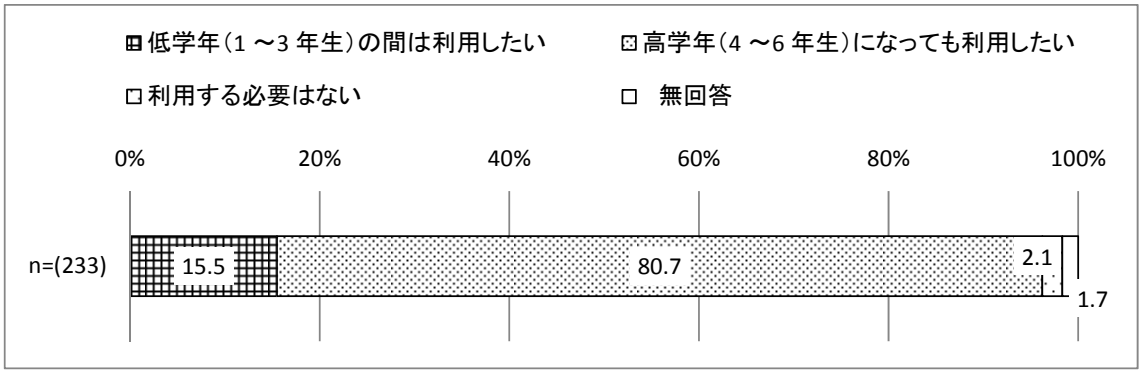


問 22　お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。

◆夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望

【分析】

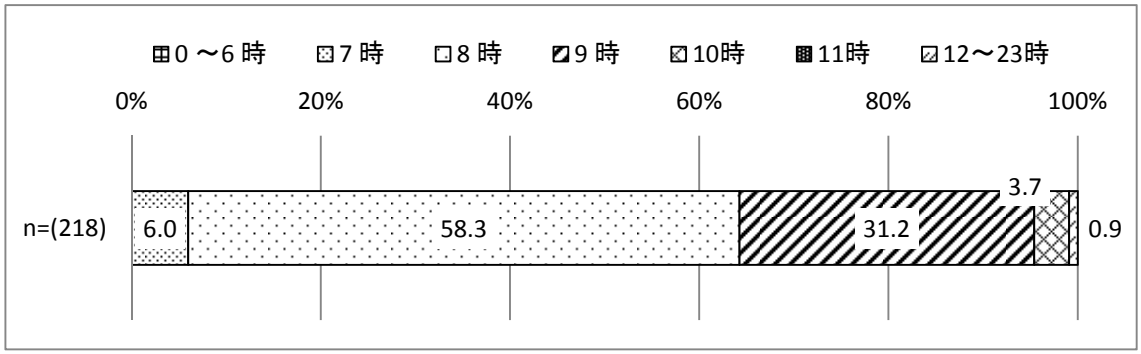
土曜日、日曜日・祝日の「利用する必要はない」の割合は、半数もしくは半数以上だったのに対し、長期の休暇期間中の「必要がない」の割合は 2.1%で大幅に減少。



◆夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中：開始時刻の希望

【分析】

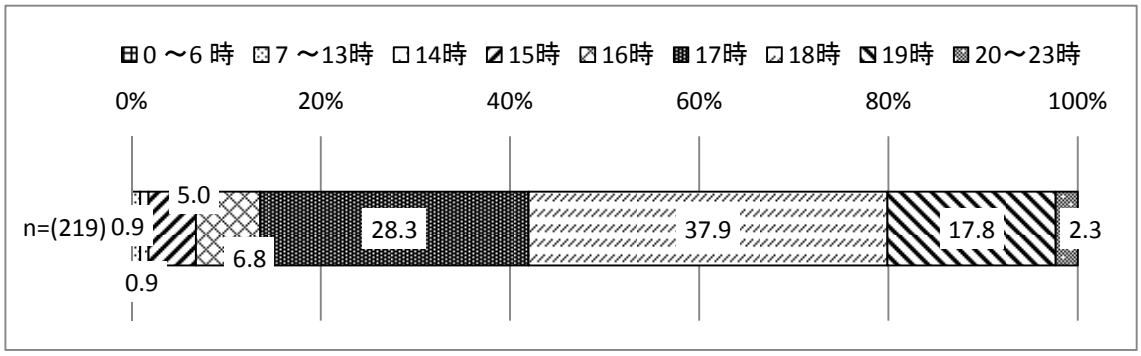
「８時」が 58.3%で最も多く、次いで「９時」が 31.2%となっている。



◆夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中：終了時刻の希望

【分析】

「１８時」が 37.9%で最も多く、次いで「１７時」が 28.3%となっている。

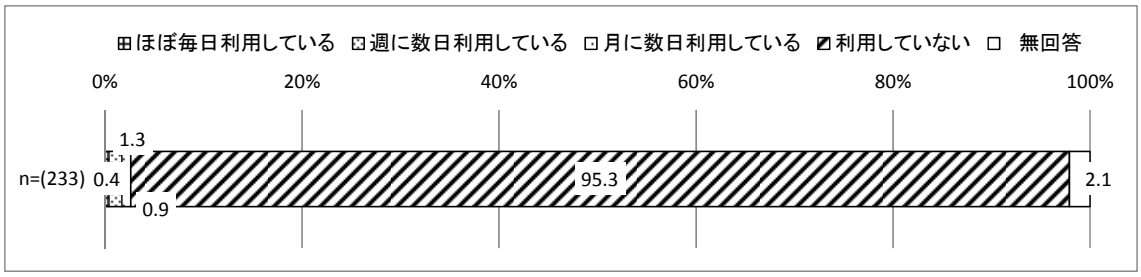


問 23 放課後保育クラブ（学童保育）の前後・または送迎のために、ファミリー・サポート・センターを利用していますか。また利用したいと思いますか。

◆現在利用していますか。

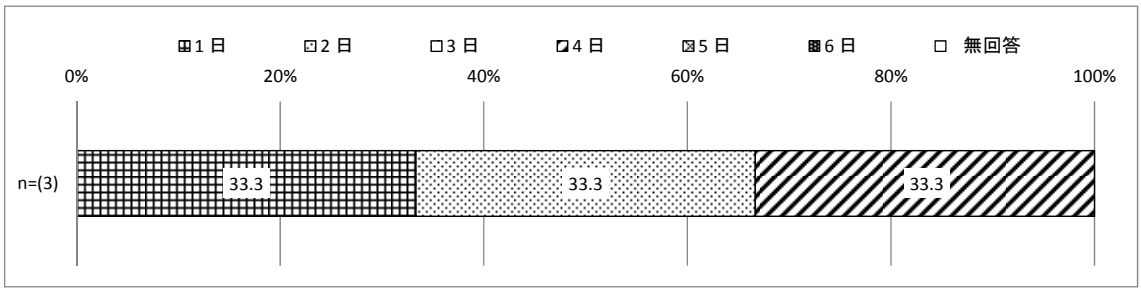
【分析】

利用している割合は、「ほぼ毎日利用している」、「週に数日利用している」、「月に数日利用している」合わせて 2.6%。「利用していない」は 95.3%となっている。



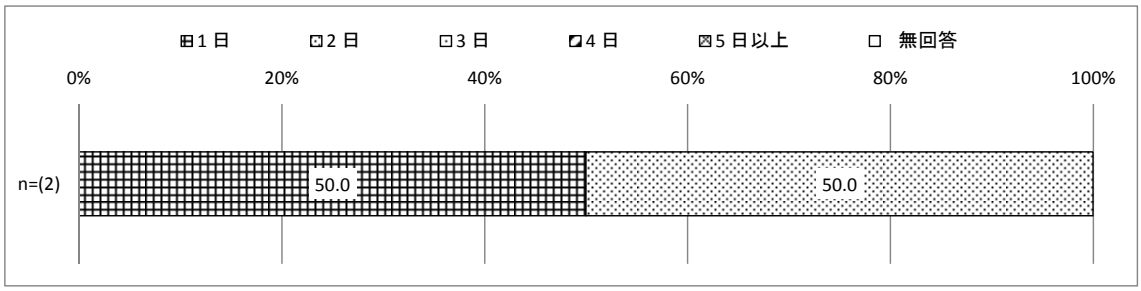
◆現在利用している人の週に数日利用している人の１週当たりの日数

【参考値】



◆現在利用している人の月に数日利用している人の１つき当たりの日数

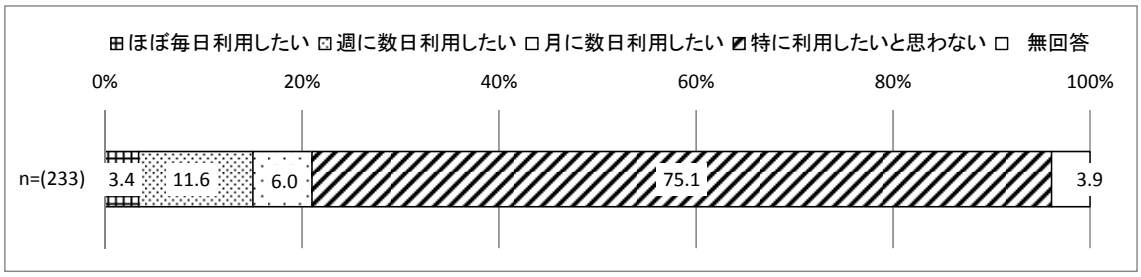
【参考値】



◆利用したいと思いますか。

【分析】

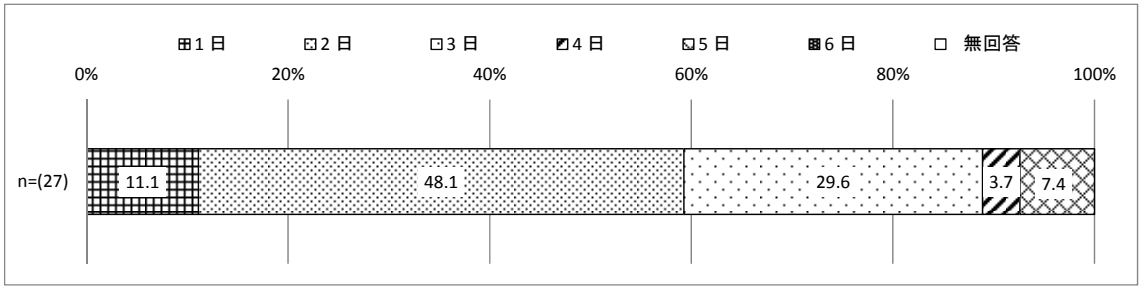
「利用したい」の割合は、「ほぼ毎日利用したい」、「週に数日利用したい」、「月に数日利用したい」を合わせて 21.0%。「特に利用したいと思わない」は 75.1%となっている。



◆利用したいと思う人の１週当たりの日数（希望）

【分析】

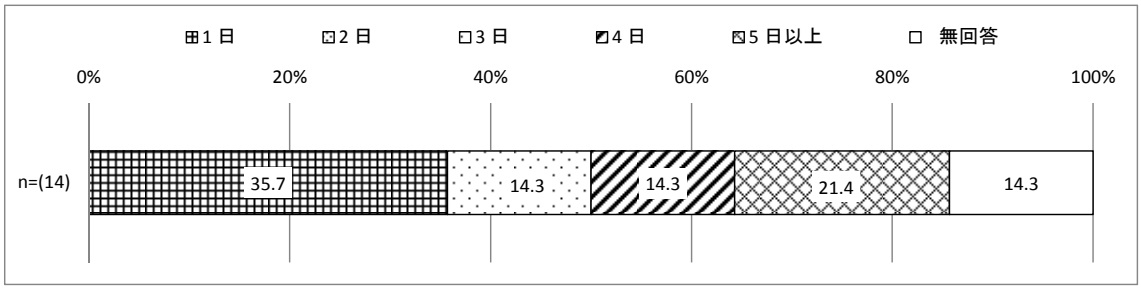
「２日」が 48.1%で最も多く、次いで「３日」が 29.6%となっている。



◆利用したいと思うひとの１月当たり日数（希望）

【分析】

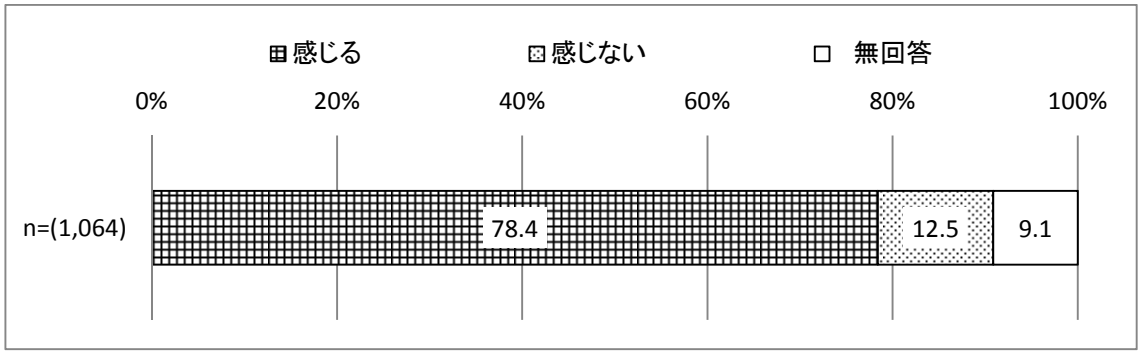
「１日」が 35.7%で最も多く、次いで「５日以上」が 21.4%となっている。



問 24　小学生の子どもが、家で一人もしくは、きょうだいだけで過ごす事に不安を感じますか。

【分析】

「感じる」が 78.4%、「感じない」が 12.5%となっている。



（７）保護者の就労状況

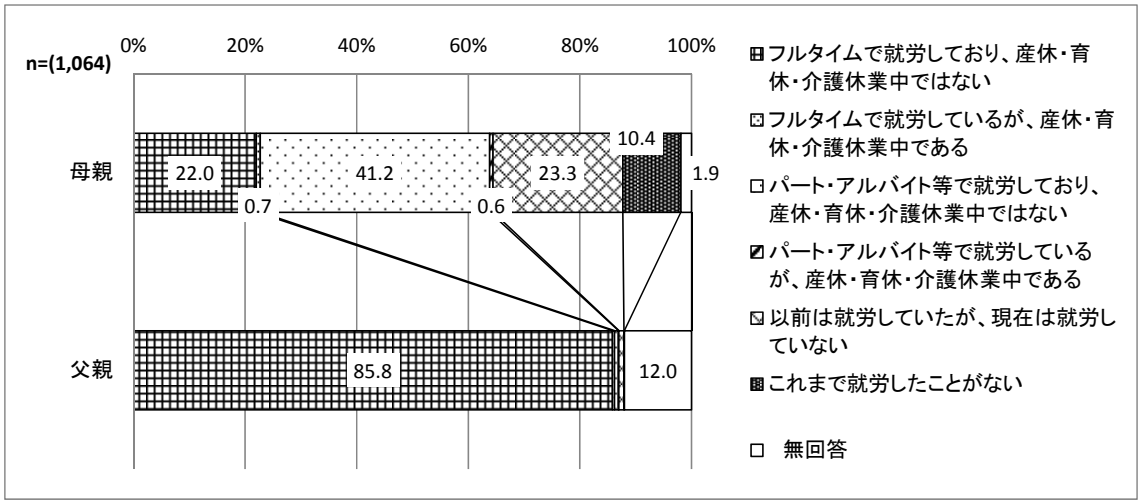
問 25　保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【分析】

母親の 41.2%は現在パート・アルバイト就労。

現在フルタイム及びパート・アルバイトで就労している母親の割合は、合わせて 63.8%。

父親の場合はフルタイム就労の割合は 85.8%で大部分を占めている。



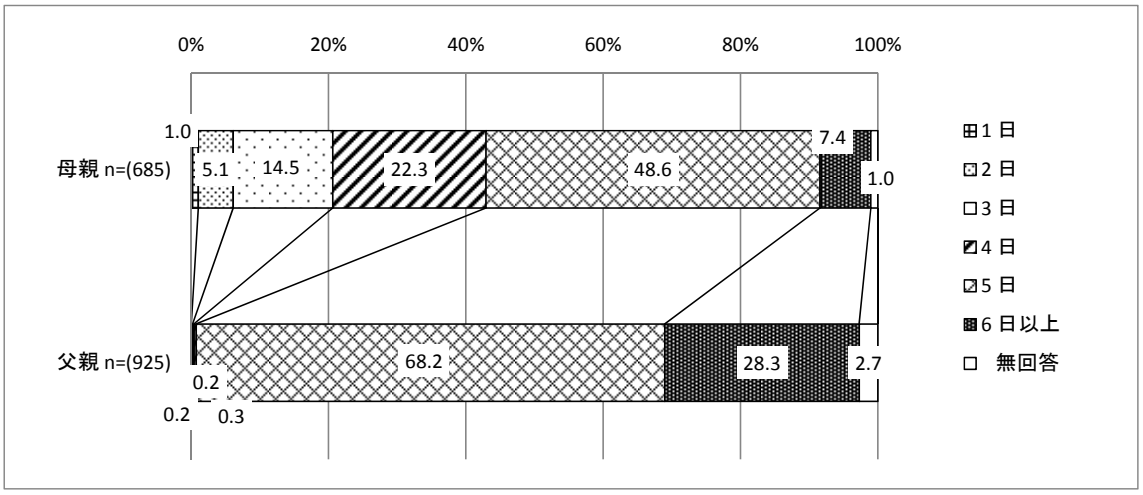
問 25　保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

◆１週当たりの日数

【分析】

母親の場合、「４日」の割合が 48.6%で最も多い。週３日以上は合わせて 79.3%。

父親の就労状況は「５日」が 68.2%で大部分を占めている。

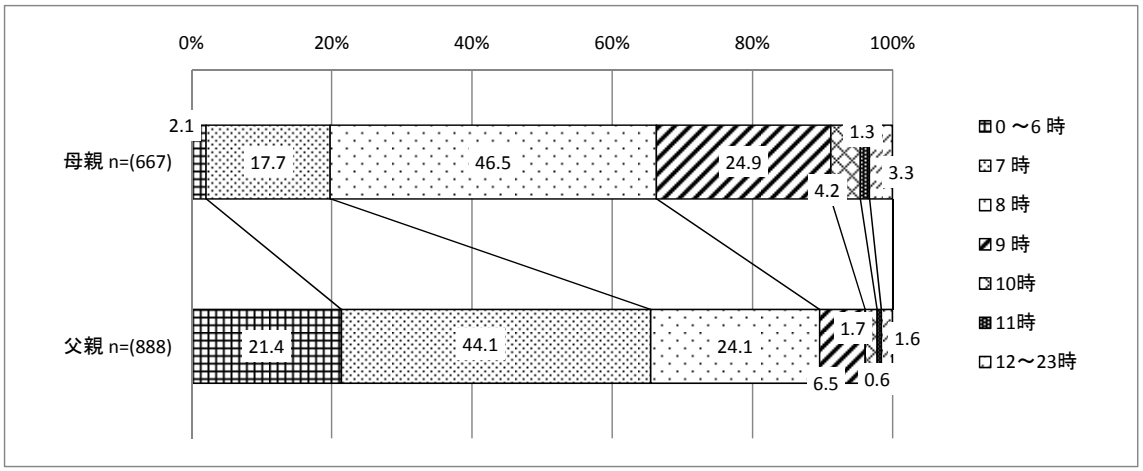


◆就労状況：勤務開始時間

【分析】

母親の勤務開始時間は、「８時」が 46.5%で最も多く、８時以降の割合が 80.2%を占めている。

父親の勤務開始時間は「７時」が 44.1%で最も多く、母親の場合と比べると倍以上になっている。

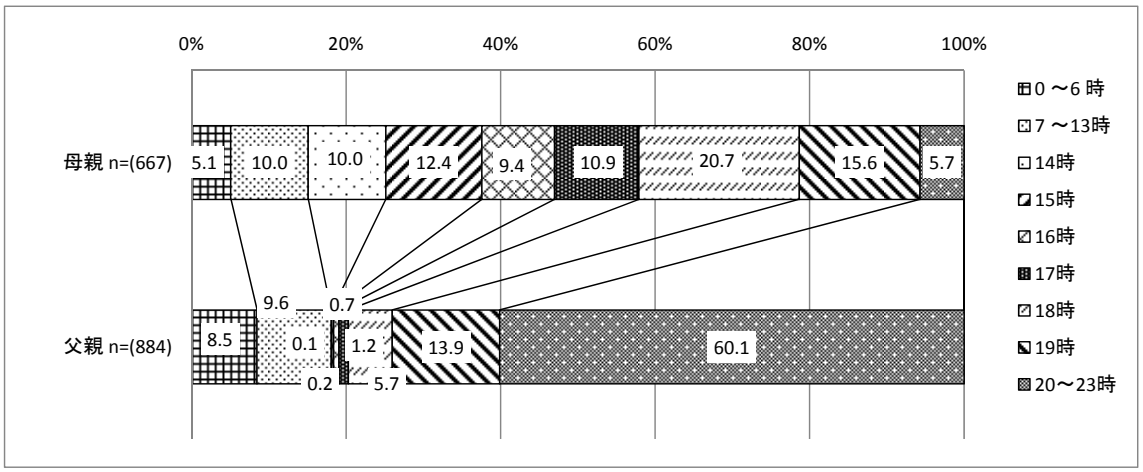


◆就労状況：勤務終了時刻

【分析】

母親の勤務終了時間は、父親の場合と比べると特に高い割合の時間帯がなく散らばっている。その中では「１８時」の割合が２０．７％となっており最も多い。

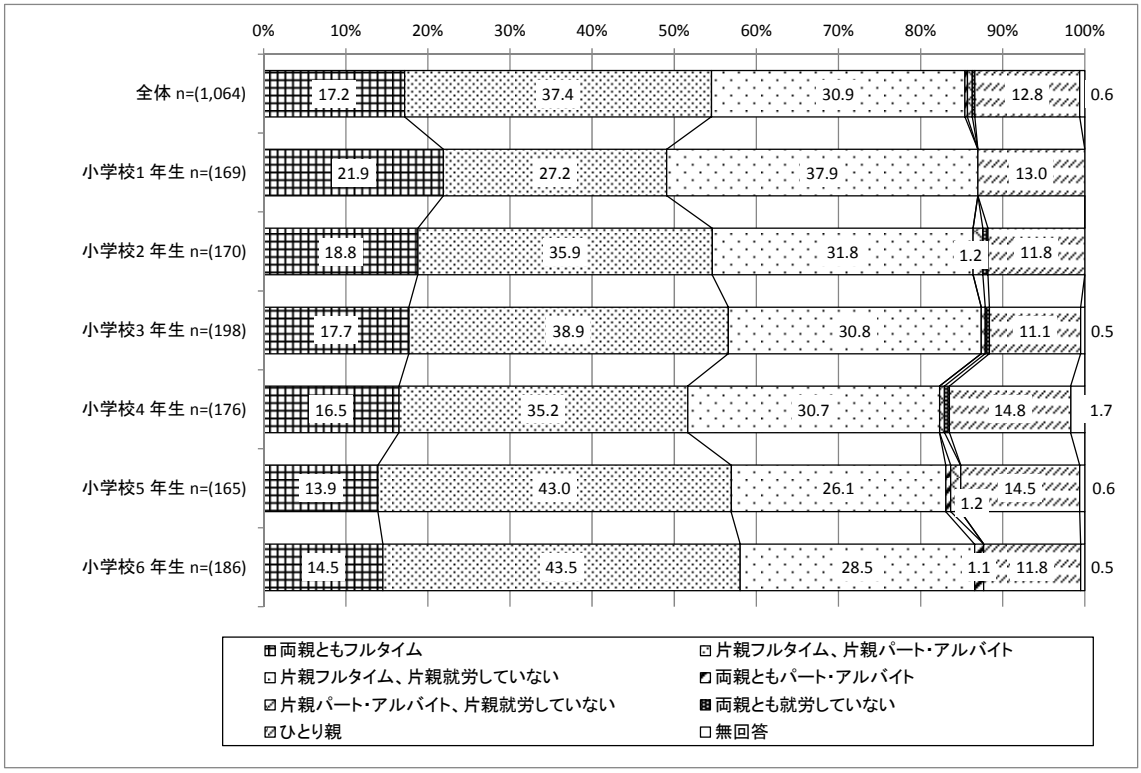
父親の終了時刻は「２０～２３時」の割合が６０．１％で最も高く、１８時以降は全体の中で合わせて７９．７％を占めている。



◆就労状況：家庭類型

【分析】

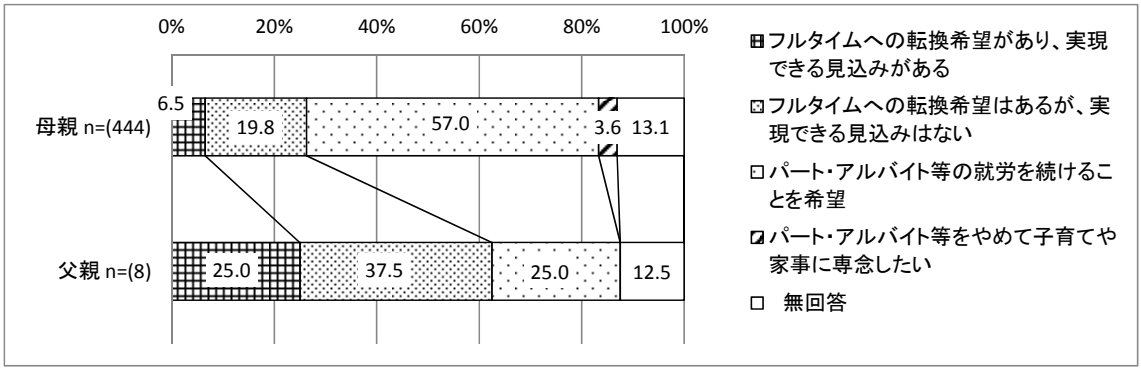
「片親フルタイム、片親就労していない」は「小学校１年生」が 37.9%で最も多く、「最片親フルタイム、片親パート・アルバイト」は「小学校６年生」はが 43.5%で最も多く、次いで「小学校５年生」が 43.0%となっている。



問 26　問 25 で「３．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「４．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」に〇をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。

【分析】

フルタイム就労への転換希望の合計は、母親の場合 26.3%となっている。

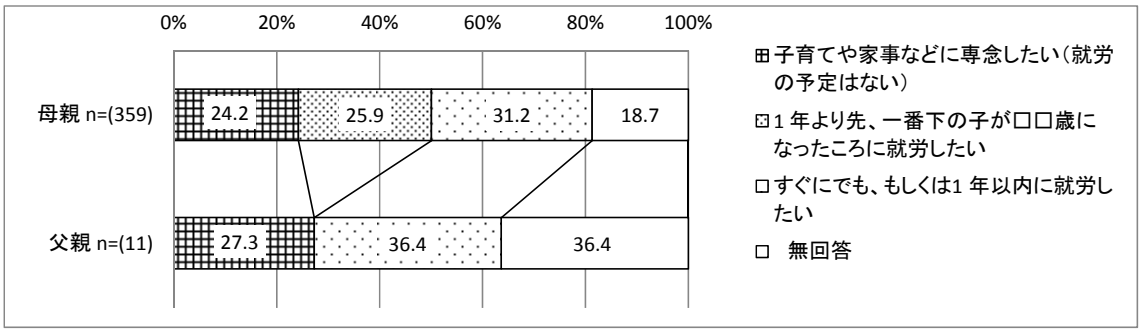


※父親は母数が少ないので参考値

問 27　問 25 で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。

【分析】

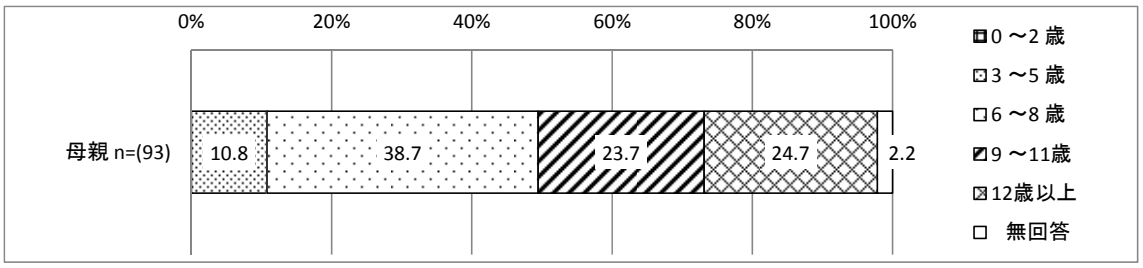
「母親」では「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 31.2%で最も多く、次いで「１年より先、一番下の子が□□歳になったころに就労したい」が 24.2%となっている。



問 27　就労したいという希望はありますか。◆１年より先、一番下の子が□□歳になったころに就労したい

【分析】

一番下の子が□□歳になったころに就労したいは、「３～５歳」が 38.7%で最も多く、ついで「１２歳以上」が 24.7%となっている。

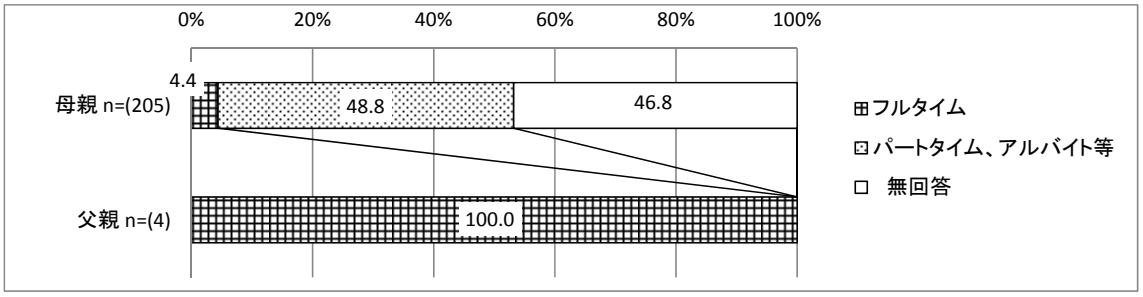


※父親は該当データなし

問 27　就労したいという希望はありますか。　◆希望する就労形態

【分析】

希望する就労形態は、「母親」では「パートタイム、アルバイト等」が 48.8%と半数近くになっている。

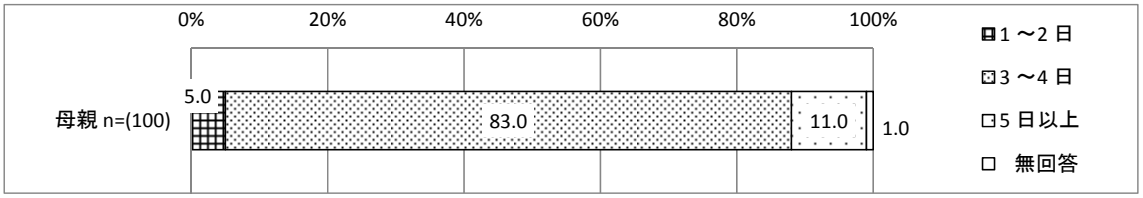


※父親は母数が少ないので参考値

問 27　就労したいという希望はありますか。　◆１週間当たりの日数

【分析】

１週当たりの就労希望は「３～４日」が 83.0%で最も多く、ついで「５日以上」が 11.0%となっている。

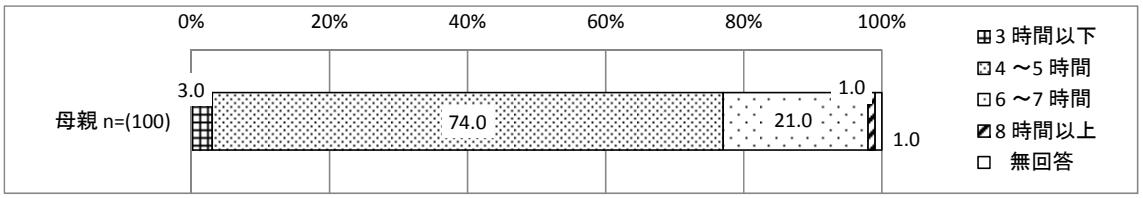


※父親は該当データなし

問 27　就労したいという希望はありますか。　◆１日当たりの時間数

【分析】

１日当たりの就労希望は「４～５時間」が 74.0％で最も多く、ついで「６～７時間」が 21.0％となっている。

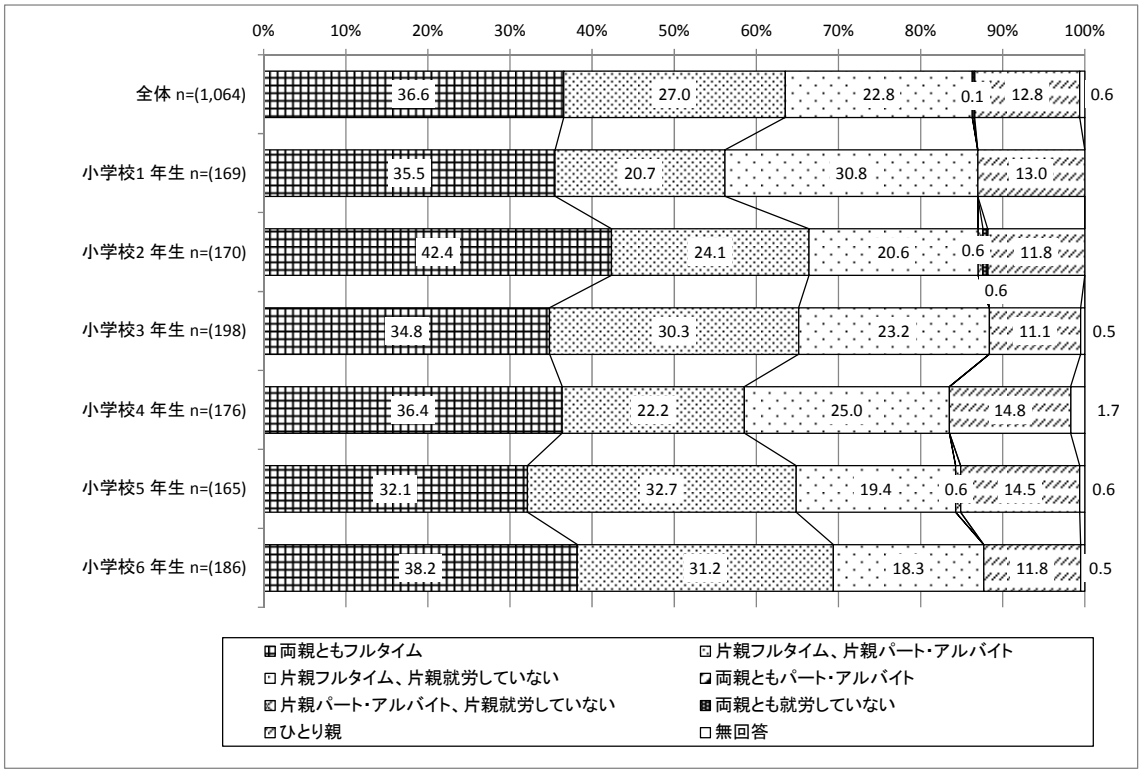


※父親は該当データなし

問 27　◆学年別家庭類型（希望）

【分析】

家庭類型（希望）では、「両親ともフルタイム」は「小学５年生」で 32.7%と最も多く、「片親フルタイム、片親パート・アルバイト」は「小学６年生」で 38.2%と最も多くなっている。



（８）育児休業など職場の両立支援制度

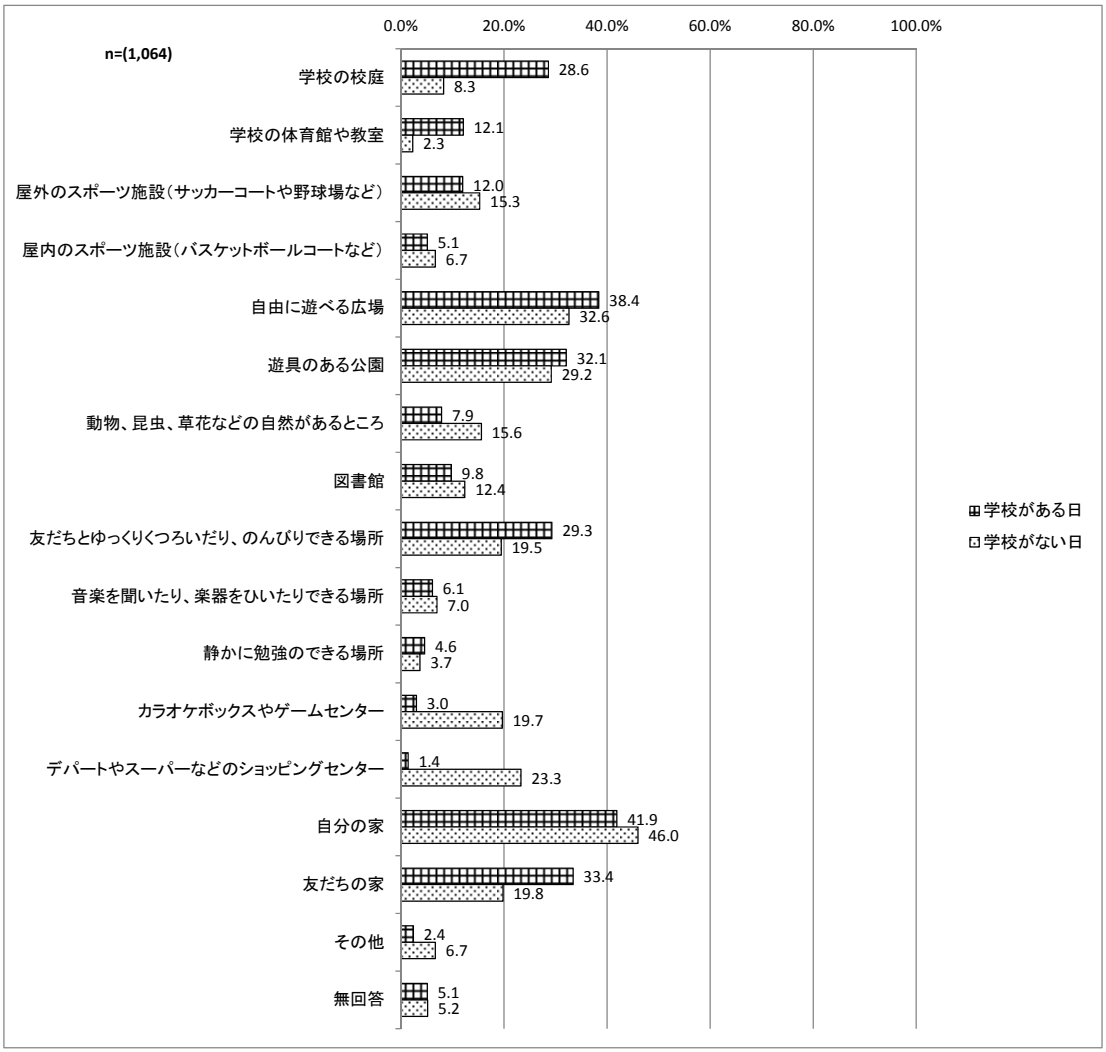
問 28　あなたは、学校の授業が終わった後（放課後）や学校のない日（土・日・夏休みなど）の自由な時間を過ごす時、どんなところで過ごしたいですか。（３つまで）　学校がある日（複数回答）

【分析】

「学校がある日」「学校がない日」、ともに過ごしたいのは「自分の家」と答えた割合がそれぞれ 41.9%、46.0%と最も多い。

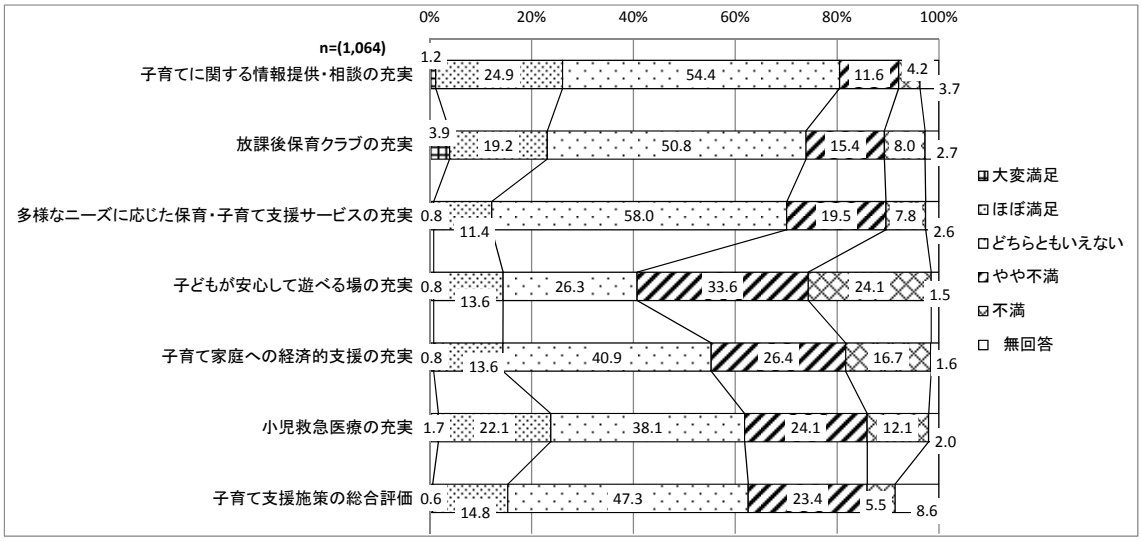
「学校の校庭」「学校の体育館や教室」で過ごしたい割合は、「学校がある日」ではそれぞれ 28.6%、12.1%、「学校がない日」ではそれぞれ 8.3%、2.3%で、「学校がる日」と「学校がない日」で差が大きい。

「カラオケボックスやゲームセンター」、「デパートやスーパーなどのショッピングセンター」それぞれの割合は「学校がない日」の方が「学校がある日」を大きく上回っている。



（９）子育て支援施策に対する「満足度」

問 29　市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をお伺いします。



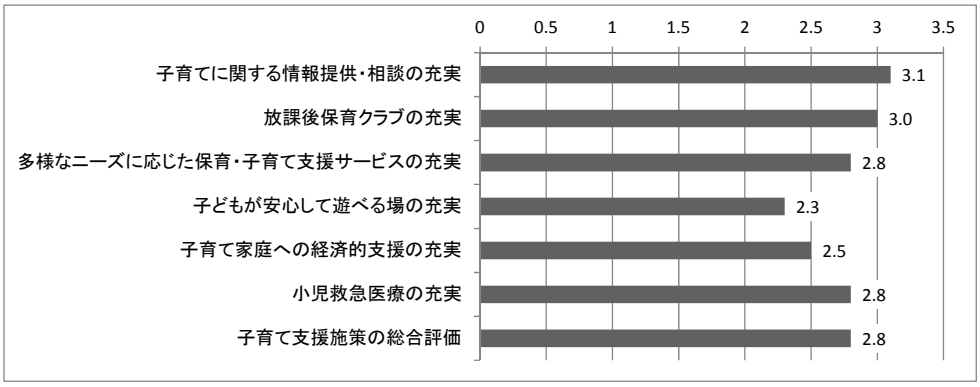
◆満足度の点数化

満足の度合いにより、右表の基準を基に、各支援施策別に平均点を算出した。

大変満足	5点
ほぼ満足	4点
どちらともいえない	3点
やや不満	2点
不満	1点

【分析】

市の子育て支援施策に対する満足度は「子どもに関する情報提供・相談の充実」が 3.1 点で最も高く、次いで「放課後保育クラブの充実」が 3.0 点、「多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実」、「小児救急医療の充実」、「子育て支援施策の総合評価」がともに 2.8 点となっている。



３．量の見込みの算定結果

３－１　市川市全体

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,605	1,556	1,509	1,474	1,428

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,476	3,362	3,259	3,166	3,083

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
5,646	5,496	5,357	5,253	5,094

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
518	516	512	507	493

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,354	4,268	4,167	4,093	3,956

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,746	4,614	4,484	4,384	4,253

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,068	3,984	3,885	3,770	3,696

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
333	321	312	301	292

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
27,297	26,361	25,442	24,683	23,932

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
47,509	46,470	45,481	44,816	43,605

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
133,205	132,334	131,322	130,371	126,683

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
137,380	134,105	131,038	128,543	125,379

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
41,493	40,315	39,142	38,236	37,094

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
12,789	12,627	12,611	12,298	12,114

３－２　大柏地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
80	77	73	70	67

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
252	235	224	214	205

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
520	503	476	461	433

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
32	31	29	28	26

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
334	324	306	296	278

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
343	328	311	299	284

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
386	373	363	339	329

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,188	1,118	1,063	1,019	975

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,543	3,432	3,247	3,140	2,951

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
8,296	8,035	7,603	7,351	6,910

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
8,107	7,716	7,325	7,044	6,692

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,648	2,530	2,400	2,311	2,190

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,226	2,209	2,214	2,229	2,139

３－３　宮久保地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
103	101	98	95	92

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
156	155	152	148	143

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
334	323	313	315	312

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
31	30	29	29	29

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
195	188	182	183	182

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
212	207	201	200	196

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
156	155	154	154	150

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,231	1,216	1,187	1,156	1,123

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,922	2,819	2,732	2,753	2,727

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
8,083	7,798	7,556	7,613	7,542

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,826	4,722	4,597	4,537	4,441

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,551	2,490	2,422	2,399	2,353

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

３－４　曽谷地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
50	48	44	42	38

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
167	162	155	146	135

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
388	372	370	355	342

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
43	41	41	39	38

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
257	247	245	235	227

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
216	208	202	192	181

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
96	96	94	94	91

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,611	1,557	1,475	1,385	1,279

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,220	2,133	2,121	2,034	1,962

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
10,914	10,485	10,424	9,995	9,643

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,654	4,490	4,311	4,074	3,811

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,527	2,435	2,364	2,245	2,122

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

３－５　国分・国府台地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
72	72	73	73	71

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
182	186	185	186	186

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
416	386	395	389	397

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
48	45	46	45	46

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
195	181	185	182	186

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
211	205	207	205	207

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
239	246	238	251	233

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,015	2,052	2,045	2,048	2,035

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,289	3,976	4,070	4,007	4,089

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
12,291	11,392	11,662	11,482	11,716

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
13,745	13,514	13,601	13,538	13,582

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,428	1,385	1,399	1,389	1,399

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,008	3,120	3,266	3,132	3,224

３－６　市川地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
47	48	49	48	50

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
137	142	145	148	149

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
203	206	208	214	219

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
20	21	21	21	22

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
135	137	138	142	146

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
172	176	179	182	186

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
105	106	107	112	115

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
52	53	55	55	57

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,030	1,056	1,082	1,089	1,105

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,054	2,087	2,104	2,165	2,215

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
5,340	5,427	5,471	5,630	5,760

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
7,910	8,084	8,237	8,357	8,502

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,290	1,317	1,339	1,362	1,388

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

３－７　八幡地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
85	88	90	90	92

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
227	238	245	253	256

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
291	286	281	291	305

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
10	10	9	10	10

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
163	161	158	164	171

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
232	235	237	244	251

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
177	167	161	154	152

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
805	840	865	883	896

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,192	3,142	3,084	3,199	3,345

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,572	2,531	2,485	2,577	2,695

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
8,048	8,269	8,412	8,618	8,813

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,812	2,855	2,876	2,956	3,042

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,115	2,928	2,829	2,688	2,652

３－８　中山地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
101	99	99	97	97

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
210	205	200	197	196

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
381	416	436	452	441

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
84	92	97	100	98

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
335	366	384	398	388

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
294	303	307	310	306

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
226	222	222	224	240

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
57	58	59	60	59

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,905	1,862	1,828	1,804	1,795

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,970	4,335	4,550	4,714	4,598

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
21,667	23,656	24,834	25,724	25,096

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
12,298	12,418	12,444	12,478	12,333

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,979	3,068	3,112	3,148	3,101

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

３－９　市川駅南地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
182	174	168	161	154

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
486	471	452	435	418

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
474	453	444	436	423

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
64	61	60	59	57

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
453	433	424	416	404

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
722	694	673	654	631

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
513	505	492	470	449

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,412	2,326	2,240	2,154	2,068

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,587	3,429	3,359	3,295	3,198

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
16,378	15,658	15,336	15,045	14,601

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
15,346	14,754	14,291	13,839	13,336

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,459	4,282	4,157	4,035	3,894

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

３－１０　本八幡駅南地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
168	166	161	160	157

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
399	373	370	362	355

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
381	430	443	462	438

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
51	57	59	61	58

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
362	409	422	440	417

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
395	408	411	417	402

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
462	449	451	451	496

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
24	24	25	25	24

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,772	1,685	1,660	1,631	1,599

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,519	3,973	4,098	4,271	4,051

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
12,827	14,479	14,936	15,565	14,763

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
14,607	14,750	14,789	14,862	14,384

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,007	3,106	3,133	3,174	3,058

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

３－１１　信篤地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
107	100	94	90	85

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
158	151	142	133	127

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
391	351	317	285	270

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
26	23	21	19	18

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
239	214	193	174	165

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
170	157	145	134	127

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
203	193	188	178	161

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
93	86	79	73	69

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,903	1,801	1,691	1,601	1,518

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,539	2,276	2,057	1,851	1,754

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
6,540	5,862	5,297	4,768	4,517

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
6,493	6,044	5,611	5,235	4,963

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,782	1,642	1,513	1,398	1,325

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

３－１２　妙典地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
227	218	210	204	194

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
434	411	391	376	364

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
833	778	727	684	652

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
28	26	24	23	22

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
455	425	398	374	356

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
587	553	523	499	478

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
521	508	496	471	441

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
52	49	47	44	42

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,211	4,008	3,830	3,695	3,551

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
6,576	6,143	5,743	5,406	5,149

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
7,310	6,828	6,384	6,008	5,723

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
14,442	13,683	13,008	12,475	11,964

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
6,882	6,492	6,140	5,855	5,603

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
2,857	2,838	2,761	2,721	2,589

３－１３　行徳地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
216	209	206	206	199

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
304	300	288	281	279

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
436	429	427	421	413

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
39	39	39	38	37

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
566	557	555	547	537

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
591	580	570	562	551

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
431	417	402	390	383

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,282	3,219	3,121	3,073	3,021

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,704	3,647	3,633	3,582	3,515

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
9,888	9,734	9,698	9,562	9,381

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
13,034	12,798	12,512	12,325	12,107

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,143	4,071	3,996	3,938	3,867

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
0	0	0	0	0

３－１４　南行徳地区

（１）教育・保育

■０歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
167	156	144	138	132

■１・２歳家庭

①＜３号認定＞（認定こども園及び保育所＋地域型保育）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
364	333	310	287	270

■３歳～就学前家庭

①＜１号認定＞（認定こども園及び幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
598	563	520	488	449

②＜２号認定＞（幼稚園）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
42	40	37	35	32

③＜２号認定＞（認定こども園及び保育所）（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
665	626	577	542	499

（２）時間外保育事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
601	560	518	486	453

（３）放課後児童健全育成事業（単位：人）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
553	547	517	482	456

（４）子育て短期支援事業（ショートステイ）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
55	51	47	44	41

（５）地域子育て支援拠点事業（単位：人回）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
3,932	3,621	3,355	3,145	2,967

（６）一時預かり他

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①１号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
5,394	5,078	4,683	4,399	4,051

②２号認定による利用（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
11,099	10,449	9,636	9,051	8,336

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）以外（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
13,870	12,863	11,900	11,161	10,451

（７）病児病後児保育事業（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
4,985	4,642	4,291	4,026	3,752

（８）子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児）（単位：人日）

27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1,583	1,532	1,541	1,528	1,510

【資料編】

１．アンケート調査票（就学前児童のいる世帯）

就学前児童のいる世帯用

市川市子育て支援に関するニーズ調査

アンケートにご協力をお願いします。

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

市川市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施します。（平成 27 年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市川市が算出するため、住民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

調査結果につきましては、認定こども園や小規模保育などの整備や、放課後保育クラブの対象年齢の拡大など、子ども・子育て支援新制度に基づく新たな施策・拡大する施策の検討材料としても活用させていただきます。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月

市川市長　　大久保　博

【いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます】

子ども・子育て支援新制度の考え方（参考）

● 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

● 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

■ご記入にあたっての注意点■

①この調査は、平成 25 年 11 月 1 日現在の状況でお答えください。

②質問中、「お子さん」とある場合には、**《「お子さん」＝封筒の宛名のお子さん》**としてお答えください。

③質問用紙に直接書き込んでお答えください。

④時間は **24 時間制（例：09 時、18 時など）**で、数字は**1 つの口に 1 字**でご記入ください。

⑤施設・事業の詳細、利用料（保育料等）については、「別紙」を添付いたしましたので、ご参照ください。

⑥ご記入がすみましたら、

ア）市川市役所本庁舎 1 階子育て支援課、行徳支所 2 階行徳子育て総合案内へご持参
（平日の 8 時 45 分～17 時 15 分で受付）

イ）同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函

のいずれかの方法により、**12 月 10 日（火）まで**にご提出ください。

※ア）の方法でご持参いただいた場合には、「いちかわ子育ておでかけＭＡＰ」をプレゼントします。

⑦この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

市川市こども部子育て支援課　電話：047－334－1177（直通）

1．お住まいの地域についてうかがいます。

問１　お住まいの地区として当てはまる番号１つに○をつけてください。

１　大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
２　宮久保地区	宮久保３～６丁目、北方町４丁目、東菅野４・５丁目、下貝塚
３　曽谷地区	曽谷、宮久保１～２丁目、国分１丁目、東国分、稲越町
４　国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分２～７丁目
５　市川地区	真間、市川、須和田２丁目
６　八幡地区	菅野、平田１・２丁目、須和田１丁目、八幡３丁目、東菅野１～３丁目
７　中山地区	八幡１・２・４～６丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
８　市川駅南地区	新田、市川南、平田３・４丁目、大洲、大和田
９　本八幡駅南地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻１・２丁目
10 信篤地区	田尻３～５丁目、田尻（１～５丁目以外）、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜、上妙典
11 妙典地区	妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、富浜、塩焼、宝１丁目、幸１丁目、加藤新田、高浜町、河原
12 行徳地区	伊勢宿、末広、宝２丁目、幸２丁目、押切、行徳駅前、入船、日之出、湊、湊新田、湊新田１・２丁目、香取、福栄２丁目、千鳥町、新浜、塩浜１～３丁目
13 南行徳地区	欠真間、相之川、福栄１・３・４丁目、南行徳、新井、広尾、島尻、塩浜４丁目

2．お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問２　お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。以下、全設問同じ）の生年月をご記入ください。
（例　平成 24 年 01 月生まれ）

平成 □□年 □□ 月　生まれ

問３　お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．いない　２．１人　３．２人　４．３人　５．４人以上

問４　この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　２．父親　３．その他（　　）

問５　この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．配偶者がいる　　２．配偶者はいない

問６　お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　２．父親　　３．父母ともに　　４．祖父母　　５．その他（　　）

３．子育て環境についてうかがいます。

問７　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
５．いずれもいない

問８　お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか（いますか）。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．はい　⇒　**問９へ**　　２．いいえ　⇒　**問10へ**

問９　問８で「1．はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．祖父母等の親族
２．友人、知人、近所の人
３．子育て支援施設、ファミリー・サポート・センター、ＮＰＯ等
４．保健所、保健センター、保健師
５．保育園、保育士
６．幼稚園、幼稚園教諭
７．民生委員、児童委員
８．かかりつけの医院、医師、看護師
９．市川市の子育て支援課、保育課窓口
10．こども発達センター
11．その他（【例】ベビーシッター　　）

問 10　子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

4. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 11　お子さんは、「親子つどいの広場」「地域子育て支援センター」「こども館」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です）や私立幼稚園におけるプレ保育・子育て支援事業を現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。現在の利用日数をＡ欄に、希望する利用日数をＢ欄に（現在の状況と同じ場合には記入不要です）、数字でご記入ください。

	Ａ欄（現在の利用日数） ※利用していない場合は０と記入	Ｂ欄（希望する利用日数） ※Ａ欄と異なる場合のみ記入
親子つどいの広場、または地域子育て支援センター	月 □□ 日　くらい	月 □□ 日　くらい
こども館	月 □□ 日　くらい	月 □□ 日　くらい
公・私立幼稚園で行っているプレ保育（2～３歳児）	月 □□ 日　くらい	月 □□ 日　くらい
公・私立幼稚園で行っている子育て支援事業（0～2 歳児）	月 □□ 日　くらい	月 □□ 日　くらい

問 12　下記の①～⑬の事業ごとに、Ａ～Ｃのすべてについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①母親学級・両親学級	はい　いいえ	はい　いいえ	~~はい　いいえ~~
②保健センターの育児相談・健康講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③家庭教育学級	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④教育センターによる教育相談	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤保育所の地域交流事業・園庭開放	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥幼稚園の育児相談・園庭開放	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑦子育て家庭総合支援センター （子育てに関する総合支援窓口）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑧児童家庭支援センター・こうのだい	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑨こども発達センター	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑩すこやか応援隊（保育士・栄養士のチーム）による相談・すこやか広場	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑪行徳子育て総合案内	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑫いちかわ子育てガイドブック	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑬いちかわっこＷＥＢ	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ

5. お子さんの幼稚園や保育所、その他（※）の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「その他」とは、月単位で定期的に利用している教育・保育事業（問 14 に示した事業）を指します。

問 13　お子さんは現在、幼稚園や保育所などの教育・保育事業を利用されていますか。当てはまる番号1 つに○をつけてください。

1. 利用している　⇒　**問 14 へ**	2. 利用していない　⇒　**問 18 へ**

問 14　問 14～問 17 は、問 13 で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんは、平日主にどのような教育・保育事業を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1．幼稚園
2．幼稚園＋定期的な預かり保育（預かり保育を月 16 日以上利用の場合）
3．認可保育所（特定保育・一時預かりによる利用は除く）
4．認定こども園の幼稚園部分(※)（認定こども園：幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5．認定こども園の保育施設部分(※)
6．家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
7．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8．自治体の認証・認定保育施設(※)
（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9．その他の認可外の保育施設（月 16 日以上かつ 1 日 4 時間以上利用）
10．その他の認可外の保育施設（選択肢 9 の利用条件以外）
11．居宅訪問型保育（ベビーシッターのような事業）
12．その他（　　）

(※)がついている施設：現在市川市内にはありません。

問 15　教育・保育の事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。　（記入例：1 週当たり 5 日　1 日当たり 09 時間　09 時～18 時）

現在	1 週当たり □□日　1 日当たり □□時間（□□時～□□時）
希望	1 週当たり □□日　1 日当たり □□時間（□□時～□□時）

問 16　現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1．」「2．」のいずれかに○をつけてください。

1．市川市内　　2．他の市区町村

問 17　現在、利用している教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

1．ほぼ毎日利用している
2．週に数日利用している　→　1 週当たり □□日程度
3．月に数日利用している　→　1 月当たり □□日程度
4．利用していない

問 18　問 13 で教育・保育事業を「2．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．子どもの母親か父親がみている
2．子どもの祖父母、親族、父母の友人・知人等がみている
3．利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）
4．利用したいが、事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）
5．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7．利用したいが、事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない
8．子どもがまだ小さいため（　　歳くらいになったら利用しようと考えている）
9．その他（　　）

問 19　すべての方にうかがいます。お子さんの今後の教育・保育事業として、もっとも利用したい事業１つに◎を、その事業に空きがない等の場合利用したい事業（複数可）に○を、それぞれ記入欄に回答してください（利用料は別紙を参照）。すでに希望の事業を利用し、今後もその事業を利用したい場合も◎または○を記入してください。利用を希望しない場合には問 25 へお進みください。

	記入欄 (◎：１つ、○：複数可)
1．幼稚園	
2．幼稚園＋定期的な預かり保育 （預かり保育を月 16 日以上利用の場合）	
3．認可保育所	
4．認定こども園の幼稚園部分	
5．認定こども園の保育施設部分	
6．小規模な保育施設（市の認可を受けた定員概ね 6～19 人の施設）	
7．家庭的保育（保育者の家庭等で５人以下の子どもを保育する事業）	
8．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	
9．自治体の認証・認定保育施設 （認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	
10．その他の認可外の保育施設 （月 16 日以上かつ１日４時間以上利用）	
11．その他の認可外の保育施設（選択肢 10 の利用条件以外）	
12．居宅訪問型保育（ベビーシッターのような事業）	
13．その他（　　）	

問 20　問 19 で○をつけた教育・保育事業の前後、または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用したいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。（利用料は別紙を参照）

1．ほぼ毎日利用したい
2．週に数日利用したい　→　1 週当たり □ 日程度
3．月に数日利用したい　→　1 月当たり □ 日程度
4．特に利用したいと思わない

問 21　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「2．」に○をつける場合には、□内に数字でご記入ください。

1．問 1（3 ページ）で回答した居住地区内　⇒　**問 23 へ**
2．市川市内だが、問 1 で回答した居住地区とは別の地区
　→希望する地区の番号を問 1 をご参照の上ご記入ください。→ □　⇒　**問 22 へ**
3．他の市区町村

問 22　問 21 で「2．」または「3．」に○をつけた方にうかがいます。居住地区とは別の地区または他の市区町村を希望する理由は何ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1．母親または父親の職場に近い、または通勤経路にある
2．祖父母等の親族の家に近い
3．希望する施設が居住地区とは別の地区等にある
4．その他（　　）

問 23　希望とは異なる教育・保育事業を現在利用している方にうかがいます。希望する事業を利用できていない理由は何ですか。もっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1．利用したい事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしている）
2．利用したい事業に空きがない（市や施設等に申し込みをしていない）
3．利用したい事業が地域において実施されていない
4．利用したい事業の利用料（保育料等）が高い
5．利用したい事業の利用要件（就労要件等）に当てはまらない
6．その他（　　）

問 24　教育・保育・子育て支援の利用が円滑にできるように、調整・案内する人（介護保険のケアマネージャーのような人）がいれば、相談したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．相談したい	2．特に相談したいと思わない

6．お子さんの土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 25　すべての方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に教育・保育事業の利用希望はありますか（利用料あり）。希望がある場合には、□内に数字をご記入ください。（記入例：09 時から 18 時まで）

※一時的な利用、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に 1～2 回は利用したい

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

（2）日曜・祝日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に 1～2 回は利用したい

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

問 26　お子さんが「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか（利用料あり）。希望がある場合には、□内に数字をご記入ください。（記入例：09 時から 18 時まで）

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎日利用したい
3．週に数日利用したい

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

7．お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 27　平日の教育・保育の事業を利用している方（問 13 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。（それ以外の方は、問 32 にお進みください。）

この 1 年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1．あった　⇒　**問 28 へ**	2．なかった　⇒　**問 32 へ**

問 28　病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法ごとの日数（おおよそ）を《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

《回答の選択肢》※選択肢 4 の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。
1．1～2 日　　2．3～4 日　　3．5～6 日　　4．7～8 日

1 年間の対処方法	日数（年間）（上記選択肢より）
ア．父親が休んだ	
イ．母親が休んだ	
ウ．親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	
エ．父親又は母親のうち自宅にいる方が子どもをみた	
オ．病児・病後児の保育を利用した	
カ．ベビーシッターを利用した	
キ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	
ク．その他（　　）	

問 29　問 28 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（利用料あり、事前にかかるつけ医の受診が必要）

1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒　**問 30 へ**
2．利用したいと思わない　⇒　**問 31 へ**

問 30　問 29 で「1」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3．その他（　　）

問 31　問 29 で「2．利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．他人に看てもらうのは不安	5．利用料がわからない
2．サービスの内容に不安がある	6．親が仕事を休んで対応する
3．立地や利用可能時間・日数がよくない	7．その他（　　）
4．利用料がかかる・高い	

8. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 32　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。この 1 年間の事業ごとの利用日数（おおよそ）を「A欄（現在）」に、希望する利用日数（おおよそ）を「B欄（希望）に、《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。（利用料は別紙を参照）

《回答の選択肢》※選択肢 5 の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。
1．0 日　2．1～5 日　3．6～10 日　4．11～15 日　5．16～20 日

利用している事業	利用日数（年間）（上記選択肢より）	
	A欄（現在）	B欄（希望）
一時預かり（保育所などで不定期に子どもを保育する事業）		
幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）		
ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）		
休日養護・夜間養護（児童養護施設で休日・夜間に子どもを預かる事業）		
ベビーシッター		
その他（　　）		

問 33　問 32 の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思いますか。目的ごとの利用希望日数を問 32 の《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

	日数（年間）（問 32 の選択肢より）
私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院　等	
不定期の就労	
その他（　　）	

問 34　問 32 のA欄で全ての項目について「1．」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．特に利用する必要がない	6．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
2．サービスの内容に不安がある	7．利用方法（手続き等）がわからない
3．立地や利用可能時間・日数がよくない	8．その他（　　）
4．利用料がかかる・高い	
5．利用料がわからない	

問 35　この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。「1」「2」のいずれかに○をつけ、「1．あった」の場合には、それぞれの日数（おおよそ）を□内に数字でご記入ください。

	1 年間の対処方法	日数
1．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ．こどもショートステイ事業を利用した（児童養護施設で一定期間、子どもを預かる事業）	□□ 泊
	ウ．イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□ 泊
	エ．仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	オ．仕方なく子どもだけで留守番させた	□□ 泊
	カ．その他（　　）	□□ 泊
2．なかった　⇒　問 37 へ		

問 36 へ

問 36　問 35 で「1．あった　ア、エ、オ」のいずれかを回答した方にうかがいます。（それ以外の方は問 37 へお進みください。）今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（利用料は別紙を参照）

1．こどもショートステイ事業を利用したい
2．ファミリー・サポート・センターを利用したい
3．1、2 以外の保育事業を利用したい
4．利用したいと思わない

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 37　お子さんが 5 歳以上である方にうかがいます（4 歳以下の方は問 39 へお進みください）。お子さんについて、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年・高学年のそれぞれで、当てはまる内容すべてについて、希望する 1 週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください（記載例：下校時から 18 時まで）。

	小学校低学年（1～3 年生）	小学校高学年（4～6 年生）
1. 自宅	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、学習塾など）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
4. こども館（児童館）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
5. ビーイング （放課後子ども教室）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
6. 放課後保育クラブ （学童保育）	週 □ 日くらい →下校時から □□時まで	週 □ 日くらい →下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
8. その他 （公民館・公園など）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい

問 38 へ

事業の概要（詳細は別紙を参照）

こども館	赤ちゃんから高校生まで 18 歳未満の子どもたちの遊び場。
ビーイング	学校施設などを利用した子どもの居場所で、地域の方々の協力を得て運営されています。
放課後保育クラブ	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。子ども・子育て支援新制度により対象年齢が拡大となります。保育料は別紙を参照してください。

問 38　問 37 で「6. 放課後保育クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます（それ以外の方は問 39 へお進みください）。お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。（記入例：09 時から 18 時まで）

（1）土曜日

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

（3）夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

10. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 39～問 41 までの共通注意点

・「フルタイム」：1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労
「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の就労
としてお答えください。
・父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

問 39　保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親　当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

⇒　(1)-1 へ

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒　(2)へ

（1）-1　（1）で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（時刻の記入例：09 時、18 時）

1 週当たり □ 日		1 日当たり □□ 時間	
家を出る時刻 □□ 時		帰宅時刻 □□ 時	

（2）父親　当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	⇒　(2)-1 へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒　問 40 へ

（2）-1　（2）で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（時刻の記入例：09 時、18 時）

1 週当たり □ 日	1 日当たり □□時間
家を出る時刻 □□ 時	帰宅時刻 □□時

問 40　問 39 の（1）または（2）で「3.4.」に○をつけた方にうかがいます。（それ以外の方は、問 41 へお進みください。）
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
（1）母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 41　問 39 の（1）または（2）で「5.6.」に○をつけた方にうかがいます（それ以外の方は、問 42 へお進みください）。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください

（1）母親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．１年より先、一番下の子が □□ 歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
　→希望する就労形態
　ア．フルタイム
　イ．パートタイム、アルバイト等
　　→1 週当たり □ 日　　１日当たり □□ 時間

（2）父親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．１年より先、一番下の子が □□ 歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい
　→希望する就労形態
　ア．フルタイム
　イ．パートタイム、アルバイト等
　　→1 週当たり □ 日　　１日当たり □□ 時間

11．育児休業など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 42　お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由として当てはまる欄すべてに○をつけてください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1．働いていなかった 2．取得した（取得中である） ⇒取得期間 □□□ 日 3．取得していない	1．働いていなかった 2．取得した（取得中である） ⇒取得期間 □□□日 3．取得していない

取得していない理由（すべてに○をつけてください。）	母親	父親
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった		
仕事が忙しかった		
（産休後に）仕事に早く復帰したかった		
仕事に戻るのが難しそうだった		
昇給・昇格などが遅れそうだった		
収入減となり、経済的に苦しくなる		
保育所（園）などに預けることができた		
配偶者が育児休業制度を利用した		
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった		
子育てや家事に専念するため退職した		
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）		
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった		
育児休業を取得できることを知らなかった		
産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した		
自営業である		
その他（　　）		

問 43　問 42 で「2．」と回答した方にうかがいます。（それ以外の方は問 47 へお進みください。）
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる欄に○をつけてください。

	母親	父親
育児休業取得後、職場に復帰した		
現在も育児休業中である（復帰予定である）		
育児休業中に離職した		

問 44　問 43 で「育児休業後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまでとりたかったですか。数字でご記入ください。

	母親	父親
実際の職場復帰時期	□□歳□□ヶ月	□□歳□□ヶ月
希望の職場復帰時期	□□歳□□ヶ月	□□歳□□ヶ月

問 45　問 44 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（1）「希望」より早く復帰した方　　※当てはまる欄すべてに○をつけてください。

	母親	父親
希望する保育所に入るため		
配偶者や家族の希望があったため		
経済的な理由で早く復帰する必要があった		
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため		
その他（　　）		

（2）「希望」より遅く復帰した方　　※当てはまる欄すべてに○をつけてください。

	母親	父親
希望する保育所に入れなかったため		
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため		
配偶者や家族の希望があったため		
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため		
子どもをみてくれる人がいなかったため		
その他（　　）		

問 46　問 41 で「2．現在も育児休業中である」と回答し、お子さんが 1 歳未満の方にうかがいます。お子さんが 1 歳になったときに必ず預けられる保障（保育園の入園など）があれば、1 歳になるまで育児休業を取得したいですか。または、預けられる保障があっても 1 歳になる前に復帰したいですか。当てはまる欄に○をつけてください。

	母親	父親
1 歳になるまで育児休業を取得したい		
1 歳にまる前に復帰したい		

12. 総合

問 47　すべての方にうかがいます。市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をお伺いします。下記の①～⑦のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

項目＼評価	大変満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
（記入例）	5	④	3	2	1
①子育てに関する情報提供・相談の充実	5	4	3	2	1
②待機児童の解消	5	4	3	2	1
③幼児教育の充実	5	4	3	2	1
④多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス（病児保育・一時預かり等）の充実	5	4	3	2	1
⑤子どもが安心して遊べる場の充実	5	4	3	2	1
⑥子育て家庭への経済的支援の充実	5	4	3	2	1
⑦母子保健、小児救急医療の充実	5	4	3	2	1
子育て支援施策の総合評価	5	4	3	2	1

問 48　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ア）市川市役所本庁舎１階子育て支援課、行徳支所２階行徳子育て総合案内へご持参
（平日の８時 45 分～17 時 15 分で受付）

イ）同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函

のいずれかの方法により、12 月 10 日（火）までにご提出ください。

※ア）の方法でご持参いただいた場合には、「いちかわ子育ておでかけＭＡＰ」をプレゼントします。

２．アンケート調査票（小学生のいる世帯）

小学生のいる世帯用

市川市子育て支援に関するニーズ調査

アンケートにご協力をお願いします。

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

市川市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施します。（平成 27 年度から実施予定）

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市川市が算出するため、住民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

調査結果につきましては、認定こども園や小規模保育などの整備や、放課後保育クラブの対象年齢の拡大など、子ども・子育て支援新制度に基づく新たな施策・拡大する施策の検討材料としても活用させていただきます。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年 11 月

市川市長　　大久保　博

【いただいた回答は地域の子育て支援の充実に活かされます】

子ども・子育て支援新制度の考え方（参考）

● 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

● 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

● 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

■ご記入にあたっての注意点■

①この調査は、平成 25 年 11 月 1 日現在の状況でお答えください。

②質問中、「お子さん」とある場合には、**《「お子さん」＝封筒の宛名のお子さん》**としてお答えください。

③質問用紙に直接書き込んでお答えください。

④時間は **24 時間制（例：09 時、18 時など）**で、数字は**1 つの□に 1 字**でご記入ください。

⑤ご記入がすみましたら、

ア）市川市役所本庁舎 1 階子育て支援課、行徳支所 2 階行徳子育て総合案内へご持参
（平日の 8 時 45 分～17 時 15 分で受付）

イ）同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函

のいずれかの方法により、**12 月 10 日（火）まで**にご提出ください。

※ア）の方法でご持参いただいた場合には、「いちかわ子育ておでかけＭＡＰ」をプレゼントします。

⑥この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

市川市こども部子育て支援課　電話：047－334－1177（直通）

1．お住まいの地域についてうかがいます。

問１　お住まいの地区として当てはまる番号１つに○をつけてください。

１　大柏地区	大町、大野町、奉免町、柏井町、南大野
２　宮久保地区	宮久保３～６丁目、北方町４丁目、東菅野４・５丁目、下貝塚
３　曽谷地区	曽谷、宮久保１～２丁目、国分１丁目、東国分、稲越町
４　国分・国府台地区	堀之内、北国分、中国分、国府台、国分２～７丁目
５　市川地区	真間、市川、須和田２丁目
６　八幡地区	菅野、平田１・２丁目、須和田１丁目、八幡３丁目、東菅野１～３丁目
７　中山地区	八幡１・２・４～６丁目、北方、本北方、若宮、鬼越、中山、高石神
８　市川駅南地区	新田、市川南、平田３・４丁目、大洲、大和田
９　本八幡駅南地区	南八幡、鬼高、稲荷木、東大和田、田尻１・２丁目
10 信篤地区	田尻３～５丁目、田尻（１～５丁目以外）、高谷、高谷新町、原木、二俣、二俣新町、東浜、上妙典
11 妙典地区	妙典、下妙典、下新宿、本行徳、本塩、関ヶ島、富浜、塩焼、宝１丁目、幸１丁目、加藤新田、高浜町、河原
12 行徳地区	伊勢宿、末広、宝２丁目、幸２丁目、押切、行徳駅前、入船、日之出、湊、湊新田、湊新田１・２丁目、香取、福栄２丁目、千鳥町、新浜、塩浜１～３丁目
13 南行徳地区	欠真間、相之川、福栄１・３・４丁目、南行徳、新井、広尾、島尻、塩浜４丁目

2. お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問２　お子さん（封筒の宛名のお子さんのことです。以下、全設問同じ）の生年月をご記入ください。
（例　平成 24 年 01 月生まれ）

平成 □□年 □□ 月　生まれ

問３　お子さんのきょうだいは何人いますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．いない　2．１人　3．２人　4．３人　5．４人以上

問４　この調査票に記入されているのはどなたですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．母親　2．父親　3．その他（　　）

問５　この調査票に記入されている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．配偶者がいる　2．配偶者はいない

問６　お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．母親　2．父親　3．父母ともに　4．祖父母　5．その他（　　）

3．子育て環境についてうかがいます。

問７　日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5．いずれもいない

問８　お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか（いますか）。当てはまる番号１つに○をつけてください。

1．はい　⇒　**問９へ**　　2．いいえ　⇒　**問10へ**

問９　問８で「1．はい」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．祖父母等の親族
2．友人、知人、近所の人
3．子育て支援施設、ファミリー・サポート・センター、ＮＰＯ等
4．学校の先生
5．民生委員、児童委員
6．かかりつけの医院、医師、看護師
7．市川市の子育て支援課窓口
8．市川市教育センター
9．こども発達センター
10．その他（　　）

問10　子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

4. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 11　この 1 年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはありますか。

1. あった　⇒　**問 12 へ**	2. なかった　⇒　**問 14 へ**

問 12　お子さんが病気やケガで小学校を欠席した場合に、この 1 年間に行った対処方法ごとの日数（おおよそ）を《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

《回答の選択肢》※選択肢 4 の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。
1. 1～2 日　2. 3～4 日　3. 5～6 日　4. 7～8 日

1 年間の対処方法	日数（年間）（上記選択肢より）
ア. 父親が休んだ	
イ. 母親が休んだ	
ウ. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	
エ. 父親又は母親のうち自宅にいる方が子どもをみた	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	
カ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	
キ. その他（　　）	

問 13　問 12 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（利用料あり、事前にかかるつけ医の受診が必要）

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
2. 利用したいと思わない

問 14　問 13 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他人に看てもらうのは不安	5. 利用料がわからない
2. サービスの内容に不安がある	6. 親が仕事を休んで対応する
3. 立地や利用可能時間・日数がよくない	7. その他（　　）
4. 利用料がかかる・高い	

※病児・病後児保育
子どもが病気になった際に、病院・保育所等に付設された専用スペース等において一時的に保育する事業。現在、市川市においては病気回復期にある場合の病後児保育を実施しています。

5. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 15　お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等を目的としたお子さんを預ける事業を、現在どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。この 1 年間の事業ごとの利用日数（おおよそ）を「A欄（現在）」に、希望する利用日数（おおよそ）を「B欄（希望）に、《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。（利用料は 16 ページを参照）

《回答の選択肢》※選択肢 5 の日数を超える場合は日数を数字で記入してください。
1．0 日　2．1～5 日　3．6～10 日　4．11～15 日　5．16～20 日

利用している事業	利用日数（年間）（上記選択肢より）	
	A欄（現在）	B欄（希望）
ファミリー・サポート・センター（※）		
休日養護・夜間養護（※）		
その他（　　）		

問 16　問 15 の目的で、お子さんを預ける事業について、どのような目的で利用したいと思いますか。目的ごとの利用希望日数（おおよそ）を問 15 の《回答の選択肢》から選び数字でご記入ください。

	日数（年間）（問 15 の選択肢より）
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院　等	
不定期の就労	
その他（　　）	

※ファミリー・サポート・センター
育児の支援をしたい会員、育児の支援を受けたい会員、両方を利用したい会員を組織化し、子育てに関する人と人との相互援助活動として、保育園・幼稚園・放課後保育クラブへの送迎・送迎後の預かり等のサポートを行います。
※休日養護・夜間養護
松戸市の児童養護施設晴香園で子どもを預かる事業です
夜間養護：18 時～22 時　休日養護：7 時～18 時の間で概ね 8 時間

問 17　問 15 のＡ欄で全ての項目について「1．」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．特に利用する必要がない 2．サービスの内容に不安がある 3．立地や利用可能時間・日数がよくない 4．利用料がかかる・高い 5．利用料がわからない	6．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない 7．利用方法（手続き等）がわからない 8．その他（　　）

問 18　この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。「1」「2」のいずれかに○をつけ、「1．あった」の場合には、それぞれの日数（おおよそ）を□内に数字でご記入ください。

	1 年間の対処方法	日数
1．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□ 泊
	イ．こどもショートステイ事業を利用した （児童養護施設で一定期間、子どもを保護する事業）	□□ 泊
	ウ．仕方なく子どもを同行させた	□□ 泊
	エ．仕方なく子どもだけで留守番させた	□□ 泊
	オ．その他（　　）	□□ 泊
2．なかった　⇒　問 20 へ		

問 19 へ

問 19　問 18 で「1．あった　ア、ウ、エ」のいずれかを回答した方にうかがいます。（それ以外の方は問 20 へお進みください。）今後同様の機会がある際には、保育事業等を利用したいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。（利用料は 16 ページを参照）

1．こどもショートステイ事業を利用したい
2．ファミリー・サポート・センターを利用したい
3．利用したいと思わない

※こどもショートステイ事業
松戸市の児童養護施設晴香園で一定期間（原則 7 日間以内）子どもを預かる事業です

6. お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 20　お子さんについて、放課後の時間を現在どのような場所で過ごさせていますか。また希望としてはどのように過ごさせたいですか。現在の状況をＡ欄に、希望をＢ欄に（現在の状況と同じ場合には記載不要です）、それぞれの内容ごとに１週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後保育クラブ」については利用を希望する時間も数字でご記入ください（記載例：下校時から18時まで）。

	Ａ欄（現在の状況）	Ｂ欄（希望） ※現在の状況と異なる場合のみ記入
1. 自宅	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、学習塾など）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
4. こども館（※）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
5. ビーイング（※）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
6. 放課後保育クラブ（※）	週 □ 日くらい →下校時から □□ 時まで	週 □ 日くらい →下校時から □□ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい
8. その他（公民館・公園など）	週 □ 日くらい	週 □ 日くらい

問 19 へ

※こども館（児童館）
赤ちゃんから高校生まで、18 歳未満の市民なら誰でも遊ぶ事ができる施設です。利用料はありません。
※ビーイング（放課後子ども教室）
学校施設などを利用した子どもの居場所です。地域の人々とのふれあいや異年齢交流による生活体験を通して、子どもの健全な育成を図ります。子どもたちはスタッフが見守る中、いろいろや遊びをします。
保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用でき、利用料はかかりません。
※放課後保育クラブ（学童保育）
保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。現在は小学 1～3 年生（定員に余裕があるときは 4 年生の夏休み終了まで、心身に障害を有する児童は 6 年生まで）が対象ですが、子ども・子育て支援新制度施行後は、小学校 6 年生まで対象が拡大する予定です。（利用料は 16 ページ参照）

問 21　問 21～23 は、問 20 で「A欄（現在の状況）」または「B欄（希望）」で「6．放課後保育クラブ（学童保育）」に日数を記入した方にうかがいます（それ以外の方は問 24 へお進みください）。お子さんについて、小学校卒業まで放課後保育クラブを利用できるとすれば利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．利用したい	2．利用する必要はない

問 22　お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後保育クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、利用したい時間帯を数字でご記入ください。（記入例：09 時から 18 時まで）

（1）土曜日

1．低学年（1～3 年生）の間は利用したい
2．高学年（4～6 年生）になっても利用したい
3．利用する必要はない

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

（2）日曜・祝日

1．低学年（1～3 年生）の間は利用したい
2．高学年（4～6 年生）になっても利用したい
3．利用する必要はない

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

（3）夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中

1．低学年（1～3 年生）の間は利用したい
2．高学年（4～6 年生）になっても利用したい
3．利用する必要はない

⇒　利用したい時間帯
□□時　から　□□時まで

問 23　放課後保育クラブ（学童保育）の前後・または送迎のために、ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）を利用していますか。また利用したいと思いますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください。

（1）現在利用していますか。

1. ほぼ毎日利用している
2. 週に数日利用している　→　1 週当たり □ 日程度
3. 月に数日利用している　→　1 月当たり □ 日程度
4. 利用していない

（2）利用したいと思いますか。

1. ほぼ毎日利用したい
2. 週に数日利用したい　→　1 週当たり □ 日程度
3. 月に数日利用したい　→　1 月当たり □ 日程度
4. 特に利用したいと思わない

問 24　すべての方におうかがいします。小学生の子どもが、家で一人もしくは、きょうだいだけで過ごす事に不安を感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 感じる　　2. 感じない

7. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 25～問 27 までの共通注意点

・「フルタイム」＝1 週５日程度・１日８時間程度の就労
「パート・アルバイト等」＝「フルタイム」以外の就労
としてお答えください。

・父子家庭の場合の「母親」の欄、母子家庭の場合の「父親」の欄の記入は不要です。

問 25　保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親　当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	⇒ (1)-1 へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒ (2)へ

（1）-1　（1）で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（時刻の記入例：09 時、18 時）

1 週当たり	□ 日	1 日当たり	□□ 時間
家を出る時刻	□□ 時	帰宅時刻	□□ 時

（2）父親　当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	⇒ (2)-1 へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒ 問 25 へ

（2）-1　（2）で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻、帰宅時刻を数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（時刻の記入例：09 時、18 時）

1 週当たり	□日	1 日当たり	□□時間
家を出る時刻	□□時	帰宅時刻	□□時

問 26　問 25 の（1）または（2）で「3.4.」に○をつけた方にうかがいます。（それ以外の方は、問 27 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（1）母親

1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 27　問 25 の（1）または（2）で「5.6.」に○をつけた方にうかがいます（それ以外の方は、問 26 へお進みください）。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください

（1）母親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．1 年より先、一番下の子が □□ 歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい
　→希望する就労形態
　ア．フルタイム
　イ．パートタイム、アルバイト等
　　→1 週当たり □ 日　1 日当たり □□ 時間

（2）父親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．1 年より先、一番下の子が □□ 歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい
　→希望する就労形態
　ア．フルタイム
　イ．パートタイム、アルバイト等
　　→1 週当たり □ 日　1 日当たり □□ 時間

8. お子さんのご本人へのアンケート

問 28　この質問はお子さんご本人に回答してもらってください。（お子さんが低学年の場合には、保護者の方が質問文の説明など、回答の補助をしてください。）

あなたは、学校の授業が終わった後（放課後）や学校のない日（土・日・夏休みなど）の自由な時間を過ごす時、どんなところで過ごしたいですか。（学校がある日とない日でそれぞれ３つまで回答できます。）

1. 学校の校庭
2. 学校の体育館や教室
3. 屋外のスポーツ施設（サッカーコートや野球場など）
4. 屋内のスポーツ施設（バスケットボールコートなど）
5. 自由に遊べる広場
6. 遊具のある公園
7. 動物、昆虫、草花などの自然があるところ
8. 図書館
9. 友だちとゆっくりくつろいだり、のんびりできる場所
10. 音楽を聞いたり、楽器をひいたりできる場所
11. 静かに勉強のできる場所
12. カラオケボックスやゲームセンター
13. デパートやスーパーなどのショッピングセンター
14. 自分の家
15. 友だちの家
16. その他（　　）

	学校がある日			学校がない日		
回答欄（かいとうらん）						

9. 総合

問 29　すべての方にうかがいます。市川市の子育て支援施策に対する「満足度」をお伺いします。下記の①～⑦のそれぞれ、および「子育て支援施策の総合評価」について、どの程度満足されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

項目＼評価	大変満足	ほぼ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
（記入例）	5	④	3	2	1
①子育てに関する情報提供・相談の充実	5	4	3	2	1
②放課後保育クラブの充実	5	4	3	2	1
③多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービス（病児保育等）の充実	5	4	3	2	1
④子どもが安心して遊べる場の充実	5	4	3	2	1
⑤子育て家庭への経済的支援の充実	5	4	3	2	1
⑥小児救急医療の充実	5	4	3	2	1
子育て支援施策の総合評価	5	4	3	2	1

問 30　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ア）市川市役所本庁舎１階子育て支援課、行徳支所２階行徳子育て総合案内へご持参
（平日の８時 45 分～17 時 15 分で受付）

イ）同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函

のいずれかの方法により、12 月 10 日（火）までにご提出ください。

※ア）の方法でご持参いただいた場合には、「いちかわ子育ておでかけＭＡＰ」をプレゼントします。

【参考：子育て支援事業にかかる利用料の概要】

（1）ファミリー・サポート・センター

区分	お礼の基準の額
月～金曜の午前７時～午後８時まで	500 円／1 時間
土日祭日及び年末年始並びに上記以外の時間	600 円／1 時間

（2）休日養護・夜間養護・こどもショートステイ事業（短期入所）

区分	一般世帯	市民税非課税世帯
休日養護	1,400 円	350 円
夜間養護	800 円	350 円
短期入所　２歳以上	2,850 円	1,100 円

（3）放課後保育クラブ

〇児童 1 人当たり月額 8,000 円

〇同一世帯で、複数利用する場合、２人目から 4,000 円

３．推計児童数

市川市全体

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	3, 818	3, 699	3, 583	3, 495	3, 383
１歳	3, 911	3, 765	3, 650	3, 535	3, 450
２歳	3, 857	3, 737	3, 601	3, 495	3, 385
３歳	3, 628	3, 660	3, 543	3, 416	3, 318
４歳	3, 700	3, 510	3, 548	3, 438	3, 316
５歳	3, 688	3, 590	3, 413	3, 457	3, 352
６歳	3, 671	3, 631	3, 542	3, 360	3, 406
７歳	3, 846	3, 673	3, 635	3, 538	3, 370
８歳	3, 879	3, 860	3, 690	3, 651	3, 547
９歳	3, 664	3, 858	3, 833	3, 664	3, 622
１０歳	3, 902	3, 658	3, 849	3, 824	3, 662
１１歳	3, 892	3, 875	3, 638	3, 828	3, 803

大柏地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	258	248	236	227	217
１歳	277	261	251	239	230
２歳	296	273	257	247	235
３歳	285	298	274	258	248
４歳	320	281	294	270	254
５歳	317	314	277	289	266
６歳	342	316	323	277	289
７歳	361	345	319	315	279
８歳	370	368	353	325	322
９歳	338	362	361	345	319
１０歳	350	329	353	352	337
１１歳	361	350	329	353	352

宮久保地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	184	181	175	170	166
１歳	187	183	180	174	169
２歳	185	185	181	178	172
３歳	170	176	177	173	170
４歳	201	176	182	184	180
５歳	197	196	172	178	180
６歳	166	193	192	168	174
７歳	198	165	192	191	168
８歳	191	199	168	196	195
９歳	176	192	200	169	197
１０歳	204	179	194	203	170
１１歳	217	201	176	191	200

曽谷地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	208	200	183	172	158
１歳	233	224	215	197	185
２歳	244	238	229	220	201
３歳	246	232	227	218	209
４歳	221	236	222	217	208
５歳	246	217	232	218	213
６歳	203	224	197	211	198
７歳	210	202	223	196	210
８歳	216	210	204	224	196
９歳	227	217	210	206	225
１０歳	237	227	217	210	208
１１歳	227	242	232	222	215

国分・国府台地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	193	193	194	194	189
１歳	213	210	210	211	211
２歳	202	216	213	213	214
３歳	216	196	210	207	207
４歳	204	225	204	219	216
５歳	264	213	235	213	229
６歳	228	294	237	262	238
７歳	262	229	296	240	264
８歳	293	283	247	319	259
９歳	274	284	274	239	309
１０歳	244	282	292	282	246
１１歳	263	244	282	292	282

市川地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	142	143	147	145	149
１歳	132	137	138	142	140
２歳	124	128	133	134	138
３歳	134	135	139	144	145
４歳	129	126	128	132	137
５歳	106	114	111	113	116
６歳	92	110	118	114	116
７歳	121	95	113	122	120
８歳	113	123	96	114	123
９歳	133	125	135	104	123
１０歳	120	135	129	138	105
１１歳	108	127	143	138	147

八幡地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	192	198	204	204	207
１歳	185	190	196	202	202
２歳	174	187	192	198	204
３歳	156	157	169	174	180
４歳	180	158	159	171	176
５歳	166	179	157	158	170
６歳	187	170	185	162	164
７歳	206	190	172	186	164
８歳	206	203	187	169	182
９歳	187	208	205	188	169
１０歳	218	187	208	205	188
１１歳	240	220	189	210	207

中山地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	311	304	303	299	299
１歳	334	324	317	316	312
２歳	340	335	325	318	317
３歳	279	326	321	311	304
４歳	282	283	331	325	315
５歳	267	295	297	347	340
６歳	279	264	292	294	344
７歳	266	273	258	286	288
８歳	255	263	269	254	281
９歳	268	252	260	266	251
１０歳	330	274	257	265	272
１１歳	323	326	271	254	262

市川駅南地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	414	396	384	368	352
１歳	406	390	373	361	346
２歳	384	375	361	346	334
３歳	352	355	347	334	321
４歳	353	337	339	333	320
５歳	364	330	315	315	312
６歳	367	360	326	311	311
７歳	373	372	365	331	316
８歳	393	373	372	365	331
９歳	371	401	380	379	372
１０歳	338	363	392	372	372
１１歳	338	334	359	388	368

本八幡駅南地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	280	277	269	266	262
１歳	319	317	314	304	301
２歳	351	309	307	304	294
３歳	271	356	311	309	306
４歳	285	274	359	314	312
５歳	259	290	279	366	320
６歳	277	252	282	272	357
７歳	289	289	264	296	286
８歳	276	278	280	254	285
９歳	252	271	273	276	250
１０歳	284	258	274	277	285
１１歳	316	296	269	284	288

信篤地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	246	230	216	207	195
１歳	236	222	208	196	188
２歳	210	203	191	179	169
３歳	236	189	183	173	162
４歳	234	223	179	173	163
５歳	235	220	209	168	162
６歳	238	220	206	195	158
７歳	220	233	216	202	191
８歳	259	218	231	214	200
９歳	226	261	219	232	214
１０歳	238	223	259	217	230
１１歳	248	242	227	264	221

妙典地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	523	503	484	469	446
１歳	497	468	450	433	420
２歳	472	449	423	407	392
３歳	464	432	411	387	373
４歳	467	430	400	381	358
５歳	451	429	396	368	351
６歳	465	449	427	394	366
７歳	458	461	446	424	391
８歳	476	451	454	438	417
９歳	401	473	447	450	432
１０歳	492	402	474	447	450
１１歳	419	463	378	446	421

行徳地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	449	435	428	429	414
１歳	445	426	412	405	406
２歳	412	420	402	389	382
３歳	380	374	381	365	353
４歳	363	357	351	358	343
５歳	350	345	340	334	341
６歳	358	333	328	324	318
７歳	378	358	333	328	324
８歳	373	380	362	336	330
９歳	352	373	380	363	337
１０歳	370	346	366	373	357
１１歳	368	367	343	364	370

南行徳地区

年齢	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
０歳	418	391	360	345	329
１歳	447	413	386	355	340
２歳	463	419	387	362	333
３歳	439	434	393	363	340
４歳	461	404	400	361	334
５歳	466	448	393	390	352
６歳	469	446	429	376	373
７歳	504	461	438	421	369
８歳	458	511	467	443	426
９歳	459	439	489	447	424
１０歳	477	453	434	483	442
１１歳	464	463	440	422	470